このたびは、スズキ　キザシ　を
お買い求めいただきありがとうございます。

ご使用の前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。お車の取扱いを誤ると、事故や故障の原因となります。本書をよくお読みいただき、いつまでも快適なカーライフをお楽しみください。

- 本書は、お車の取扱いや万一のときの処置などについて説明しています。
- 「必読！ 安全なドライブのために」は、とくに重要な項目です。しっかりお読みください。
- 本書では、次の記号を使用しています。
  ⚠警告 、⚠注意 、アドバイス は、とくにしっかりお読みください。

⚠警告	**取扱いを誤ると、死亡または重大な傷害を生じる可能性が想定される内容です。**
⚠注意	**取扱いを誤ると、傷害を負う可能性がある、または物的損害の発生が予想される内容です。**
アドバイス	お車のために守っていただきたい、または知っておくと便利な内容です。

- イラストの中で「 ✕ 」の記号が使用してあるときは、図示されている行為の禁止を示しています。

- 保証や点検整備については別冊のメンテナンスノートに記載していますので、本書とあわせてお読みください。
- 本書とメンテナンスノートは、常にお車の中に保管してください。
- お車をおゆずりになるときは、次に所有されるかたのために、本書とメンテナンスノートをお車につけてお渡しください。
- 限定車の装備品や、スズキ販売店またはスズキ代理店で取り付けた装備品などについては、装備品に添付されている取扱説明書をお読みください。
- 車の仕様などの変更により、本書の内容やイラストとお車が一致しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ご不明な点は担当セールススタッフにおたずねください。

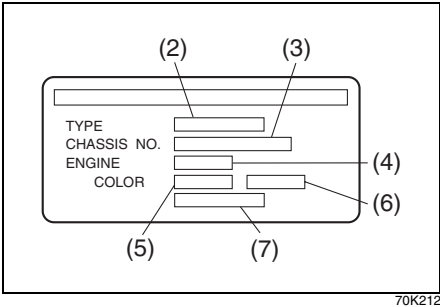
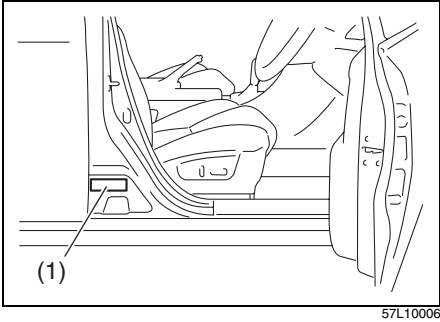
ご愛車に関するメモ

記入される記号・番号は、車検証、IDプレートをご覧ください。

ご　愛　車　の　メ　モ	
車名および車両型式	車名：
	型式：
車台番号	
エンジン型式	J24B型
車体色記号	
営業機種記号	
トランスミッション	オートマチックミッション（※）
ナンバープレート（自動車登録番号）	
ご購入年月日	年　月　日

※本書で「オートマチック車」と記載されている場合、「CVT車」を示しています。

IDプレート（1）

運転席ドアを開いた所に貼付してあります。

(2) 車両型式　(3) 車台番号
(4) エンジン型式　(5) 車体色記号
(6) 車体色と内装色の組合せコード
(7) 営業機種記号（補助記号）

総　合　目　次

1　イラストもくじ

2　必読！
安全なドライブのために

3　運転する前に

4　運転するときは

イラストもくじ

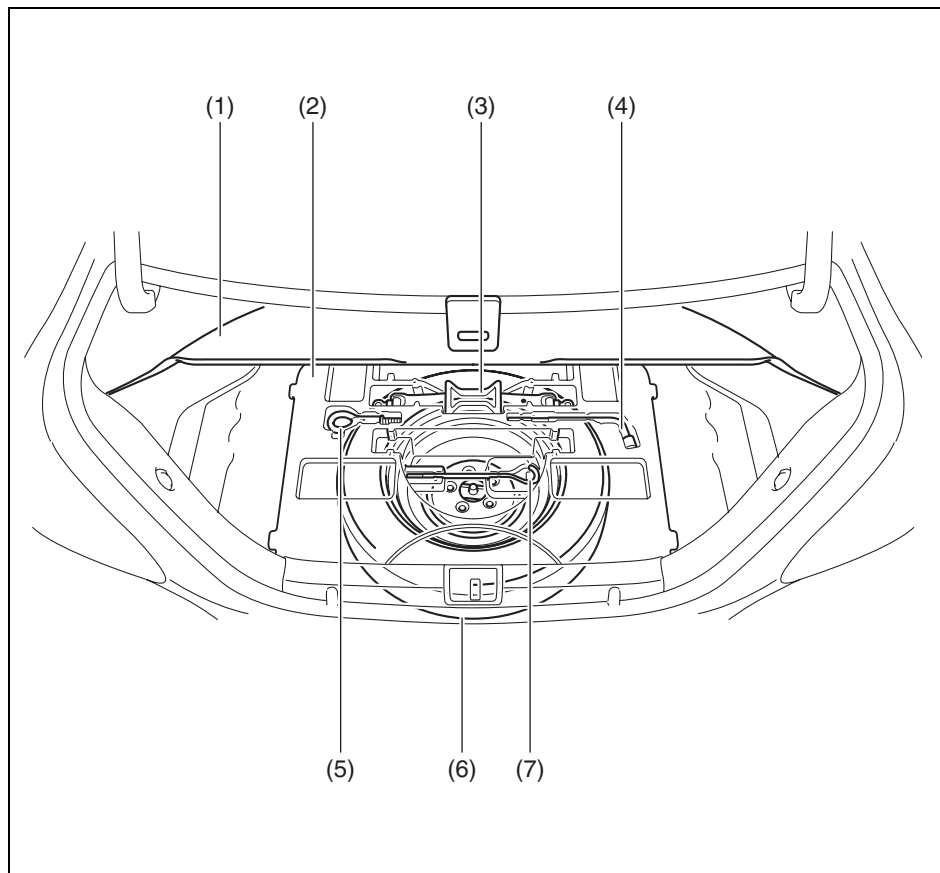
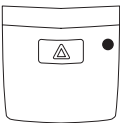
お車のタイプにより、異なる装備も含んでいます。

57L0002

イラストもくじ

お車のタイプにより、異なる装備も含んでいます。

(1)
(2)
(1)
(3)
(4)
(5)
(4)
(6)
(7)
(8)
(9)
(10)
(11)
(12)
(13)
(14)
(15)
(16)
(17)
(18)
57L0040

下のイラストは、フロアボードを持ち上げた状態です。

（1） フロアボード ・・・・・・・・・・・・・ 7-2
（2） ラゲッジアンダーボックス ・・・・・・・・・・・・・・・・5-42
（3） ジャッキ ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7-4
（4） ホイールナットレンチ ・・・ 7-2
（5） けん引フック ・・・・・・7-2、7-26
（6） 応急用スペアタイヤ ・・・・・ 7-3
（7） ジャッキバー ・・・・・・・・・・・ 7-2

警告ブザーが鳴ったときは

下記機能の作動中は、次の表以外の警告ブザーが鳴る場合があります。
- パーキングセンサー　→**4-27**ページ
- アクティブクルーズコントロール（注文装備）　→**4-32**ページ
- プリクラッシュセーフティシステム（注文装備）　→**4-41**ページ
- ETC　→**5-13**ページ

■ 全車共通

いつ	ブザー音	メーター／インパネ	原因と対処方法
いずれかのドア、ボンネット、トランクリッドを開けたとき	ピー、ピー、（約10秒間、室内ブザー）	2秒間隔で点滅	セキュリティアラームの警報が作動しています。エンジンスイッチを ON にすると、警報を途中で停止できます。 →　**3-16ページ（セキュリティアラーム）**
エンジンスイッチを ON にしたとき	ピー、ピー、（4回、室内ブザー）	約8秒間小刻みに点滅	駐車時にセキュリティアラームの警報が作動したことを示しています。盗難にあっていないか車の中を確認してください。 →　**3-16ページ（セキュリティアラーム）**
	ポーン（1回、室内ブザー）	※1	インフォメーションディスプレイに「ステアリングロック未解除」と表示されたら、ハンドルを左右に軽く動かしながら、エンジンスイッチを押してください。 →　**4-3ページ（ハンドルロック未解除警告）**
エンジンスイッチが ON のとき	ポーン（1回、室内ブザー）	1秒間隔で点滅	キーレスプッシュスタートシステムに異常が考えられます。スズキサービス工場で点検を受けてください。 →　**3-19 ページ（セキュリティアラームインジケーター）**

※1　メーター内の⚠（マスターウォーニング）が点滅するとともに、インフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。
→　**3-79ページ（インフォメーションディスプレイのメッセージ）**

1

警告ブザーが鳴ったときは

いつ	ブザー音	メーター	原因と対処方法
エンジンスイッチが ON のとき	ポーン （1回、室内ブザー）	点灯 ※1	ESP®のシステムに異常が考えられます。スズキサービス工場で点検を受けてください。 → **4-52ページ（ESP® 作動表示灯）**
		※1	インフォメーションディスプレイに「ヒルホールド機能停止中」または「BCMシステム要点検」と表示されたら、スズキサービス工場で点検を受けてください。 → **4-54ページ（ヒルホールドコントロール）**
		点灯 ※2	燃料の残量が少なくなっています。 すみやかに給油してください。 → **3-68ページ（燃料残量警告灯）**
エンジンをかけようとしたとき	ピー、ピー、（約2秒間、室内／車外ブザー）	点滅 ※1	携帯リモコンが車内にない、またはリモコンの電池切れが考えられます。リモコンを車内にもどすか、リモコンをエンジンスイッチにあててください。 → **4-5ページ（携帯リモコン車外持ち出し警告）** → **4-6ページ（エンジンのかけかた）**
すべてのドアを閉めたとき			
停車中／後退中	ピー、ピー、（室内ブザー）	R 表示	セレクトレバーが R に入っています。セレクトレバーの位置を確認してください。 → **4-17 ページ(R(リバース)ポジション警告ブザー)**

いつ	ブザー音	メーター	原因と対処方法
走行中	ピー、ピー、(約95秒間、室内ブザー)	点滅	運転者がシートベルトを着用していません。安全な場所に停車して、ベルトを着用してください。 → **3-39ページ（シートベルト警告ブザー）**
	ピピピッ、ピピピッ、(室内ブザー)	点灯	パーキングブレーキが解除されていません。パーキングブレーキを解除してください。 → **4-10 ページ（パーキングブレーキ解除忘れ警告ブザー）**
	ポーン(1回、室内ブザー)	点灯 ※1	いずれかのドア、トランクリッドまたはボンネットが完全に閉まっていません。安全な場所に停車して、完全に閉めてください。 → **3-71ページ（半ドア警告灯）**
エンジンスイッチをもどすとき	ポーン、(1回、室内ブザー)	※1	インフォメーションディスプレイに「ステアリングロック要点検」と表示されたら、スズキサービス工場で点検を受けてください。 → **4-9ページ（エンジンスイッチをもどすときは）**
運転席ドアを開けたとき	ピー、ピー、(室内ブザー)	–	エンジンスイッチが ACC になっています。 LOCK （OFF）にしてください。 → **4-10 ページ（エンジンスイッチもどし忘れ警告ブザー）**
	ピーーー(室内ブザー)	※1	ヘッドライトや車幅灯が点灯しています。これらを消してください。 → **3-87ページ（ライト消し忘れ警告ブザー）**
	ピッ、ピッ、(室内ブザー)	–	故障などで、エンジンスイッチを LOCK （OFF）にして運転席ドアを開けてもハンドルがロックされていません。スズキサービス工場で点検を受けてください。 → **4-10ページ（ハンドルロック未作動警告ブザー）**

※1　メーター内の ⚠（マスターウォーニング）が点滅するとともに、インフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。
※2　インフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。
　→　**3-79ページ（インフォメーションディスプレイのメッセージ）**

いつ	ブザー音	メーター	原因と対処方法
リクエストスイッチを押したとき	ピー（約2秒間、車外ブザー）	－	エンジンスイッチが ACC または ON になっています。 LOCK （OFF）にしてください。 → **3-14 ページ（リクエストスイッチ未作動警告ブザー）**
		－	携帯リモコンが車内にあります。 リモコンの場所を確認してください。
		点灯※2	いずれかのドアが完全に閉まっていません。完全に閉めてください。
携帯リモコンのロックスイッチを押したとき	ピー（約2秒間、車外ブザー）	点灯※2	いずれかのドアが完全に閉まっていません。完全に閉めてください。 → **3-9ページ（キーレスエントリー）**

■ 4WD車のみ

→ **4-22ページ（駆動モードの切替え操作）**

いつ	ブザー音	メーター	原因と対処方法
エンジンスイッチが ON のとき	ポーン（1回、室内ブザー）	点灯※1	4WDのシステムに異常が考えられます。スズキサービス工場で点検を受けてください。 → **4-24ページ（AWD警告灯）**
		点滅※1	●インフォメーションディスプレイに「タイヤサイズ要確認2WD（強制）」と表示されたら、スズキサービス工場で点検を受けてください。 ●インフォメーションディスプレイに「AWDシステム高温2WD（強制）」と表示されたら、安全な場所に停車し、アイドリング状態にしてください。 → **4-24ページ（AWD警告灯）**

※1　メーター内の▲（マスターウォーニング）が点滅するとともに、インフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。

※2　インフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。
→ **3-79ページ（インフォメーションディスプレイのメッセージ）**

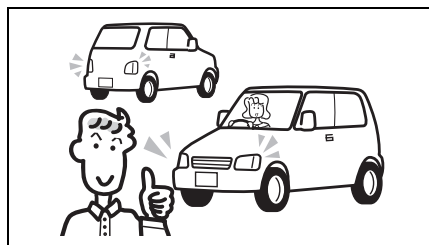
2. 必読！ 安全なドライブのために

とくに重要な項目ですのでしっかりお読みください。

安全運転が第一
お車に装備されているシートベルト、SRSエアバッグシステム、ABS（アンチロックブレーキシステム）などの安全装備も、乗員の安全確保には限界があります。法定速度を厳守するとともに、スピードを控えめにして安全運転に心がけてください。

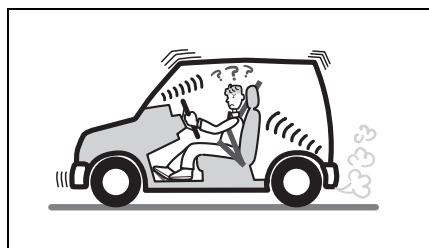
出発の前に（お車の確認）

日常点検を確実に

80J008

車の走行距離、使用状態から判断した適切な時期に実施してください。

→　**メンテナンスノート（日常点検）**

こんな症状に気づいたときは

80J009

⚠注意

次のような場合はスズキサービス工場で点検を受けてください。

- **地面に油や液の漏れたあとが残っている**
- **ブレーキ液が不足している**
- **いつもと違うにおい、音、振動がある**
- **ハンドルやブレーキを操作したときの感じがいつもと違う**

車検を受けるときの注意

ESP® 装備車をテスターに載せる場合は、次のことをお守りください。

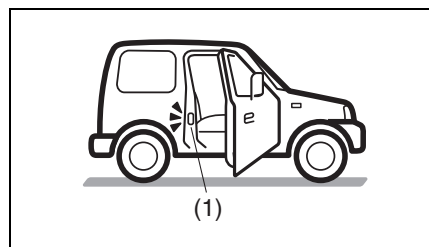
- ESP® OFF スイッチを操作して、トラクションコントロールおよびスタビリティコントロールを作動停止の状態にします。
  →　**4-53ページ**
  （ESP® OFFスイッチ）
- 4WD 車の場合、駆動モード選択スイッチを操作して、駆動状態を次のようにします。
  - スピードメーターテスターでは、AWDモードに切り替えます。
  - ブレーキテスターでは、2WDモードに切り替えます。

  →　**4-22ページ**
  （駆動モードの切替え操作）

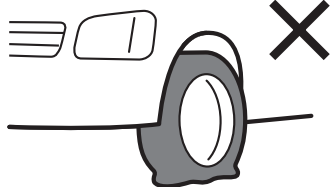
詳細については、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

タイヤの空気圧をチェック

- 定期的に点検・調整してください。この車の指定空気圧は、運転席ドアの開口部に貼付してある「**空気圧ラベル**」（1）で確認できます。
  →　**メンテナンスノート（日常点検）**

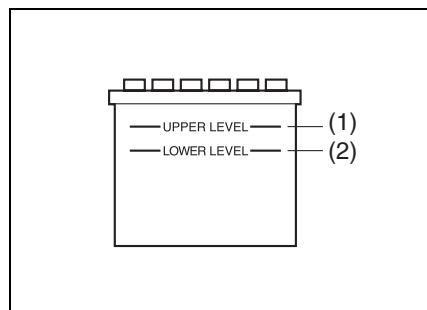
80J1080

- 空気圧が不足したまま走行すると、タイヤの両端が摩耗する原因となります。また、燃費が悪くなります。
- 偏平タイヤ（235/45R18 94W）は、見た目では空気圧の不足がわかりにくいので注意が必要です。

注意

- **指定空気圧を守らないと車の性能が十分に発揮できず、次のようなことが起きるおそれがあり、思わぬ事故につながったり、故障の原因となったりするおそれがあります。**
  - **走行安定性が悪化する**
  - **ブレーキをかけたときの制動距離が伸びる**
  - **ABSおよびESP®の場合、正確なタイヤ回転速度が検出できなくなって正常に作動しなくなる**
  - **4WD 車では、その性能が十分に発揮できないばかりでなく、駆動系部品に悪影響をあたえる**
- **空気圧が極端に低いまま走行すると、タイヤがバースト（破裂）して思わぬ事故につながるおそれがあります。**

80J013

バッテリーの液面を点検する

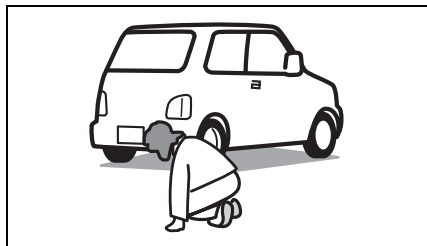
液面が下限（2）より下にあるときは、バッテリー補充液を上限（1）まで補給してください。

→　**メンテナンスノート（日常点検）**

80J1267

警告

バッテリー液が不足すると、発熱や爆発のおそれがあります。また、バッテリーの寿命を縮めるおそれがあります。

2

排気管も点検

80J011

排気管に穴やひび割れがないか、ときどき点検してください。

⚠警告

排気管に漏れがあると、排気ガスが車内に侵入して一酸化炭素中毒のおそれがあります。異常を感じたときは、必ずスズキサービス工場で点検を受けてください。

荷物を積むときは

燃料や薬品が入った容器、スプレー缶などを車内に持ち込まない

80J021

⚠警告

引火や爆発のおそれがあります。

荷物を積み過ぎない

80J022

⚠注意

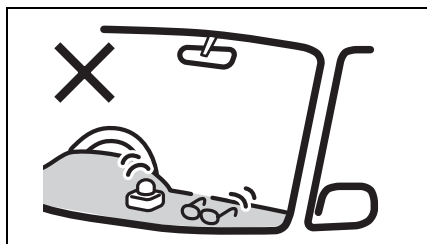
車内に手荷物を積み重ねないでください。視界のさまたげになるばかりでなく、急ブレーキで荷物が飛び出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

荷物の積み過ぎは、車体や走行に悪影響をおよぼします。

動物を乗せるときは、動きまわらないように注意して

⚠注意

運転のさまたげになったり、急ブレーキのときなどに思わぬ事故につながったりするおそれがあります。

インパネの上に物を置かない

80J070

⚠警告

運転視界をさまたげたり、発進時や走行中に動いたりして、安全運転のさまたげになるおそれがあります。また、万一の事故で助手席SRSエアバッグが正常に作動しなかったり、助手席SRSエアバッグがふくらんだときにとばされたりして、けがのおそれがあります。

お子さまを乗せるときは

いつもより慎重に安全を確保し、スピードを控えめに安全運転を心がけましょう。

お子さまは後席に乗せる

51K0188

できるだけ大人が隣にすわり、お子さまを見守ってください。助手席に乗せるとお子さまの不意の動作が気になったり、お子さまがいたずらしたりして、運転のさまたげになるおそれがあります。

→ **2-6 ページ（お子さま用シートの使用について）**

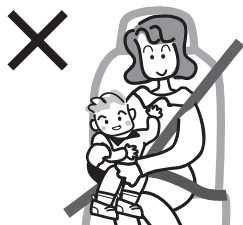
⚠警告

- **後席のお子さまが走行中にドアを開けないように、チャイルドプルーフをご使用ください。**
  → **3-5ページ（チャイルドプルーフ）**
- **お子さま用シートを必要としないお子さまをやむをえず助手席に乗せるときは、次のことをお守りください。**
  - **助手席をいちばん後ろに下げてください。助手席を前に出していると、助手席 SRS エアバッグが作動したときの強い衝撃で重大な傷害を受けるおそれがあります。**
  - **SRS サイド／カーテンエアバッグが作動したときの強い衝撃で、重大な傷害を受けるおそれがあります。お子さまが窓から手を出したり、ドアにもたれかかったりしないようにしてください。**

80J062

お子さまもシートベルトを着用

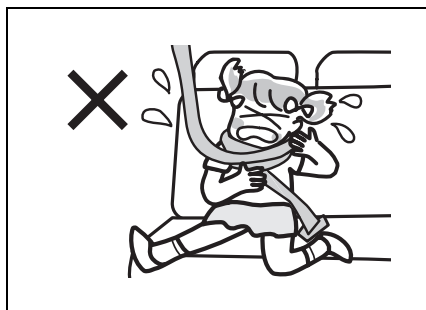
⚠警告

- **ひざの上にお子さまを抱かないでください。しっかり抱いていても、衝突のときなどに十分にささえることができず、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。**

80J081

- **必ずシートベルトを着用させてください。**
- **一本のシートベルトを二人以上で使用しないでください。**
- **シートベルトが首やあごにかかるときや、腰骨にかからないようなお子さまには、チャイルドシートやジュニアシートをご使用ください。シートベルトを正しく使用しないと、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。**

80J082

- **首がすわっていないお子さま、ひとりすわりのできないお子さまには、ベビーシートをご使用のうえ、後席に乗せてください。**

シートベルトで遊ばせない

80J028

⚠警告

お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。ベルトを身体に巻きつけるなどして遊んでいるときに、窒息など重大な傷害を受けるおそれがあります。万一の場合は、ハサミでベルトを切断してください。

お子さま用シートの使用について

- ベビーシートなどの後ろ向きお子さま用シートは、助手席で使用することができません。後席に取り付けてください。
- 安全のため、チャイルドシートおよびジュニアシートも後席に取り付けてください。
- お子さま用シートは、お子さまの年齢や体格にあった適切なものを選んでください。

→ **3-46ページ（お子さま用シートの選択について）**

● 助手席サンバイザーの両面には、次の警告ラベルが貼られています。ご使用の前に、必ずお読みください。

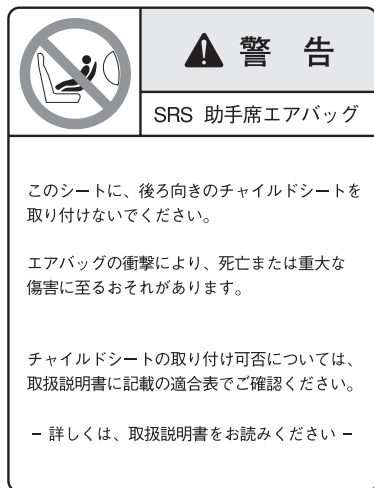
⚠ 警　告

SRS 助手席エアバッグ

このシートに、後ろ向きのチャイルドシートを取り付けないでください。

エアバッグの衝撃により、死亡または重大な傷害に至るおそれがあります。

チャイルドシートの取り付け可否については、取扱説明書に記載の適合表でご確認ください。

－ 詳しくは、取扱説明書をお読みください －

85K20020

※警告ラベルで使用される「チャイルドシート」は、本書で使用される「お子さま用シート」のことを表します。

● この車には、次のタイプのお子さま用シートを取り付けることができます。
  - シートベルトで固定するタイプのお子さま用シート
    →　**3-45ページ（お子さま用シートの シートベルトによる固定）**
  - ISOFIXタイプのお子さま用シート
    →　**3-33ページ（チャイルドシート固定専用金具）**

● お子さま用シートの種類によっては、この車に正しく取り付けられないものがあります。使用する前に、お子さま用シートに付属の取扱説明書をよく読み、取り付け方法や取扱いなどについてご確認ください。

● お子さま用シートには、スズキ純正品をお勧めします。詳しくは、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

● お子さま用シートを使用していても、お子さまの安全の確保には限界があります。スピードは控えめにして、安全運転に心がけてください。

⚠ 警告

●助手席には、ベビーシートなどの後ろ向きお子さま用シートを取り付けないでください。助手席 SRS エアバッグがふくらむと、お子さま用シートの背面に強い衝撃が加わり、生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

●やむをえず助手席にチャイルドシートやジュニアシートを取り付けるときは、助手席をいちばん後ろに下げ、前向きに取り付けてください。

80J027

●SRS　サイド／カーテンエアバッグが作動したときの強い衝撃で、重大な傷害を受けるおそれがあります。お子さまが窓から手を出したり、ドアにもたれかかったりしないようにしてください。

●走行する前に、お子さま用シートが確実に固定され、ガタつき、ゆるみなどがないことを確認してください。

⚠警告

- お子さま用シートを取り付けたシートの背もたれを倒さないでください。お子さま用シートが適切に固定されなかったり、衝突したときなどに体がシートベルトの下に滑り込んだりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 万一の事故でお子さま用シートに強い衝撃を受けた場合は、外観に異常がなくても再使用しないでください。いざというときに性能を十分発揮できないおそれがあります。

⚠注意

お子さま用シートは、使用していないときでもしっかりとシートに取り付けるか、荷室に収納してください。シートから取り外したまま客室内に放置すると、ブレーキをかけたときなどに乗員や物にあたるおそれがあります。

ドアやウインドーの開閉、シートの調節は大人が行なう

お子さまの手足や首をはさまないように、大人が開閉や調節を行なってください。

80J029

⚠警告

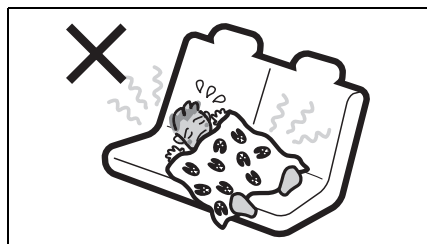
パワーウインドーは、お子さまが自分で操作しないように、ウインドーロックスイッチをご使用ください。
→　3-20ページ
（ウインドーロックスイッチ）

窓から顔や手を出さない

80J030

⚠警告

お子さまが手や顔などを出さないように注意してください。急ブレーキで重大な傷害を受けたり、転落したりするおそれがあります。また、車外の物などにあたって重大な傷害を受けるおそれがあります。

車から離れるときはお子さまだけを車内に残さない

80J032

⚠警告

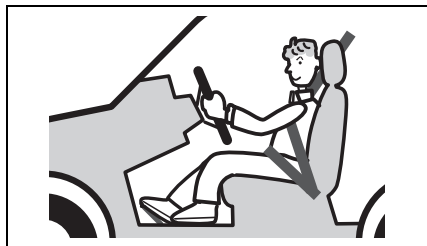
- 炎天下の車内は高温になり、お子さまが熱射病にかかるおそれがあります。
- お子さまのいたずらで、車の発進や火災などの事故を起こすおそれがあります。
- エンジンをかけてエアコンをつけていても、車内にお子さまだけを残さないでください。

お子さまをトランク内に乗せない

⚠警告

トランクは人が乗る構造になっていません。お子さまを乗せないでください。急ブレーキなどで思わぬ事故につながるおそれがあります。
停車中もお子さまをトランク内で遊ばせないでください。

運転席に座って

ハンドル、シート、ミラーの調節は走行前に

80J014

⚠警告

- 走行中にハンドルやシートを調節すると、ハンドル操作を誤り、思わぬ事故につながるおそれがあります。
  →　3-26 ページ（テレスコピック&チルトステアリング）
  →　3-26ページ（前席シート）
- 背もたれを必要以上に倒さないでください。シートベルトが本来の効果を発揮できません。

⚠注意

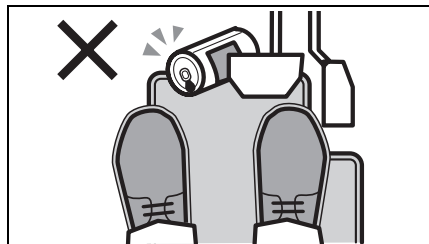
走行中にルームミラーやドアミラーを調節すると、前方不注意の原因となります。
→　3-23ページ
（ルームミラー、ドアミラー）

シートベルトは正しく着用

65J106

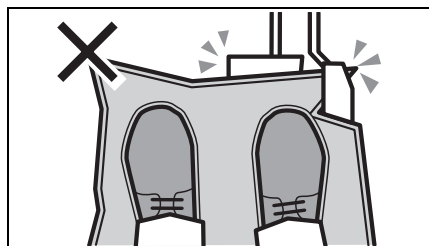
⚠警告

- 走行前にシートベルトを正しく着用してください。
- 助手席や後席の同乗者全員にシートベルトを着用させてください。
  →　3-38ページ
  （シートベルトについて）

運転席の足元付近に物を置かない

64L20030

⚠警告

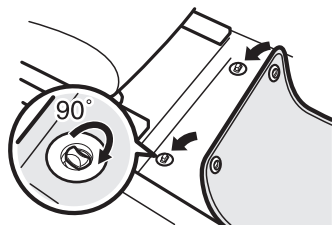
空き缶などを足元に放置しないでください。ペダル操作ができなくなって思わぬ事故につながるおそれがあります。

車に合ったフロアマットを適切に使用する

64L20040

⚠警告

ペダル操作のさまたげになって思わぬ事故につながるおそれがありますので、次のことをお守りください。

- 足元の形に合わないフロアマットを使わない
- フロアマットを重ねて敷かない
- フロアマットは固定具などで確実に固定する

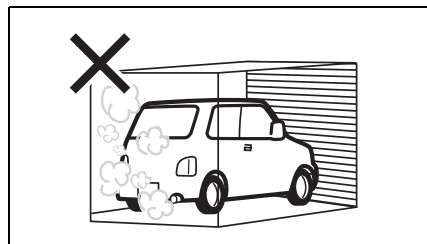
スズキ純正フロアマットの例

57L0041

※運転席および助手席側のフロアには、スズキ純正フロアマットに付属する固定具を取り付ける穴があります。

アドバイス

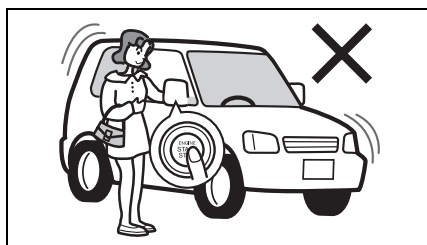
この車専用のスズキ純正フロアマットのご使用をおすすめします。

エンジンをかけるときは

換気が悪いところでエンジンをかけたままにしない

80J010

⚠警告

- 車庫の中など、換気が悪いところでエンジンをかけたままにすると、一酸化炭素中毒のおそれがあります。
- エンジンをかけた状態で、トランクリッドを開けたままにしないでください。排気ガスが車内に侵入します。
- 車内で排気ガスのにおいがしたときは、すべての窓を全開にし、エアコン、ヒーターの内外気切替えを外気導入に切り替え、ファンを強にして換気します。換気してもにおいが消えないときは、すやみかにスズキサービス工場で点検を受けてください。

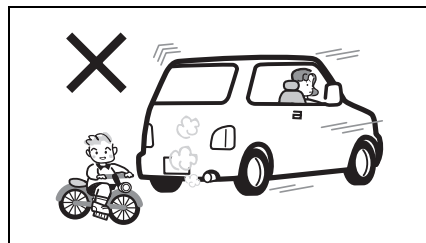
窓越しのエンジンスイッチ操作はしない

85K2113

⚠注意

エンジンスイッチの操作は、運転席にすわってから行なってください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

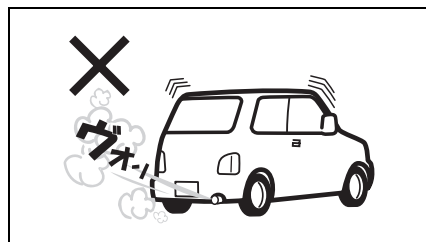
→ 4-6ページ
（エンジンのかけかた）

走行するときは

周囲をよく確認してから発進する

80J025

⚠注意

- 周囲の安全をしっかりと確認してから発進してください。
- バックミラーやパーキングセンサーだけでは後方の安全が十分に確認できません。車を後退させるときは、車からおりて自分の目で後方を確認してください。

エンジン始動直後の空ぶかし、急加速をしない

80J064

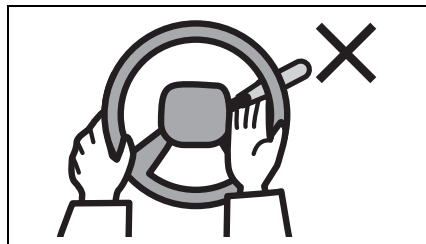
エンジンオイルが暖まっていないので、暖機が完了するまでは空ぶかしや急加速をしないでください。エンジン故障の原因となります。

携帯電話やカーナビゲーションなどに気を取られないで

85K2114

⚠注意

- 運転者は、走行中に自動車電話や携帯電話などを使用しないでください。会話や電話の操作に気を取られ、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 運転者は、走行中にテレビを見たり、カーナビゲーションやオーディオなどを操作したりしないでください。前方不注意で思わぬ事故につながるおそれがあります。

ハンドルの中に手を入れてスイッチなどを操作しない

80J034

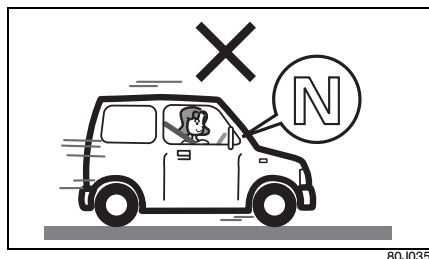
⚠注意

ハンドル操作のさまたげになり、思わぬ事故の原因となります。

ブレーキペダルに足をのせたまま走行しない

⚠注意

ブレーキ部品が早く摩耗したり、ブレーキ装置が過熱したりして、効きが悪くなるおそれがあります。

走行中はニュートラルにしない

80J035

⚠注意

緊急時以外は、走行中にセレクトレバーを N （ニュートラル）にしないでください。エンジンブレーキがまったく効かないため、思わぬ事故の原因となります。

こんなときどうする？

- **警告灯が点灯したら？**
  警告メッセージが表示されたら？
  ただちに安全な場所に停車して処置をしてください。
  → **3-66ページ（警告灯・表示灯の見かた）**
  → **3-79ページ（インフォメーションディスプレイのメッセージ）**

- **床下に強い衝撃を受けたら？**
  ただちに安全な場所に停車し、ブレーキ液や燃料が漏れていないか、排気管などに異常がないか点検してください。異常が見つかったときは、スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。

- **タイヤが突然パンクしたら？**
  ハンドルをしっかり握り、慎重にブレーキをかけて徐々にスピードを落とし、安全な場所に停車してください。
  → **7-2ページ（パンク）**

- **ブレーキペダルが重く感じたら？**
  車には、エンジンの負圧を利用してブレーキペダルを踏む力を軽減するブレーキ倍力装置がついています。エンジンの負圧が低下していると、ブレーキペダルを踏んだときに重く感じることがありますが、異常ではありません。そのままペダルを強く踏んでください。

- **ブレーキから金属音（キーキー音）が聞こえたら？**
  すみやかにスズキサービス工場で点検を受けてください。ディスクブレーキのパッド（スズキ純正部品）には、走行中に金属音が発生することで使用限度（交換時期）近くまで磨耗したことを警報する機能があります。

⚠警告

金属音が発生したまま走行を続けないでください。ブレーキが効かなくなり、事故につながるおそれがあります。

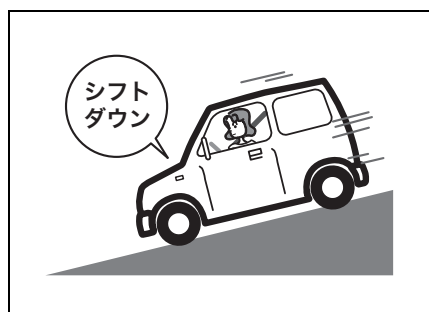
長い下り坂ではエンジンブレーキを使用する

長い下り坂ではエンジンブレーキ（※）を併用してください。アクセルペダルから足をはなし、走行速度に合わせて次のいずれかにします。

- パドルシフトスイッチ（ー側）を操作して、適切なギヤポジションにシフトダウンします。
- セレクトレバーを M に入れて、適切なギヤポジションにシフトダウンします。

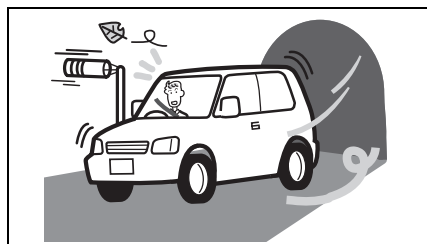
→ **4-13ページ（マニュアルモードの使いかた）**

※エンジンブレーキとは、走行中にアクセルペダルから足をはなしたときに起こるブレーキ効果のことをいいます。エンジンブレーキは低速ギヤほどよく効きます。

80J1003

警告

ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキ装置が過熱してブレーキが効かなくなるおそれがあります。

横風が強いときは

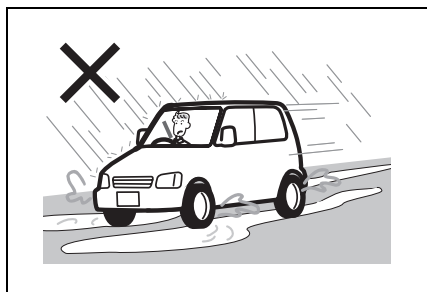
80J038

トンネルの出口や橋の上、大型トラックが通り過ぎるときなどに、横風を受けて車が横に流されることがあります。あわてずハンドルをしっかり握り、徐々にスピードを落として進路を立て直してください。

滑りやすい路面ではゆっくり走る

80J039

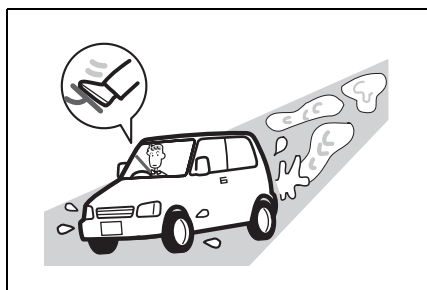
注意

濡れた路面や凍結路、積雪路などでは、急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドル、急激なエンジンブレーキなど「急」のつく運転はしないでください。スリップ事故につながるおそれがあります。

水たまりを高速で通り抜けない

80J040

⚠注意

水たまりや濡れた路面を高速で走行すると、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いた状態になることがあります。これをハイドロプレーニング現象といい、ハンドルやブレーキがまったくきかなくなって思わぬ事故につながるおそれがあります。

水たまりを走行したあとや洗車後はブレーキの効きを確認

80J041

⚠注意

- 周囲の安全を確かめてから低速でブレーキペダルを数回踏み、ブレーキの効きを確かめてください。
- ブレーキの効きが悪いときは、効きが回復するまで低速で繰り返しブレーキペダルを軽く踏み、ブレーキ装置のしめりを乾かしてください。

冠水した場所は走行しない

80J042

⚠注意

冠水した場所や、深い水たまりを走行しないでください。エンスト、電装品のショート、エンジン破損などの原因になります。

万一、冠水した場所を走行したときは、ブレーキの効きを確かめながら安全な場所に停車し、スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。また、次の項目などについて点検を受けてください。

- ブレーキの効き具合
- エンジン、トランスミッション、デファレンシャルなどのオイル量および質の変化（オイルが白濁している場合は、水が混入していますのでオイル交換が必要です）
- ベアリング、ジョイント部などの潤滑不良

スタック（立ち往生）したときは

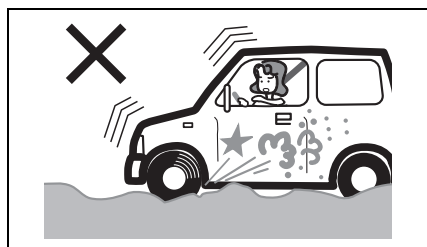
- ぬかるみや砂地などで、駆動輪が空転して脱出できなくなることをスタックといいます。
- 前進と後退を繰り返すときは、駆動装置などが損傷するおそれがあるため、次のことに注意してください。
  - セレクトレバーを確実に入れてからアクセルを軽く踏んでください。
  - 数回行なっても脱出できないときは、操作を中止してください。
- タイヤの下に石や木を入れると脱出しやすくなります。
- ESP®装備車では、トラクションコントロールが脱出に適さないときがあります。そのようなときは、ESP® OFF スイッチを操作してトラクションコントロールを作動停止の状態にしてください。

→ 4-51ページ
（ESP® 装備車の取扱い）

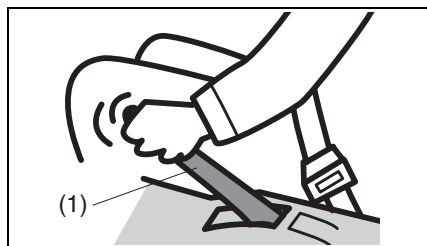
⚠注意

- **脱出しようとする前に、周囲の安全を十分に確認してください。勢いよく発進して事故を起こすおそれがあります。**
- **4WD車は、駆動モード選択スイッチで駆動状態をAWDモードに切り替えてください。2WDモードで脱出しようとすると、駆動装置などが損傷するおそれがあります。**

→ 4-22ページ
（駆動モードの切替え操作）

- **タイヤを高速で空転させないでください。タイヤが異常に過熱して破損したり、駆動装置が損傷したりするおそれがあります。**

80J043

駐車するときは

パーキングブレーキをしっかりとかけて

80J1037

(1) パーキングブレーキレバー

- セレクトレバーを P に入れてください。
- 坂道で駐車するときは、次のことをお守りください。

1. パーキングブレーキをしっかりとかけ、車が動き出さないことを確認してください。
2. 市販品の輪止めや石などでタイヤを固定し、車が動き出さないようにしてください。

⚠警告

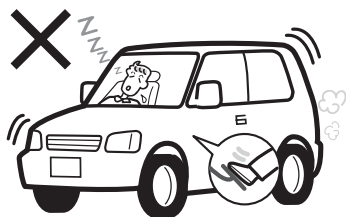
急な坂道には駐車しないでください。無人で車が動き出すなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

車を移動するときはエンジンをかけて

⚠注意

坂道を利用して惰性で車を移動しないでください。ハンドルを回すときやブレーキペダルを踏むときに強い力が必要となって、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

エンジンをかけたまま仮眠しない

80J045

⚠警告

- 周囲の状況や風向きで排気ガスが車内に侵入し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。
- 無意識にセレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、思わぬ事故を起こすおそれがあります。
- 無意識にアクセルペダルを踏み続けると、エンジンや排気管が過熱して火災のおそれがあります。

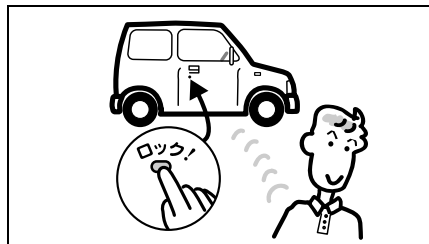
燃えやすい物の近くに駐車しない

80J046

⚠注意

枯れ草、紙くず、ベニヤ板などの可燃物の近くに車を止めないでください。排気管や排気ガスが高温になるため、火災のおそれがあります。

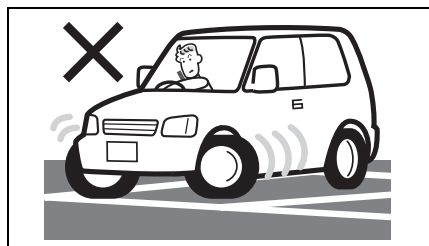
車から離れるときはエンジンを止めてドアを施錠

66K20410

少しの間でも車から離れるときは、現金や貴重品を車内に放置しないでください。盗難のおそれがあります。

⚠注意

エンジンをかけたまま車から離れないでください。火災や盗難など思わぬ事故につながるおそれがあります。

ハンドルをいっぱいにまわした状態を長く続けない

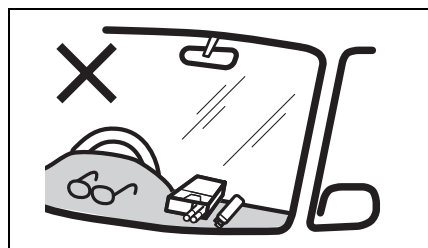
80J049

⚠注意

駐車するときや車庫入れのとき、ハンドルをいっぱいにまわして力をかけた状態を長く続けないでください。パワーステアリング装置が損傷する原因となります。

車内にパソコンや携帯電話などを放置しない

盗難にあったり、水分や湿気または温度変化などにより故障したりするおそれがあります。

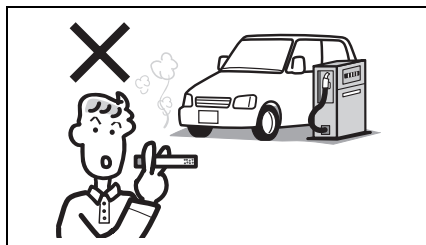
ライターやメガネなどを放置しない

80J1004

⚠注意

- 炎天下で駐車するときは、車内にライターやスプレー缶、プラスチック製品（メガネやカード、CD ケースなど）や炭酸飲料缶を放置しないでください。車内が高温になるため、ライターやスプレー缶の自然発火や爆発による火災、メガネやカード、CD ケースなどの変形やひび割れ、炭酸飲料缶の破裂を起こすおそれがあります。
- 操作部が露出しているライターやスプレー缶をグローブボックスや小物入れなどに入れたり、床やシートのすき間に落としたままにしたりしないでください。荷物を押し込んだときやシートを動かしたときに、ガスが噴出して火災につながるおそれがあります。

給油するときは

→ 5-26ページ（燃料給油口）

火気にきをつけて

80J020

⚠警告

必ず次のことをお守りください。

- エンジンを止めてください。
- 給油中はドアや窓を閉めてください。
- ガソリンは引火性が高いため、タバコなどの火気は厳禁です。

セルフスタンドで給油するときは

⚠警告

セルフスタンドで給油するときは必ず次のことをお守りください。

- フューエルキャップを開ける前に、車体または給油機の金属部分に手を触れて、身体の静電気（※）を除去してください。身体に静電気を帯びていると、放電による火花で燃料に引火し、やけどのおそれがあります。
  また、給油中は車内にもどらないでください。再び帯電するおそれがあります。
- 給油口には、静電気除去を行なった方以外の人を近づけないでください。

※空気が乾燥すると、身体に多くの静電気が帯電します。また、かさね着をすると、繊維の摩擦により静電気が発生します。とくに乾燥する季節は注意してください。

2

⚠警告

- フューエルキャップはゆっくりとゆるめ、空気が抜ける音が止まったらキャップを開けます。急に開けると燃料タンク内の圧力が急激に抜け、燃料が吹き出すおそれがあります。
- 給油口に給油ノズルを止まるところまで確実に差し込んでください。ノズルを確実に差し込まないと、燃料が吹きこぼれるおそれがあります。
- 給油ノズルのレバーを止まるところまで確実に引いてください。
- 給油ノズルの自動停止（オートストップ）機能が作動したら、給油を終了してください。自動停止後に継ぎ足し給油をすると、燃料があふれ出るおそれがあります。

※給油機によっては、早期に自動停止機能が作動して給油できない場合があります。スタンド従業員の指示に従ってください。

- 燃料をこぼさないようにしてください。こぼれた場合は、ただちに柔らかい布などでふき取ってください。火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。また、そのまま放置すると、塗装のしみ、変色、ひび割れの原因となります。
- 給油後は、給油ノズルを確実にもとの位置にもどし、フューエルキャップをしっかりと閉めてください。キャップが確実に閉まっていないと、燃料が漏れたり、火災が発生したりするおそれがあります。
- 燃料は人体に有害な物質を含んでいます。気化した燃料を吸い込まないでください。
- その他、ガソリンスタンドに掲示されている注意事項をお守りください。

無鉛ガソリン以外は使用しない

⚠注意

有鉛ガソリンや粗悪ガソリン、その他の燃料（アルコール系、軽油など）を使用すると、エンジンや燃料配管系などに悪影響をおよぼします。

オートマチック車を運転するときは

オートマチック車には特有の操作上の注意があります。**4-11ページ**の「**オートマチック車**」もあわせてお読みいただき、正しい取扱いをしてください。

※本書で「オートマチック車」と記載されている場合、「CVT 車」を示しています。

クリープ現象に注意して

エンジンをかけて停車しているとき、セレクトレバーが P N 以外に入っていると、アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくり動きます。これをクリープ現象といいます。

⚠注意

- **セレクトレバーを P N 以外に入れているときは、ブレーキペダルをしっかり踏んでください。**
- **エンジン始動直後やエアコン作動時は、クリープ現象が強くなることがあります。とくにしっかりブレーキペダルを踏んでください。**

アドバイス

CVT車もクリープ現象があります。

R（リバース）ポジション警告ブザー

セレクトレバーを R に入れると室内で警告ブザーが鳴り、セレクトレバーが R に入っていることを運転者に知らせます。

アドバイス

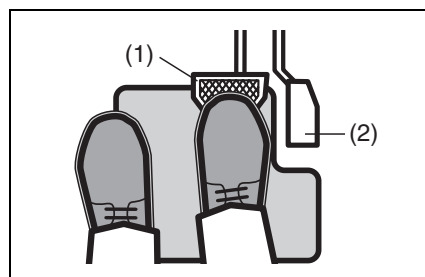
R （リバース）ポジション警告ブザーは、車外の人に車の後退を知らせるためのものではありません。

ペダルの踏み間違いに注意

⚠警告

アクセルペダルとブレーキペダルを踏み間違えると、思わぬ事故につながります。

ペダルの踏み間違いを防ぐため、エンジンをかける前にアクセルペダルとブレーキペダルを実際に足で踏んで、位置を確認してください。

ブレーキペダルは右足で踏む

(1) ブレーキペダル
(2) アクセルペダル

左足では適切なブレーキ操作ができません。ブレーキペダルは右足で踏む習慣をつけてください。

セレクトレバーを操作するときは

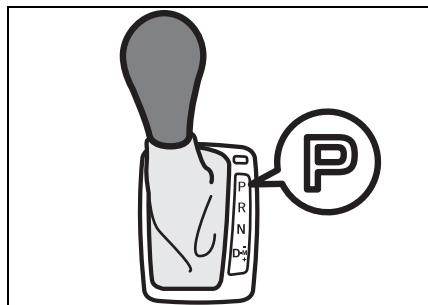
- 前進と後退を繰り返すときなどは、セレクトレバーを R に入れたことを忘れることがあります。車を後退させたあとは、すぐに R から N に入れる習慣をつけてください。
- 切り返しなどで前進と後退を繰り返すときは、完全に停車してからセレクトレバーを操作してください。

⚠ 警告

アクセルペダルを踏んだままでセレクトレバーを操作しないでください。急発進して事故を起こすおそれがあります。

セレクトレバーの位置は目で確認

始動時や降車時は P、前進時は D、後退時は R にあることを目で確認してください。

車から離れるときは

57L20001

⚠ 警告

エンジンをかけたまま車から離れないでください。万一、セレクトレバーが P 以外に入っていると、車がひとりでに動き出すおそれがあります。また、車に乗り込むときに誤ってセレクトレバーを動かしたりアクセルペダルを踏み込んだりして、思わぬ急発進のおそれがあります。

SRSエアバッグ車を運転するときは

SRS エアバッグシステムの効果を発揮させるために、**3-52 ページ**の「**SRS エアバッグ**」もあわせてお読みいただき、正しい取扱いをしてください。

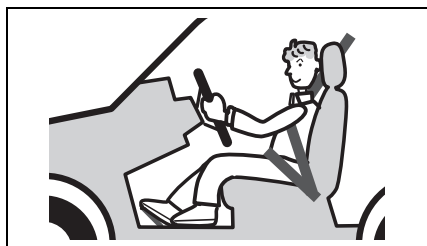
シートベルトは必ず着用

65J106

⚠ 警告

SRSエアバッグシステムは、シートベルトに代わるものではありません。シートベルトと併用することで、その効果を発揮するシートベルトの補助拘束装置です。したがってSRSエアバッグシステムが装備されている車であっても、シートベルトを必ず着用してください。

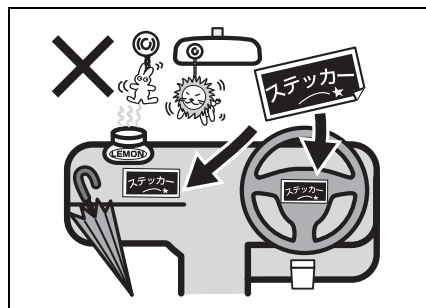
着座姿勢

瞬時にふくらむ運転席・助手席SRSエアバッグおよび運転席SRSニーエアバッグにより強い衝撃を受けるおそれがあるため、運転者および助手席の同乗者は、シートに奥深くすわり、背もたれに背中を軽くつけてください。また、シートを前方に出し過ぎないようにシートの位置を調節してください。

80J014

⚠ 警告

- ハンドルやインパネに、顔や胸などを近づけたり、足を置いたりしないでください。
- 窓から手を出したり、ドアにもたれかかったりしないでください。また、後席に乗るときは、前席の背もたれを抱えないでください。SRSサイド／カーテンエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。

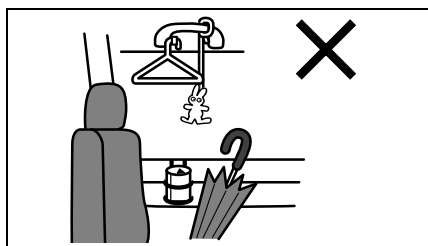
80J061

SRS エアバッグシステムを正常に機能させるために

57L20004

⚠ 警告

- ハンドルを交換する、ハンドルのパッド部にステッカーを貼る、色をぬる、カバーでおおうなどの改造をしないでください。
- インパネの上面や運転席側下面には、ステッカーを貼ったり色をぬったりしないでください。また、アクセサリーや芳香剤、ETC 車載器やポータブルカーナビなどを取り付けたり置いたり、傘などを立てかけたりしないでください。
- フロントガラスやルームミラーにアクセサリー(スズキ純正用品を除く)などを取り付けないでください。
- 前席にシートカバーを取り付けるときは、SRSサイドエアバッグ装備車専用のスズキ純正レースハーフカバーを使用してください。純正の専用品以外の物を使用すると、SRSサイドエアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠警告

- SRS サイド／カーテンエアバッグが作動したときに、物が飛散したり正常にふくらまなくなったりして、重大な傷害につながるおそれがあります。ドア付近にカップホルダーやハンガーなどのアクセサリー用品を取り付けたり、傘などを立てかけたりしないでください。また、後席アシストグリップについているコートフックに服をかけるときは、ハンガーを使わずに直接服をかけてください。

51K0174

お子さま用シートの取付け

→ 2-6ページ（お子さま用シートの使用について）

→ 3-46ページ（お子さま用シートの選択について）

4WD車を運転するときは

4WD車には特有の操作上の注意があります。**4-22ページ**の「**駆動モードの切替え操作**」もあわせてお読みいただき、正しい取扱いをしてください。

路面の状況に注意して走行する

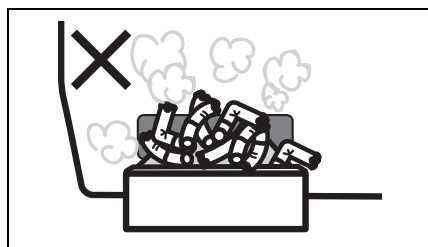
⚠注意

4WD 車は、雪道、急坂路、砂地、ぬかるみなどのタイヤがスリップしやすい路面で優れた走行性能を発揮しますが、万能ではありません。また、オフロード（不整地）、ラリー専用車ではありません。次のことをお守りください。

- 砂地やぬかるみなど、タイヤが空転しやすいところでは連続走行しないでください。
- ブレーキ性能は2WD車と比べてほとんど差がありません。滑りやすい路面での走行には十分車間距離をとってください。アクセル、ハンドル、ブレーキの操作も、2WD車と同様に慎重に行なってください。
- 渡河走行や水中走行をしないでください。

80J042

こんなことにも注意して

マッチ、タバコの火は確実に消す

80J067

⚠注意

- マッチ、タバコの火は確実に消し、吸いがらを入れた灰皿（別売り）は完全に閉めてください。
- 灰皿（別売り）の中に吸いがらをため過ぎたり、紙など燃えやすい物を入れたりしないでください。

外装部品に力をかけすぎない

スポイラー、リヤバンパー、サイドスカートなどに強い力をかけないでください。破損するおそれがあります。

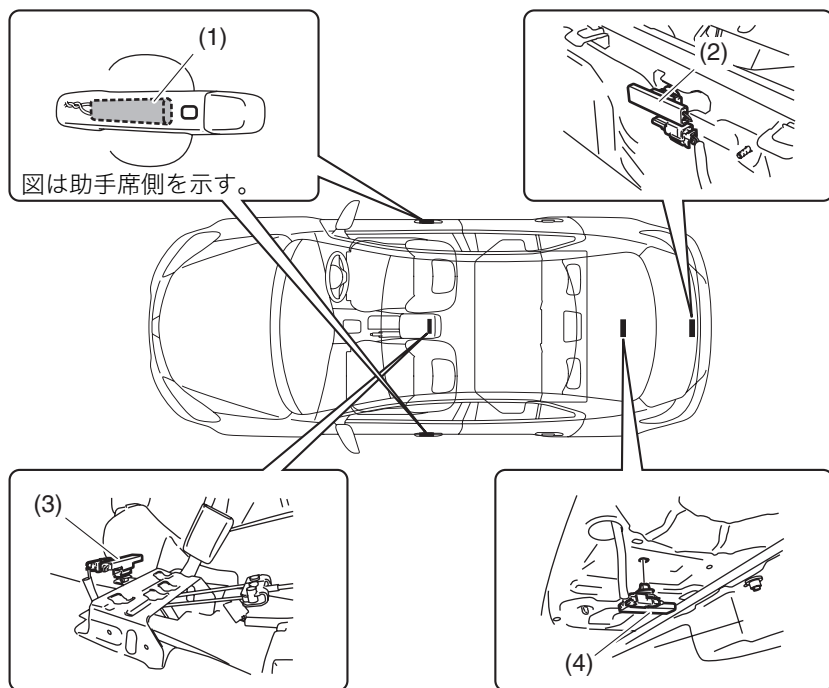
段差などに注意して

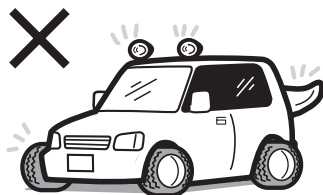
⚠注意

次のような場合は、バンパーまたは車両下部が破損するおそれがあります。十分注意してください。
- 路肩など段差がある場所への乗り入れ
- わだちやくぼみなどがある道路の走行

植込み型心臓ペースメーカーなどをご使用の方へ

⚠警告

- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）を使用している方は、キーレスプッシュスタートシステムの各発信機（下図参照）から約 22 cm 以内の範囲に、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）が近づかないようにしてください。電波が植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）の作動に影響をあたえるおそれがあります。
- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）以外の医療用電気機器を使用している方は、キーレスプッシュスタートシステムの電波が医療用電気機器の作動に影響をあたえる場合があるため、医療用電気機器製造業者などへ影響を確認してください。
- 詳しくは、スズキ販売店またはスズキ代理店にお問い合わせください。

(1) 前席ドア車外発信機（ドアハンドル内）
(2) トランクリッド車外発信機（リヤバンパー内）
(3) 車室内発信機（コンソールボックス下）
(4) トランク内発信機（トランクルーム上側）

違法改造はしない

80J065

⚠警告

- この車に適さない部品を取り付けたり、自己流のエンジン調整や配線をしたりしないでください。思いがけない火災や事故を起こしたり、違法改造になったりすることがあります。
- 無線機、オーディオ、ETC 車載器などの電気製品の取付け、取外しをするときは、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。電子部品の働きをさまたげたり、火災、故障、バッテリーあがりなどを起こしたりするおそれがあります。
- ホイール、ホイールナットは指定のスズキ純正品以外を使用しないでください。燃費や走行安定性が悪化するだけでなく、走行中にナットがゆるんでホイールが外れるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、故障の原因となります。

⚠注意

ディスチャージヘッドライトの場合、次のような改造をするとオートレベリング機能（自動光軸調整機能）が正常に作動しなくなるおそれがあります。

- サスペンションの改造（車高やサスペンションの硬さ変更）
- 指定サイズ以外のタイヤやホイールの装着

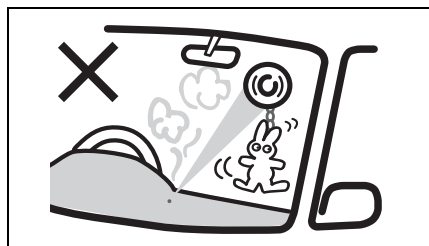
部品の取付け、取外し、修理をするときは

⚠警告

SRS エアバッグ、運転席 SRS ニーエアバッグ、SRSサイド／カーテンエアバッグ、シートベルトプリテンショナーは、その機能に影響をあたえる部品に手を加えると、思いがけないときに作動したり、必要なときに正常に作動しなかったりすることがあります。
次のような場合は、システムに悪影響をおよぼします。必ずスズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

- ハンドルの取外し、ハンドルまわりの修理など
- インパネまわり、センターコンソール付近の修理および電気配線の修理
- オーディオ用品などの取付け
- ダッシュボード周辺の板金塗装および修理
- シートの交換およびシートまわりの修理
- フロントピラー、バックピラーおよびルーフサイドまわりの修理
- センターピラーまわりの修理

2

アクセサリーの取り付けに気をつけて

80J069

警告

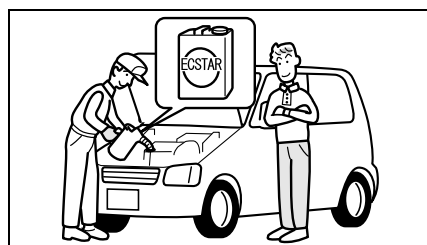
窓ガラスにアクセサリーを取り付けないでください。アクセサリーや吸盤が視界をさまたげたり、吸盤がレンズのはたらきをして火災を起こしたりするおそれがあります。また、SRSエアバッグが作動したときに、アクセサリーが飛んでけがのおそれがあります。

エンジンオイルを交換するときは

■ 定期的に交換する

- 標準的な使用方法では、エンジンオイルは**15,000 km**ごと、または**12か月**ごとのどちらか早い方で交換し、エンジンオイルフィルターは**15,000 km**ごとに交換してください。
- 指定のエンジンオイルを使ってください。
  →　**8-1ページ（サービスデータ）**
- 厳しい条件（シビアコンディション）で使用した場合は、標準的な場合より早めの交換が必要です。
  →　**メンテナンスノート**

注意

交換時期を守ってください。劣化したオイルや目詰まりしたフィルターは、エンジン故障や異音の原因となります。交換については、スズキ販売店またはスズキ代理店へお申し付けください。

81J20540

■ エンジンオイルの規格／粘度

次の表にしたがって適切なものを使ってください。

API規格（※1）	SAE粘度（※2）
SLまたはSM	0W-20
	5W-30

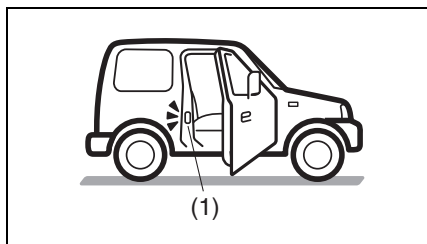
※1 API 規格とは、アメリカ石油協会が定めた規格で、エンジンオイルの品質グレードを表しています。
※2 SAE 粘度とは、潤滑油の粘度を定めた規格です。左側の数字（W の付く数字）は低温時の粘度を意味し、この数字が小さいほど寒さに強くエンジンの始動性が良いことを示します。右側の数字は高温時の粘度を意味し、この数字が大きいほど熱に強くエンジンの保護性能に優れています。

アドバイス

0W-20 は新車時に充填されている燃費性能に優れたオイルです。

エコドライブをしましょう

タイヤの空気圧を適正に

- タイヤの空気圧が低いとガソリンを多く消費します。適正な空気圧にしてください。
- この車の指定空気圧は、運転席ドアの開口部に貼付してある「**空気圧ラベル**」（1）で確認のうえ、調整してください。

80J1080

不要な荷物は積まない

燃費が悪化したりタイヤが早く摩耗したりするなど、車に悪影響があります。

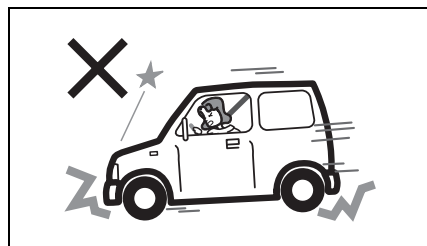
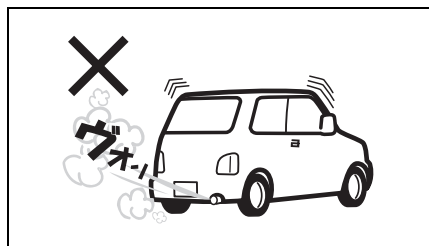
暖機運転は適切に

長期間、車を使用しなかったときや極低温のときは、数十秒の暖機運転を行なってから走行を開始してください。それ以外の場合はエコドライブのため、エンジンを始動したら、すみやかに走行を開始してください。

急発進、急加速、急ブレーキなど「急」のつく運転はしない

80J259

空ぶかしをしない

80J064

燃料を消費するだけで、何の効果もありません。

車速に応じたギヤで走行する

低速ギヤを使って高いエンジン回転で走行すると燃費が悪くなります。走行速度に応じた正しいギヤをお使いください。

3. 運転する前に

運転する前に

● SRSエアバッグ

● メーター

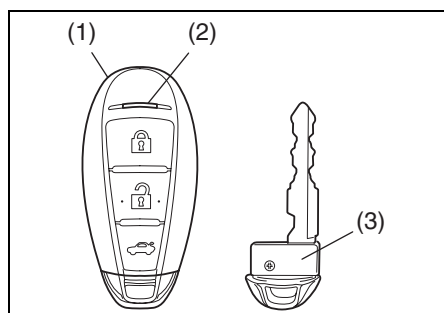
● スイッチの使いかた

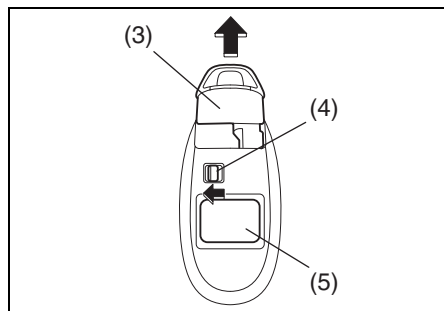
安全運転が第一

お車に装備されているシートベルト、SRSエアバッグシステム、ABS（アンチロックブレーキシステム）などの安全装備も、乗員の安全確保には限界があります。法定速度を厳守するとともに、スピードを控えめにして安全運転に心がけてください。

3

キー

- キーはドアの施錠・解錠に使えますが、エンジンの始動・停止には使えません。エンジンの始動・停止には携帯リモコンをご使用ください。
  → **4-6ページ**
  (エンジンのかけかた)
- キーを紛失したり、車内に閉じ込めたりしないように注意してください。
- お車には携帯リモコン（1）が２ 個、リモコンに格納可能なキー（3）が２本ついています。
  → **3-11ページ（携帯リモコン）**

(2) 作動表示灯

- リモコンに格納されているキー（3）は、ロック解除レバー（4）を ⬅ 方向に引きながら取り出します。

(5) 適合証明マーク

⚠ 警告

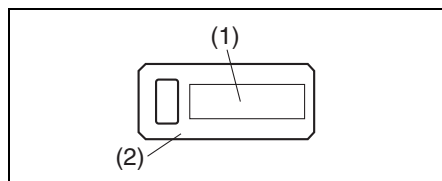
リモコンキーを航空機内へ持ち込む場合は、機内で操作ボタンを押さないでください。また、バッグなどに入れるときは、簡単に操作ボタンが押されないように収納してください。操作ボタンが押されると電波が発信され、航空機の運航に支障をきたすおそれがあります。

※リモコンキーは、航空機内での使用が制限される電子機器に該当します。

アドバイス

- 携帯リモコンには､必ずキーを格納してください｡リモコンの電池が消耗しているときや故障したときなどに､ドアの施錠･解錠ができなくなるおそれがあります｡
- 盗難などを防ぐため､キーを紛失したときは､すみやかにスズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください｡
- キーのご購入については、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

キーナンバープレート

キーナンバープレート（2）には、キー作成時に必要なキーナンバー（1）が打刻されています。

アドバイス

- お客様以外の方にキーナンバーを知られないよう、キーナンバープレートは車両以外の場所に、大切に保管してください。万一、キーを紛失したときは、スズキ販売店またはスズキ代理店にキーナンバーを伝えてご相談ください。
- お車をおゆずりになるときは、次に所有される方のために、キーナンバープレートをお車のキーとともにお渡しください。

ドア

警告

- **ドアを閉めるときは、シートベルトや荷物などをはさまないようにしてください。半ドア状態になって、走行中にドアが開くおそれがあります。**
- **火災や盗難などの事故防止のため、車から離れるときは、エンジンを止めドアを施錠してください。**

注意

- **ドアの開閉は、お子さまではなく大人が行ない、手、足、頭などをはさまないように気をつけてください。**
- **ドアを開けるときは、後ろからの車に注意してください。とくに風が強い日は注意してください。**

アドバイス

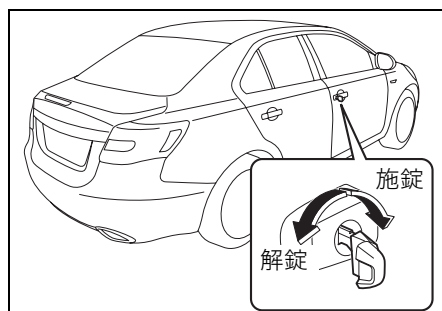
セキュリティアラームのセット状態およびドアの開けかたによっては、警報が作動する場合があります。

→ **3-16ページ（セキュリティアラーム）**

キー操作による車外からの施錠・解錠

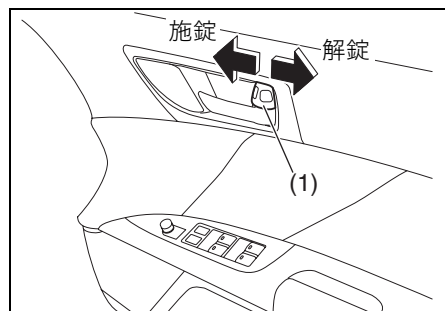
→ **3-9ページ（キーレスエントリー）**
→ **3-11ページ（携帯リモコン）**

■ 運転席ドア

キーを差し込んで時計方向にまわすと施錠、反時計方向にまわすと解錠できます。

車内からの施錠・解錠

■ 前席ドア、後席ドア

ドアを閉めてロックレバー（1）を施錠側（ 車の前方向 ）にすると施錠、解錠側（ 車の後ろ方向 ）にすると解錠できます。

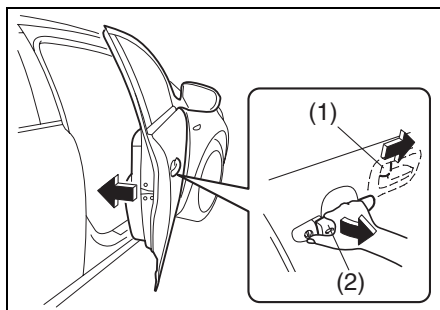
57L30003

アドバイス

- 解錠時、ロックレバーの赤い表示が見えます。目安としてください。
- 運転席ドアのロックレバーには、 パワードアロック機能がありません。
  →　**3-5ページ（パワードアロック）**

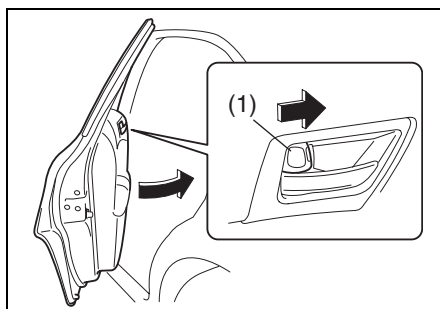
キーを使わない施錠

■ 前席ドア

ロックレバー（1）を施錠側（車の前方向）にして、ドアハンドル（2）を引いたままドアを閉めると施錠できます。

57L0004

■ 後席ドア

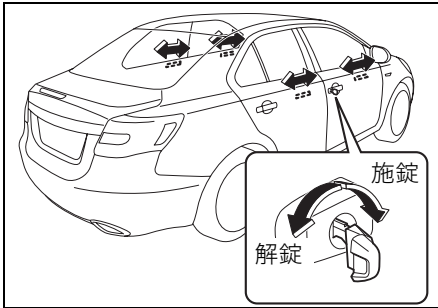
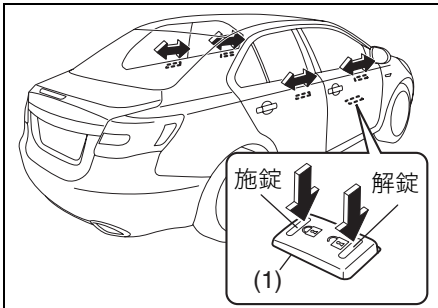
ロックレバー（1）を施錠側（車の前方向）にして、ドアを閉めると施錠できます。

57L30005

アドバイス

- 「**キーを使わない施錠**」をするときは、キーが手元にあるか確認してください。キーを閉じ込むおそれがあります。
- 次のような状況では、「**キーを使わない施錠**」ができない場合があります。
  - 携帯リモコンが車内にある
  - エンジンスイッチが ACC または ON のとき
  →　**3-14 ページ（携帯リモコン閉じ込み防止機能）**

キーまたはパワードアロックスイッチ操作によるパワードアロック

→ **3-9ページ（キーレスエントリー）**
→ **3-11ページ（携帯リモコン）**

運転席ドアをキーまたはパワードアロックスイッチ（1）操作で施錠・解錠すると、助手席／後席ドアも同時に施錠・解錠します。（トランクリッドを除く）

57L30006

57L30007

アドバイス

エンジンスイッチが ON のときは、キー操作で助手席／後席ドアの施錠ができません。

■ ドアロック解除機能

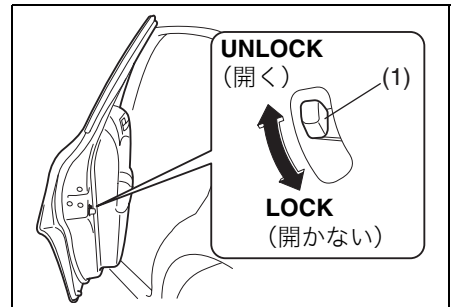
衝突などで SRS エアバッグが作動すると、自動的にすべてのドアロックを解除します。

アドバイス

- SRSサイド／カーテンエアバッグが作動したときも、ドアロック解除機能が作動します。
- エアバッグが作動したときでも、ドアロックモーターの配線やモーター自体が損傷した場合は、ドアロック解除機能が作動しません。

チャイルドプルーフによる施錠・解錠

車内から後席ドアが開かないようにできます。

- 後席ドアにあるレバー（1）を **LOCK**（開かない）の位置にして、ドアを閉めます。ロックレバーの位置に関係なく、車内からはドアが開きません。
- ドアを開けるときはロックレバーを解錠側（車の後ろ方向）にして、外からドアハンドルを引きます。

57L30008

アドバイス

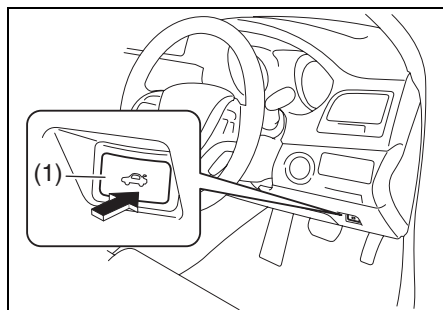
- 後席乗員（とくにお子さま）のドア誤開放の防止にご使用ください。
- チャイルドプルーフで施錠している後席ドアを車内から開ける場合は、ロックレバーを解錠側にしてウインドーを下げ、窓から手を出して外側のドアハンドルを引いてください。

トランクリッド

開けかた

■ 運転席からの解錠

運転席足元のトランクリッドオープナースイッチ（1）を押すと解錠し、トランクリッドが少し開きます。

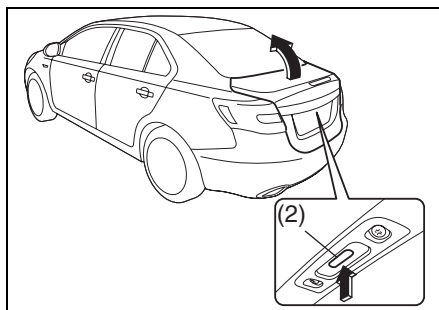
57L30009

アドバイス

運転席足元のスイッチは、停車中であれば、携帯リモコンを所持していなくても作動します。

■ 車外からの解錠

所持している携帯リモコンが「**トランクリッドリクエストスイッチの作動範囲**」に入っているときに、トランクリッドリクエストスイッチ（2）を押すと解錠し、トランクリッドが少し開きます。

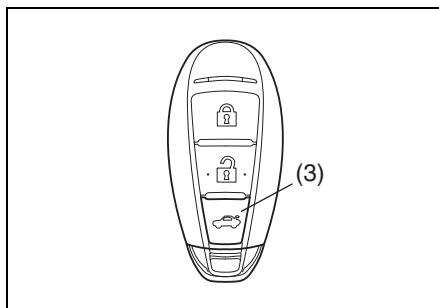
→　**3-11ページ（携帯リモコン）**

57L30010

■ 携帯リモコンによる解錠

車から約2 m以内の範囲で、携帯リモコンのトランクリッドオープナースイッチ（3）を1秒以上押すと解錠し、トランクリッドが少し開きます。

→　**3-9ページ（キーレスエントリー）**

57L30054

⚠警告

- **エンジンをかけた状態で、トランクリッドを開けたままにしないでください。排気ガスが車内に侵入して、一酸化炭素中毒のおそれがあります。**
- **お子さまなどがいたずらでトランクの中に入らないように気をつけてください。中から開ける事ができず、閉じ込められるおそれがあります。**

注意

- **トランクリッドの開閉は、お子さまではなく大人が行ない、手、足、頭などをはさまないように気をつけてください。**
- **エンジンがかかっているときは、排気管の真後ろでトランクリッドを開閉しないでください。やけどなどのおそれがあります。**
- **トランクリッドを開けるときは完全に開けてください。開けかたが不十分な場合や風の強い日は、思わぬときに閉まって、けがのおそれがあります。**

アドバイス

セキュリティアラームのセット状態およびトランクリッドの開けかたによっては、警報が作動する場合があります。

→　**3-16ページ**
（セキュリティアラーム）

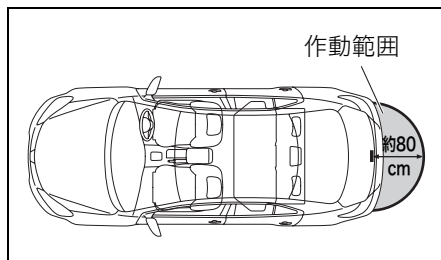
トランクリッドリクエストスイッチの作動範囲（車外）

トランクリッドリクエストスイッチ付近から半球状に周囲約80cm以内です。

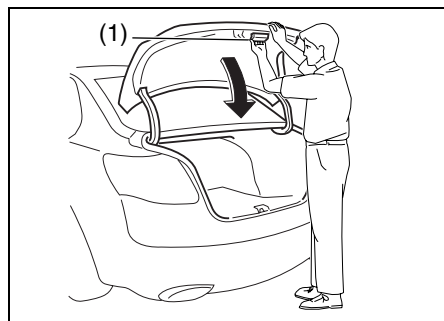
57L30097

アドバイス

- 「**トランクリッドリクエストスイッチの作動範囲**」で携帯リモコンを所持していても、次のような状況にあるとリモコンが検知されず、トランクリッドリクエストスイッチが作動しない場合があります。
  - 携帯リモコンの電池が消耗している
  - 携帯リモコンが強い電波やノイズの影響を受けている
  - 携帯リモコンが金属製のものと接していたり、覆われたりしている
  - 携帯リモコンがトランクに近づきすぎている
  - 携帯リモコンが地面の近くや高い位置にあったり、お尻のポケットの中などにあったりして、トランクリッドリクエストスイッチから離れている
- トランク内に予備の携帯リモコンがあると、そのリモコンが検知され、トランクリッドリクエストスイッチが正常に作動しなくなるおそれがあります。

3

閉めかた

トランクリッド内側のとっ手（1）を持って引き下げます。最後はトランクリッドを外側から手で、少し勢いをつけて押しつけます。

- トランクリッドが閉まると、自動的に施錠されます。

57L30011

注意

- **トランクリッドが完全に閉まっていることを確認してください。走行中に開くおそれがあります。**
- **閉めるときは、手などをはさまないように気をつけてください。**

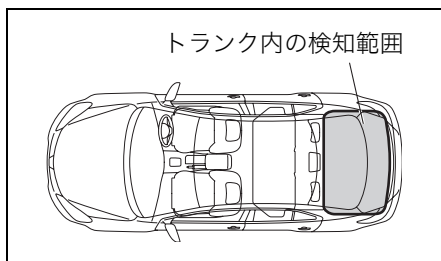
携帯リモコン閉じ込み防止機能

携帯リモコンをトランク内に閉じ込んでしまうのを防止する機能です。

- 次のような状況で、携帯リモコンをトランク内に置き忘れたままトランクリッドを閉めると、自動的に解錠されて少し開きます。
  - ドアをすべて閉めて施錠し、停車しているとき

アドバイス

- トランクリッドを閉めるときは、携帯リモコンが手元にあることを確認してください。リモコンを閉じ込むおそれがあります。
- バッテリーが完全にあがっているときや接続されていないときは、携帯リモコン閉じ込み防止機能は作動しません。

携帯リモコン閉じ込み防止機能の検知範囲（トランク内）

57L30098

アドバイス

- 「**トランク内の検知範囲**」に携帯リモコンがあっても、次のような状況にあるとリモコンが検知されず、携帯リモコン閉じ込み防止機能が作動しない場合があります。
  - 携帯リモコンの電池が消耗している
  - 携帯リモコンが強い電波やノイズの影響を受けている
  - 携帯リモコンが金属製のものと接していたり、覆われたりしている
  - 携帯リモコンがトランク内のすみにある

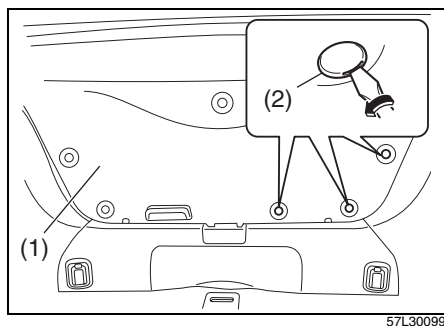
- 「**トランク内の検知範囲**」に携帯リモコンがなくても、次のような状況にあるとリモコンが検知され、携帯リモコン閉じ込み防止機能が作動する場合があります。
  - 車外や後席などに携帯リモコンがあっても、トランクに近づきすぎている

緊急解錠のしかた

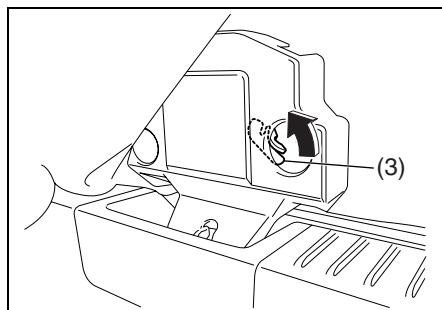
故障やバッテリーあがりなどでトランクが解錠できないときは、スズキサービス工場で点検を受けてください。
緊急を要するときは、次の手順で解錠してください。

1 後席シートの背もたれを倒すなどして、作業スペースを確保します。
→ **3-35ページ（背もたれの倒しかた）**

2 トランクリッドのトリム（1）を一部外します。

- 右下のクリップ 3 個（2）は、マイナスドライバー（市販品）などでこじって外します。

57L30099

3 トリムをめくるとカバーがあります。カバーの穴からエマージェンシーレバー（3）を引き上げると解錠し、トランクリッドが少し開きます。

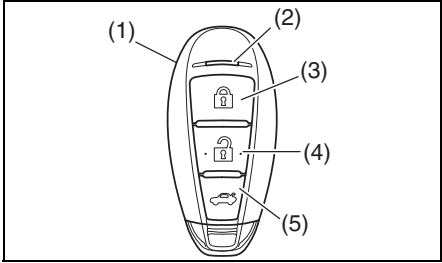
- トランクリッドを閉めると、再び施錠されます。

57L30100

⚠注意

エマージェンシーレバーを操作するときは、トランクリッドの穴周囲のエッジ部分をさわらないでください。けがのおそれがあります。

キーレスエントリー

車から約2m以内の範囲で、携帯リモコンのロックスイッチ･アンロックスイッチを押すと、すべてのドアを施錠･解錠できます。
また、携帯リモコンのトランクリッドオープナースイッチを1秒以上押すと、トランクリッドが解錠できます。(少し開きます)
→ **3-6ページ（トランクリッド）**

- 施錠したときは、ドアハンドルを引いて施錠されているか確認してください。

(1) 携帯リモコン　(2) 作動表示灯
(3) ロックスイッチ　(4) アンロックスイッチ
(5) トランクリッドオープナースイッチ

3

⚠ 警告

火災や盗難などの事故防止のため、車から離れるときは、エンジンを止めてドアを施錠してください。

アドバイス

- 次のようなときは、キーレスエントリーが作動しません。
  - いずれかのドアが開いていると、施錠できません。（解錠はできます）車外ブザーが“ピー”と約2秒間鳴ります。
  - エンジンスイッチが ACC または ON のとき。
- キーレスエントリーの作動距離は、周囲の影響で変わることがあります。また、強い電波などが発生している場所では、キーレスエントリーが作動しないことがあります。
- 少しの間でも車から離れるときは、現金や貴重品を車内に放置しないでください。盗難のおそれがあります。
- 携帯リモコンでドアの施錠・解錠ができないときは、キーを使って施錠・解錠 をしてください。
- キーレスエントリーが正しい距離で作動しないときは、電池の消耗が考えられます。電池を交換してください。
- 携帯リモコンを必要以上に操作すると、電池の消耗が早まります。

アンサーバック機能

キーレスエントリーによるドアの施錠・解錠を知らせる機能です。

アンサーバック機能	初期設定（工場出荷時）		設定切替え時	
	ロック（施錠）	アンロック（解錠）	ロック（施錠）	アンロック（解錠）
非常点滅灯	1回点滅	2回点滅		
室内灯（スイッチがDOOR位置）		約15秒間点灯	2回点滅	約15秒間点灯

- キーレスエントリーの作動と同時に室内灯を点灯または点滅させたい場合は、室内灯スイッチをDOOR位置にします。
- 室内灯が約 15 秒間点灯したあとは、徐々に減光しながら消灯します。
  →　**5-31ページ（室内灯）**
- キーレスプッシュスタートシステム装備車の場合、車外ブザーも鳴ります。

アンサーバック機能	初期設定（工場出荷時）		設定切替え時	
	ロック（施錠）	アンロック（解錠）	ロック（施錠）	アンロック（解錠）
車外ブザー	1回吹鳴	2回吹鳴		

アドバイス

- アンサーバック機能の設定切替え（カスタマイズ）については、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。
- キーレスプッシュスタートシステム装備車は、リクエストスイッチで施錠・解錠したときにも、アンサーバック機能が作動します。また、次の合図が別々にカスタマイズできます。
  - 非常点滅灯／室内灯による合図
  - 車外ブザーによる合図

- 設定によっては、足元照明も点灯させることができます。
→ **3-77ページ（セッティングモード）**
→ **5-32ページ（足元照明）**

タイマーロック機能

盗難防止のため、自動的にドアを施錠する機能です。

- キーレスエントリーで解錠したあと、約 30 秒以内にいずれのドアも開けなかったときに自動的にドアを施錠します。
- タイマーロック機能が作動すると、セキュリティアラームが自動的にセットされます。（**警報なしモード**時を除く）
→ **3-16ページ（セキュリティアラーム）**

アドバイス

キーレスプッシュスタートシステム装備車は、リクエストスイッチで解錠したときにも、タイマーロック機能が作動します。

携帯リモコン

すべてのドアが閉まっているときに、前席ドアにあるリクエストスイッチを押すと、所持している携帯リモコンが車両と電波で通信を開始し、照合がとれるとドアの施錠・解錠が可能となります。
また、そのほかに次の機能があります。

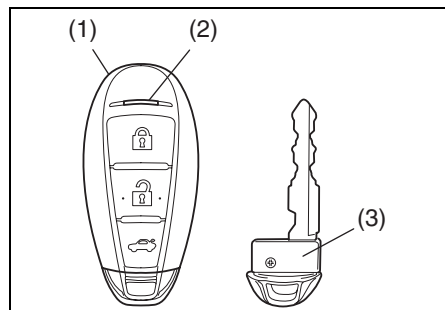
- キーレスエントリー
→ **3-9ページ（キーレスエントリー）**
- 車外のトランクリッドリクエストスイッチによるトランクリッド解錠
→ **3-6ページ（トランクリッド）**
- エンジンスイッチによる始動および電源の切替え
→ **4-3 ページ（キーレスプッシュスタート システム）**
- イモビライザー（車両盗難防止装置）
→ **4-3ページ（イモビライザーシステム）**

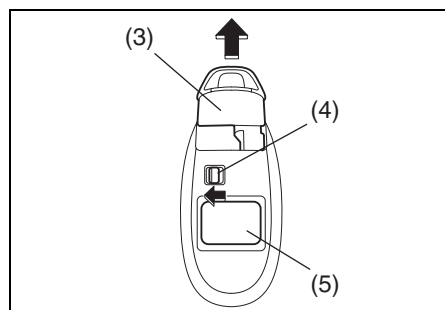
⚠注意

携帯リモコンが発信する電波が、携帯電話やほかのリモコンなどの無線通信機器に影響をあたえることがあります。必要以上に携帯リモコンやリクエストスイッチ、エンジンスイッチやトランクリッドリクエストスイッチの操作をしないでください。

アドバイス

- 携帯リモコンは運転者が所持し、管理してください。車内にリモコンを置き忘れないでください。
- 盗難などを防ぐため、携帯リモコンを紛失したときは、すみやかにスズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。
- 携帯リモコンは車両と通信するとき、外的影響を受けやすい微弱な電波を使用しています。次のような使用環境では、正常に作動しないことがあります。
  - 近くにテレビ塔や発電所、放送局など強い電波やノイズを発生する設備がある
  - 携帯電話、無線機などの無線通信機器やノートパソコンなどと一緒に所持している
  - 携帯リモコンが金属製のものと接していたり、覆われたりしている
  - 近くで他車のキーレスエントリーが使用されている
  - コインパーキングに駐車している（車両検出用の電波の影響があるため）

お車には、携帯リモコン（1）が2個、リモコンに格納可能なキー（3）が2本ついています。

(2) 作動表示灯

● リモコンに格納されているキー（3）は、ロック解除レバー（4）を ← 方向に引きながら取り出します。

(5) 適合証明マーク

⚠注意

●携帯リモコンの分解（電池交換時を除く）や修理、改造をしないでください。発火や感電、けがのおそれがあります。また、法律により処罰されることがあります。
●適合証明マークの消去、改ざんをしないでください。

アドバイス

●携帯リモコンには、必ずキーを格納してください。リモコンの電池が消耗しているときや故障したときなどに、ドアの施錠・解錠ができなくなるおそれがあります。
●携帯リモコンには、精密な電子部品が組み込まれています。電子部品の故障を防ぐため、次のことをお守りください。
  • インパネの上などの高温になるような場所に置かない
  • 落下させるなどして、強い衝撃をあたえない
  • 水洗いをしたり、水中に入れたりしない
  • 磁気をおびたキーホルダーなどをつけない
  • テレビやオーディオなど磁気をおびた機器の近くに置かない
  • 電気医療機器（マイクロ波治療器や低周波治療器など）の近くに置いたり、身につけたまま治療を受けたりしない

●1 台の車両で、4 個の携帯リモコンまで登録できます。
●電池の寿命は使用状況によりますが約2年です。電池が切れたときは、新しい電池と交換してください。
●携帯リモコンは、車両と通信するために常時受信動作をしています。強い電波を受信し続けたとき、電池を著しく消耗することがあります。リモコンをテレビやパソコンなどの強い電波を発信する電化製品の近くに置かないでください。
●携帯リモコンのご購入、電池交換、暗証コードの登録については、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

■ 携帯リモコン電池消耗警告

携帯リモコンの電池切れが近いと、エンジンスイッチを ON にしたときに、メーター内のインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。
電池を交換してください。

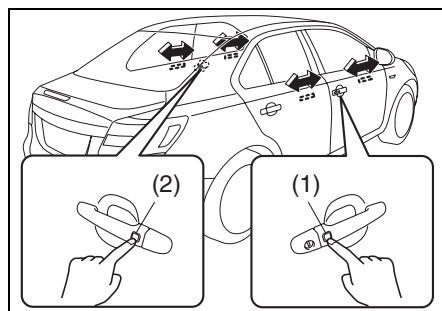
→ **3-79 ページ(インフォメーションディスプレイのメッセージ)**

アドバイス

設定の切替え(カスタマイズ)をすると、メッセージを表示させなくすることもできます。設定の切替えについては、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

リクエストスイッチによるドアの施錠・解錠

すべてのドアが閉まっているときに、所持している携帯リモコンが「**リクエストスイッチの作動範囲**」(**3-14 ページ**参照)に入っていると、リクエストスイッチを押すごとに、すべてのドアを施錠・解錠できます。

- 施錠したときは、ドアハンドルを引いて施錠されているか確認してください。

(1) 運転席ドアのリクエストスイッチ
(2) 助手席ドアのリクエストスイッチ

⚠ 警告

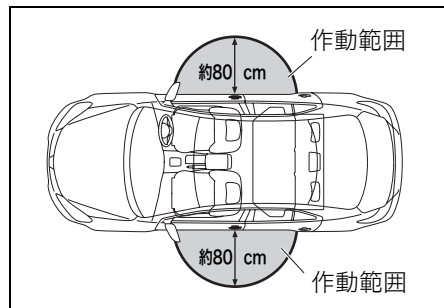
火災や盗難などの事故防止のため、車から離れるときは、エンジンを止めドアを施錠してください。

アドバイス

- 次のようなときは、リクエストスイッチが作動しません。
  - いずれかのドアが開いている
  - エンジンスイッチが ACC または ON のとき
- リクエストスイッチでドアの施錠・解錠をすると、アンサーバック機能やタイマーロック機能が作動します。
  → **3-10ページ(アンサーバック機能)**
  → **3-11ページ(タイマーロック機能)**
- 少しの間でも車から離れるときは、現金や貴重品を車内に放置しないでください。盗難などのおそれがあります。

リクエストスイッチの作動範囲（車外）

前席ドアにあるリクエストスイッチ付近から半球状に周囲約80 cm以内です。

57L30101

アドバイス

- 「**リクエストスイッチの作動範囲**」で携帯リモコンを所持していても、次のような状況にあるとリモコンが検知されず、リクエストスイッチが作動しない場合があります。
  - 携帯リモコンの電池が消耗している
  - 携帯リモコンが強い電波やノイズの影響を受けている
  - 携帯リモコンが金属製のものと接していたり、覆われたりしている
  - 携帯リモコンがドアに近づきすぎている
  - 携帯リモコンが地面の近くや高い位置にあったり、お尻のポケットの中などにあったりして、リクエストスイッチから離れている
- リクエストスイッチの作動は、携帯リモコンが作動範囲にあるドアのみとなります。例えば、運転席ドアの作動範囲にリモコンがあると、運転席ドアにあるリクエストスイッチは作動しますが、助手席ドアにあるリクエストスイッチは作動しません。
- 車内に予備の携帯リモコンがあると、そのリモコンが検知され、リクエストスイッチが正常に作動しなくなるおそれがあります。

リクエストスイッチ未作動警告ブザー

次のようなときは車外ブザーが"ピー"と約2秒間鳴って、リクエストスイッチが未作動であることを警告します。

- エンジンスイッチが ACC または ON の状態で、すべてのドアを閉め、リクエストスイッチを押したとき
- エンジンスイッチを LOCK（OFF）にしたあと、次のような状況でリクエストスイッチを押したとき
  - 携帯リモコンを車内に置き忘れている
  - いずれかのドアが開いている
    → **3-71ページ（半ドア警告灯）**

エンジンスイッチを LOCK（OFF）にして携帯リモコンを車外に持ち出し、すべてのドアを完全に閉めたことを確認してから、再度リクエストスイッチを押してください。

携帯リモコン閉じ込み防止機能

「**キーを使わない施錠**」（**3-4 ページ**参照）で、携帯リモコンを閉じ込んでしまうのを防止する機能です。

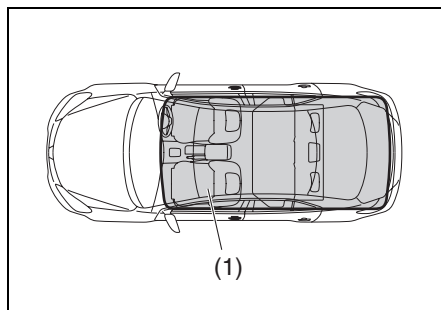
- 携帯リモコンを車内に置き忘れた状態で、次のような施錠操作をすると自動的にすべてのドアが解錠されます。

- 運転席または助手席のドアを開けて、運転席ドアのパワードアロックスイッチで施錠操作をしたとき
- 運転席ドアを開けて、運転席ドアのロックレバーで施錠操作をしたとき
- 助手席ドアを開けて、助手席ドアのロックレバーで施錠操作をしたとき

アドバイス

- 「**キーを使わない施錠**」をするときは、携帯リモコンが手元にあるか確認してください。リモコンを閉じ込むおそれがあります。
- エンジンスイッチが ACC または ON のときは、携帯リモコンの位置に関係なく、携帯リモコン閉じ込み防止機能が作動します。
- バッテリーが完全にあがっているときや接続されていないときは、携帯リモコン閉じ込み防止機能は作動しません。

リクエストスイッチ未作動警告ブザー／携帯リモコン閉じ込み防止機能の検知範囲（車内）

「**車内の検知範囲**」（1）は、インパネの上などを除く車室内です。

アドバイス

- 「**車内の検知範囲**」に携帯リモコンがあっても、次のような状況にあるとリモコンが検知されず、リクエストスイッチ未作動警告ブザーや携帯リモコン閉じこみ防止機能が作動しない場合があります。
  - 携帯リモコンの電池が消耗している
  - 携帯リモコンが強い電波やノイズの影響を受けている
  - 携帯リモコンが金属製のものと接していたり、覆われたりしている
  - 携帯リモコンがグローブボックスやドアポケットなどの小物入れの中にある
  - 携帯リモコンがメーターパネルの手前やサンバイザー、床やトランク内にある
- 「**車内の検知範囲**」に携帯リモコンがなくても、次のような状況にあるとリモコンが検知され、リクエストスイッチ未作動警告ブザーや携帯リモコン閉じこみ防止機能が作動する場合があります。
  - 車外に携帯リモコンがあっても、ドアに近づきすぎている
  - 携帯リモコンがインパネの上にある

セキュリティアラーム（警報装置）

セキュリティアラームは、ドアをリクエストスイッチまたはキーレスエントリーで施錠すると、約20秒後にセットされます。（ただし、ボンネットまたはトランクリッドが開いているとセットされません）
セット状態にて、リクエストスイッチ、キーレスエントリーまたはトランクリッドリクエストスイッチ以外のもの（※）で解錠し、いずれかのドア、トランクリッドまたはボンネットを開けると、警報が作動して周囲に異常を知らせます。

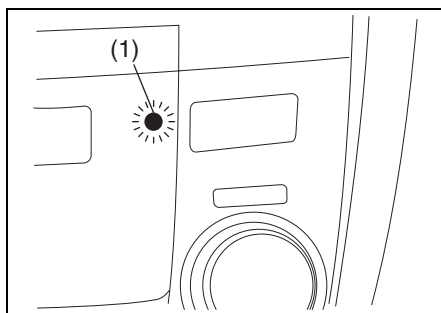
※キーやロックレバー、パワードアロックスイッチ、運転席のトランクリッドオープナースイッチやボンネットオープナーを含む

- 工場出荷時は<**警報モード**>になっています。任意で<**警報なしモード**>に切り替えてください。
  →　**3-18ページ（モード設定の切替えのしかた）**
- 警報を誤作動させたときは
  →　**3-17ページ（警報の停止のしかた）**

アドバイス

- セキュリティアラームは、一定の条件下で警報を発する機能です。室内への侵入を防ぐ機能はありません。
- アラームのセット中は、ドアを必ずリクエストスイッチまたはキーレスエントリーで解錠してください。キーを使ってドアを解錠すると、警報が作動します。
- お車を貸すときや、セキュリティアラームを知らない方が運転するときは、作動についてよく説明するか、アラームを<**警報なしモード**>に切り替えてください。誤って警報を作動させると、周囲への迷惑になります。
- アラームをセットしていても、現金や貴重品を車内に放置しないでください。盗難のおそれがあります。

セキュリティアラームのセットのしかた（警報モード時）

ドアをリクエストスイッチまたはキーレスエントリーで施錠してください。セキュリティアラームインジケーター（1）が小刻みに点滅し、約20秒後にアラームがセットされます。
セット中は、セキュリティアラームインジケーターが約2秒間隔で点滅します。

57L30094

アドバイス

- 警報の思わぬ作動を防ぐため、車内に人が残っているときはアラームをセットしないでください。車内の人が次の操作をしたときにも警報が作動します。
  - ロックレバーやパワードアロックスイッチで解錠し、いずれかのドアを開けたとき
  - 運転席のトランクリッドオープナースイッチを押して、トランクリッドを開けたとき
  - ボンネットオープナーを引いて、ボンネットを開けたとき
- すべてのドアをキーまたはロックレバー、パワードアロックスイッチで施錠すると、アラームがセットされません。
- タイマーロック機能が作動すると、アラームが自動的にセットされます。(**警報なしモード**時を除く)
  → **3-11ページ**
  (タイマーロック機能)

セキュリティアラームの解除のしかた

ドアをリクエストスイッチまたはキーレスエントリーで解錠してください。アラームが解除され、セキュリティアラームインジケーターが消灯します。

警報の停止のしかた

警報を誤作動させたときは、エンジンスイッチを ON にしてください。警報を途中で停止できます。

アドバイス

- 警報を停止した場合でも、ドアをリクエストスイッチまたはキーレスエントリーで施錠すると、約20秒後にアラームが再びセット状態となります。
- アラームセット状態、または警報作動状態でバッテリー端子を外すと、警報が停止します。ただし、再度バッテリー端子を接続すると、警報が作動します。
- 警報が終了しても、アラームの解除をせずにいずれかのドア、トランクリッドまたはボンネットを開けると、再び警報が作動します。

駐車時に警報が作動した場合

盗難などにより警報が作動した場合、エンジンスイッチを ON にすると、セキュリティアラームインジケーターが約8秒間小刻みに点滅し、室内ブザーが4回鳴ります。盗難にあっていないか車の中を確認してください。

セキュリティアラームモード

＜**警報モード**＞と＜**警報なしモード**＞の2つのモードがあります。警報の作動は次のようになります。

＜**警報モード**＞（工場出荷時）
非常点滅灯が約40秒間点滅するとともに、室内ブザーが約10秒間断続的に鳴ります。室内ブザーが鳴り終えると、ホーンが約30秒間断続的に鳴ります。

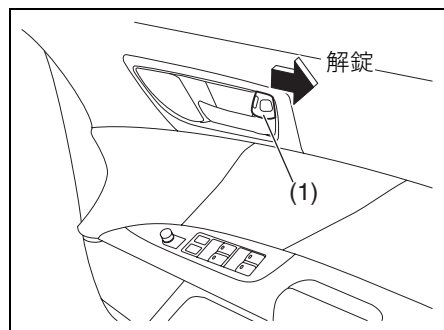
＜**警報なしモード**＞
警報は作動しません。

※＜**警報モード**＞では、セキュリティアラームインジケーターも点滅します。

モード設定の切替えのしかた

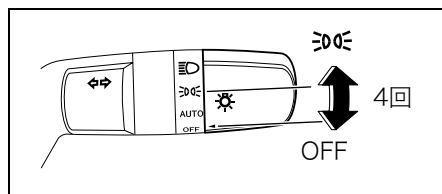
次の手順で切り替えてください。

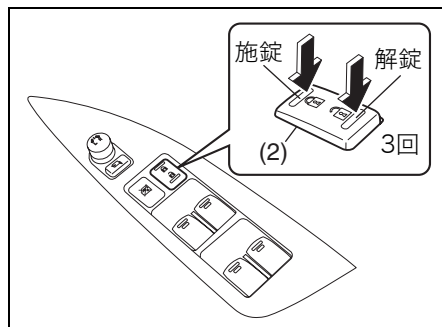
1. すべてのドア、トランクリッドおよびボンネットを閉め、エンジンスイッチを ON にします。

2. ロックレバー（1）を解錠側（車の後ろ方向）にし、ライトスイッチをOFFの位置にします。

57L30056

アドバイス
解錠時、ロックレバーの赤い表示が見えます。目安としてください。

※次の 3 から 4 までの一連の手順は、15秒以内に完了してください。

3. ライトスイッチを の位置にします。ライトスイッチを再びOFFの位置にします。これらの操作を4回行ない、最後にライトスイッチをOFFの位置にします。

57L30121

4. パワードアロックスイッチ（2）の施錠側（車の前方向）を押して施錠します。パワードアロックスイッチの解錠側（車の後ろ方向）を押して解錠します。これらの操作を3回行ない、最後に施錠状態にします。

57L30015

(2) パワードアロックスイッチ

前記の手順を行なうと、モード設定が次表の順で切り替わります。また、設定確認ブザーの回数によって設定状態が確認できます。

モード設定状態	設定確認ブザー
警報なしモード	1回
警報モード	4回

アドバイス

- アラームがセット状態のときは、モード設定の切替えはできません。
- [3] から [4] までの手順を 15 秒以内にできなかったときは、はじめからやりなおしてください。
- モード設定を切り替えるときは、すべてのドア、トランクリッドおよびボンネットを閉めたまま行なってください。

セキュリティアラーム インジケーター（1）

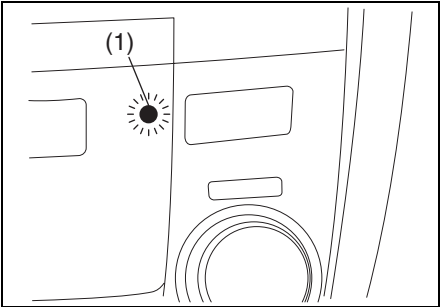
57L30094

- セキュリティアラームが<**警報モード**>のときに、ドアをリクエストスイッチまたはキーレスエントリーで施錠すると、小刻みに点滅して約 20 秒後にセキュリティアラームがセットされます。
  セット中は、2秒間隔で点滅します。
- 駐車時に警報が作動していると、エンジンスイッチを [ON] にしたときに約8秒間小刻みに点滅します。
- 車体の電子制御に異常があると、エンジンスイッチが [ON] のときに約 15 秒間、1秒間隔で点滅します。スズキサービス工場で点検を受けてください。

アドバイス

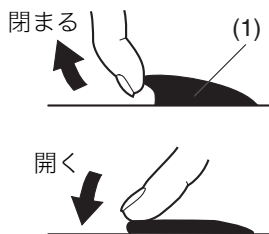
1 秒間隔で点滅すると､メーター内のインフォメーションディスプレイにメッセージが表示される場合があります。

→ **3-79 ページ（インフォメーションディスプレイのメッセージ）**

3

パワーウインドー

エンジンスイッチが ON のときに、パワーウインドースイッチ（1）を操作すると、ウインドーの開閉ができます。

80J1268

⚠警告

- **パワーウインドーは強い力で開閉します。閉めるときは手や首をはさまないように注意してください。**
- **窓から手を入れてパワーウインドースイッチを操作しないでください。手や腕などをはさむおそれがあります。**

⚠注意

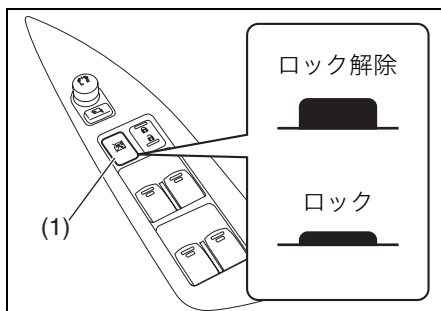
ウインドーガラスを開閉するときは、ガラスにふれないでください。巻き込まれるおそれがあります。

アドバイス

- 走行中に後席ウインドーだけを開けていると、耳を圧迫するような音が発生する場合があります。これは開いているウインドー周辺の気圧変動にともなう現象で、異常ではありません。空のビンなどの口に、横から息を吹きかけたときに音が鳴る現象と同じです。
  後席ウインドーを開けたままでこの音を軽減したい場合は、次のような方法があります。
  - 前席ウインドーも開ける。
  - 後席ウインドーの開き具合を変える。例えばウインドーが全開なら半開にする。
- バッテリー保護のため、エンジンがかかっているときにウインドーを開閉してください。

■ ウインドーロックスイッチ

運転席ドアにあるウインドーロックスイッチ（1）を押し込むと、助手席／後席ウインドーの開閉ができなくなります。

- ロックを解除するときは、スイッチをもう一度押します。

57L30016

⚠警告

お子さまにはパワーウインドースイッチを操作させないでください。お子さまが誤って操作すると、重大な傷害につながるおそれがあります。お子さまを乗せているときは、ウインドーロックスイッチを ロック 位置にしてください。

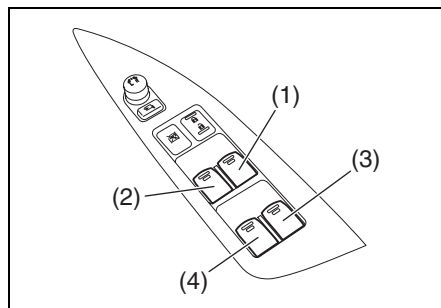
アドバイス

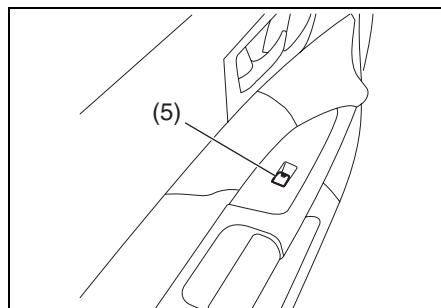
運転席ウインドーは、ウインドーロックスイッチの位置に関係なく開閉できます。

ウインドーの開閉（全席オート機構付）

運転席では、各席のウインドーの開閉ができます。
助手席、後席では、自席のウインドーの開閉ができます。

- ウインドースイッチを軽く操作すると、操作している間だけ開閉します。スイッチから手をはなすと、その位置で止まります。
- ウインドースイッチを強く操作すると、オート機構が作動してスイッチから手をはなしても自動で全開または全閉します。
  途中で止めたいときは、操作した方向と逆の方向に軽く操作します。

運転席ドア

(1) 運転席ウインドースイッチ
(2) 助手席ウインドースイッチ
(3) 右後席ウインドースイッチ
(4) 左後席ウインドースイッチ

助手席／後席ドア

(5) 助手席／後席ウインドースイッチ（※）

※イラストは助手席ドアを代表しています。

アドバイス

ウインドーの上昇速度は、閉まり切る手前で遅くなりますが、異常ではありません。（スローストップ機能）

■ ウインドーのオフディレイタイマー機能（全席）

ウインドーは、エンジンスイッチを ON の位置から ACC または LOCK (OFF) にしたあとでも、30秒以内は開閉が可能です。

アドバイス

30 秒以内でも、運転席ドアを開けて閉めると、ウインドーの開閉ができません。

■ はさみ込み防止機構（全席）

ウインドーには安全装置として、はさみ込み防止機構があります。

- オート機構を作動させて自動で閉めているときに、異物をはさみ込むなどしてウインドーに一定以上の負荷がかかると、ウインドーの動く方向が反転し、少し開いて停止します。（過負荷検知方式）

警告

はさまれる異物の形状や硬さ、はさまれかたによっては過負荷検知されず、はさみ込み防止機構が作動しない場合があります。重大な傷害を受けるおそれがありますので、十分に注意して開閉操作を行なってください。

注意

はさみ込み防止機構は、スイッチを引き上げ続けた状態では作動しません。また、閉まり切る直前は、はさみ込みを検知できない領域があります。指などをはさまないように気をつけてください。

アドバイス

- ウインドーの故障で、はさみ込み防止機構が作動し、自動で閉めることができない場合があります。この場合、ウインドースイッチを引き上げ続けると、完全に閉めることができます。
- 悪路などを走行中にウインドーを自動で閉めると、衝撃や荷重がウインドーに加わって、はさみ込み防止機構が作動することがあります。

■ オート機構の初期設定のしかた

故障などで、ウインドーの自動開閉ができないときは、次の手順でオート機構の初期設定を行なってください。

- 助手席／後席ウインドーの初期設定は、助手席／後席ドアの各ドアのスイッチで行なってください。運転席ドアのスイッチは、運転席ウインドーの初期設定しかできません

1. エンジンを始動します。
2. ウインドースイッチを押し続け、ウインドーを完全に開けます。
3. そのままスイッチを２秒以上押し続けます。
4. ウインドースイッチを引き上げ続け、ウインドーを完全に閉めます。
5. そのままスイッチを２秒以上引き上げ続けます。
6. ウインドーが自動開閉できるようになったか確認します。

アドバイス

- 初期設定中に、ウインドーをたたいたり、衝撃を加えたりしないでください。
- 走行中は、初期設定できません。
- 手順1～5を何度繰り返してもウインドーが自動開閉できない場合、システムの異常が考えられます。スズキサービス工場で点検を受けてください。

ルームミラー

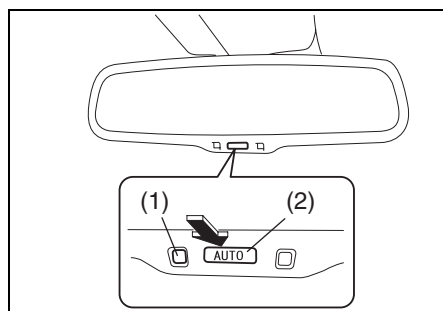
ミラー全体を動かして、角度を調節します。

注意

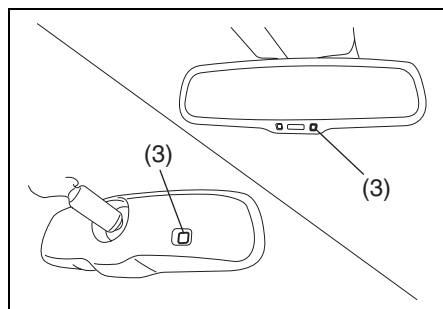
必ず走行前に調節してください。走行中の調節は、前方不注意の原因となります。

自動防眩機能

エンジンスイッチが ON のときに使用でき、後続車のライトの反射を自動的に減少させます。

- エンジンスイッチを ON にしたときは、常に自動防眩機能が作動しており、インジケーター（1）が緑色に点灯します。
- 自動防眩機能を停止したいときは、AUTO スイッチ（2）を押してください。インジケーターが消灯します。
もう一度押すと、再び自動防眩機能が作動するようになり、インジケーターが緑色に点灯します。
- セレクトレバーを R に入れているときは、インジケーターが緑色に点灯しているときであっても、自動防眩機能が作動しません。

57L30019

アドバイス

- ミラーは正しく調節してください。センサー（3）が正しい方向へ向かなくなって、自動防眩機能が正常に作動しない場合があります。
- 車外とセンサーの間に、ステッカーやシェードを貼ったり、アクセサリーや荷物を置いたりしないでください。センサーが周囲の明るさを正確に感知できなくなります。
- ミラーに力をかけないでください。重い物を取り付けたり、手の支えにしたりすると、ミラーやフロントガラスが破損するおそれがあります。

57L30020

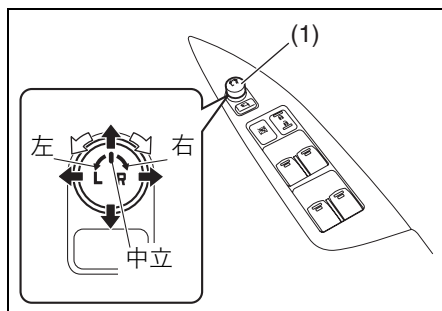
ドアミラー

角度の調節

■ ドアミラー角度調節スイッチ

エンジンスイッチが ACC または ON のときに使用できます。

1 角度調節スイッチ（1）を、調節したいミラーの側へまわします。

2 角度調節スイッチを操作して、上下左右にミラーを動かします。

57L30021

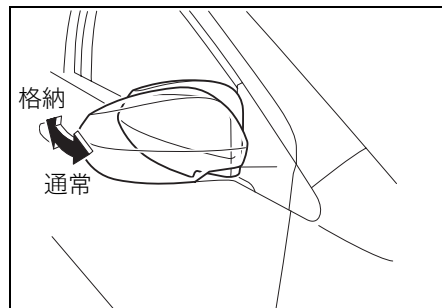
⚠注意

必ず走行前に調節してください。走行中の調節は、前方不注意の原因となります。

アドバイス

調節後は、角度調節スイッチをまわして、中立の位置にもどしてください。

格納

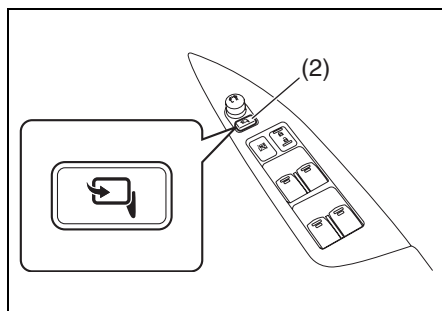
狭い場所で駐車するときなどに、ドアミラーを車の後ろ方向に倒すことができます。

57L30022

⚠注意

- **ドアミラーを倒したまま走行しないでください。後方の確認ができず、事故を起こすおそれがあります。**
- **ドアミラーは車体より張り出しています。ドアミラーを車外の人や物にあてないように気をつけてください。**

■ ドアミラー格納スイッチ

エンジンスイッチが ACC または ON のときに使用できます。

- 格納スイッチ（2）を押すごとに、格納と通常の位置に切り替わります。

57L30023

格納スイッチの状態

通常

格納

80J1023

⚠注意

- **動いているドアミラーに触れないでください。手などをはさんでけがのおそれがあります。また、ドアミラー故障の原因となります。**
- **格納スイッチでドアミラーを格納したときは、手でドアミラーを通常の位置にもどさないでください。ドアミラーの固定が不完全になるため、走行中の振動や走行風などでドアミラーが動くおそれがあります。**
  その場合は、スイッチを通常の位置に押して、確実にドアミラーを固定してください。
- **エンジンスイッチが ACC または ON の位置にあるときは、手でドアミラーを操作しないでください。ドアミラー故障の原因となります。**

アドバイス

- ドアミラーを手で動かすと、エンジンスイッチを ACC または ON にしたときに、ドアミラーが動き出すことがあります。
- 格納スイッチが通常の位置で、ドアミラーが車の前方向に倒れていると、エンジンスイッチを ACC または ON にしたときに、ドアミラーがさらに車の前方向に倒れてしまいます。ドアミラーをもとの状態にもどすときは、一度格納操作をしてください。

ドアミラーヒータースイッチ

タイプ別装備

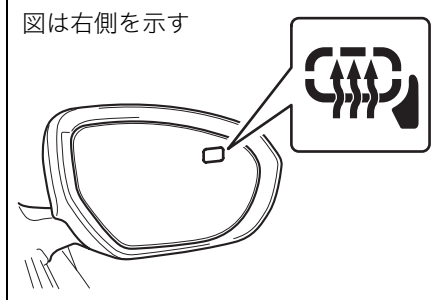
ドアミラーヒーターは、リヤデフォッガーと連動します。

→ **3-93ページ**
（リヤデフォッガースイッチ）

アドバイス

ドアミラーヒーター装備車には、左右のドアミラー鏡面に マークが付いています。

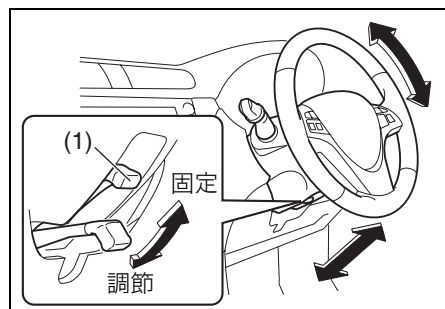
57L30144

3

テレスコピック&チルトステアリング

ハンドルの前後・上下調節

ハンドル下にあるレバー（1）で、ハンドルの前後位置と高さが調節できます。

→ **2-9ページ(ハンドル、シート、ミラーの調節は走行前に)**

- レバー（1）を押し下げると、ハンドルを前後・上下に動かせます。
- 調節後は、その高さでハンドルを押さえたままレバーをもとの位置まで確実にもどします。

57L30024

⚠注意

調節後はハンドルを前後・上下にゆすって、確実に固定されているか確認してください。

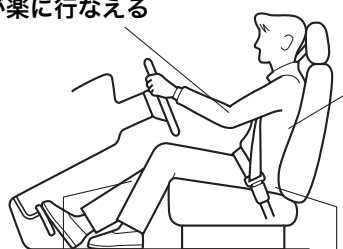
前席シート

⚠注意

- **シートを調節するときは、手足をはさんだり、身体にあてたりしないように気をつけてください。**
  → **2-9ページ（ハンドル、シート、ミラーの調節は走行前に）**
- **パワーシートの場合、必要以上に動かさないでください。故障やバッテリー上がりの原因となります。**

正しい運転姿勢

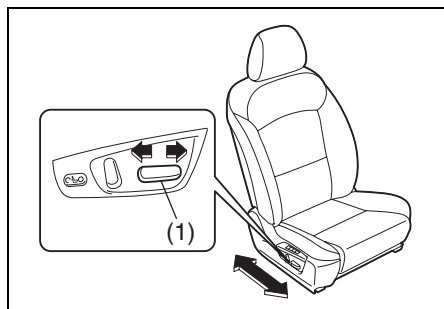
正しい運転姿勢がとれるように、次のことに注意してシートを調節してください。

- 背もたれと腰の間にすき間のないようにシートに深くすわります。
- ペダル類を踏み込んだときに、ひざが伸びきらないで余裕があるようにシートを前後に調節します。
- 背中を背もたれに軽くつけ、ハンドルを握ったときにひじが軽く曲がる程度に背もたれの角度を調節します。

80J177

⚠警告

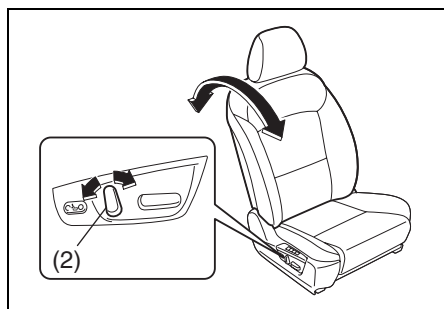
背もたれと背中の間にクッションなどを入れないでください。正しい運転姿勢がとれないばかりか、シートベルトやヘッドレストの効果が十分に発揮されないおそれがあります。

前後位置の調節

スライドスイッチ（1）を前後に操作します。

57L30025

> ⚠ **警告**
>
> **シートの下に物を置かないでください。物がはさまって、シートが損傷するおそれがあります。**

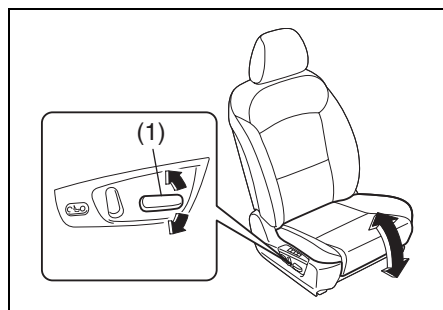
背もたれの角度調節

リクライニングスイッチ（2）を前後に操作します。

57L30026

> ⚠ **警告**
>
> **背もたれを必要以上に倒さないでください。シートベルトや SRS エアバッグシステムが本来の効果を発揮できません。**

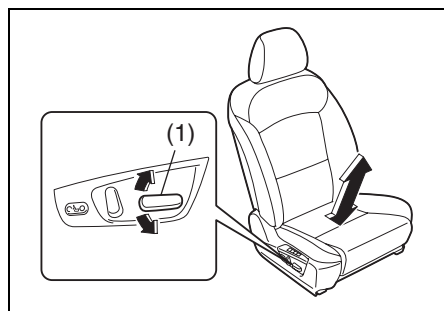
高さ調節（運転席のみ）

■ 座面前側の高さ調節

スライドスイッチ（1）の前側を上下に操作します。

57L30057

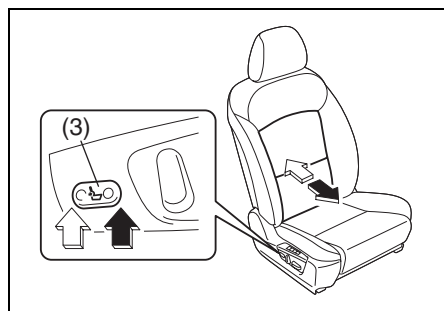
■ シート全体の高さ調節

スライドスイッチ（1）の後ろ側を上下に操作します。

- 上側に操作すると、シート全体が高くなるとともに前方に動きます。
- 下側に操作すると、シート全体が低くなるとともに後方に動きます。

57L30027

腰部の支持強さ調節（ランバーサポート、運転席のみ）

ランバーサポートスイッチ（3）を前後に押します。

- 前側を押すと、張り出し量が多くなります。
- 後ろ側を押すと、張り出し量が少なくなります。

57L30028

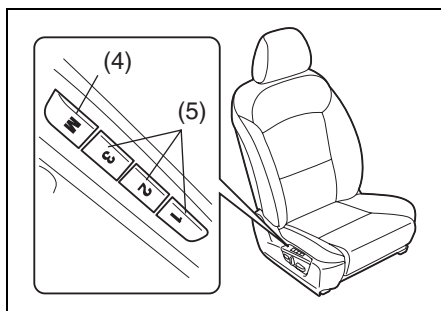
運転席シートポジションメモリー機能

お好みのシート位置を登録して、ワンタッチで呼び出すことができます。シート位置は３名分まで登録できます。

■ シート位置の登録のしかた

1 シートをお好みの位置に調節します。

2 メモリーボタン（4）を押しながら、または押したあと５秒以内に、**1**〜**3**のうち登録したいボタン（5）を押します。

- 登録されると、ブザーが“ピッ”と鳴ります。

57L30031

アドバイス

各ボタンに登録したシート位置は、登録するたびに上書きされます。

■ シート位置の呼び出しかた

1 セレクトレバーが P にあるか確認し、エンジンスイッチを ON にします。

2 **1**〜**3**のうち呼び出したいシート位置のボタン（5）を押します。

- ブザーが“ピッ”と鳴ると、呼び出しが開始されます。
- 呼び出しが完了すると、再度ブザーが“ピッ”と鳴ります。

⚠警告

シート位置を呼び出すときは、後席の乗員や荷物に注意してください。また、運転者はハンドルに圧迫されないように気をつけてください。けがのおそれや、荷物やシートが損傷する原因となります。異常を感じたら、呼び出しを途中で止めてください。

シート位置の呼び出しを途中で止めるには

次のいずれかの操作をします。

- メモリーボタン（4）または**1**～**3**いずれかのボタン（5）を押す
- シート調節スイッチのいずれかを操作する

ヘッドレストの高さ調節と取外し・取付け

■ 高さの調節

走行前に、ヘッドレスト中央の高さが耳の位置になるように調節し、しっかりと固定します。背が高い人は、固定できる範囲で一番高い位置にしてお使いください。

- 高くするときは、ヘッドレストを手で持ち上げます。
- 低くするときは、ロックボタン（6）を押したままヘッドレストを押し下げます。

■ 取外しかた

ロックボタン（6）を押したまま引き抜きます。

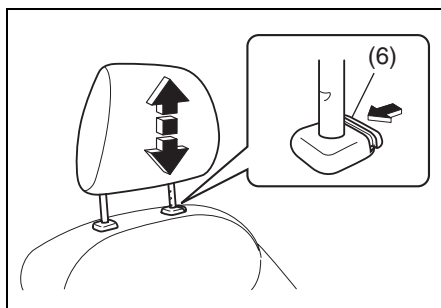
⚠警告

ヘッドレストを外したまま、走行しないでください。

アドバイス

ヘッドレストが天井にあたって取り外せないときは、背もたれを倒してください。

■ 取付けかた

ヘッドレストの前後の向きを間違えないように、固定される位置まで差し込み、高さの調節をします。

(6) ロックボタン

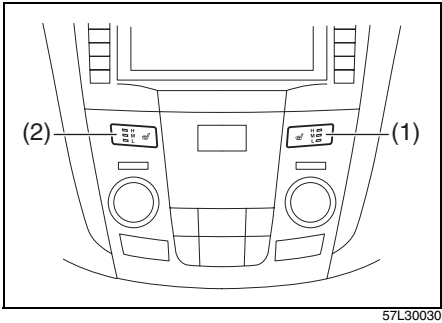
⚠警告

ヘッドレストは、しっかりと固定してください。また、ヘッドレストを前後逆に取り付けないでください。ヘッドレストが本来の効果を発揮できません。
ヘッドレストを前後逆に取り付けると、ヘッドレストの高さ調節ができません。

3

前席シートヒータースイッチ

タイプ別装備

エンジンスイッチが ON のときに使用できます。

(1) 運転席シートヒータースイッチ
(2) 助手席シートヒータースイッチ

- スイッチを押すごとに、次のように切り替わります。

表示（※）	状態
H 点灯 M 点灯 L 点灯	HI ・早く温めたいとき
H M 点灯 L 点灯	MID ・HIでは温かすぎるとき、または保温したいとき
H M L 点灯	LO ・保温したいとき
H M L	OFF ・シートが適温になったとき、または使わないとき

※表示は、運転席側を代表しています。

⚠注意

- **長時間ヒーターを使用すると、低温やけど（水ぶくれなど）の原因になります。**
- **シートの上に重い荷物を置いたり、針やくぎなどをシートに刺したりしないでください。**
- **毛布や座ぶとんなど、保温性の高いものをシートにかけないでください。過熱の原因となります。**
- **シートをお手入れするときは、ベンジン、ガソリンおよびアルコールなどの有機溶剤を含む洗浄液を使用しないでください。シート表面やヒーターが損傷する原因となります。**
  →　6-4ページ（内装のお手入れ）
- **水やジュースなどをこぼしたときは、すみやかに柔らかい布などでふきとり、十分に乾かしてからご使用ください。**

アドバイス

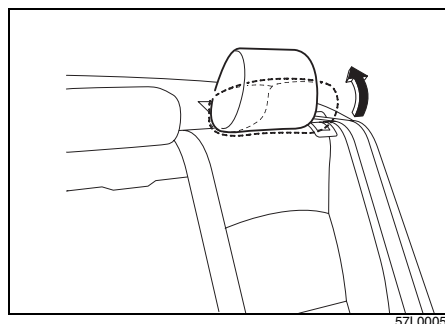
- バッテリー保護のため、エンジンがかかっているときに使用してください。
- **HI** で使用中、**HI** の設定温度に達してから一定時間が経過すると、自動的に **MID** へ切り替わります。**HI** に切り替えたい場合は、再度スイッチ操作をしてください。
- ヒーターには、自動的にスイッチが切れるタイマー機能がありません。使用後はすみやかにスイッチを切ってください。
- ヒーター作動中にエンジンスイッチを ACC または LOCK （OFF）にすると、再始動しても自動的にスイッチは入りません。

後席シート

→ 5-41 ページ（アームレスト（ひじ掛け））

左右席ヘッドレストの高さ調節と取外し・取付け

■ 高さの調節

ヘッドレストが車の前方向へ倒れているときは、後方へ起します。

57L0005

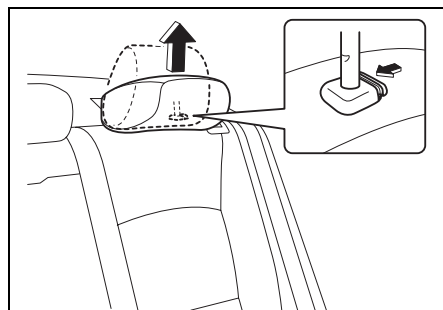
- 高さの調節は、前席シートと同様です。**3-29ページ**をお読みください。

■ 取外しかた

1. ヘッドレストを前方へ倒します。

アドバイス

ヘッドレストを前方へ倒さないと、ヘッドレストが天井にあたって取り外せません。

2. ロックボタンを押したまま引き抜きます。

57L30033

⚠ 警告

ヘッドレストを外した状態または前方へ倒した状態で、後席に人を乗せないでください。

⚠ 注意

取り外したヘッドレストは、客室内に放置しないでください。急ブレーキをかけたときなどに乗員や物などにあたって、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ 取付けかた

1. ヘッドレストを倒した状態にします。
2. ヘッドレストの前後の向きを間違えないように、固定される位置まで差し込みます。
3. ヘッドレストを後方へ起こし、高さの調節をします。

⚠警告

- ヘッドレストは、しっかり固定してください。また、ヘッドレストを前後逆に取り付けないでください。
ヘッドレストが本来の効果を発揮できません。
ヘッドレストを前後逆に取り付けると、ヘッドレストの高さ調節ができません。
- お子さま用シートを取り付けるときは、お子さま用シートがヘッドレストにあたるのを防ぐため、ヘッドレストを後方へ起こしてください。
ヘッドレストがあたった状態ではお子さま用シートが確実に固定されないため、衝突のときなどにお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

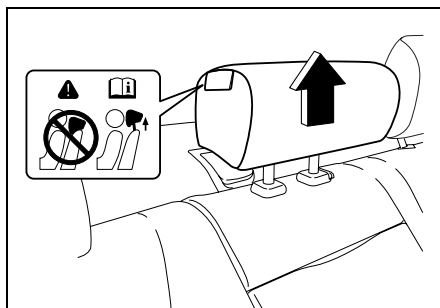
アドバイス

乗員がいないときは、ヘッドレストを前方へ倒した状態にしておくと、後方視界が良くなります。

中央席ヘッドレストの位置変更と取外し・取付け

■ 使用時の位置

走行前に、ヘッドレストを手で持ち上げ、しっかりと固定します。

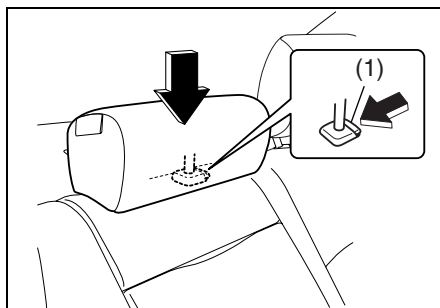
使用時

57L30061

⚠警告

ヘッドレストを外した状態または収納時の位置で、中央席に人を乗せないでください。

■ 収納時の位置

収納するときは、ロックボタンを押したままヘッドレストを一番下まで押し下げます。

収納時

57L30060

(1) ロックボタン

■ 取外しかた

ロックボタンを押したまま引き抜きます。

⚠注意

取り外したヘッドレストは、客室内に放置しないでください。急ブレーキをかけたときなどに乗員や物などにあたって、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ 取付けかた

ヘッドレストの前後の向きを間違えないように差し込み、使用時または収納時の位置にします。

⚠警告

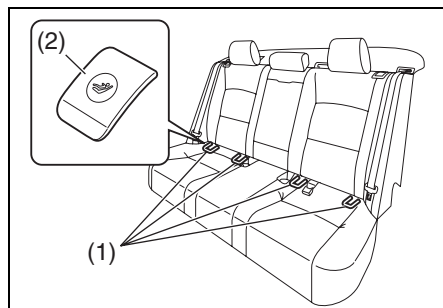
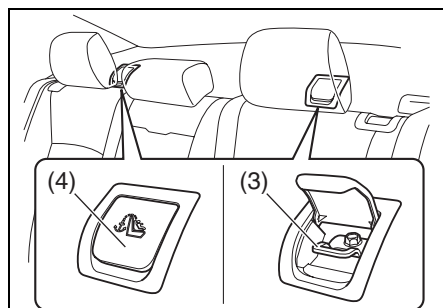
ヘッドレストは、しっかり固定してください。また、ヘッドレストを前後逆に取り付けないでください。ヘッドレストが本来の効果を発揮できません。ヘッドレストを前後逆に取り付けると、ヘッドレストを使用時の位置で固定できません。

チャイルドシート固定専用金具

後席の左右席には、ISOFIX（※ 1）タイプのお子さま用シート（別売り）を固定するための専用金具が装備されています。

- 座面と背もたれの間にある金具が、ISOFIX対応チャイルドシート固定用アンカー（以下ISOFIXアンカーと略す）です。
- ヘッドレスト後方にある金具が、チャイルドシート固定用テザーアンカー（以下テザーアンカーと略す）です。

※1 ISOFIX　とは、お子さま用シートの固定装置の大きさや取付け方法を統一した国際標準化機構【ISO（※2）】の規格です。

※2 ISOとは、International Organization for Standardization（インターナショナル オーガニゼイション フォー スタンダーディゼイション）の略です。

(1) ISOFIXアンカー (2) キャップ

(3) テザーアンカー (4) カバー

<スズキ純正用品の場合>

	ISOFIX アンカー	テザー アンカー
ISOFIXタイプの ベビーシート （後ろ向きに固定）	○（使用）	○（使用）
ISOFIXタイプの チャイルドシート （前向きに固定）	○（使用）	○（使用）

- お子さま用シートは、お子さまの年齢や体格に合った適切なものを選んでください。
  → **3-46 ページ（お子さま用シートの選択について）**
- ISOFIXタイプのお子さま用シートは、シートベルトで固定する必要がありません。
- シートベルトで固定するお子さま用シートを取り付けるときは、**3-45 ページ**の「**お子さま用シートのシートベルトによる固定**」をお読みください。

アドバイス

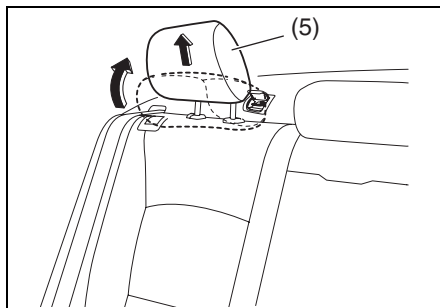
中央席のヘッドレスト後方にあるテザーアンカーは使用しません。

■ 固定のしかた

お子さま用シートに付属の取扱説明書をあわせてお読みください。

1 テザーアンカーの位置を確認します。

- 後席のヘッドレスト後方にあるカバーを開けます。

2 後席のヘッドレスト（5）は、お子さま用シート取付けのさまたげとならないよう、取り外すか後方へ起して固定できる範囲で一番高い位置に調節します。

57L30051

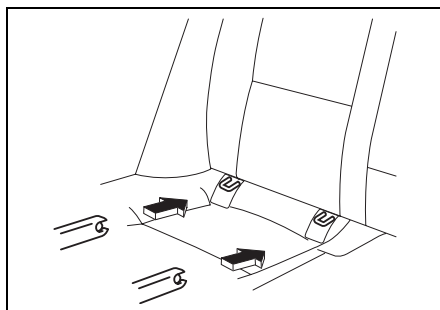
3 後席の背もたれを前後にゆすって、確実に固定されているか確認します。

4 ISOFIX アンカーの位置を確認します。

- 座面と背もたれの間にあるキャップを外します。

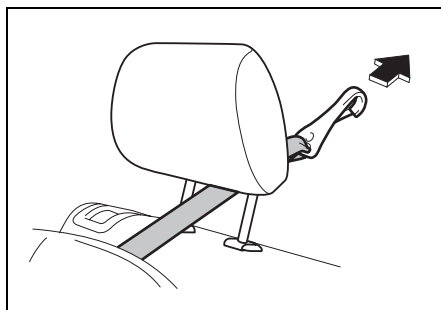
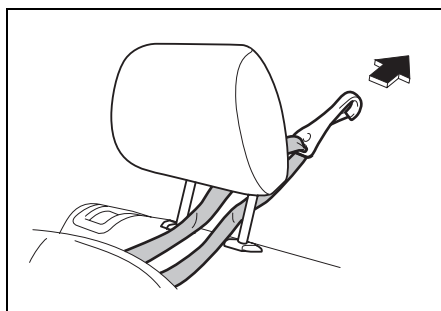
アドバイス

取り外したキャップは乗車のじゃまにならないように、グローブボックスなどに保管してください。

5 ベースシート（別売り）を ISOFIX アンカーへ取り付けます。

57L30052

6 お子さま用シートをベースシートへ取り付けます。

7 テザーベルトは、次のようにしてテザーアンカーへ取り付けます。

- ヘッドレストを取り外しているときは、背もたれの上を通す
- ヘッドレストを取り付けているときは、図（代表例）のように持ち上げたヘッドレストと背もたれの間を通す

57L30062

57L30063

8 お子さま用シートをゆすって、確実に取り付けられているか確認します。

⚠警告

- **お子さま用シートを取り付けるときは、 ISOFIX アンカーやテザーアンカー周辺にシートベルトや異物などがないか確認してください。シートベルトなどがかみ込むと、お子さま用シートが正しく固定されず、衝突のときなどにお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。**
- **荷物の固定などに、ISOFIXアンカーやテザーアンカーを使用しないでください。アンカーが曲がったり損傷したりすると、お子さま用シートが正しく固定されず、衝突のときなどにお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。**

背もたれの倒しかた

背もたれを前に倒すと、荷室が広く使えます。

⚠警告

座席以外の部分に人を乗せないでください。ブレーキや加速、衝突のときなどに、投げ出されてけがのおそれがあります。

⚠注意

背もたれを動かすときは、手足をはさんだり、身体にあてたりしないように気をつけてください。

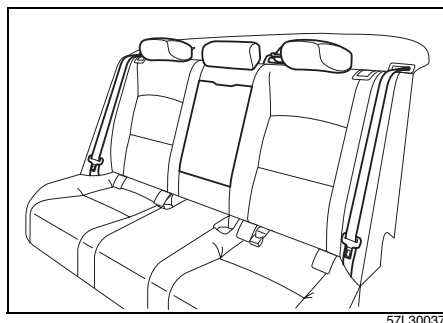
■ 倒しかた

1 左側の背もたれを倒すときは、次のようにします。

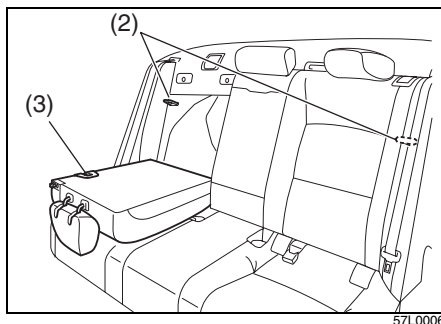
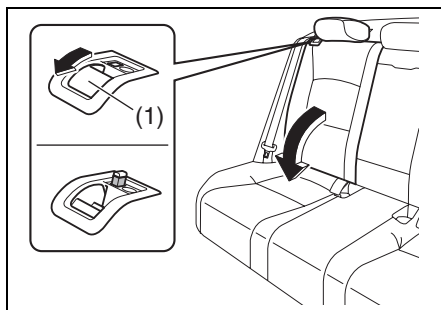
- 後席中央のシートベルトをヘッドレスト後方へ収納し、ホルダーへ固定します。
→ **3-42ページ（収納のしかた）**

- アームレストを収納します。
→ **5-41 ページ（アームレスト（ひじ掛け））**

2 ヘッドレストは一番低い位置に調節します。左右のヘッドレストは、さらに前方へ倒します。

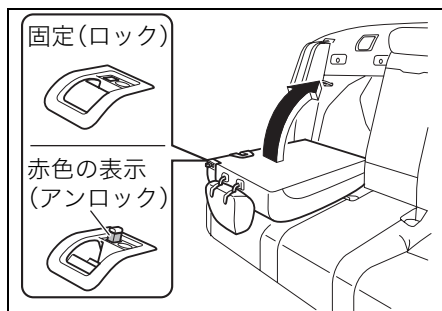
3 後席左右のシートベルトを図のように背もたれから外し、背もたれを動かすときに、ベルトをかみ込まないようにします。

⚠注意

シートベルトの傷つき防止のため、シートベルトは必ず背もたれから外してください。

4 背もたれ肩部のロックレバー（1）を引き下げたまま、背もたれを前に倒します。

(2) 背もたれ固定用フック
(3) ロック部品

⚠注意

- **背もたれ裏のロック部品に指などを入れないでください。けがのおそれがあります。**
- **荷物の固定などに、背もたれ裏のロック部品や背もたれ固定用フックを使用しないでください。また、ロック部品やフックに砂などの異物を付着させないでください。ロック部品が損傷したりフックが曲がったりして、背もたれが固定できなくなるおそれがあります。**

- 背もたれのロックが解除されたままの状態で、後席に人を乗せないでください。ロックレバーは一度操作すると、ロックレバーの後ろに赤色の表示が出て、ロックが解除されたままとなります。背もたれを一度前に倒し再び起こすなどして、背もたれが確実に固定されているか確認してください。

アドバイス

背もたれを倒すときに、ヘッドレストが前席にあたる場合は、前席を前に動かしてください。

■ 起こしかた

背もたれを起こし、固定される位置まで背もたれを車の後ろ方向へ押し付けます。

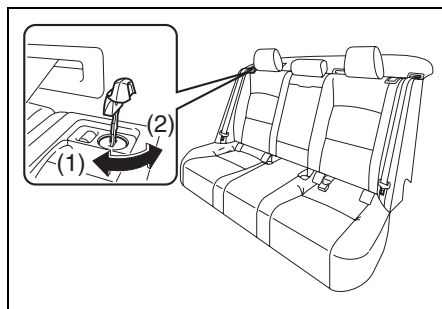
注意

背もたれを起こしたあとは、次のことを確認してください。背もたれの固定が不確実な場合、走行中に突然背もたれが前に倒れ、思わぬけがをするおそれがあります。

- **ロックレバーの後ろに赤色の表示が出ていないことを確認してください。赤色の表示が出ている場合は、背もたれが固定されていません。**
- **背もたれを前後にゆすって確実に固定されているか確認してください。**

背もたれの施錠機能

背もたれには、ロックレバーを操作しても倒せなくする施錠機能があります。

- 施錠（1）するときは、ロックレバーの後ろにあるキー溝にキーを差し込み、時計方向にまわします。
- 解錠（2）するときは、キーを反時計方向にまわします。

アドバイス

ロックレバーの後ろに赤色の表示が出ているときは、背もたれのロックが解除されていますので施錠できません。

シートベルトについて

→　**4-44ページ**
（プリクラッシュシートベルト）

正しい姿勢でシートにすわり、正しくシートベルトを着用しないと、シートベルトが本来の効果を発揮できません。
シートベルトを着用するときは、次のことに注意してください。

- シートを正しい位置に調節し、上体を起こして奥深くすわります。
- ベルトがねじれないように着用します。
- 腰ベルトは、腰のできるだけ低い位置にかけます。
- 肩ベルトは、首と肩先の中央にかけます。
- ベルトがねじれていないことを確認し、たるみを取り除きます。

→　**3-26ページ（正しい運転姿勢）**

70K216

⚠警告

- **走行前にシートベルトを正しく着用してください。走行中に着用したり調節したりすると、思わぬ事故を起こすおそれがあります。**
- **助手席や後席の同乗者全員にシートベルトを着用させてください。**
- **背もたれを必要以上に倒さないでください。また、洗たくばさみやクリップなどでベルトをたるませないでください。シートベルトが本来の効果を発揮できません。**

お子さまもシートベルトを着用

→　**2-5ページ**
（お子さまを乗せるときは）

⚠警告

お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。ベルトを身体に巻きつけるなどして遊んでいるときに、窒息など重大な傷害を受けるおそれがあります。万一の場合は、ハサミでベルトを切断してください。

80J028

妊娠中や疾患のある方は

⚠警告

- **妊娠中の方、疾患がある方もシートベルトを着用してください。ただし、衝突のときに局部的に強く圧迫されるおそれがありますので、医師に相談して注意事項を確認してください。**

- **妊娠中の方は、腰ベルトを腹部を避けて腰部のできるだけ低い位置にかけます。肩ベルトは、首と肩先の中央から腹部を避けて胸部にかかるように着用してください。**

80J075

シートベルト警告ブザー

運転席のシートベルト着用忘れを防止するためのブザーです。

- エンジンをかけて走行を開始してから、最初に車速が約 15 km/h 以上になったときに運転者がシートベルトを着用していないと、メーター内のシートベルト警告灯が点灯から点滅に切り替わるとともに、シートベルト警告ブザーが断続的に鳴ります。
  →　**3-67ページ**
  （シートベルト警告灯）

アドバイス

- 運転者がベルトを着用すると、警告灯は消灯します。また、警告ブザーが鳴っているときは、ブザーも止まります。
- 警告ブザーは運転者がベルトを着用しなくても、約95 秒間鳴り続けたあとに止まります。ただし、警告灯は点滅から点灯に切り替わったまま、エンジンスイッチを ACC または LOCK（OFF）にするまで消灯しません。

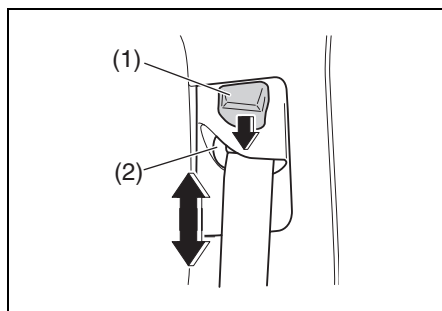
シートベルトの長さ調節

シートベルトは、長さ調節が必要ありません。身体の動きにあわせてベルトが伸縮し、強い衝撃を受けたときは自動的にベルトがロックされて身体を固定します。

肩ベルトの高さ調節

前席のみ

身体の大きさにあわせて、ショルダーアンカー（2）の高さ調節ができます。

- 上に調節するときは、アンカーのカバー全体を適切な位置まで持ち上げます。
- 下に調節するときは、ロックレバー（1）を押し下げたままアンカーを下げ、適切な位置でレバーを離します。
- 調節後は、アンカーが固定されているか確認します。

57L30075

シートベルトの着用のしかた

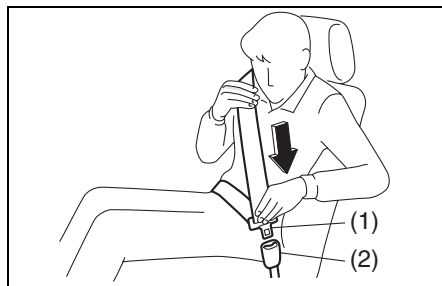
前席、後席左右席

■ 着用のしかた

1 タングプレート（1）とシートベルトをつかみ、ベルトをゆっくりと引き出します。
ベルトのねじれを取ります。

アドバイス

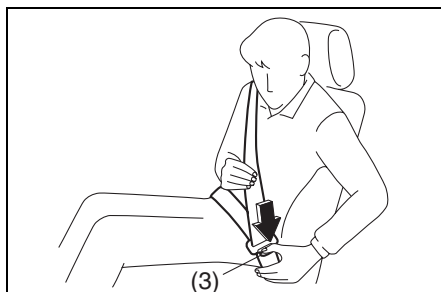
ベルトがロックされていて引き出せないときは、いったんゆるめてから再度引き出します。それでも引き出せない場合は、一度ベルトを強く引いてからゆるめ、再度ゆっくりと引き出してください。

2 タングプレート (1) をバックル (2) の差し込み口にまっすぐになるように合わせて、カチッという音がするまでしっかりと差し込みます。

3 腰ベルトを、腰のできるだけ低い位置にかけます。

4 肩ベルトを、首と肩先の中央にかけます。

5 ベルトがねじれていないことを確認し、たるみを取り除きます。

■ 外すときは

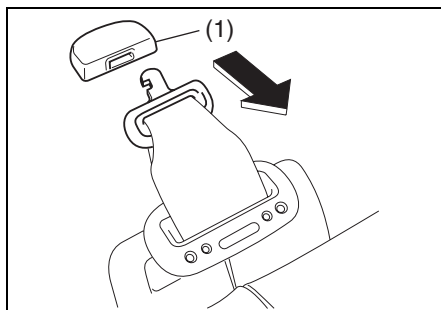
バックルのボタン（3）を押します。シートベルトが自動的に巻きもどされますので、ベルトやタングプレートに手を添え、ゆっくりともどしてください。

アドバイス

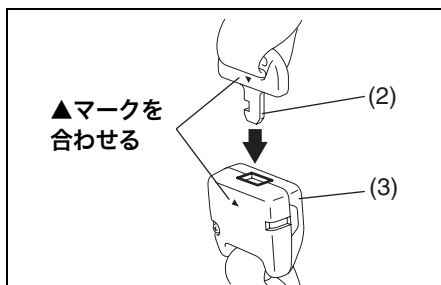
ベルトがねじれていると、ベルトを外したときに巻き取られないことがあります。ベルトにたるみがなく巻きもどされていることを確認してください。

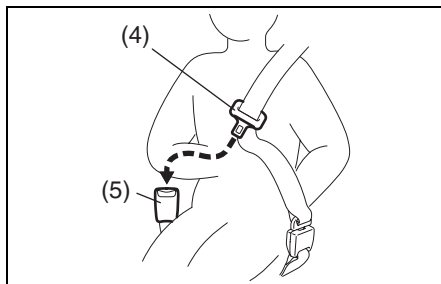
後席中央席

■ 着用のしかた

1 シートベルトをゆっくりと引き出します。

- ベルトは、ヘッドレスト後方にあるホルダー（1）に固定されています。

57L30105

2 シートベルト先端のプレート（2）を、中央席左側にある小さなバックル（3）にカチッという音がするまでしっかりと差し込みます。このとき、ベルトがねじれていないことを確認しながら▲マークのある面を合わせます。

57L30138

3 タングプレート（4）を、中央席右側にあるバックル（5）の差し込み口にまっすぐになるように合わせて、カチッという音がするまでしっかりと差し込みます。

57L30106

アドバイス

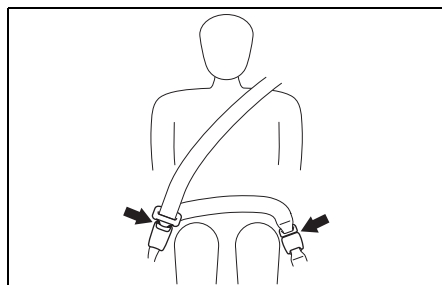
右側のバックル（5）には、**CENTER**の表示があります。右側後席用のバックルと間違えないでください。

4 腰ベルトを、腰のできるだけ低い位置にかけます。

5 肩ベルトを、首と肩先の中央にかけます。

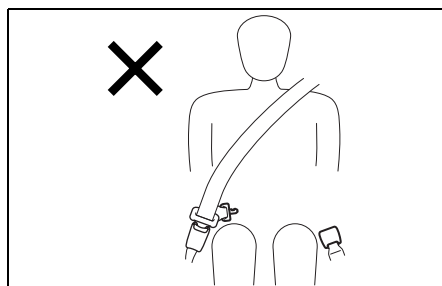
6 ベルトがねじれていないことを確認し、たるみを取り除きます。

⚠ 警告

重大な傷害を避けるため、後席中央席のシートベルトは左右2つのバックルを使用して正しく装着してください。

57L30107

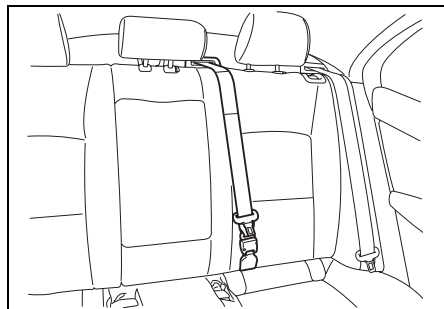
誤装着の例

57L30108

3

■ 外すときは

右側にあるバックルのボタンを押します。シートベルトが自動的に巻きもどされますので、ベルトやタングプレートに手を添え、ゆっくりともどしてください。

- 下図の位置まで、シートベルトが自動的に巻きもどされます。

57L30109

■ 収納のしかた

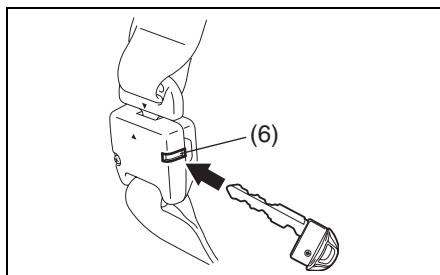
後席の背もたれ（左側）を倒すときは、ヘッドレスト後方へ収納し、ホルダーに固定してください。

⚠注意

収納せずに後席の背もたれ（左側）を倒すと、シートベルトやシートが損傷するおそれがあります。

1 シートベルト先端のプレートを外します。

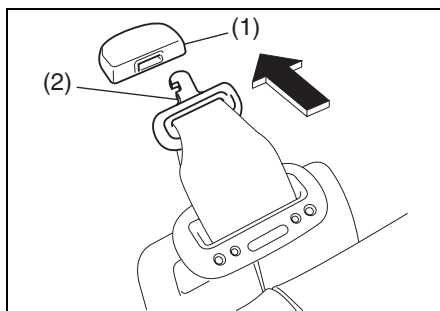
- 左側にあるバックルの解除ボタン（6）に、キーなどを差し込みます。

57L30110

⚠注意

解除ボタンを押すときは、ベルトやタングプレートに手を添えてください。自動的に巻き取られたプレートが身体にあたって、けがのおそれがあります。

2 シートベルトをヘッドレスト後方へ収納します。

- シートベルト先端のプレート（2）は、ヘッドレスト後方のホルダー（1）に差し込みます。

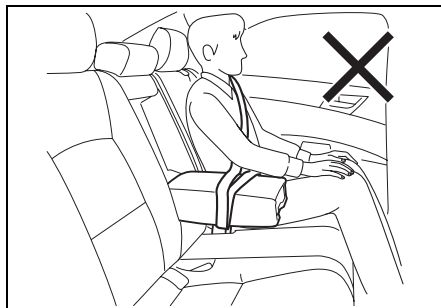
57L30111

- シートベルトの残りをすべて巻き取らせ、たるみを取り除きます。

⚠注意

ベルトはしっかりと収納してください。収納が不十分だと、走行中の揺れなどでベルトが落ちて身体にあたり、けがのおそれがあります。

シートベルトを正しく着用する

⚠警告

- シートベルトにねじれやたるみがあると、衝撃を受けたときに局部的に圧迫されるおそれがあります。
- ベルトが腹部にかかっていると、衝撃を受けたときに強く圧迫されるおそれがあります。
- ベルトが肩にしっかりとかかっていないと、衝撃を受けたときに前に投げ出されるおそれがあります。
- アームレストにベルトがかかっていると、シートベルトが本来の効果を発揮できません。ベルトは、アームレストの下をとおしてください。

57L31076

シートベルトの取扱いとお手入れ

取扱い

⚠警告

- シートベルトにほつれや擦り傷、切り傷があるときは、ベルトを交換してください。
- バックルが正常に動かないときは、スズキサービス工場で点検を受けてください。
- 衝突などでベルトに強い力がかかったときは、外観に異常がなくても、機能が損なわれていることがあります。ベルトを交換してください。
- バックルの内部に異物が入ったり、飲み物をこぼしたりしたときは、シートベルトが正常に機能を発揮しないおそれがありますので、スズキサービス工場で点検を受けてください。
- ベルトをドアにはさまないでください。ドアを閉める前に、ベルトがたるみなく巻きもどされているか確認してください。
- ベルトを改造したり、取り外したりしないでください。

お手入れ

お手入れの方法は、布地などと同様です。

→ **6-5ページ（布地、ビニールレザー、樹脂部品などの手入れ）**

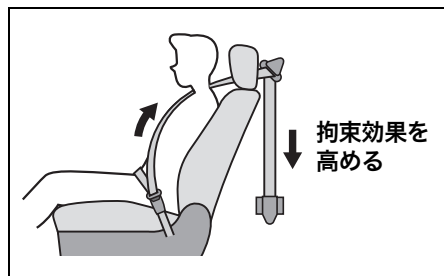
⚠警告

漂白剤、溶剤、染料を使用しないでください。しみ、変色、強度低下の原因となります。

シートベルトプリテンショナー（前席のみ）

シートベルトプリテンショナーとは

エンジンスイッチが ON のときに、次のような状況になると、肩ベルトを瞬時に巻き取ります。

- 車の前方向から強い衝撃を受けたとき。運転席・助手席 SRS エアバッグシステムと連動しています。
- 車の側面（前席乗員付近）に横方向から強い衝撃を受けたとき。SRSサイド／カーテンエアバッグシステムと連動しています。
  → **3-58ページ（SRSエアバッグシステムの作動）**

80J1018

⚠注意

プリテンショナーが一度でも作動すると、ベルトを引き出すことも巻き取ることもできなくなります。スズキサービス工場で交換してください。

正常に機能させるために

シートベルトプリテンショナーの機能に影響をあたえる部品に手を加えないでください。シートベルトが思いがけないときに巻き取られたり、必要なときに正常に巻き取られなくなったりすることがあります。

→ **2-27 ページ（部品の取付け、取外し、修理をするときは）**

SRSエアバッグ警告灯

80J111

メーターパネル内にあります。

- シートベルトプリテンショナー、SRSエアバッグの電子制御システムに異常があると、エンジンスイッチが ON のときに点灯します。
  → **3-66ページ（警告灯・表示灯の見かた）**

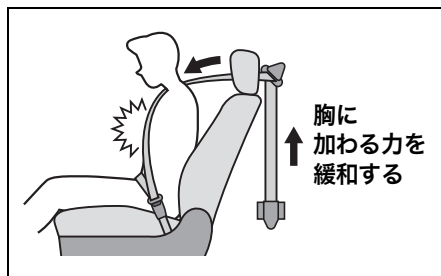
廃棄や廃車

作動していないシートベルトプリテンショナーは、決められた手順で作動させてから廃棄する必要があります。

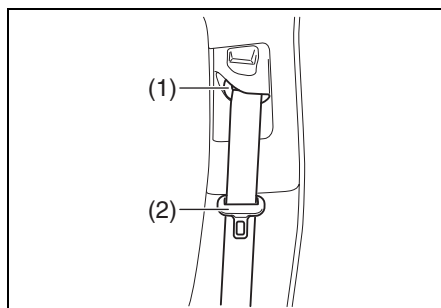
⚠注意

プリテンショナーを廃棄するときや、装備車を廃車するときは、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

シートベルト可変フォースリミッター（前席のみ）

車の前方向から強い衝撃を受けると、シートベルト巻取り装置内のシートベルト可変フォースリミッターが作動し、乗員に一定以上の荷重がかからないように肩ベルトを２段階に繰り出して、衝撃を緩和します。

80J1039

⚠警告

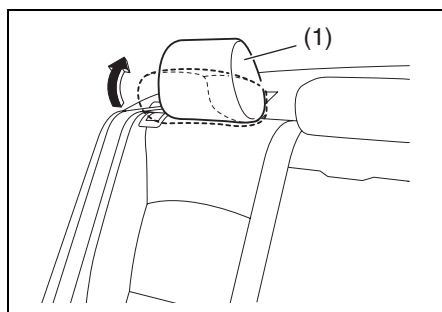
強い衝撃を受けたシートベルトは、ショルダーアンカー部（1）およびタングプレート部（2）の樹脂が強いまさつで溶けてベルトに付着し、ベルトが滑りにくくなります。このような場合は、シートベルトが本来の機能を発揮できません。スズキサービス工場で交換してください。

57L30077

お子さま用シートのシートベルトによる固定

- お子さま用シートは、お子さまの年齢や体格に合った適切なものを選んでください。
  → **3-46 ページ（お子さま用シートの選択について）**
- ISOFIXタイプのお子さま用シート（別売り）を取り付けるときは、**3-33 ページ**の「**チャイルドシート固定専用金具**」をお読みください。

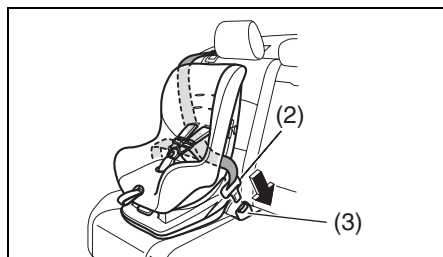
固定のしかた

お子さま用シートに付属の取扱説明書をあわせてお読みください。

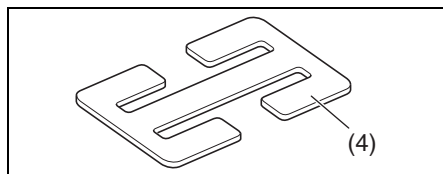
1. お子さま用シートがヘッドレスト（1）にあたるのを防ぐため、ヘッドレストを後方へ起こします。
   → **3-31 ページ（左右席ヘッドレストの高さ調節と取外し・取付け）**

57L30047

2 お子さま用シートの所定の部位にシートベルトを通して、カチッと音がするまで、タングプレート（2）をバックル（3）にしっかりと差し込みます。

- シートベルトを通す部位についてはお子さま用シートに付属の取扱説明書で確認してください。

57L0058

3 お子さま用シートに備わっているシートベルト固定機構またはお子さま用シートに付属のロッキングクリップ（4）を使用してしっかりと固定します。

- シートベルト固定機構またはロッキングクリップの使用方法については、お子さま用シートに付属の取扱説明書で確認してください。

57L30152

- 上図のロッキングクリップは代表例です。

⚠警告

シートベルト固定機構もロッキングクリップも備わっていないお子さま用シートは固定できないため、この車に取り付けることはできません。急ブレーキをかけたときや衝突時に、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

4 お子さま用シートを前後左右にゆすって、がたつきがなく確実に固定されているか確認します。

- お子さま用シートの形状によっては、確実に固定するためにスペーサーなどが必要となる場合があります。がたつきがある場合は、お子さま用シートに付属の取扱説明書をご確認いただくか、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

⚠警告

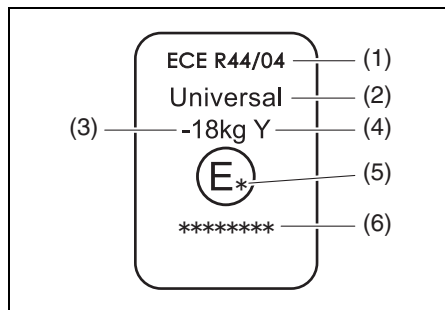
お子さま用シートは確実に固定してください。急ブレーキをかけたときや衝突時に、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

お子さま用シートの選択について

お子さま用シートは、この項目をよく読んだうえで、お子さまの年齢や体格に合った適切なものを選んでください。

- **2-5 ページ**の「**お子さまを乗せるときは**」もよくお読みください。
- この車は、2006年10月1日施行の新保安基準に適合したISOFIX対応チャイルドシート固定専用金具（ISOFIXアンカーおよびテザーアンカー）を装備しています。
  → **3-33ページ（チャイルドシート固定専用金具）**

ECE R44の基準に適合するお子さま用シートの認証マークについて

ECE R44（※1）の基準に適合するお子さま用シートには、次のような認証マークが表示されています。

51K1022

(1) 法規番号
(2) お子さま用シートのカテゴリー（※2）
(3) 対象となるお子さまの体重範囲
(4) 装置の仕様
(5) お子さま用シートを認可した国番号
(6) お子さま用シートの認可番号

- 上図の認証マークは代表例です。

※1　ECE R44とは、お子さま用シートに関する国際法規です。
※2　前図の「**Universal**」は、汎用カテゴリーの認可であることを表します。

アドバイス

この車のスズキ純正お子さま用シートは、ECE R44の基準に適合しています。

ECE R44の基準に適合するお子さま用シートの、座席位置別適合性一覧表の見かた

→ **3-50ページ（ECE R44の基準に適合するお子さま用シートの、座席位置別適合性一覧表）**

■ 質量グループについて

- ECE R44の基準に適合するお子さま用シートは、次の5種類に分類されます。

質量グループ	お子さまの体重
グループ0	10kgまで
グループ0+	13kgまで
グループⅠ	9〜18kg
グループⅡ	15〜25kg
グループⅢ	22〜36kg

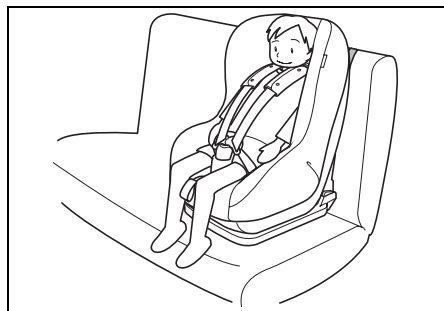
- 代表的なお子さま用シートには、次のようなものがあります。

ベビーシート

後ろ向き、または横向き装着のお子さま用シートで、首がすわっていないお子さま、ひとりすわりのできないお子さまに使用します。ECE R44基準のグループ**0**、**0+**に相当します。

57L0060

チャイルドシート

前向き装着のお子さま用シートで、シートベルトが首やあごにかかるときや、腰骨にかからないようなお子さまに使用します。ECE R44 基準のグループ **I** に相当します。

57L0061

ジュニアシート

前向き装着のお子さま用シートで、シートベルトが首やあごにかかるときや、腰骨にかからないようなお子さまに使用します。ECE R44 基準のグループ **II**、**III** に相当します。

57L0062

■ ISOFIXタイプのお子さま用シートの、サイズ等級について

サイズ等級は、お子さま用シートに表示される分類記号です。次の一覧表をご覧ください。

サイズ等級		説明
A	ISO/F3	全高前向き幼児用チャイルドシート
B	ISO/F2	低型前向き幼児用チャイルドシート
B1	ISO/F2X	低型前向き幼児用チャイルドシート (ISO/F2とは別形状)
C	ISO/R3	大型後ろ向き幼児用チャイルドシート
D	ISO/R2	小型後ろ向き幼児用チャイルドシート
E	ISO/R1	後ろ向き乳児用チャイルドシート
F	ISO/L1	左向き位置用チャイルドシート（キャリコット※）
G	ISO/L2	右向き位置用チャイルドシート（キャリコット※）

※キャリコットとは、お子さまを寝かせた姿勢で横向きに取り付けることができるベビーシートの一つです。
詳しくは、お子さま用シートの製造元または販売店にご相談ください。

ECE R44の基準に適合するお子さま用シートの、座席位置別適合性一覧表

■ シートベルトによる固定

質量グループ	着席位置		
	助手席	後席外側	後席中央
グループ0 （10kgまで）	X	U 注1）	X
グループ0+ （13kgまで）	X	U 注1）	X
グループⅠ （9～18kg）	UF	U 注1）	X
グループⅡ （15～25kg）	UF	UF 注1）	X
グループⅢ （22～36kg）	UF	UF 注1）	X

＜上表に記入する文字の説明＞

U　：この質量グループでの使用を許可された汎用（ユニバーサル）カテゴリーのお子さま用シートに適しています。

UF：この質量グループでの使用を許可された汎用（ユニバーサル）カテゴリーの前向きお子さま用シートに適しています。

X　：お子さま用シートの取付けには適していません。

注1） お子さま用シートを取り付ける座席のヘッドレストを後方へ起こします。
→　**3-29ページ（左右席ヘッドレストの高さ調節と取外し・取付け）**

- シートベルトを使用してお子さま用シートを取り付けるときは、**3-45 ページ**の「**お子さま用シートの シートベルトによる固定**」をお読みください。
- ISOFIX　タイプのお子さま用シートの種類によっては、上表の質量グループでの使用に適していても、取り付けができない場合があります。詳しくは、次ページの「**チャイルドシート固定専用金具による固定**」をお読みください。

アドバイス

- 表に記載されていないお子さま用シートを使用する場合は、お子さま用シートの製造元または販売店にご相談ください。
- 取り付けるときは、お子さま用シートに付属の取扱説明書をあわせてお読みください。

■ チャイルドシート固定専用金具による固定

質量グループ	サイズ等級		チャイルドシート固定専用金具の位置		
			助手席	後席外側	後席中央
キャリコット	F	ISO/L1	N.A.	X	N.A.
	G	ISO/L2	N.A.	X	N.A.
グループ0（10kgまで）	E	ISO/R1	N.A.	IL 注1）	N.A.
グループ0+（13kgまで）	E	ISO/R1	N.A.	IL 注1）	N.A.
	D	ISO/R2	N.A.	X	N.A.
	C	ISO/R3	N.A.	X	N.A.
グループ I（9～18kg）	D	ISO/R2	N.A.	X	N.A.
	C	ISO/R3	N.A.	X	N.A.
	B	ISO/F2	N.A.	IUF 注1）	N.A.
	B1	ISO/F2X	N.A.	IUF 注1）	N.A.
	A	ISO/F3	N.A.	IUF 注1）	N.A.
グループII（15～25kg）			N.A.	X	N.A.
グループIII（22～36kg）			N.A.	X	N.A.

＜上表に記入する文字の説明＞

IUF ：この質量グループでの使用を許可された汎用（ユニバーサル）カテゴリーのISOFIX対応前向きお子さま用シートに適しています。
IL ：この質量グループでの使用を許可された準汎用（セミユニバーサル）カテゴリーの「スズキ純正ベビーシート」に適しています。
X ：ISOFIX対応お子さま用シートの取付けには適していません。
N.A.：この位置にはチャイルドシート固定専用金具が装備されていないため、ISOFIXタイプのお子さま用シートを取り付けることはできません。

注1） お子さま用シートを取り付ける座席のヘッドレストを後方へ起こします。
→ **3-31ページ（左右席ヘッドレストの高さ 調節と取外し・取付け）**

- チャイルドシート固定専用金具を使用してお子さま用シートを取り付けるときは、**3-33ページ**の「**チャイルドシート固定専用金具**」をお読みください。

アドバイス

- 表に記載されていないお子さま用シートを使用する場合は、お子さま用シートの製造元または販売店にご相談ください。
- 取り付けるときは、お子さま用シートに付属の取扱説明書をあわせてお読みください。

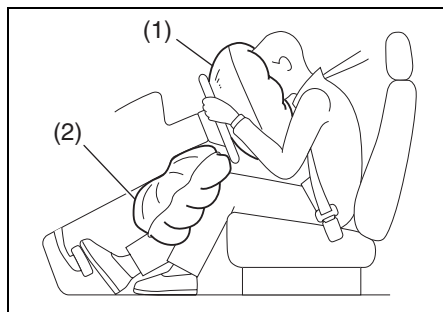
SRSエアバッグ車を運転するときは

SRSエアバッグシステムとは

SRS とは Supplemental Restraint System（サプリメンタル　レストレイント　システム）の略で、補助拘束装置の意味です。

■ 運転席・助手席 SRS エアバッグシステム、運転席 SRS ニーエアバッグシステム

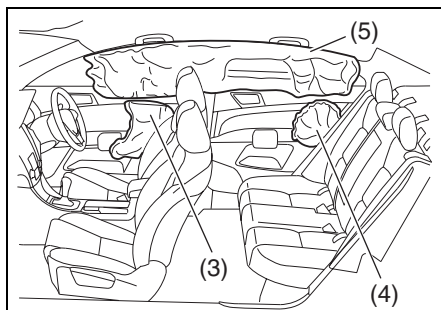
エンジンスイッチが ON の場合に、車の前方向から強い衝撃を受け、シートベルトを着用していてもハンドルや助手席側インパネに顔面があたるような強い衝突のときに、運転席・助手席 SRS エアバッグおよび運転席SRSニーエアバッグが瞬時にふくらむ構造になっています。

- 運転席・助手席SRSエアバッグシステムは、ふくらんだ SRS エアバッグがクッションの役割をして、顔面への衝撃を軽減する効果があります。
- 運転席SRSニーエアバッグシステムは、ふくらんだ SRS ニーエアバッグがクッションの役割をして、運転者の挙動を適正化し、下半身への衝撃を軽減する効果があります。

(1) 運転席SRSエアバッグ
(2) 運転席SRSニーエアバッグ

- シートベルトは必ず着用してください。
  →　**3-40ページ（シートベルトの着用のしかた）**

■ SRSサイド／カーテンエアバッグシステム

エンジンスイッチが ON の場合に、車の側面（前席乗員付近）に横方向から強い衝撃を受けて、ドアと前席および後席外側乗員の頭部や胸部などが衝突するようなときに、衝撃を受けた側（運転席側または助手席側）のSRSサイド／カーテンエアバッグが瞬時にふくらむ構造となっています。

- SRS サイド／カーテンエアバッグシステムは、ふくらんだ SRS サイド／カーテンエアバッグがクッションの役割をして、シートベルトを着用した前席および後席外側乗員の主に頭部および胸部にかかる衝撃を軽減する効果があります。シートベルトは必ず着用してください。
  →　**3-40ページ（シートベルトの着用のしかた）**

(3) 前席SRSサイドエアバッグ
(4) 後席左右席SRSサイドエアバッグ
(5) SRSカーテンエアバッグ

- 上図は、運転席側が作動したときを代表しています。

⚠警告

- **SRS エアバッグシステムは、シートベルトに代わるものではありません。シートベルトと併用することで、その効果を発揮するシートベルトの補助拘束装置です。したがってSRS エアバッグシステムが装備されている車であっても、シートベルトを必ず着用してください。**
- **シートベルトは正しい姿勢で正しく着用してください。シートベルトを正しく着用しないと、SRS エアバッグの効果が十分発揮できません。**

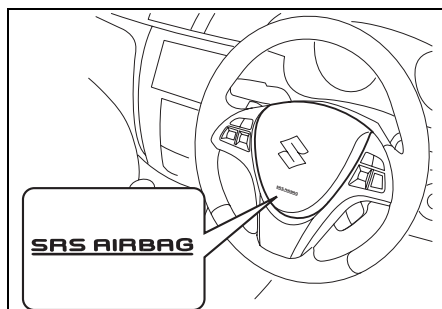
51K0007

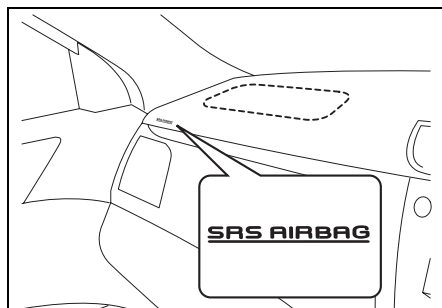
アドバイス

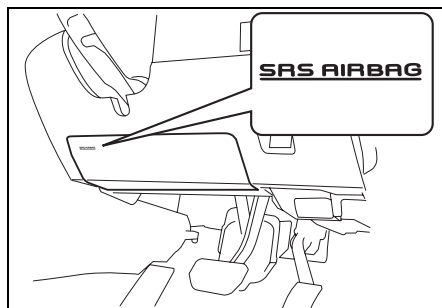
- 助手席 SRS エアバッグは、助手席に同乗者が乗っていなくても、運転席SRS エアバッグおよび運転席 SRSニーエアバッグと同時にふくらみます。
- 乗員の有無に関係なく、衝撃を受けた側の SRS サイド／カーテンエアバッグがふくらみます。

表示と収納場所

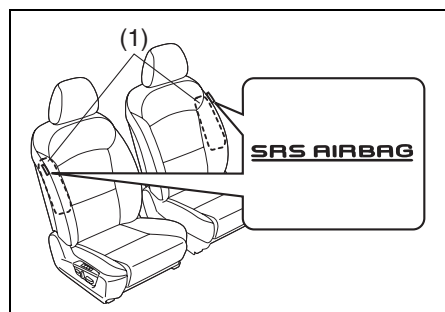
“SRS AIRBAG”の表示がある付近に収納されています。

■ 運転席SRSエアバッグ

57L30082

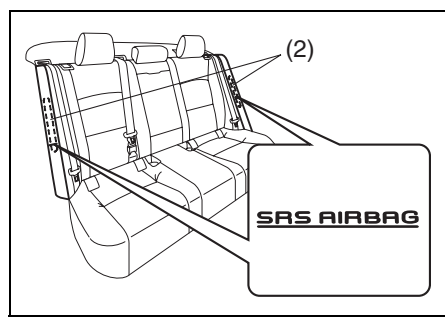
■ 助手席SRSエアバッグ

57L30083

■ 運転席SRSニーエアバッグ

57L30064

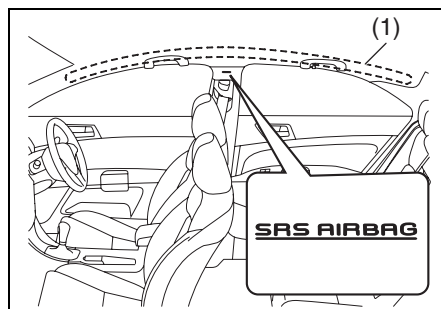
■ 前席SRSサイドエアバッグ

前席背もたれのドア側に収納されています。前席シートには、図のようなタグがついています。

(1) 前席SRSサイドエアバッグ

■ 後席左右席SRSサイドエアバッグ

後席背もたれのドア側にあるカバー内に収納されています。カバーには、図のような表示がついています。

(2) 後席左右席SRSサイドエアバッグ

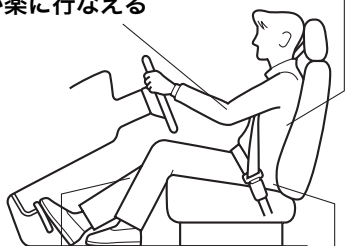
■ SRSカーテンエアバッグ

運転席側および助手席側のルーフサイドに収納されています。また、ピラーには図（運転席側を代表）のような表示がついています。

(3) SRSカーテンエアバッグ

⚠警告

- **エアバッグの収納部分に傷がついていたり、ひび割れがあったりするときは、スズキサービス工場で交換してください。エアバッグが正常に作動しないおそれがあります。**
- **エアバッグの収納場所を強打したり、衝撃を加えたりしないでください。また、ドアを窓ガラスが割れるほど強く閉めないでください。エアバッグが正常に作動しなくなったり誤ってふくらんだりして、思わぬ傷害を受けるおそれがあります。**

着座姿勢

運転者および助手席の同乗者は、シートに奥深くすわり、背もたれに背中を軽くつけてください。また、シートを前方に出し過ぎないようにシートの位置を調節してください。
とくに助手席の同乗者は、後席の同乗者のさまたげにならない位置までシートを後方に移動し、助手席SRSエアバッグからできるだけ離れてすわってください。
→ **3-26ページ（正しい運転姿勢）**

80J177

⚠ 警告

SRS サイド／カーテンエアバッグが作動したときの強い衝撃で、重大な傷害を受けるおそれがあります。窓から手を出したり、ドアにもたれかかったりしないでください。また、後席に乗るときは、前席の背もたれを抱えないでください。とくにお子さまには注意してください。

80J061

80J062

お子さま用シートの取付け

→ 2-6 ページ（お子さま用シートの使用について）
→ 3-45 ページ（お子さま用シートのシートベルトによる固定）
→ 3-46ページ（お子さま用シートの選択について）

SRSエアバッグシステムの取扱い

SRS エアバッグシステムを正常に機能させるために

SRSエアバッグがふくらむ範囲に物があると、物が飛ばされたりSRSエアバッグが正常にふくらまなくなったりするおそれがあります。

⚠ 警告

- **サスペンションを改造しないでください。車高やサスペンションの硬さが変わると、SRS エアバッグの誤作動の原因になります。**

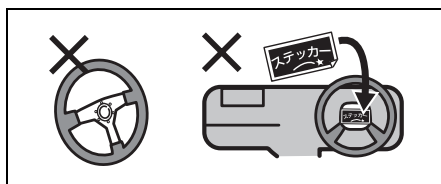
3

⚠警告

- 車両前部にグリルガードなどを装着するときは、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。車両前部を改造すると、SRS エアバッグが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- 無線機などを取り付けるときは、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。無線機の電波などがSRS エアバッグのコンピューターに悪影響をあたえるおそれがあります。
- SRS エアバッグが作動しない程度の事故であっても、事故後はスズキサービス工場で点検を受けてください。システム本来の機能が損なわれていると、万一のときに SRS エアバッグの効果が十分に発揮できないおそれがあります。
- SRS エアバッグは、その機能に影響をあたえる部品に手を加えると、思いがけないときにふくらんだり、必要なときに正常に作動しなくなったりすることがあります。次のような場合は、システムに悪影響をおよぼします。事前にスズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。
  - ハンドルの取外し、ハンドルまわりの修理など
  - インパネまわり、センターコンソール付近の修理および電気配線の修理
  - オーディオ用品などの取付け
  - ダッシュボード周辺の板金塗装および修理
  - シートの交換およびシートまわりの修理
  - フロントピラー、バックピラーおよびルーフサイドまわりの修理
  - センターピラーまわりの修理

■ 運転席SRSエアバッグについて

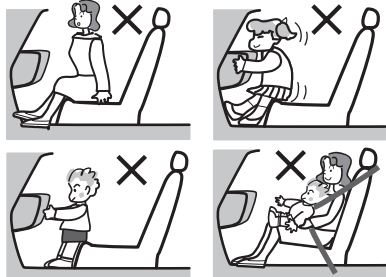
⚠警告

- ハンドルにもたれかかるなどして、SRS エアバッグ収納部に手や顔、胸などを近づけないでください。SRS エアバッグが作動したときの強い衝撃で、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ハンドルを交換する、ハンドルのパッド部にステッカーを貼る、色をぬる、カバーでおおうなどの改造をしないでください。万一のときにSRSエアバッグが正常にふくらまなくなるおそれがあります。

80J094

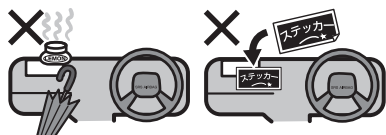
■ 助手席SRSエアバッグについて

⚠警告

- 助手席に乗車するときや、お子さまを乗せるときは、必ず次のことをお守りください。守らないとSRS エアバッグが作動したときの強い衝撃で、重大な傷害を受けるおそれがあります。
  - インパネのSRS エアバッグ収納部に手足を置いたり、顔や胸などを近づけたりしないでください。

- お子さまをSRSエアバッグ収納部の前に立たせたり、ひざの上に抱いてすわったりしないでください。お子さまは後席に乗せて、シートベルトを着用させてください。

80J095

- シートベルトを正しく着用できないお子さまは、ベビーシート、チャイルドシート、ジュニアシートに乗せてください。

●インパネ上面には、ステッカーを貼ったり色をぬったりしないでください。また、アクセサリーや芳香剤、ETC車載器やポータブルカーナビなどを取り付けたり置いたり、傘などを立てかけたりしないでください。

80J096

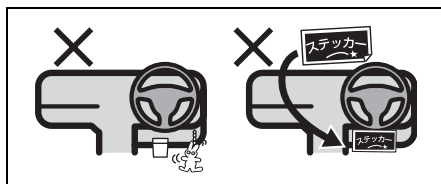
●フロントガラスやルームミラーにアクセサリー（スズキ純正品を除く）などを取り付けないでください。

■ 運転席 SRS ニーエアバッグについて

⚠警告

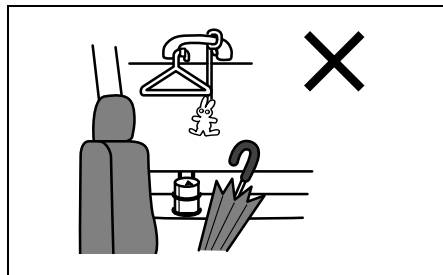
ハンドルの下のインパネには、ステッカーを貼ったり色をぬったりしないでください。また、アクセサリーや ETC 車載器などを取り付けないでください。万一のときに SRS ニーエアバッグが正常にふくらまなくなるおそれがあります。

57L30116

3

■ SRS サイド／カーテンエアバッグについて

⚠警告

●前席にシートカバーを取り付けるときは、SRS サイドエアバッグ装備車専用のスズキ純正レースハーフカバーを使用し、付属の取扱説明書をよくお読みください。正しい向きと位置に取り付けないと、SRS サイドエアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。また、純正の専用品以外の物を使用すると、SRS サイドエアバッグが正常に作動しなくなる原因となります。

●ドア付近にカップホルダーやハンガーなどのアクセサリー用品を取り付けたり、傘などを立てかけたりしないでください。また、後席アシストグリップについているコートフックに服をかけるときは、ハンガーを使わずに直接服をかけてください。SRS サイド／カーテンエアバッグが作動したときに、これらの物が飛散したり正常にふくらまなくなったりして、重大な傷害につながるおそれがあります。

51K0174

SRSエアバッグシステムの作動

作動したとき

- エアバッグは、高温のガスで瞬時にふくらみます。事故の発生状況や乗員の姿勢によっては、擦過傷、打撲、やけどなどを負うことがあります。
- ふくらんだエアバッグは、すぐにしぼむ構造になっています。

⚠警告

エアバッグが作動したあとは、エアバッグの構成部品に触れないでください。作動直後は構成部品が熱くなり、やけどのおそれがあります。

⚠注意

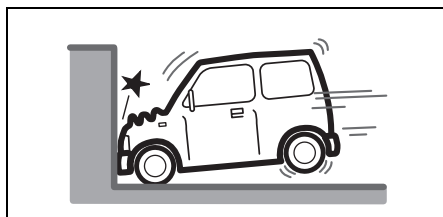
エアバッグが作動すると大きな音がして白い煙のようなガスが出ますが、火災ではありません。また、人体への影響もありません。
ただし、残留物が目や皮膚などに付着したときは、できるだけ早く水で洗い流してください。皮膚の弱い方などは、まれに皮膚を刺激する場合があります。

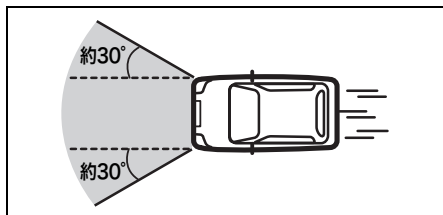
アドバイス

エアバッグは再使用できません。
スズキサービス工場で交換してください。

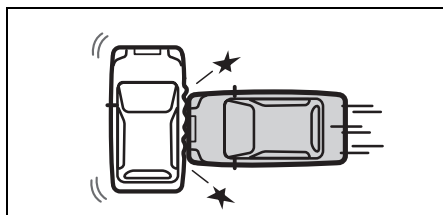
こんなとき作動します

■ 運転席・助手席 SRS エアバッグ、運転席SRSニーエアバッグ

- 衝突しても変形や移動をしない構造物（コンクリートの壁など）に、約 25 km/h以上の速度で正面衝突したとき

80J097

- 車両の前方約　30°以内の方向から、上図と同等の強い衝撃を受けたとき

80J098

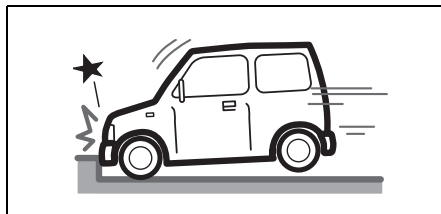
■ SRSサイド／カーテンエアバッグ

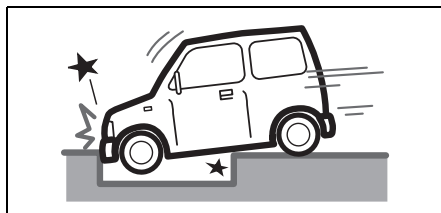
自車と同等の車が約25 km/h以上の速度で横方向から客室部に衝突したとき、またはそれと同等以上の衝撃を受けたとき

80J119

こんなとき作動することがあります

■ 運転席・助手席 SRS エアバッグ、運転席SRSニーエアバッグ

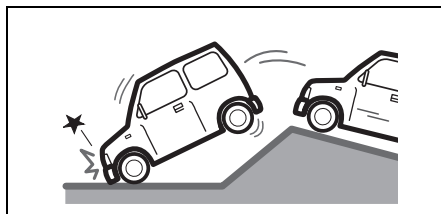
車体下部に強い衝撃を受けると、多くの場合作動します。

- 縁石や中央分離帯などに衝突したとき

80J099

- 深い穴や溝などに落ちたとき

80J100

- ジャンプして地面にぶつかったり、道路から落下したりしたとき

80J101

3

こんなとき、衝撃が強いと作動する場合もあります

■ 運転席・助手席 SRS エアバッグ、運転席SRSニーエアバッグ

後方、横方向からの衝突、横転などでは基本的に作動しませんが、衝撃が強いとまれに作動する場合があります。

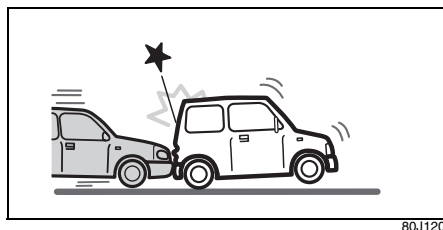
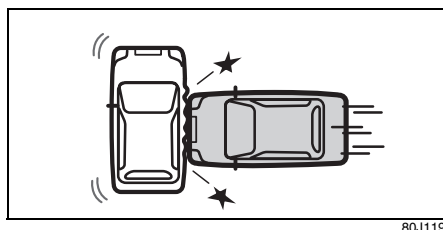
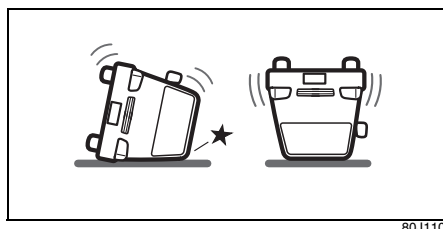
● 後方からの衝突

80J120

● 横方向からの衝突

80J119

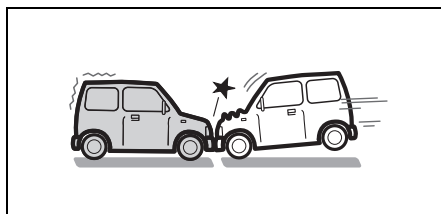
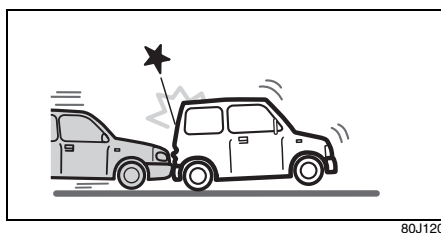
● 横転や転覆をしたとき

80J110

■ SRSサイド／カーテンエアバッグ

● 前方からの衝突

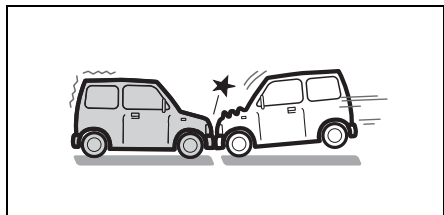
80J102

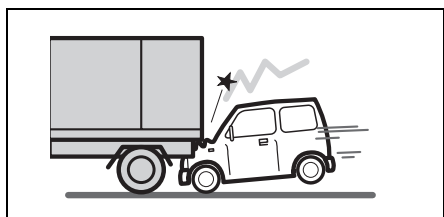
● 後方からの衝突

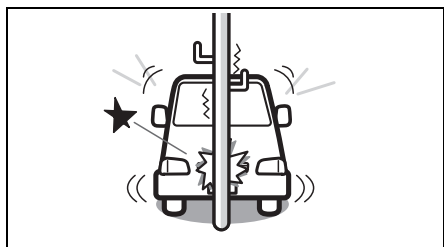
80J120

こんなとき作動しないことがあります

■ 運転席・助手席 SRS エアバッグ、運転席SRSニーエアバッグ

衝突の相手が移動したり、車体が大きく変形したりして衝撃が吸収されたときや、衝突の角度が前方約 30˚ を超えるとき、多くの場合は作動しません。

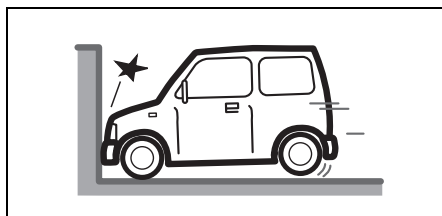
- 停車している同程度の重さの車に、50 km/h程度、もしくはそれ以下の速度で正面から衝突したとき

80J102

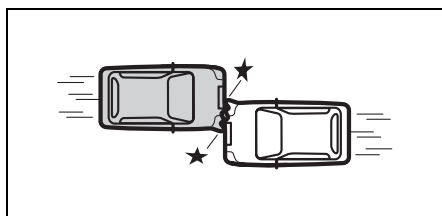
- トラックの荷台の下などへもぐり込んだとき

80J103

- 電柱や立木などに衝突したとき

80J104

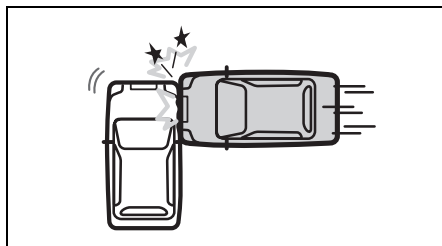
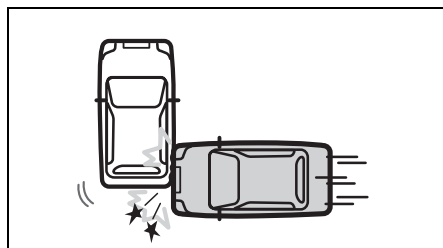
- 前方約30°を超える角度で、コンクリートの壁やガードレールなどに衝突したとき

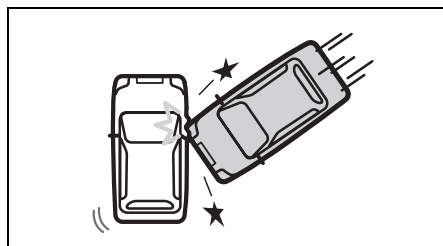
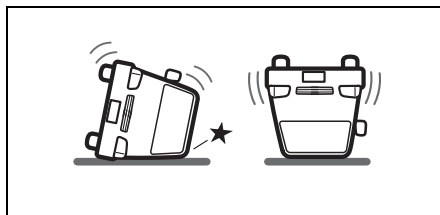
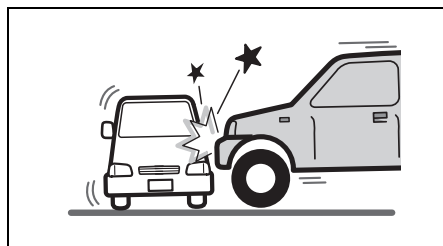
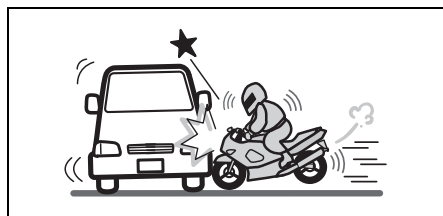
80J105

- 衝突時に変形、移動しないコンクリートのような固い壁に正面衝突したときであっても衝突速度が約25 km/h以下のとき

80J106

- 衝突の方向が車両の中心からずれたとき（オフセット衝突）

80J107

■ SRSサイド／カーテンエアバッグ

- 客室部以外（エンジンルームや荷室部）に側面から衝突されたとき

80J121

80J122

- 側面の斜め方向から衝突されたとき

80J123

- 車高の高い車に側面から衝突されたとき

80J124

- 二輪車に側面から衝突されたとき

80J125

- 電柱、立ち木などに衝突したとき

80J126

- 横転または転覆したとき

80J110

SRSエアバッグ警告灯

80J111

メーターパネル内にあります。

- SRS エアバッグ、シートベルトプリテンショナーの電子制御システムに異常があると、エンジンスイッチが ON のときに点灯します。
  →　**3-66ページ**
  （警告灯・表示灯の見かた）

廃棄と廃車

作動していないエアバッグを廃棄するときは、決められた手順で作動させてから廃棄する必要があります。

80J112

⚠注意

エアバッグを廃棄するときや、装備車を廃車するときは、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。正しく取り扱わないと、エアバッグが思いがけないときにふくらんで、けがをすることがあります。

イベントデータレコーダー(EDR)とは

この車は、SRSエアバッグシステムを制御するためのコンピューターを搭載しています。このコンピューターは、SRSエアバッグシステムが正常に作動しているかどうかを常に診断するとともに、エアバッグが作動するような事故のときに、衝突時点やその前後の車両データを記録するイベントデータレコーダー(EDR) システムを備えています。

EDRに記録するデータ

- SRS エアバッグシステムの故障診断情報
- SRSエアバッグ作動に関する情報
- 車速
- アクセルペダルの踏み込み具合
- ブレーキ作動の有無
- 運転席シートベルトの着用有無　等

アドバイス

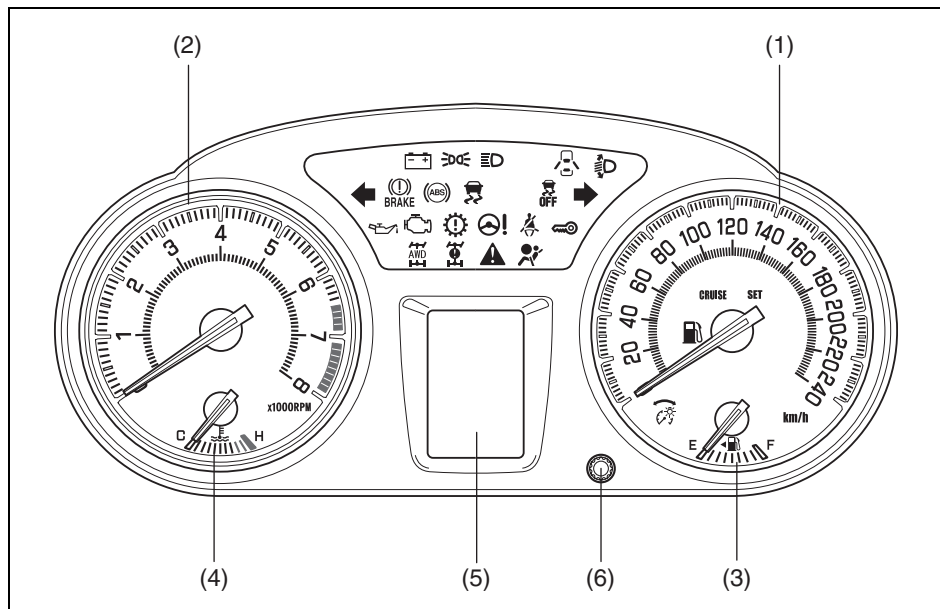
- お車のタイプなどにより、記録されるデータは異なります。
- EDRは、一般的なデータレコーダーとは異なり、会話などの音声や映像は記録しません。

EDRデータの開示について

スズキおよびスズキが委託した第三者は、EDRに記録されたデータを、車両衝突安全性能の向上などを目的に取得・利用することがあります。
なお、スズキおよびスズキが委託した第三者は、次の場合を除き、取得したデータを第三者へ開示・提供しません。

- お車の使用者の同意がある場合
- 法令、裁判所命令その他法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行なうなど、使用者や車両が特定できないように加工したデータを、研究機関などに提供する場合

メーターの見かた

イラストは代表例です。お車のタイプにより、このイラストと異なることがあります。

(1)スピードメーター(速度計)
(2)タコメーター(エンジン回転計)
(3)燃料計
(4)水温計
(5)インフォメーションディスプレイ
→ **3-73ページ(インフォメーション ディスプレイ)**
(6)明るさ調節ノブ

(1)スピードメーター(速度計)

走行速度がkm/hで示されます。

(2)タコメーター(エンジン回転計)

1 分間あたりのエンジン回転速度(回転数)が示されます。

⚠注意

- **エンジン保護のため、指針がレッドゾーン(※)に入らないように運転してください。**

  ※エンジンの許容回転を超えていることを示す赤色表示範囲

- **シフトダウンすると、エンジン回転が上がります。とくに注意してください。**

(3)燃料計

エンジンスイッチが ON のとき、燃料残量の目安が示されます。

アドバイス

- 燃料残量警告灯が点灯したときは、すみやかに給油してください。
  → **3-68ページ（燃料残量警告灯）**
- 給油後は、エンジンスイッチを ON にしてから指針が正しい量を示すまでに、少し時間がかかります。
- 坂道やカーブなどでは、タンク内の燃料が移動するため、指針が振れることがあります。
- ⛽ の左にある ◀ 印は、給油口（フューエルリッド）が助手席側車両後方にあることを示します。

(4)水温計

エンジンスイッチが ON のときに、エンジン冷却水の温度が示されます。

⚠注意

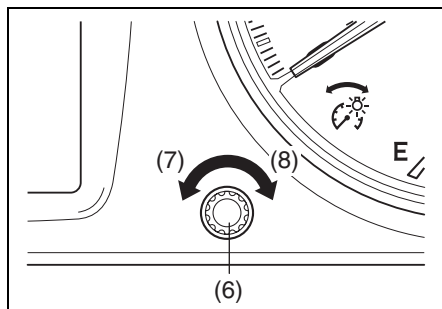
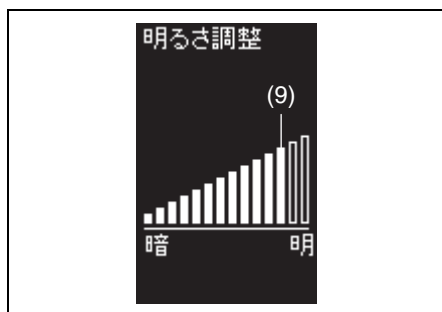
指針が H 側に近づいたときは、オーバーヒートのおそれがあります。ただちに安全な場所に車を止め、処置をしてください。
→ 7-23ページ（オーバーヒートしたときは）

メーターの照明

エンジンスイッチを ON にすると点灯し、ACC または LOCK（OFF）にすると消灯します。

■ メーターやスイッチ照明の明るさ調節

ライト点灯時と消灯時のそれぞれで 7 段階に調節できます。

- エンジンスイッチが ON のときに、メーターの右側にある明るさ調節ノブ（6）を左右にまわします。調節の状態は、インフォメーションディスプレイ（5）に表示されます。
- 連続して調節するときは、ノブをまわしたままにします。

(7) 暗い (8) 明るい

(9) 初期状態

⚠警告

走行中は明るさ調節をしないでください。操作に気を取られて、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 調節中に、明るさ調節ノブを5秒以上まわさないでいると、インフォメーションディスプレイはもとの表示にもどります。
- バッテリーを外すと記憶が消去され、初期状態にもどります。再度、明るさ調節をしてください。

警告灯・表示灯の見かた

イラストは代表例です。お車のタイプにより、このイラストと異なることがあります。

57L0008

(1)ブレーキ警告灯(※)
(2)シートベルト警告灯
(3)SRSエアバッグ警告灯(※)
(4)燃料残量警告灯
(5)ABS警告灯(※)
(6)AWD警告灯(※)
(7)オートレベリング警告灯(※)
(8)エンジン警告灯(※)
(9)パワーステアリング警告灯(※)
(10)油圧警告灯(※)
(11)充電警告灯(※)
(12)トランスミッション警告灯(※)
(13)イモビライザー警告灯(※)
(14)半ドア警告灯
(15)方向指示器表示灯
(16)ヘッドライト上向き表示灯
(17)ライト点灯表示灯
(18)ESP® OFF表示灯(※)
(19)ESP®作動表示灯(※)
(20)AWDモード表示灯(※)
(21) CRUISE表示灯
(22)SET表示灯
(23)マスターウォーニング(※)
(24)CRUISE表示灯(※)
(25)PRECRS(プリクラッシュ)表示灯(※)

※印の警告灯・表示灯は、エンジンスイッチを ON にしたときに初期点灯するのが正常です。点灯しない場合は、スズキサービス工場で点検を受けてください。

(1)ブレーキ警告灯

80J220

- 次のような状況になると、エンジンスイッチが ON のときに点灯します。
  - ブレーキ液が不足している
  - パーキングブレーキをかけている
  - ブレーキのシステムに異常がある
- システムが正常で、パーキングブレーキを完全に解除しているときは、エンジンスイッチを ON にすると約2秒間点灯したあと消灯します。
- 走行中に一時的に点灯しても、そのあと消灯し再点灯しなければ正常です。

⚠警告

- **次のようなときはただちに安全な場所に停車し、スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。**
  - **パーキングブレーキを完全に解除しても消灯しないときや、走行中に点灯したとき。ブレーキの効きが悪くなっていることがあります。ブレーキペダルを強く踏んで停車してください。**
  - **ブレーキ警告灯とABS警告灯が同時に点灯したままのとき。ABS に異常が発生しているだけでなく、ブレーキペダルを強く踏むと車両が不安定になるおそれがあります。**
- **パーキングブレーキの解除忘れにご注意ください。パーキングブレーキをかけたまま走行すると、ブレーキ装置が過熱して、ブレーキが効かなくなるおそれがあります。また、室内ブザーが“ピピピッ、ピピピッ”と鳴り続けます。**
  →　4-10ページ（パーキングブレーキ解除忘れ警告ブザー）

(2)シートベルト警告灯

80J221

運転者がシートベルトを着用していないと、エンジンスイッチが ON のときに点灯します。
また、エンジンをかけて走行を開始してから、最初に車速が約 15 km/h 以上になったときに運転者がシートベルトを着用していない場合、シートベルト警告ブザーが断続的に鳴るとともに、警告灯が点灯から点滅に切り替わります。

- 運転者がシートベルトを着用しても、点灯または点滅したままのときは、システムの異常が考えられます。スズキサービス工場で点検を受けてください。

アドバイス

- 運転者がシートベルトを着用すると消灯します。また、警告ブザーが鳴っているときは、ブザーも止まります。
- 警告ブザーは運転者がシートベルトを着用しなくても、約95秒間鳴り続けたあとに止まります。ただし、警告灯は点滅から点灯に切り替わったまま、エンジンスイッチを ACC または LOCK (OFF)にするまで消灯しません。

(3)SRSエアバッグ警告灯

80J111

SRSエアバッグ、シートベルトプリテンショナーの電子制御システムに異常があると、エンジンスイッチが ON のときに点灯します。

- システムが正常な場合はエンジンスイッチを ON にしたときに、約6秒間点灯したあと消灯します。

⚠警告

次のような場合は、システムの異常が考えられます。スズキサービス工場で点検を受けてください。
- **運転中に点灯**
- **エンジンスイッチを ON にしても点灯しない**
- **エンジンスイッチを ON にしたあと、約6秒間たっても消灯しない**

(4)燃料残量警告灯

80J225

燃料の残量が少なくなると、エンジンスイッチが ON のときに点灯します。すみやかに給油してください。

アドバイス
- 点灯すると、メーター内のインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。
  → **3-79ページ（インフォメーションディスプレイのメッセージ）**
- 坂道やカーブなどではタンク内の燃料が移動するため、早めに点灯することがあります。
- 走りかたによって、点灯・消灯が繰り返されることがあります。

(5)ABS警告灯

80J127

ABS（アンチロックブレーキシステム）の電子制御システムに異常があると、エンジンスイッチが ON のときに点灯します。点灯中はABSが作動しません。スズキサービス工場で点検を受けてください。

- システムが正常な場合はエンジンスイッチを ON にしたときに、約2秒間点灯したあと消灯します。

⚠警告

ABS警告灯とブレーキ警告灯が同時に点灯したままのときは、ただちに安全な場所に停車し、スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。ABSに異常が発生しているだけでなく、ブレーキペダルを強く踏むと車両が不安定になるおそれがあります。

アドバイス

点灯中はABSは作動しませんが、通常のブレーキとして使用することができます。

(6)AWD警告灯

4WD車

57L30042

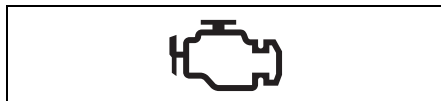
→ 4-22ページ
(駆動モードの切替え操作)

(7)オートレベリング警告灯

80J217

ディスチャージヘッドライト装備車では、オートレベリング(自動光軸調整)システムに異常があると、エンジンスイッチが ON のときに点灯します。

- システムが正常な場合は、エンジンスイッチを ON にしたときに、約2秒間点灯したあと消灯します。
- 走行中に点灯した場合は、安全な場所に停車し、エンジンを止めてください。再びエンジンスイッチを ON にしたときに、約2秒間点灯したあと消灯すれば、そのまま使用できます。
消灯せず再び点灯する場合は、システムの異常が考えられます。スズキサービス工場で点検を受けてください。

(8)エンジン警告灯

80J222

- エンジンの電子制御システムに異常があると、エンジン回転中に点灯します。
- エンジンの失火を検知すると、エンジン回転中に点灯または点滅します。
- システムが正常な場合はエンジンスイッチを ON にしたときに点灯し、エンジンがかかると消灯します。
- エンジン回転中に点灯・点滅したときは、スズキサービス工場で点検を受けてください。

⚠警告

点滅したときは、すみやかに停車しエンジンを止めてください。触媒装置が溶損するおそれがありますので、次のことに注意してください。

- **枯れ草などの燃えやすいものがない安全な場所に停車する**
- **やむをえず走行する場合はアクセルペダルを大きく踏み込む走行をしないで、低速で走行する**

3

(9)パワーステアリング警告灯

80J408

電動パワーステアリングシステムに異常があると、エンジン回転中に点灯します。スズキサービス工場で点検を受けてください。

- システムが正常な場合は、エンジンスイッチを ON にしたときに点灯し、エンジンがかかると消灯します。

⚠注意

電動パワーステアリングシステムに異常があると、電動パワーステアリングシステムの機能が停止し、ハンドル操作が重くなります。通常より大きな力で操作することは可能ですが、すみやかにスズキサービス工場で点検を受けてください。

(10)油圧警告灯

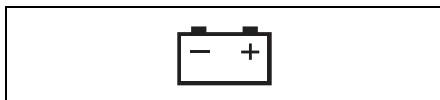
80J223

エンジン回転中に、エンジンの内部を潤滑するエンジンオイルの圧力が低下すると点灯します。

- システムが正常な場合は、エンジンスイッチを ON にしたときに点灯し、エンジンがかかると消灯します。
- エンジンオイルの量は、オイルレベルゲージで点検してください。点検方法は、「**メンテナンスノート**」を参照してください。
- エンジン回転中に点灯したときは、ただちに安全な場所に停車し、エンジンを止めてスズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。

⚠注意

点灯したまま走行を続けないでください。エンジンが破損するおそれがあります。

(11)充電警告灯

80J226

充電系統に異常があると、エンジン回転中に点灯します。

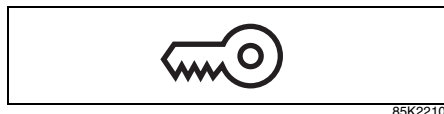
- システムが正常な場合は、エンジンスイッチを ON にしたときに点灯し、エンジンがかかると消灯します。
- エンジン回転中に点灯したときは、ベルト切れなどが考えられます。ただちに安全な場所に停車し、バッテリー保護のためエンジンを止めて、スズキ販売店またはスズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。

(12)トランスミッション警告灯

80J219

- CVT のシステムに異常があると、エンジンスイッチが ON のときに点灯します。スズキサービス工場で点検を受けてください。
- 運転中に、CVT オイルの温度が異常に高くなると点滅します。すみやかに安全な場所に停車してください。しばらくするとCVTオイルの温度が下がり、警告灯が消灯します。

- システムが正常な場合はエンジンスイッチを ON にしたときに、約2秒間点灯したあと消灯します。

(13)イモビライザー警告灯

85K2210

→　**4-3ページ**
(イモビライザーシステム)

(14)半ドア警告灯

80J1273

いずれかのドア、トランクリッドまたはボンネットが完全に閉まっていないと点灯します。

⚠警告

警告灯が点灯したまま走行しないでください。ドアが完全に閉まっていない半ドア状態のときは、走行中にドアが開き思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 点灯すると、メーター内のインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。
→　**3-79 ページ(インフォメーションディスプレイのメッセージ)**
- バッテリー保護のため、次の条件をすべてみたすと、自動的に消灯します。(バッテリーセーバー機能)
  - エンジンスイッチが LOCK (OFF)の位置
  - 点灯したまま15分が経過

(15)方向指示器表示灯

80J211

- 方向指示器／非常点滅灯を作動させると点滅します。
- 点滅が異常に速くなったときは、方向指示器／非常点滅灯の電球切れが考えられます。
→　**7-16ページ**
(電球を交換するときは)

(16)ヘッドライト上向き(ハイビーム)表示灯

80J212

ヘッドライトが上向きのときに点灯します。

(17)ライト点灯表示灯

80J1425

ヘッドライトや車幅灯が点灯している間、点灯します。

(18)ESP® OFF表示灯

57L30045

→ **4-51ページ（ESP®装備車の取扱い）**

(19)ESP®作動表示灯

79K019

→ **4-51ページ（ESP®装備車の取扱い）**

(20) AWDモード表示灯

4WD車

57L30044

→ **4-22ページ（駆動モードの切替え操作）**

(21)CRUISE表示灯

クルーズコントロール装備車

CRUISE

65J308

→ **4-25ページ（クルーズコントロール）**

(22)SET表示灯

クルーズコントロール装備車

SET

65D474

→ **4-25ページ（クルーズコントロール）**

(23)マスターウォーニング

78K049

メーター内のインフォメーションディスプレイにメッセージがあるとき、同時に点滅する場合があります。

- システムが正常な場合はエンジンスイッチを ON にしたときに、約2秒間点灯したあと消灯します。
  → **3-79 ページ（インフォメーションディスプレイのメッセージ）**

(24) CRUISE表示灯

アクティブクルーズコントロール装備車

CRUISE

65J308

→ 4-32ページ（アクティブクルーズコントロール）

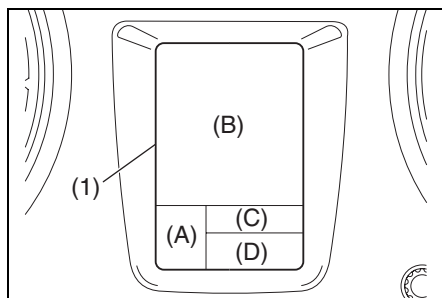
(25) PRECRS（プリクラッシュ）表示灯

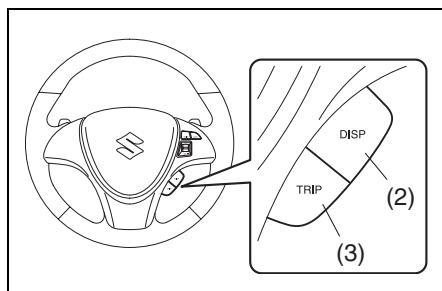
プリクラッシュセーフティシステム装備車

PRECRS

65J323

→ 4-41 ページ（プリクラッシュセーフティシステム）

インフォメーションディスプレイ

57L30067

(1) インフォメーションディスプレイ

57L30043

(2) DISPスイッチ　(3) TRIPスイッチ

● エンジンスイッチを ON にすると、インフォメーションディスプレイ (1) に少しの間、次のメッセージが表示されます。またそのあと各表示位置に、次の表のいずれかが表示されます。

57L30068

表示位置	表示される内容
(A)	●セレクトレバー位置／ギヤポジション／Mモード表示 → 3-74ページ
(B)	●メッセージ → 3-79ページ ●燃費、航続可能距離、平均車速 → 3-74ページ
(C)	● トリップメーター、外気温 → 3-76ページ
(D)	●オドメーター → 3-77ページ

アドバイス

メッセージの種類によっては、エンジンスイッチが ACC または LOCK（OFF）のときでも表示される場合があります。

セレクトレバー位置／ギヤポジション／Mモード表示

■ セレクトレバー位置表示

エンジンスイッチが ON のときに、表示位置（A）に表示されます。（マニュアルモード時を除く）

→ **4-11 ページ（セレクトレバーの各位置のはたらき）**

(4) セレクトレバー位置表示

■ ギヤポジション／M（マニュアル)モード表示

マニュアルモードのときに、表示位置（A）に表示されます。

→ **4-13ページ（マニュアルモードの使いかた）**

(5) ギヤポジション表示
(6) M(マニュアル)モード表示

燃費、航続可能距離、平均車速

メッセージがない場合は、エンジンスイッチが ON のときに、表示位置（B）に次のいずれかが表示されます。

- 瞬間燃費
- 平均燃費
- 航続可能距離
- 平均車速
- 表示なし

DISP スイッチ（2）を手前に引くと、次のように表示が切り替わります。

- 表示される燃費や航続可能距離は目安です。実際とは異なる場合があります。

⚠警告

走行中は、表示の切替え操作をしないでください。操作に気を取られて、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 表示は、スイッチを離したときに切り替わります。
- 走行中にメーター内のエンジン警告灯が点灯すると、燃費が正しく表示されない場合があります。

→　**3-69ページ（エンジン警告灯）**

■ 瞬間燃費

走行中の瞬間燃費が表示されます。

アドバイス

- 停車中は値が表示されません。
- 最大表示値は 30 です。下り坂などで燃料カット制御が作動しているときでも、それ以上の値は表示されません。

■ 平均燃費

表示をリセットしてからの平均燃費が表示されます。

- リセット方法は、セッティングモードで次の３つから選択できます。

→　**3-77ページ（セッティングモード）**

アドバイス

- リセット後しばらくは、値が表示されません。
- バッテリーを外すと、平均燃費の表示はリセットされます。

非連動（工場出荷時）

平均燃費が表示されているときに、DISP スイッチ（2）を手前に長く引くと、リセットされます。

アドバイス

手動によるリセットは、「給油連動」、「Trip A連動」を選択しているときでも可能です。

給油連動

給油するごとに自動的にリセットされます。

アドバイス

給油量が少ないと、自動的にリセットされない場合があります。

Trip A連動

トリップメーター A のリセットと連動してリセットされます。

→　**3-76 ページ（トリップメーター（区間距離計））**

■ 航続可能距離

現在の燃料残量で走行できるおよその距離が表示されます。

- 航続可能距離は過去の平均燃費をもとに算出される目安であるため、表示される距離を実際に走行できるとは限りません。
- 給油すると表示が更新されます。ただし、給油量が少ないと、表示が更新されない場合があります。

アドバイス

- 算出に使用される過去の平均燃費は、表示される平均燃費とは異なります。
- バッテリーを外すと過去の平均燃費の記憶が消去されますので、外す前までとは異なる値が表示される場合があります。
- エンジンスイッチを ON のままにして給油すると、正しい値が表示されない場合があります。
- 次のような場合は値が表示されません。
  - バッテリー接続後しばらくの間
  - 燃料残量警告灯の点灯中

→ **3-68ページ（燃料残量警告灯）**

■ 平均車速

表示をリセットしてからの平均車速が表示されます。

- リセットするときは、平均車速の表示中にDISPスイッチ（2）を手前に長く引きます。

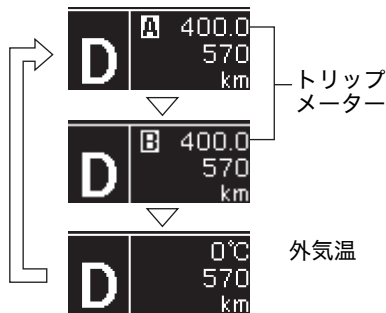
アドバイス

- リセット後しばらくは、値が表示されません。
- バッテリーを外すと、平均車速の表示はリセットされます。

トリップメーター、外気温

エンジンスイッチが ON のときに、表示位置（C）に次のいずれかが表示されます。

- トリップメーター（区間距離計）
- 外気温

TRIP スイッチ（3）を手前に引くと、次のように表示が切り替わります。

⚠警告

走行中は、表示の切替え操作をしないでください。操作に気を取られて、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

表示は、スイッチを離したときに切り替わります。

■ トリップメーター（区間距離計）

リセット後の走行距離が km 単位で表示されます。（次にリセットするまで距離計測は継続されます）

- A および B の2種類の走行距離を同時に計測できます。

<使いかたの例>

A：出発時にリセットして、出発後の距離を計測

B：給油時にリセットして、給油後の距離を計測

- リセットするときは、表示が「0.0」になるまでTRIPスイッチ（3）を手前に長く引きます。

アドバイス

トリップメーターの最大値は9999.9で、そのあと0.0にもどります。（距離計測は継続されます）

■ 外気温

℃単位で表示されます。

- 外気温が氷点下近くになると、次のメッセージが表示されます。路面が凍結しているおそれがありますので、とくに慎重に運転してください。
→ **6-9ページ**
（雪道を走行するとき）

57L30146

アドバイス

停車中や低速走行中に外気温が上昇すると、センサーがエンジンの熱の影響を受けていると判断して値を更新せず、正しい外気温を表示できない場合があります。

オドメーター（積算距離計）

エンジンスイッチが ON のときに、表示位置（D）に新車時（またはメーター交換時）からの走行距離の累計がkm単位で表示されます。（リセットはできません）

57L30154

(7) オドメーター

セッティングモード

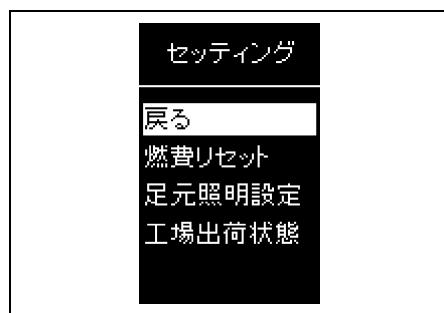
セッティングモードでは、次の内容ができます。

- 平均燃費のリセット方法切替え
- 足元照明の設定切替え
- 設定の初期化（工場出荷状態にもどす）

■ セッティングモードへの切替えのしかた

切替えは、エンジンスイッチが ON のときの停車中にできます。（走行中はできません）

- DISPスイッチ（2）を3秒以上手前に引きます。インフォメーションディスプレイ全体がセッティングモードに切り替わります。

57L30148

アドバイス

平均燃費または平均車速の表示中にセッティングモードにすると、同時に現在の値がリセットされてしまいます。リセットしたくないときは、DISPスイッチ（2）を手前に引いて、他の表示に切り替えてください。

■ セッティングモードの終了のしかた

TRIP スイッチ（3）を手前に引いて「戻る」を選択し、DISP スイッチ（2）を手前に引きます。

アドバイス

セッティングモードは、次のような操作でも終了できます。
- エンジンスイッチを ACC または LOCK (OFF)にする
- 走行を開始する

■ 平均燃費のリセット方法切替え

→ **3-75ページ（平均燃費）**

1 セッティングモードに切り替えます。

2 TRIP スイッチ（3）を手前に引いて、「燃費リセット」を選択します。DISPスイッチ（2）を手前に引くと、次に進めます。

3 TRIP スイッチ（3）を手前に引いて、「非連動」、「Trip A連動」、「給油連動」からリセット方法を選択します。DISPスイッチ（2）を手前に引くと、切替えが完了します。

アドバイス

現在選択されているリセット方法は、文字が枠で囲まれて表示されます。

■ 足元照明の設定切替え

1 セッティングモードに切り替えます。

2 TRIP スイッチ（3）を手前に引いて、「足元照明設定」を選択します。DISPスイッチ（2）を手前に引くと、次に進めます。

3 TRIP スイッチ（3）を手前に引いて、次の３つからお好みの設定を選択します。

照明連動

- ヘッドライトや車幅灯が点灯している間、点灯します。
- 室内灯スイッチがDOOR位置にあるときと同様に点灯します。（アンサーバック機能の設定切り替え時の室内灯2回点滅を除く）

→ **5-31ページ（室内灯）**
→ **3-10ページ（アンサーバック機能）**

ドア連動（工場出荷時）

室内灯スイッチがDOOR位置にあるときと同様に点灯します。(アンサーバック機能の設定切り替え時の室内灯２回点滅を除く)

オフ

点灯しません。

4 DISPスイッチ（2）を手前に引くと、切替えが完了します。

アドバイス

現在選択されている設定は、文字が枠で囲まれて表示されます。

■ 設定の初期化

工場出荷時の設定にもどせます。

- 平均燃費のリセット方法･･･非連動
  → **3-75ページ（平均燃費）**
- 足元照明の設定･･･ドア連動

1 セッティングモードに切り替えます。

2 TRIPスイッチ（3）を手前に引いて、「工場出荷状態」を選択します。DISPスイッチ（2）を手前に引くと、次に進めます。

3 TRIPスイッチ（3）を手前に引いて、「Yes」を選択します。DISPスイッチ（2）を手前に引くと「successful」と表示され、工場出荷状態にもどります。

アドバイス

初期化を途中でやめたいときは、「戻る」を選択し、DISPスイッチ（2）を手前に引いてください。

インフォメーションディスプレイのメッセージ

システムの異常など、お知らせしたい情報があると、メッセージが表示されます。

- メッセージの種類によっては、同時にメーター内のマスターウォーニングが点滅したり、室内ブザーが鳴ったりする場合があります。
- メッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。

アドバイス

- メッセージの要因が解消されると、表示が消えます。
- メッセージの表示中に、別のメッセージが追加されると、割り込み表示されます。そのあとは、約5秒ごとに表示が切り替わります。
- メッセージが表示されているときに、DISPスイッチ（2）を2秒以上引くと、もとの画面にもどります。ただし、メッセージの種類によっては、要因が解消されるまでは、約5秒後にふたたび表示される場合があります。

■ インフォメーションディスプレイのメッセージ一覧

下記機能の作動中は、次の表以外のメッセージが表示される場合があります。

- パーキングセンサー　→　**4-27**ページ
- アクティブクルーズコントロール（注文装備）　→　**4-32ページ**
- プリクラッシュセーフティシステム（注文装備）　→　**4-41ページ**

全車共通

メッセージ	マスターウォーニング	ブザー音	原因と対処方法
（停車中は※）	点滅（走行中のみ）	ポーン（走行中のみ1回、室内ブザー）	いずれかのドア、トランクリッドまたはボンネットが完全に閉まっていません。安全な場所に停車して、完全に閉めてください。 →　**3-71ページ（半ドア警告灯）**
ACC 電源の状態（※）	消灯	なし	電源の状態が ACC のときに、表示されます。 →　**4-4ページ（電源の切替えのしかた）**
スタートスイッチを押して下さい	消灯	なし	ブレーキペダルを踏んでいます。エンジンをかけるときは、エンジンスイッチを押してください。 →　**4-6ページ（エンジンのかけかた）**

※印のメッセージは、要因が解消されない場合でも、一定時間が過ぎると消えます。

メッセージ	マスターウォーニング	ブザー音	原因と対処方法
ギアシフトをP に入れブレーキ を踏んで下さい	消灯	なし	セレクトレバーが P N 以外の位置、またはブレーキを踏まずにエンジンスイッチを押しています。メッセージの指示に従ってください。 → **4-6ページ（エンジンのかけかた）**
P ギアシフトをP に入れて下さい	消灯	なし	セレクトレバーが P 以外の位置でエンジンスイッチを押しています。メッセージの指示に従ってください。 → **4-9ページ（エンジンスイッチをもどすときは）**
ステアリング ロック 要点検	点滅	ポーン（1回、室内ブザー）	ハンドルロックに異常が考えられます。スズキサービス工場で点検を受けてください。 → **4-9ページ（エンジンスイッチをもどすときは）**
スタートシステム 要点検	点滅	ポーン（1回、室内ブザー）	キーレスプッシュスタートシステムに異常が考えられます。スズキサービス工場で点検を受けてください。 → **3-19ページ（セキュリティアラームインジケーター）**

3

メッセージ	マスターウォーニング	ブザー音	原因と対処方法
リモコンを 検知できません	点滅	条件によっては、ピー、ピー、（約2秒間、室内／車外ブザー）	携帯リモコンが車内にない、またはリモコンの電池切れが考えられます。 リモコンを車内にもどすか、リモコンをエンジンスイッチにあててください。 → **4-5 ページ（携帯リモコン車外持ち出し警告）** → **4-6ページ（エンジンのかけかた）**
リモコンを スタートスイッチ に当てて下さい			
ライト点灯中	点滅	ピーーー（室内ブザー）	ヘッドライトや車幅灯が点灯しています。これらを消してください。 → **3-87ページ（ライト消し忘れ警告ブザー）**
BCM BCMシステム 要点検	点滅	ポーン（1回、室内ブザー）	このメッセージが表示されたら、スズキサービス工場で点検を受けてください。

メッセージ	マスターウォーニング	ブザー音	原因と対処方法
ON 電源の状態 （※）	消灯	なし	電源の状態が ON のときに、表示されます。 → **4-4ページ（電源の切替えのしかた）**
給油して下さい （※）	消灯	ポーン（1回、室内ブザー）	燃料の残量が少なくなっています。すみやかに給油してください。 → **3-68ページ（燃料残量警告灯）**
ステアリングロック未解除	点滅	ポーン（1回、室内ブザー）	ハンドルロックが解除されていません。ハンドルを左右に軽く動かしながら、エンジンスイッチを押してください。 → **4-3ページ（ハンドルロック未解除警告）**
路面凍結注意 （※）	消灯	なし	路面が凍結しているおそれがあります。特に慎重に運転してください。 → **6-9ページ（雪道を走行するとき）**

※印のメッセージは、要因が解消されない場合でも、一定時間が過ぎると消えます。

メッセージ	マスターウォーニング	ブザー音	原因と対処方法
リモコン電池 要交換 (※)	消灯	なし	携帯リモコンの電池切れが近いです。電池を交換してください。 → **3-13ページ（携帯リモコン電池消耗警告）**
ESPシステム 要点検	点滅	ポーン（1回、室内ブザー）	ESP® のシステムに異常が考えられます。スズキサービス工場で点検を受けてください。 → **4-52ページ（ESP®作動表示灯）**
ヒルホールド 機能停止中	点滅	ポーン（1回、室内ブザー）	ヒルホールドコントロールのシステムに異常が考えられます。スズキサービス工場で点検を受けてください。 → **4-54ページ（ヒルホールドコントロール）**

※印のメッセージは、要因が解消されない場合でも、一定時間が過ぎると消えます。

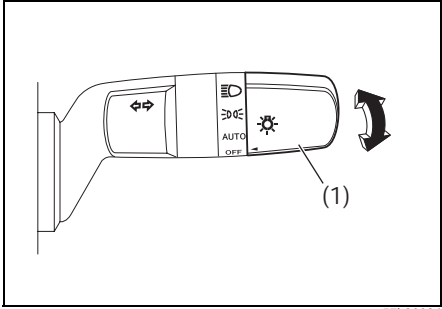
4WD車のみ

メッセージ	マスターウォーニング	ブザー音	原因と対処方法
AWDシステム 要点検	点滅	ポーン (1回、室内ブザー)	4WD のシステムに異常が考えられます。スズキサービス工場で点検を受けてください。 → **4-24ページ（AWD警告灯）**
タイヤサイズ 要確認 2WD（強制）	点滅	ポーン (1回、室内ブザー)	異径タイヤの装着またはタイヤの空気圧不足が考えられます。スズキサービス工場で点検を受けてください。 → **4-24ページ（AWD警告灯）**
AWDシステム 高温 2WD（強制）	点滅	ポーン (1回、室内ブザー)	駆動系部品の過熱が考えられます。安全な場所に停車して、アイドリング状態にしてください。 → **4-24ページ（AWD警告灯）**

3

ライトスイッチ

ライトの点灯・消灯

エンジンスイッチの位置に関係なく使用でき、ライトスイッチのツマミ（1）をまわすと次のように点灯・消灯します。

57L30084

ライトスイッチの位置	ヘッドライト（前照灯）	車幅灯、尾灯、番号灯
≣D	点灯	点灯
⇒00⇐	消灯	点灯
AUTO	自動点灯・消灯（※）	
OFF	消灯	消灯

※ オートライトシステムは、エンジンスイッチが ON のときだけ作動します。

⚠注意

エンジン停止中に、長時間点灯させないでください。バッテリーあがりの原因となります。

アドバイス

ヘッドライトや車幅灯が点灯している間は、メーター内のライト点灯表示灯が点灯します。

→ **3-72ページ （ライト点灯表示灯）**

■ オートライトシステム

エンジンスイッチが ON のときに使用でき、車外の明るさに応じてヘッドライトや車幅灯が自動的に点灯・消灯します。エンジンスイッチを ACC または LOCK （OFF）にすると、自動的に消灯します。

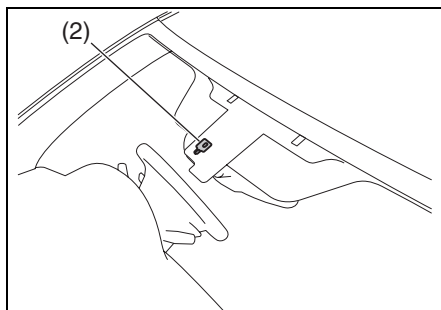
- ライトスイッチのツマミを AUTO の位置にまわすと、次のように点灯・消灯します。

車外の明るさ	ヘッドライト（前照灯）	車幅灯、尾灯、番号灯
明るいとき	消灯	消灯
薄暗いとき	消灯	点灯
暗いとき	点灯	点灯

⚠注意

AUTO 位置のままエンジンスイッチを ON にしていると、エンジンがかかっていなくても、車外が暗くなるとともにライトや車幅灯が点灯します。そのまま長時間点灯させると、バッテリーあがりの原因となりますのでご注意ください。

- 車外の明るさを感知するライトセンサー（2）はフロントガラスの上部にあります。このライトセンサーは、オートワイパーのレインセンサーの役割も果たしています。

→ **3-91ページ**
（オートワイパーシステム）

57L30085

⚠注意

フロントガラスのセンサー部に、泥や氷などの異物が付着していると、車外が明るくてもライトや車幅灯が点灯する場合があります。
なお、これらの異物を取り除くときは、必ずワイパースイッチをOFFにしてください。AUTOになっていると、不意にワイパーが作動することがあり、けがのおそれがあります。また、ワイパーが故障する原因となります。

アドバイス

フロントガラスにステッカーやラベルなどを貼って、ライトセンサーを覆わないでください。センサーの感度が低下し、正常に点灯・消灯しなくなります。

■ オートライトシステムの設定切替え

設定の切替え（カスタマイズ）をすると、次のような作動タイミングに変更できます。設定の切替えについては、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

ライトセンサーの感度切替え

工場出荷時と比較し、次のどちらかを選択できます。

- 早めに点灯し、遅めに消灯する
- 遅めに点灯し、早めに消灯する

雨連動オートライト機能の変更

車外が明るくても、オートワイパー作動時に次のようなタイミングで作動するよう変更できます。

- レインセンサーが大雨を感知しているとき（工場出荷時）
- レインセンサーが小雨や大雨を感知しているとき（オートワイパーの作動と連動します）
- オートワイパー非連動

ライト消し忘れ警告ブザー

ヘッドライトや車幅灯の消し忘れを防止するため、次のようなときに運転席ドアを開けると、室内ブザーが“ピーーー”と連続して鳴ります。

- エンジンスイッチを LOCK（OFF）にしたあとも、ライトや車幅灯が点灯している

ライトおよび車幅灯を消すと、室内ブザーは止まります。

アドバイス

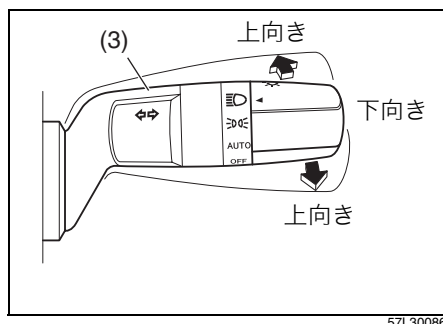
ライト消し忘れ警告ブザーの作動中は、メーター内のインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。
→ **3-79ページ（インフォメーションディスプレイのメッセージ）**

ライトの上向き、下向きの切替え

ヘッドライトを上向き（ハイビーム）に切り替えると、遠くまで照らすことができます。

- ライトが点灯しているときに、レバー（3）を車の前方向に押すと上向きになります。もとの位置にもどすと、下向きになります。
- ライトスイッチの位置に関係なく、レバーを手前に引くと、引いている間、上向きにライトが点灯します。
- ライトを上向きにすると、メーター内のヘッドライト上向き（ハイビーム）表示灯が点灯します。

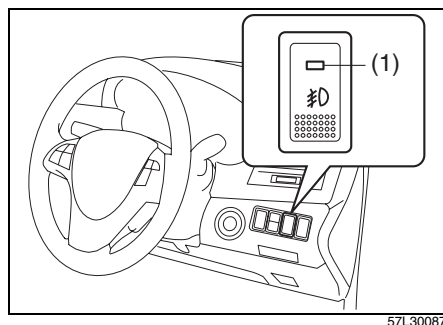
→ **3-71 ページ（ヘッドライト上向き（ハイビーム）表示灯）**

57L30086

アドバイス

対向車や先行車があるときは、ライトを下向きにしてください。

フォグランプスイッチ

ヘッドライトや車幅灯を点灯しているときに使用でき、雨や霧などで視界が悪いときに使用します。

- スイッチを押すとフォグランプが点灯し、スイッチ内の表示灯（1）が点灯します。
  もう一度押すと消灯します。

57L30087

⚠注意

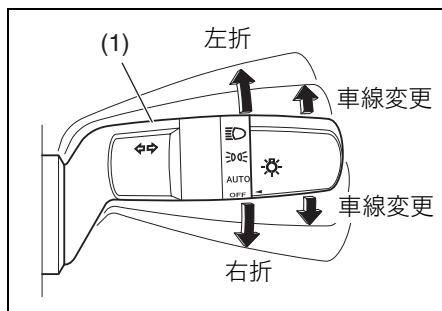
バッテリー保護のため、視界が良くなったらすみやかにスイッチを切ってください。

方向指示器スイッチ

エンジンスイッチが ON のときに使用できます。

右折・左折をするとき

左折時：レバー（1）を押し上げます。
右折時：レバーを押し下げます。

- 同時に方向指示器とメーター内の方向指示器表示灯が点滅します。
- ハンドルをもとにもどすと、レバーが自動的にもどり、方向指示器と表示灯が消灯します。

57L30088

アドバイス

ハンドルを切る角度が小さいと、レバーが自動的にもどらないことがあります。レバーを手でもどしてください。

車線変更をするとき

レバーを車線変更しようとする方向に軽く押さえます。

- 押さえている間だけ、方向指示器と表示灯が点滅します。

■ レーンチェンジ機能

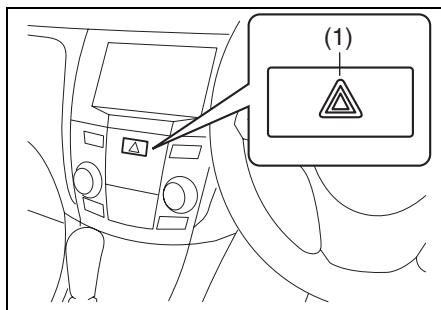
操作したレバーをすぐもどしても、方向指示器と表示灯が3回点滅します。

アドバイス

設定の切替え（カスタマイズ）をすると、点滅回数を変更（1 回～ 4 回）できます。設定の切替えについては、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

非常点滅灯スイッチ

エンジンスイッチの位置に関係なく使用できます。故障などでやむをえず路上駐車するときや非常時に使用します。

- スイッチを押すと、すべての方向指示器とメーター内の方向指示器表示灯が点滅します。
- もう一度押すと消灯します。

57L30089

(1) 非常点滅灯スイッチ

注意

エンジン停止中に長時間点滅させないでください。バッテリーあがりの原因となります。

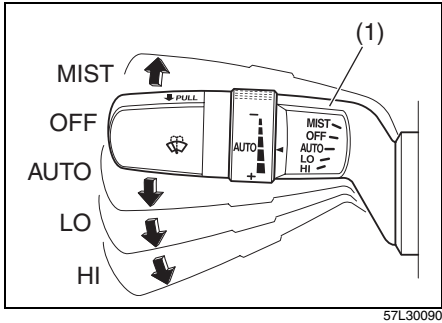
ワイパー／ウォッシャースイッチ

エンジンスイッチが ON のときに使用できます。

⚠注意

- **ウインドーが乾いているときは、ウインドーをウォッシャー液で濡らしてからワイパーを動かしてください。空ぶきするとガラス面やワイパーブレード（ゴム部）に傷がつくおそれがあります。**
- **寒冷時は、ガラス面に吹きつけたウォッシャー液が凍結して、視界が悪くなることがあります。ガラス面をデフロスターで暖めてから、ウォッシャー液を噴射してください。**
  →　5-2ページ（デフロスター）
- **ワイパーブレードがガラスにはりついているときは、ワイパーを作動させないでください。ブレード部（ゴムの部分）が傷ついたり、ワイパーが故障したりするおそれがあります。**
- **ウォッシャー液が十分に出ないときは、ウォッシャースイッチを切ってください。ウォッシャーポンプが故障する原因となります。**

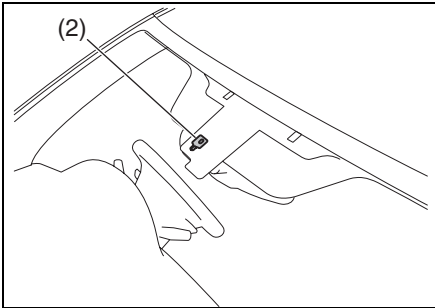
フロントワイパースイッチ

レバー（1）を上下に操作します。

MIST	レバーを押し上げている間作動
OFF	停止
AUTO	自動作動
LO	低速作動
HI	高速作動

- OFF→AUTOの操作時は、ワイパーが1回作動したあとに、自動作動になります。

■ オートワイパーシステム

ワイパースイッチをAUTO位置にしていると、次の状況に応じてワイパーが自動で作動します。

- フロントガラスの上部にあるレインセンサー（2）が感知した雨の程度（雪やその他の液体、ほこりなどを含む）
- 車速

57L30085

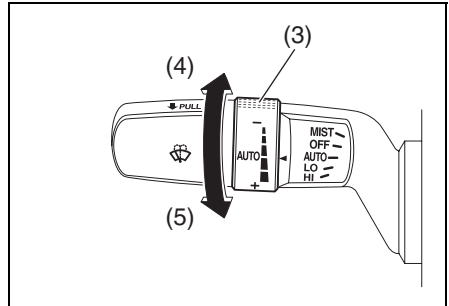
<オートワイパーの作動の目安>

雨の程度	作動状態
なし	停止
小雨	間欠作動
普通の雨	低速作動
大雨	高速作動

次のような場合は故障が考えられます。スズキサービス工場で点検を受けてください。

- 雨の程度が変化しても、オートワイパーの作動が変化しないとき
- 雨や雪が降っていても、オートワイパーが作動しないとき

レインセンサーの感度調節

リング（3）をまわします。

57L30091

リング位置	感度
（4）＋側	敏感（雨に反応しやすい）
（5）－側	鈍感（雨に反応しにくい）

⚠注意

- **ワイパースイッチがAUTO位置でエンジンスイッチを ON にしているときは、必ず次のことをお守りください。守らないと、不意にワイパーが作動することがあり、けがのおそれがあります。また、ワイパーが故障する原因となります。**
  - **フロントガラスのセンサー部にふれたり、布などでふいたりしない**
  - **フロントガラスやセンサーに衝撃をあたえない**
- **自動洗車機を使うときや、フロントガラスのお手入れをするときは、必ずワイパースイッチをOFFにしてください。**

アドバイス

- 次のような状況では、レインセンサーが雨や雪を正確に感知できず、正常に作動しない場合があります。
  - フロントガラスのセンサー部に、雨や雪があたらないとき。また、センサー部にあたっても、感知しにくい種類の雪のとき。
  - センサー部に、泥や氷などの異物が付着しているとき。異物を取り除いてください。
  - ワイパーを作動させる前から付着している雨滴。一度ワイパーを作動させ、ふき取ってください。
  - 炎天下や寒冷時にセンサーが80℃以上の高温、または－10℃以下の低温のとき。
  - フロントガラスに撥水加工をしているとき。雨滴が流れやすいので雨量が多いと判断され、作動回数が多くなる場合があります。
  - フロントガラスにステッカーやラベルなどを貼って、センサーを覆っているとき。
  - ワイパーブレードのゴムが傷ついているとき。交換してください。

■ オートワイパーシステムの設定切替え

設定の切替え（カスタマイズ）をすると、AUTO位置での作動を次のように変更できます。設定の切替えについては、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

セミオートモード

間欠作動、低速作動、高速作動のいずれかの作動をします。（停止しません）

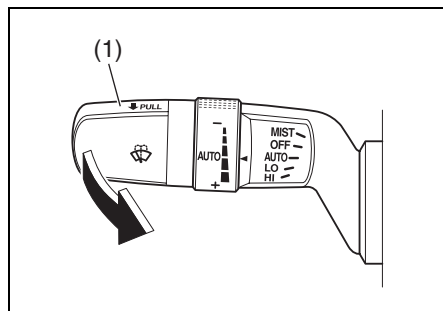
間欠ワイパーモード

間欠作動だけします。作動間隔は、リング（3）で調節できます。

フルオートモード（工場出荷時）

停止、間欠作動、低速作動、高速作動のいずれかの作動をします。

フロントウォッシャースイッチ

レバー（1）を手前に引くと、ウォッシャー液が噴射されワイパーが数回動きます。

57L30092

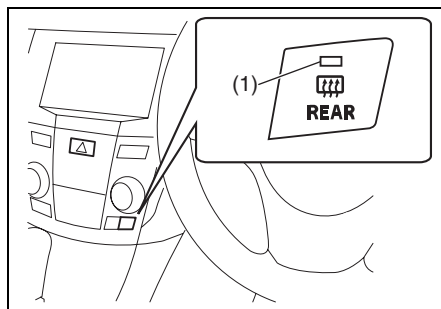
ホーンスイッチ

エンジンスイッチの位置に関係なく使用できます。ハンドルのホーンマークがついている部分を押すと、ホーンが鳴ります。

82K297

リヤデフォッガースイッチ

エンジン回転中に使用でき、バックウインドーガラスの内側のくもりを取ります。

- スイッチを押すとバックウインドーガラスが暖められ、スイッチ内の表示灯（1）が点灯します。
  もう一度押すとスイッチが切れます。
- 約 15 分連続で使用すると、自動的にスイッチが切れます。
- 使用中にエンジンスイッチを ACC または LOCK（OFF）にすると、エンジンを再始動しても自動的にスイッチは入りません。
- ドアミラーヒーター装備車では、同時にドアミラーも暖められ、ミラーについたくもりを取ります。
  → **3-25ページ（ドアミラーヒータースイッチ）**

57L30093

⚠注意

- **バッテリー保護のため、くもりが取れたらすみやかにスイッチを切ってください。**
- **雪を溶かしたり、雨水を乾燥させたりすることには使用しないでください。**
- **バックウインドーガラスの室内側をふくときは、熱線や端子を傷つけないように、水を含ませた柔らかい布で熱線に沿ってふいてください。**

アドバイス

エンジン停止中はスイッチが入りません。

4. 運転するときは

● エンジン始動

● パーキングブレーキ

● オートマチック車

● 4WD車

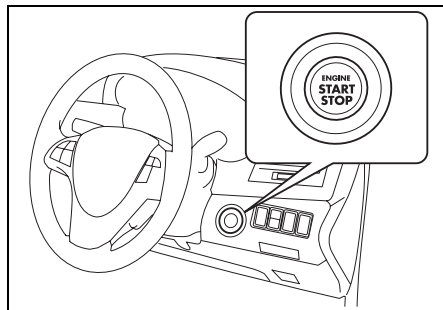
● 運転補助機能

● ABS

● ESP®

安全運転が第一

お車に装備されているシートベルト、SRSエアバッグシステム、ABS（アンチロックブレーキシステム）などの安全装備も、乗員の安全確保には限界があります。法定速度を厳守するとともに、スピードを控えめにして安全運転に心がけてください。

エンジンスイッチの各位置のはたらき

57L40002

■ LOCK（OFF）

- 駐車するときの位置です。
- エンジンスイッチを LOCK（OFF）にもどして運転席ドアを開けると、ハンドルロックがかかります。

アドバイス

助手席／後席ドアのみを開けた場合は、ハンドルは自動的にロックされません。

■ ACC

エンジンをかけずにオーディオ（別売り）やドアミラー、アクセサリーソケットなどの電装品を使用するときの位置です。メーター内のインフォメーションディスプレイに「ACC 電源の状態」が表示されます。

→ **3-79 ページ（インフォメーションディスプレイのメッセージ）**

■ ON

- **エンジン停止状態**
  エンジンをかけずにパワーウインドーやワイパーなどの電装品を使用するときの位置です。メーター内のインフォメーションディスプレイに「ON 電源の状態」が表示されます。
- **エンジン回転中**
  すべての電装品が使えます。通常運転中の状態です。

■ START

携帯リモコンを所持してセレクトレバーを P にし、ブレーキを踏んでエンジンスイッチを押すと、自動的に始動します。

⚠注意

エンジンを止めているときは、エンジンスイッチを ACC または ON にしたままにしないでください。また、その状態で長時間ラジオ（別売り）などを聞かないでください。バッテリーあがりの原因となります。

アドバイス

- ハンドルロックは通常、エンジンスイッチを LOCK（OFF）から ACC または ON にしたときに解除されます。
- 強い電波やノイズの影響を受けると、メーター内のインフォメーションディスプレイに「リモコンを検知できません」と表示され、電源の切替えやエンジンの始動ができない場合があります。

ハンドルロックが解除できないときは

エンジンの始動ができません。ハンドルを左右に軽く動かしながら、エンジンスイッチを押してください。

64L40180

■ ハンドルロック未解除警告

エンジンスイッチが ON のときに、ハンドルロックが未解除の場合、メーター内のインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。

→　**3-79 ページ（インフォメーションディスプレイのメッセージ）**

イモビライザーシステム

イモビライザーシステムは盗難防止のため、携帯リモコンが電波で車両と通信することによって、あらかじめ登録されたリモコン以外ではエンジンを始動できないようにするシステムです。

イモビライザー警告灯

85K2210

メーターパネル内にあります。

→　**3-66ページ（警告灯・表示灯の見かた）**

- エンジンの始動が可能な場合は、エンジンをかけるときに、約２秒間点灯したあと消灯します。点滅または約５秒間点灯すると、エンジンがかからない場合があります。携帯リモコンの場所を確認し、エンジンスイッチを LOCK （OFF）にもどしてから、操作をやりなおしてください。
  →　**4-8 ページ（マスターウォーニングが点滅してエンジンがかからないときは）**
- 携帯リモコン車外持ち出し警告が作動したときにも点滅します。
  →　**4-5 ページ（携帯リモコン車外持ち出し警告）**

アドバイス

点灯または点滅すると、メーター内のインフォメーションディスプレイにメッセージが表示される場合があります。

→　**3-79 ページ（インフォメーションディスプレイのメッセージ）**

キーレスプッシュスタートシステム

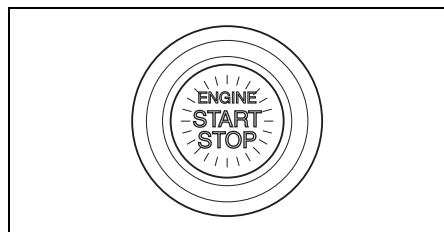
所持している携帯リモコンが「**車内の作動範囲**」（**4-6 ページ**参照）に入っていると、エンジンスイッチによる始動および電源の切替えが可能となります。
また、その他に次の機能があります。

- キーレスエントリー
  →　**3-9ページ（キーレスエントリー）**
- リクエストスイッチによるドアの施錠・解錠
  →　**3-11ページ（携帯リモコン）**
- 車外のトランクリッドリクエストスイッチによるトランクリッドの解錠
  →　**3-6ページ（トランクリッド）**
- イモビライザー（車両盗難防止装置）
  →　**4-3ページ（イモビライザーシステム）**

エンジンスイッチ照明

次のような場合に点灯します。

- 運転席ドアを開けている間（エンジン停止中のみ）
- 運転席ドアを閉めたあと約15秒間（エンジン停止中のみ）
- ヘッドライトや車幅灯が点灯中

消灯するときは、徐々に減光します。

82K253

アドバイス

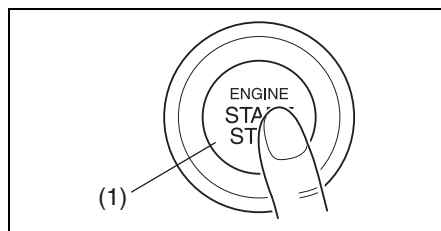
バッテリー保護のため、次の条件をすべてみたすと、自動的に消灯します。（バッテリーセーバー機能）
- ヘッドライトや車幅灯が消灯
- 運転席ドアを開けたまま約15分が経過

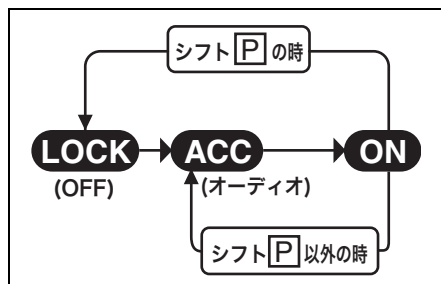
電源の切替えのしかた

エンジンをかけずに電装品の使用やメーターの確認をしたいときは、次のようにしてエンジンスイッチの位置を切り替えます。
なお、この切替えのことを「**電源の切替え**」といいます。

- 電源の切替え時には、メーター内のインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。
  → **3-79 ページ（インフォメーションディスプレイのメッセージ）**

1 携帯リモコンを所持して運転席にすわります。

2 ブレーキペダルを踏まずにエンジンスイッチ（1）を押します。

82K254

- 押すごとに次のようにエンジンスイッチの位置が切り替わります。

57L0065

アドバイス

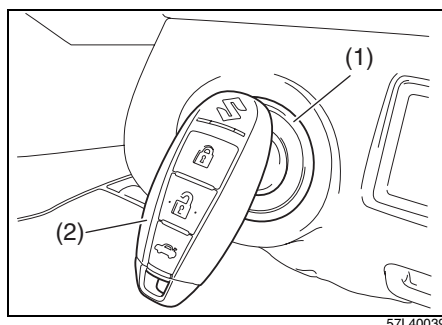
- セレクトレバーが P 以外に入っていると、LOCK （OFF）にはもどせません。
- セレクトレバーの故障などで、エンジンスイッチを LOCK （OFF）にもどせないことがあります。
  → **4-9 ページ（エンジンスイッチをもどすときは）**

■ ⚠（マスターウォーニング）が点滅して電源が切り替わらないときは

携帯リモコンが「**車内の作動範囲**」（**4-6 ページ**参照）で検知されていないことが考えられます。運転者は携帯リモコンを身につけ、操作をやり直してください。それでも切り替わらないときは、携帯リモコンの電池切れのおそれがあります。次の手順で切り替えてください。

1 ブレーキペダルを踏まずにエンジンスイッチ（1）を押します。

2 メーター内の⚠（マスターウォーニング）が点滅している約10秒以内に、携帯リモコン(2)の先端(ロックスイッチ側)をエンジンスイッチに約2秒間当てます。

- ⚠の点滅中に、イモビライザー警告灯が約5秒間点灯します。
  → **3-79 ページ（インフォメーションディスプレイのメッセージ）**

(1) エンジンスイッチ

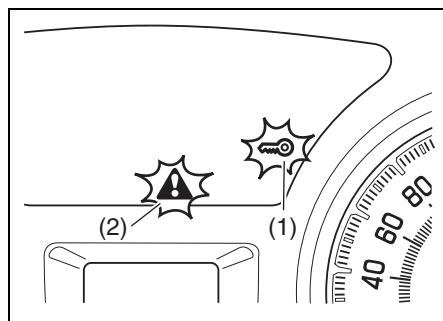
※前記の手順を行なっても切り替わらないときは、バッテリーあがりなどの別の原因が考えられます。スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。

アドバイス

- 設定の切替え（カスタマイズ）をすると、携帯リモコン検出範囲外警告ブザー（室内ブザー）を1回鳴らすことができます。設定の切替えについては、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。
- 携帯リモコンの電池切れが近いと、エンジンスイッチを ON にしたときに、インフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。電池の交換については、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。
  → **3-13ページ（携帯リモコン電池消耗警告）**

携帯リモコン車外持ち出し警告

次のような場合、室内／車外ブザーが約2秒間断続的に鳴るとともに、メーター内のイモビライザー警告灯およびマスターウォーニングが点滅し、携帯リモコンの車外持ち出しを警告します。

- エンジン回転中、またはエンジンスイッチが ACC または ON 位置にある状態で、いずれかのドアを開け、そのあとすべてのドアを閉めたときに携帯リモコンが車内にない場合
- エンジンスイッチが ACC または ON 位置にある状態で、エンジンを始動しようとしたときに携帯リモコンが車内にない場合

(1) イモビライザー警告灯（点滅）
(2) マスターウォーニング（点滅）

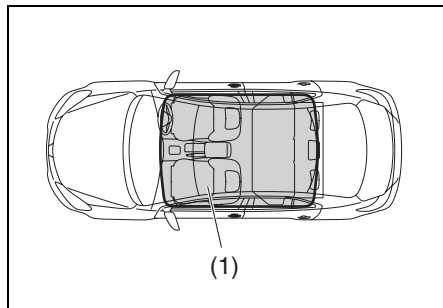
警告が作動したときは、すみやかに携帯リモコンを車内にもどしてください。

- 警告の作動中はエンジンの再始動ができません。また、メーター内のインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。
  → **3-79 ページ（インフォメーションディスプレイのメッセージ）**
- イモビライザー警告灯およびマスターウォーニングの点滅は、通常、携帯リモコンが車内にもどってきてから少しすると消灯します。消灯しない場合は、一度エンジンスイッチを LOCK （OFF）にもどしてから再操作してください。

アドバイス

携帯リモコンは必ず運転者が所持し、管理してください。

エンジン始動／電源切替え／携帯リモコン車外持ち出し警告の作動範囲（車内）

「**車内の作動範囲**」（1）は、インパネの上やトランク内などを除く車室内です。

57L40031

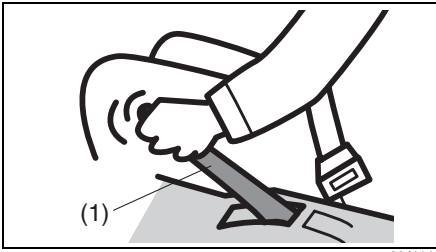
アドバイス

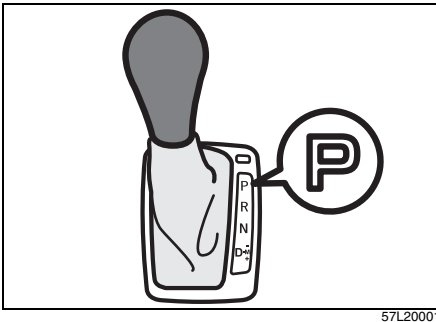
- 「**車内の作動範囲**」に携帯リモコンがあっても、次のような状況にあるとリモコンが検知されず、エンジン始動や電源切替えができない場合があります。また、携帯リモコン車外持ち出し警告が作動する場合があります。
  - 携帯リモコンの電池が消耗している
  - 携帯リモコンが強い電波やノイズの影響を受けている
  - 携帯リモコンが金属製のものと接していたり、覆われたりしている
  - 携帯リモコンがグローブボックスやドアポケットなどの小物入れの中にある
  - 携帯リモコンがメーターパネルの手前やサンバイザー、床にある
- 「**車内の作動範囲**」に携帯リモコンがなくても、次のような状況にあるとリモコンが検知され、エンジン始動や電源切替えができる場合があります。また、携帯リモコン車外持ち出し警告が作動しない場合があります。
  - 車外に携帯リモコンがあっても、ドアに近づきすぎている
  - 携帯リモコンがインパネの上やトランク内にある

エンジンのかけかた

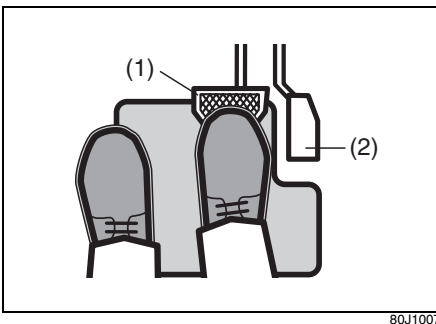
2-10 ページの「**エンジンをかけるときは**」もあわせてお読みください。

1. パーキングブレーキ（1）がしっかりかかっていることを確認します。

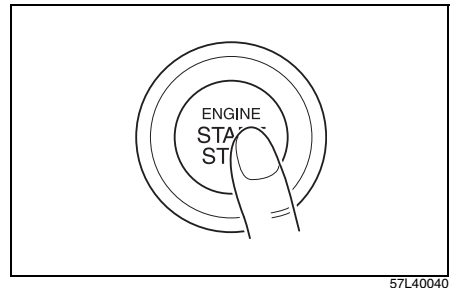
80J1141

2 セレクトレバーが P になっていることを確認します。

57L20001

3 右足でブレーキペダル（1）をしっかり踏み続けます。

●アクセルペダル（2）は踏まないでください。

80J1007

4 メーター内のインフォメーションディスプレイに、「 スタートスイッチを押して下さい」が表示されたら、エンジンスイッチを押します。エンジンがかかったら、スターターは自動的に停止します。

●エンジンがかからなくても、スターターはしばらくすると自動的に停止します。自動停止後またはシステム異常時は、エンジンスイッチを押している間だけ、スターターがまわります。

57L40040

アドバイス

●エンジンをかけるときは、インフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。
→ **3-79 ページ（インフォメーションディスプレイのメッセージ）**

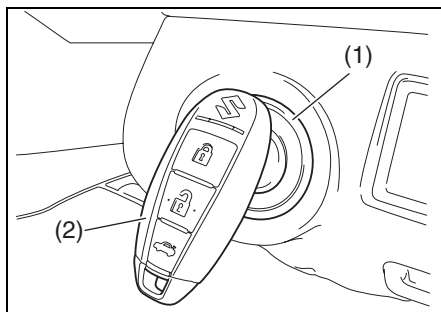
●ヘッドライトやエアコンなどのスイッチを切った方がエンジンはかかりやすくなります。

●ハンドルロックが解除できなくて、エンジンの始動ができない場合があります。
→ **4-2 ページ（ハンドルロックが解除できないときは）**

4

⚠（マスターウォーニング）が点滅してエンジンがかからないときは

携帯リモコンが「**車内の作動範囲**」（**4-6ページ**参照）で検知されていないことが考えられます。運転者は携帯リモコンを身につけ、操作をやり直してください。それでもエンジンがかからないときは、携帯リモコンの電池切れのおそれがあります。次の手順を行なってください。

1. セレクトレバーが P に入っていることを再確認し、ブレーキペダルをしっかり踏み続けます。
2. メーター内のインフォメーションディスプレイに、「 スタートスイッチを押して下さい」が表示されたら、エンジンスイッチ（1）を押します。
3. メーター内の⚠（マスターウォーニング）が点滅している約10秒以内に、携帯リモコン（2）の先端（ロックスイッチ側）をエンジンスイッチに約2秒間当てます。
   - ⚠ の点滅中に、イモビライザー警告灯が約5秒間点灯します。
     → **3-79ページ（インフォメーションディスプレイのメッセージ）**

(1) エンジンスイッチ

※前記の手順を行なってもエンジンがかからないときは、バッテリーあがりなどの別の原因が考えられます。スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。

アドバイス

- 設定の切替え（カスタマイズ）をすると、携帯リモコン検出範囲外警告ブザー（室内ブザー）を1回鳴らすことができます。設定の切替えについては、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。
- 携帯リモコンの電池切れが近いと、エンジンスイッチを ON にしたときに、インフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。電池の交換については、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。
  → **3-13ページ（携帯リモコン電池消耗警告）**

エンジンを止めるときは

車両の状態	エンジン停止方法
停車中	エンジンスイッチを押す
走行中（緊急時）	エンジンスイッチを3秒以上長押しする

- 停車中にエンジンを停止できないときは、エンジンスイッチを３秒以上長押ししてください。この場合、システムの異常が考えられますので、スズキサービス工場で点検を受けてください。

⚠警告

緊急時以外は、走行中にエンジンを止めないでください。
- **ブレーキ倍力装置が働かないため、ブレーキペダルを踏むときに強い力が必要になります。**
- **パワーステアリング装置が働かないため、ハンドルが重くなります。**
- **ABS、ESP®が作動しません。**

⚠注意

走行中にエンジンを止めると、オートマチックトランスミッションが損傷するおそれがあります。

エンジンスイッチをもどすときは

1. セレクトレバーを P に入れ、セレクトレバーのボタンから手を離します。
   → **4-11 ページ（セレクトレバーの操作）**
2. エンジンスイッチを LOCK (OFF) にもどします。

- エンジンスイッチを LOCK （OFF）にもどして運転席ドアを開けると、ハンドルロックがかかります。
- 誤操作防止のため、次の条件をみたしているときだけエンジンスイッチを LOCK （OFF） にもどせます。
  - セレクトレバーが P 位置
  - セレクトレバーのボタンから手を離している
- 誤操作防止のため、次のようなときはエンジンスイッチを LOCK （OFF）にもどせません。
  - セレクトレバーの位置が P 以外
  - セレクトレバーの位置が P に入っていても、セレクトレバーのボタンを押しているとき

  → **4-21ページ（駐車）**
- セレクトレバーの故障などで、エンジンスイッチを LOCK （OFF）にもどせないことがあります。スズキサービス工場で点検を受けてください。なお、点検前には次の作業をしてください。
  - 盗難を防ぐため、キー操作にてドアを施錠してください。（リクエストスイッチやキーレスエントリーでは施錠できません）
  - バッテリーあがりを防ぐため、バッテリーのマイナス端子を外してください。（10mm スパナなどの市販工具が必要です）

アドバイス

エンジンスイッチをもどすときに、メーター内のインフォメーションディスプレイにメッセージが表示される場合があります。
→ **3-79 ページ（インフォメーションディスプレイのメッセージ）**

4

■ エンジンスイッチもどし忘れ警告ブザー

エンジンスイッチのもどし忘れを防止するためのブザーです。

- エンジンスイッチを ACC にしたまま運転席ドアを開けると、室内ブザーが“ピー、ピー、”と断続的に鳴ります。
- セレクトレバーを P に入れ、セレクトレバーのボタンから手を離します。エンジンスイッチを2回押してLOCK (OFF) にもどすと、室内ブザーが止まります。

LOCK （OFF）にもどさないと、リクエストスイッチや携帯リモコンでドアが施錠できません。

■ ハンドルロック未作動警告ブザー

故障などで、エンジンスイッチを LOCK (OFF) にして運転席ドアを開けてもハンドルがロックされない場合、室内ブザーが“ピッ、ピッ、”と断続的に鳴ります。スズキサービス工場で点検を受けてください。

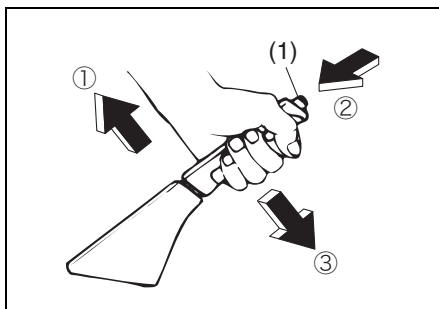
パーキングブレーキの操作

パーキングブレーキは後輪にかかります。駐車するときはパーキングブレーキをしっかりとかけてください。

駐車するときは

ボタン（1）を押さずにパーキングブレーキレバーをいっぱいに引き上げます。

解除するときは

- レバーを少し引き上げながら（①）レバー先端のボタン(1)を押し込み(②)、そのまま下まで完全に降ろします(③)。
- 坂道発進するときは、パーキングブレーキをかけたまま右足でアクセルペダルを慎重に踏み、車が動き出す感触を確認しながらパーキングブレーキを解除してください。

⚠ 警告

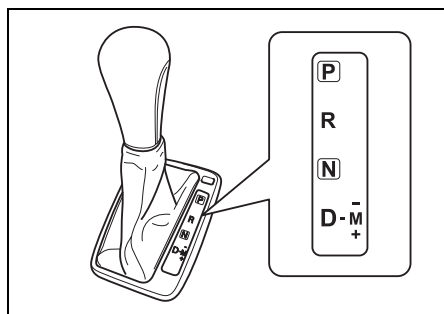
パーキングブレーキを解除したときは、メーター内のブレーキ警告灯が消灯しているか確認してください。
万一、パーキングブレーキをかけたまま走行した場合、ブレーキ装置が過熱してブレーキが効かなくなるおそれがあります。
→　3-67ページ （ブレーキ警告灯）

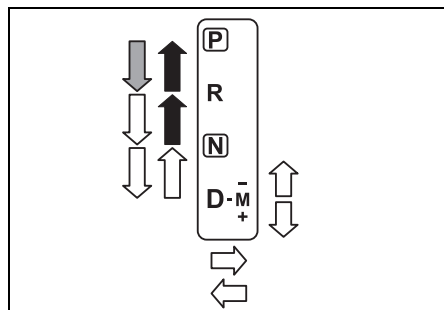
■ パーキングブレーキ解除忘れ警告ブザー

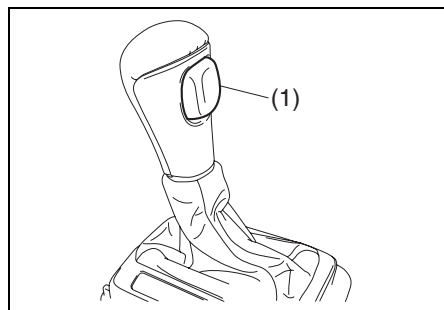
パーキングブレーキを解除し忘れたまま走行すると、室内ブザーが“ピピピッ、ピピピッ”と鳴り続けます。

セレクトレバーの操作

※本書で「オートマチック車」と記載されている場合は、「CVT車」を示しています。

セレクトレバーの各位置のはたらき

P パーキング	駐車するとき、エンジンを始動・停止するときの位置 ● 駆動輪（前輪）が固定されます。
R リバース	車を後退させるときの位置 ● 室内で警告ブザーが鳴り、運転者にセレクトレバーが R に入っていることを知らせます。
N ニュートラル	エンジンの動力が伝わらない状態の位置 ● エンジンを始動できますが、安全のため P の位置で始動してください。
D ドライブ	通常走行の位置 ● 車の速度とアクセルペダルの踏み込み量により、自動的に変速され走行できます。
M マニュアル	マニュアルモードで走行するときの位置 ● マニュアル感覚で走行したいとき、坂道や山間路を走行するときなどに使用します。 → **4-13ページ（マニュアルモードの使いかた）**

セレクトレバーの動かしかた

57L40006

	ブレーキペダルを踏み、ボタンを押したままセレクトレバーを動かします。
	ボタンを押さずにセレクトレバーを動かします。
	ボタンを押したままセレクトレバーを動かします。

57L40030

(1) ボタン

注意

完全に停車させてから、セレクトレバーを R に入れてください。車が動いていると、トランスミッションが故障する原因となります。なお、トランスミッション保護のため、前進車速が約10 km/h以上のときは変速されません。(ニュートラルのまま)

アドバイス

- ⇧⇩ の操作は、セレクトレバーのボタンを押さない習慣をつけてください。常にボタンを押して操作していると、間違って P R へ入れてしまうおそれがあります。
- 運転席および助手席にお乗りの方は、乗車姿勢にご注意ください。膝などがあたって、セレクトレバーを動かしてしまうおそれがあります。

■ シフトロックシステム

発進するときなどに、セレクトレバーの誤操作を防ぐシステムです。

- エンジンスイッチが ON でブレーキペダルを踏んでいるときだけ、セレクトレバーを P から他の位置に動かせます。
- エンジンスイッチが ACC または LOCK (OFF) のときは、ブレーキペダルを踏んでいても、セレクトレバーを P から他の位置に動かせません。

アドバイス

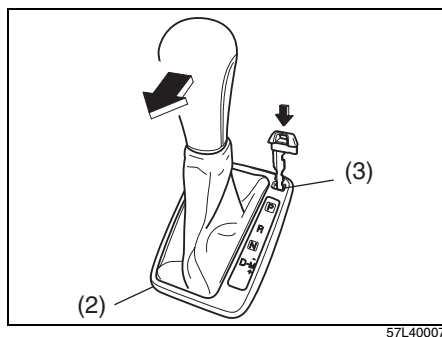
- 発進するときは、ブレーキペダルをしっかり踏んだままセレクトレバーを操作してください。
- セレクトレバーのボタンを押してから、ブレーキペダルを踏まないでください。シフトロックが解除されないことがあります。

- 万一、エンジンスイッチを ON にして、ブレーキペダルを踏んでもセレクトレバーを P から他の位置へ動かせない場合、次の手順でシフトロックを解除してください。
この場合は、シフトロックシステムなどの故障が考えられます。ただちにスズキサービス工場で点検を受けてください。

■ シフトロックの解除のしかた

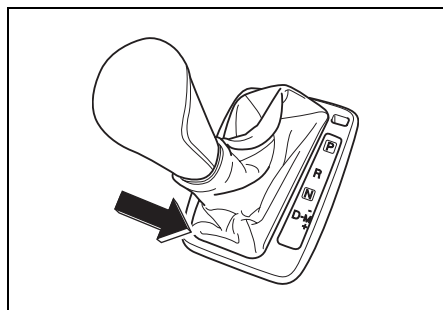
シフトロックシステムの故障やバッテリーあがりなどで、セレクトレバーを P から他の位置へ動かせないときは、次の手順でシフトロックを解除します。

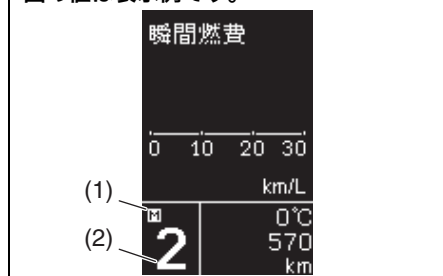
1. 安全のため、パーキングブレーキをしっかりとかけ、ブレーキペダルを踏んだ状態にします。

2. セレクトレバーパネル (2) にあるシフトロック解除ボタン (3) をキーなどを使って押しながら、セレクトレバーを操作します。

57L40007

マニュアルモードの使いかた

CVT 車は自動的に無段階に変速しますが、マニュアルモード（手動変速モード）にすると、任意に変速することができます。マニュアルモードにするときは、セレクトレバーを D から M に動かします。

- メーター内のインフォメーションディスプレイに、M（マニュアル）モード表示（1）と現在のギヤポジションが表示されます。

57L40008

図の値は表示例です。

57L40035

(2) ギヤポジション表示

アドバイス

- セレクトレバーを D から M に動かした直後のギヤポジションは、D のときに自動的に選択されていたギヤポジションです。
- セレクトレバーを M に動かさなくても、走行中 D のままパドルシフトスイッチを手前に引くと、一時的にマニュアルモードにすることができます。

→ **4-15 ページ（一時的にマニュアルモードにするときは）**

■ マニュアルモード時のシフト操作

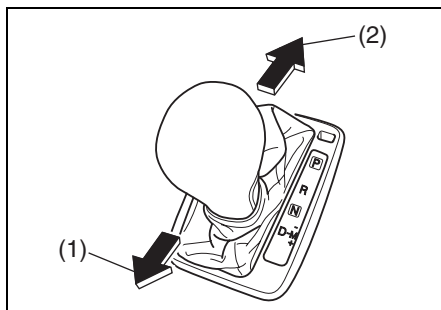
ギヤポジションは、走行速度に応じて 1 速から6速まで選択できます。

アドバイス

- エンジンおよびトランスミッション保護のため、上り坂走行などで CVT 油温が高くなっているときは、シフト操作をしなくてもエンジンが高回転になると、自動的にシフトアップします。
- シフト操作をしなくても車のスピードが低下すると、自動的にシフトダウンし、停車するとギヤポジションは**1**になります。
- アクセルペダルを大きく踏み込むと、マニュアルモード時でもキックダウンすることがあります。

→ **4-16ページ（キックダウン）**

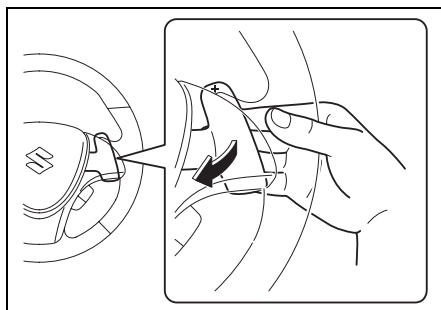
セレクトレバーを使って

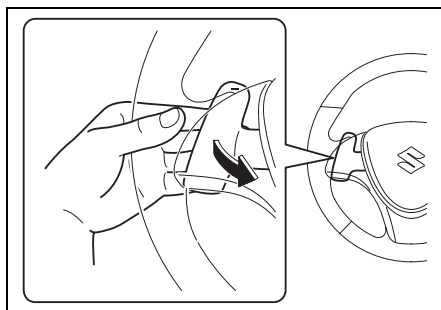
- シフトアップしたいときは、セレクトレバーを**＋**側（車の後ろ方向）へ動かします。手をはなすと、レバーは自動的に M の位置にもどります。
- シフトダウンしたいときは、セレクトレバーを**ー**側（車の前方向）へ動かします。手をはなすと、レバーは自動的に M の位置にもどります。

(1) **＋**側（シフトアップ）
(2) **ー**側（シフトダウン）

アドバイス

連続して変速したいときは、セレクトレバーが M の位置にもどってから、レバーを入れ直してください。レバーを**＋**または**ー**側に保持したままでは、連続して変速できません。

パドルシフトスイッチを使って

- シフトアップしたいときは、ハンドルの右側にあるパドルシフトスイッチ（**＋**側）を手前に引きます。手をはなすと、スイッチは自動的にもとの位置にもどります。

57L40010

- シフトダウンしたいときは、ハンドルの左側にあるパドルシフトスイッチ（ー側）を手前に引きます。手をはなすと、スイッチは自動的にもとの位置にもどります。

57L40011

アドバイス

- 連続して変速したいときは、パドルシフトスイッチから手をはなしてから、スイッチを引き直してください。スイッチを引いた状態のままでは、連続して変速できません。
- 左右のパドルシフトスイッチを同時に操作すると、変速しないことがあります。

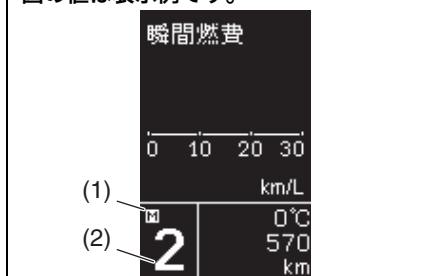
■ マニュアルモードシフト警告

走行性能を確保するため、またはトランスミッションの保護のため、シフト操作をしても希望するギヤポジションに変速されない場合があります。
このようなときは、警告ブザーが「ピピッ」と鳴ります。

■ マニュアルモードを解除するときは

セレクトレバーを M から D にもどすと、マニュアルモードが解除されます。

■ 一時的にマニュアルモードにするときは

D で走行中（低車速時を除く）に、パドルシフトスイッチを手前に引きます。
メーター内のインフォメーションディスプレイに、M（マニュアル）モード表示（1）と現在のギヤポジションが表示されます。

57L40035

(2) ギヤポジション表示

- 次のような操作または状況になると、マニュアルモードが自動的に解除され、もとの制御にもどります。
  - 変速しないで、一定時間アクセルペダルを踏み続けたとき
  - 低車速になったとき

4

オートマチック車の特性

オートマチック車は、クラッチ操作とギヤチェンジから解放されて運転操作が楽になりますが、オートマチック車特有の現象や操作上の注意があります。

クリープ現象に注意して

エンジンをかけて停車しているとき、セレクトレバーが P N 以外に入っていると、アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくり動きます。これをクリープ現象といいます。

⚠注意

- **セレクトレバーを P N 以外に入れているときは、ブレーキペダルをしっかり踏んでください。**
- **エンジン始動直後やエアコン作動時は、クリープ現象が強くなることがあります。とくにしっかりブレーキペダルを踏んでください。**

アドバイス

CVT車もクリープ現象があります。

キックダウン

走行中（低車速時を除く）にアクセルペダルをいっぱいに踏み込むと、自動的にシフトダウンしてエンジン回転が上昇して、力強い加速ができます。これをキックダウンといいます。

- 追い越しなどをしたいときは、アクセルペダルをいっぱいに踏み込みます。キックダウンして力強い加速が得られます。

⚠注意

通常の加速をするときは、アクセルペダルをゆっくり踏み込んでください。いっぱいに踏み込むと、キックダウンして思わぬ急加速のおそれがあります。

登坂変速制御

セレクトレバーが D の位置で作動する制御です。

- 登坂中と判断するとシフトダウンしてエンジン回転数を高く保ち、少ないアクセル操作でなめらかな走行ができます。
- 降坂中と判断するとシフトダウンし、エンジンブレーキがかかります。

オートマチック車を運転するとき

トランスミッション警告灯

80J219

メーターパネル内にあります。

→ **3-66ページ**
（警告灯・表示灯の見かた）

- CVT のシステムに異常があると、エンジンスイッチが ON のときに点灯します。
- CVT オイルの温度が異常に高くなると点滅します。

R（リバース）ポジション警告ブザー

セレクトレバーを R に入れると室内で警告ブザーが鳴り、セレクトレバーが R に入っていることを運転者に知らせます。

アドバイス

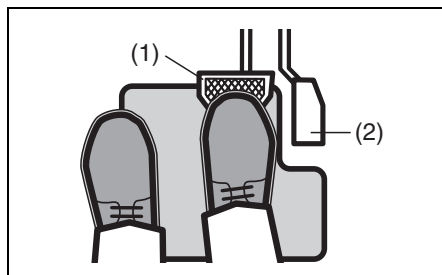
R（リバース）ポジション警告ブザーは、車外の人に車の後退を知らせるためのものではありません。

ペダルの踏み間違いに注意

ペダルの踏み間違いを防ぐため、エンジンをかける前にアクセルペダルとブレーキペダルを実際に足で踏んで、位置を確認してください。

警告

アクセルペダルとブレーキペダルを踏み間違えると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ブレーキペダルは右足で踏む

(1) ブレーキペダル
(2) アクセルペダル

左足では適切なブレーキ操作ができません。ブレーキペダルは右足で踏む習慣をつけてください。

セレクトレバーを操作するときは

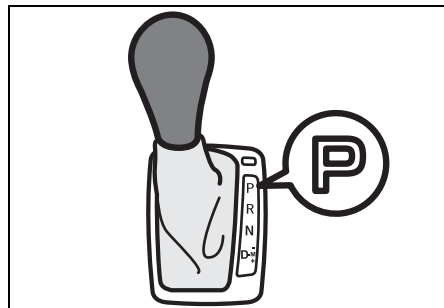
- 前進と後退を繰り返すときなどは、セレクトレバーを R に入れたことを忘れることがあります。車を後退させたあとは、すぐに R から N に入れる習慣をつけてください。
- 切り返しなどで前進と後退を繰り返すときは、完全に停車してからセレクトレバーを操作してください。

注意

アクセルペダルを踏んだままセレクトレバーを操作しないでください。急発進して事故を起こすおそれがあります。

セレクトレバーの位置は目で確認

始動時や降車時は P 、前進時は D M、後退時は R にあることを目で確認してください。

車から離れるときは

57L20001

⚠注意

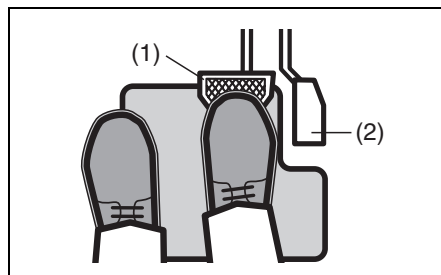
エンジンをかけたまま車から離れないでください。万一、セレクトレバーが P 以外に入っていると、車がひとりでに動き出すおそれがあります。また、車に乗り込むときに誤ってセレクトレバーを動かしたりアクセルペダルを踏み込んだりして、思わぬ急発進のおそれがあります。

オートマチック車の運転のしかた

4-11 ページの「**セレクトレバーの操作**」もあわせてお読みいただき、正しい取扱いをしてください。

運転席にすわって

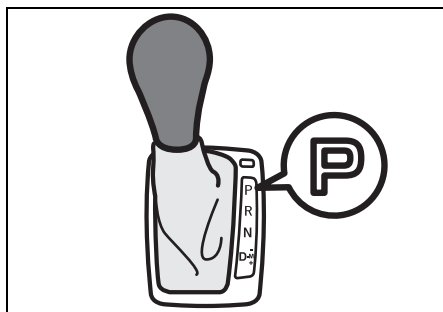
1 ペダルが確実に踏めて、ハンドル操作が楽に行なえる位置にシートやハンドルを調節します。
→ **3-26ページ（前席シート）**
→ **3-26 ページ（テレスコピック&チルトステアリング）**

2 アクセルペダル（2）とブレーキペダル（1）の位置を右足で確認します。

80J1007

エンジンの始動

エンジンのかけかたの詳細は**4-6 ページ**の「**エンジンのかけかた**」をお読みください。

1 パーキングブレーキをしっかりとかけます。

2 セレクトレバーが P にあるか確認します。

57L20001

アドバイス
セレクトレバーが N の位置でもエンジンがかかりますが、安全のため P でエンジンをかけてください。

3 ブレーキペダルを右足で踏みます。

4 エンジンを始動します。

発進

■ 通常の発進

1 ブレーキペダルを右足でしっかり踏み込みます。

2 前進時は D 、後退時は R にセレクトレバーを入れ、レバーの位置を目で確かめます。

3 パーキングブレーキを解除し、メーター内のブレーキ警告灯の消灯を確認します。

4 ブレーキペダルからゆっくりと足をはなし、アクセルペダルを慎重に踏んで発進します。

⚠注意
発進時の速度の調節は、アクセル操作だけです。アクセルペダルはゆっくり慎重に踏んでください。

■ 急な上り坂での発進

1、2 は「**通常の発進**」と同じ操作です。

3 ブレーキペダルからゆっくりと右足をはなし、アクセルペダルを慎重に踏みます。

4 車が動きだす感触を確認しながら、パーキングブレーキレバーを解除して発進します。

80J255

アドバイス
ヒルホールドコントロールの場合、急な上り坂での発進時に車が後退することを一定時間防ぐ機能があります。
→ **4-54ページ**
(ヒルホールドコントロール)

走行

■ 通常走行

セレクトレバーを D に入れて発進すると、走行速度とアクセルペダルの踏み込み量により、自動的に変速され走行できます。

⚠注意

緊急時以外は、走行中にセレクトレバーを N にしないでください。エンジンブレーキがまったく効かないため、思いがけない事故の原因となります。

■ 急加速走行

追い越しなどをしたいときは、アクセルペダルをいっぱいに踏み込みます。
キックダウンして力強い加速が得られます。

■ 上り坂走行

上り坂を D で走行しているときに、スピードを保つためにアクセルペダルを踏み込んでいくと、キックダウンしてエンジンの回転が急に上がることがあります。

■ 下り坂走行

下り坂を D のままで走行すると、エンジンブレーキの効きが弱くてスピードが出すぎてしまうことがあります。坂の勾配に応じて、あらかじめ次のいずれかの操作をして、エンジンブレーキを併用します。

- パドルシフトスイッチ（ー側）を操作して、適切なギヤポジションにシフトダウンします。
- セレクトレバーを M に入れて、適切なギヤポジションにシフトダウンします。

⚠警告

急な下り坂や長い下り坂では、エンジンブレーキを併用してください。下り坂でブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキ装置が過熱してブレーキが効かなくなるおそれがあります。

一時停止

1. セレクトレバーは走行位置のままで停車し、ブレーキペダルをしっかり踏み込みます。
   - 急な坂道で一時停止するときは、必要に応じてパーキングブレーキをかけます。
   - 停車時間が長くなりそうなときは、セレクトレバーを N に入れます。
2. 再発進するときに間違えないよう、セレクトレバーの位置とパーキングブレーキの解除を目で確かめます。

⚠注意

一時停止しているときに、空ぶかしをしないでください。万一、セレクトレバーが P N 以外に入っていると、急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

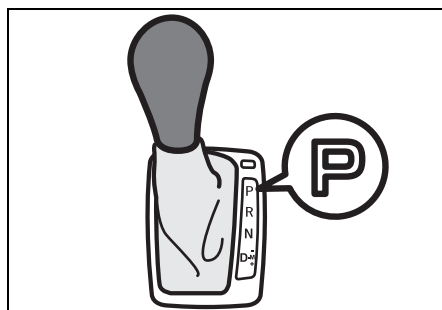
上り坂などで、アクセルをふかしながら車を停止させないでください。トランスミッションオイルが過熱し、故障の原因となります。

駐車

1 車を完全に止めます。

2 ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをしっかりとかけます。

3 セレクトレバーを P に入れてからエンジンを止め、ブレーキペダルからゆっくりと足をはなします。

- セレクトレバーがPの位置になっているか目で確かめます。

57L20001

⚠注意

駐車するときは、必ずセレクトレバーを P に入れてからエンジンを止めてください。P 以外の位置ではシフトロックが作動せず、誤操作などで思わぬ事故につながるおそれがあります。

4 エンジンスイッチが LOCK (OFF) にあることを確認します。

⚠注意

車から離れるときは、必ずエンジンスイッチを LOCK（OFF）にしてください。

後退

■ 正しい運転姿勢

車を後退させるときは身体をひねった運転姿勢になり、ペダルが踏みにくくなります。ブレーキペダルやアクセルペダルが確実に踏める姿勢で運転操作をしてください。

■ 前進や後退を繰り返すとき

車庫入れなどで前進や後退を繰り返すときは、完全に停車させてから、次の前進あるいは後退の操作を行なってください。

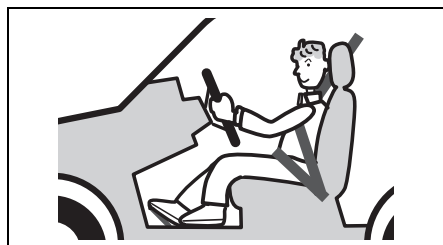
アドバイス

- 前進と後退を繰り返すときなどは、セレクトレバーを R に入れていたことを忘れることがあります。車を後退させたあとは、すぐに R から N に入れる習慣をつけてください。
- ゆっくりとした車速での幅寄せ、縦列駐車、車庫入れ、狭い道路の通行などには、パーキングセンサーをご使用ください。
→ **4-27ページ**
（パーキングセンサー）

4

こんなことにも気をつけて

■ 車を少し移動させるとき

少しだけ移動するときでも、ブレーキペダルやアクセルペダルが確実に踏める正しい運転姿勢をとってください。

80J014

⚠警告

坂道などで、セレクトレバーを前進の位置（D M）にしたまま惰性で後退したり、後退の位置（R）にしたまま惰性で前進したりしないでください。エンストしてブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルが重くなったりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、故障の原因になります。

■ 停車するとき

車が少しでも動いているときは、セレクトレバーを P に入れないでください。トランスミッションが故障する原因となります。

駆動モードの切替え操作

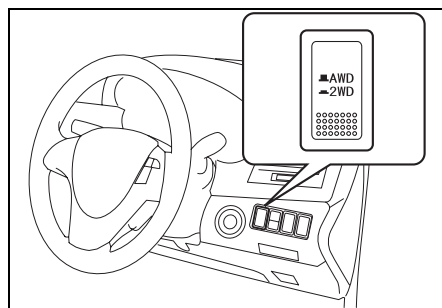
4WD車

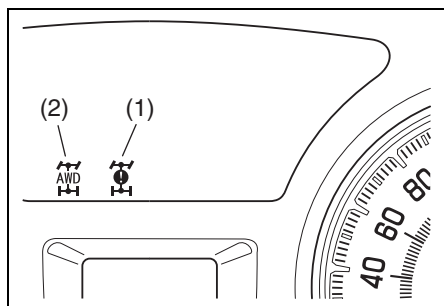
2-24ページの「**4WD車を運転するときは**」もあわせてお読みいただき、電子制御4WD車（i-AWD車）の特性や操作上の注意を十分理解して正しい取扱いをしてください。

- 電子制御4WD【i-AWD（※）】とは、走行状況に応じて任意の駆動モードをスイッチ操作で選択できる4WDシステムです。

  ※ i-AWDは、intelligent All Wheel Driveの略です。

駆動モード選択スイッチ

エンジンスイッチが ON のときに駆動モード選択スイッチを押すと、駆動状態の切替えができます。

57L40014

- 駆動モード選択スイッチを押して切り替えた駆動状態は、メーター内にあるAWDモード表示灯の点灯・消灯で確認できます。

(1) AWD警告灯
(2) AWDモード表示灯

■ 各表示灯の点灯状態

スイッチ位置	AWDモード表示灯	駆動モード
	ー（消灯）	2WDモード
	AWD（点灯）	AWDモード

駆動モード選択スイッチの各位置のはたらき

■ 2WDモード

乾燥した舗装路をより経済的に走行したいときは、このモードを選んでください。

- 後輪への伝達トルクを最小に固定します。（前輪駆動に近い状態）

■ AWDモード

通常は、このモードを選んでください。ほとんどの路面状況下で、常に適切な駆動力を自動的に後輪へ配分します。

- 運転操作や車両の状態を検知し、電子制御カップリングが適切な駆動力を後輪へ伝えることで、走行安定性を補助します。
- 定常走行時は、後輪へのトルク配分を減少させ、前輪駆動に近い状態とすることで経済性を高めます。

駆動モード選択スイッチの操作

停車中でも走行中でも駆動モードの切り替えは可能です。走行中に切り替える場合は、ハンドルを直進状態にします。

■ 2WDモード

スイッチを押し込むと、メーター内のAWDモード表示灯が消灯するとともに、AWDモードに切り替わります。

■ AWDモード

スイッチを押しもどすと、メーター内のAWDモード表示灯が点灯するとともに、AWDモードに切り替わります。

⚠注意

- **走行中の切替え操作は、安全運転に支障がないように十分注意して行なってください。**
- **雪道などで前輪を空転させたまま、スイッチ操作をしないでください。車両が思わぬ方向に飛び出すおそれがあります。**
- **スタックしたときに2WDモードのときは、スイッチ操作をして、必ずAWDモードに切り替えてください。そのままスタックから脱出しようとすると、駆動装置などが損傷するおそれがあります。**

4

⚠注意

タイヤの摩耗程度が4輪で著しく異なると、駆動装置に悪影響をあたえるおそれがあります。タイヤがかたよって摩耗するのを防ぐために、タイヤのローテーションを必ず行なってください。

→ 6-6ページ（タイヤのローテーション）

アドバイス

次のような操作をすると、ショックが発生することがありますが異常ではありません。

- ブレーキや加速、旋回のときなどにスイッチ操作をする
- 駆動状態がAWDモードのときに、エンジンスイッチを ACC または LOCK（OFF）にする

AWD警告灯

57L30042

メーターパネル内にあります。

- 4WDシステムに異常があると、エンジンスイッチが ON のときに点灯します。このとき、駆動状態は2WDモードに固定されます。
- 次のような状況になると点滅します。このとき、駆動状態は2WDモードに固定されます。
  - 異径タイヤの装着またはタイヤの空気圧不足の状態で、一定時間走行したとき
  - スタックなどで駆動輪が空転し、駆動系部品が過熱したとき
- システムが正常な場合はエンジンスイッチを ON にしたときに、約2秒間点灯したあと消灯します。

⚠注意

点灯したときは、4WDのシステムに異常が考えられます。高速走行を避けてスズキサービス工場に行き、すみやかに点検を受けてください。

アドバイス

- 点滅し、メーター内のインフォメーションディスプレイに「AWDシステム高温2WD（強制）」と表示されたときは、駆動系部品保護のため、すみやかに安全な場所に停車し、アイドリング状態にしてください。
  しばらくして警告灯が消灯すると、システムは正常な状態にもどっています。
- 点灯または点滅すると、インフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。
  → 3-79ページ（インフォメーションディスプレイのメッセージ）

AWDモード表示灯

57L30044

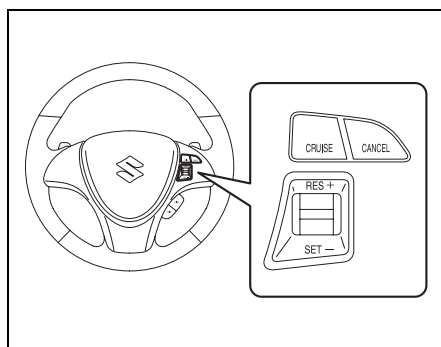
メーターパネル内にあります。

- エンジンスイッチが ON のときに、駆動状態がAWDモードの場合に点灯します。
- エンジンスイッチを ON にすると約2秒間点灯し、そのあと駆動状態により点灯または消灯します。

クルーズコントロール

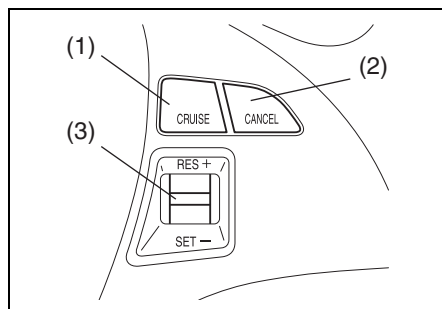
タイプ別装備

アクセルペダルから足を離しても、一定の車速で走行できます。加減速の繰り返しの少ない高速道路や自動車専用道路などで使用してください。

- セレクトレバーが D または M の位置で使用できます。ただしマニュアルモード時は、ギヤポジションが **3** 以上のときだけ使用できます。
  → **4-11ページ（セレクトレバーの操作）**
- 目標車速は、約45〜約100 km/hの間でセットできます。

57L40012

⚠警告

次のような場所では使用しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **交通量の多い道。**
- **急カーブのある道。**
- **凍結や積雪などで滑りやすい道。**
- **急な下り坂。エンジンブレーキが十分に効かず、セットした目標車速をこえることがあります。**

クルーズコントロールスイッチ

57L40013

(1) クルーズスイッチ
(2) キャンセルスイッチ
(3) 車速設定スイッチ

セット（定速走行）のしかた

1. クルーズスイッチ（1）を押します。
   - メーター内のCRUISE表示灯が点灯すると、目標車速がセットできる状態（待機状態）になります。
2. アクセルペダルの加減で、希望の車速に調節します。
3. 車速設定スイッチ（3）を**SET －**側へ押し下げます。
   - メーター内のSET表示灯が点灯すると、アクセルペダルから足を離しても定速走行ができます。

⚠警告

クルーズコントロールを使用しないときは、必ずクルーズスイッチ（1）を押してCRUISE 表示灯を消灯させてください。誤ってクルーズコントロールを作動させると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

4

CRUISE表示灯

CRUISE

65J308

メーターパネル内にあります。

- クルーズスイッチ（1）を押して、目標車速がセットできる状態（待機状態）になると点灯します。
  → **3-66ページ**
  （警告灯・表示灯の見かた）

SET表示灯

SET

65D474

メーターパネル内にあります。

- 目標車速がセットされると点灯します。
  → **3-66ページ**
  （警告灯・表示灯の見かた）

一時的に加減速したいときは

■ 加速したいとき

アクセルペダルを踏んでください。通常走行と同様に加速できます。

- アクセルペダルから足を離すと、自動的にもとの定速走行にもどります。

■ 減速したいとき

ブレーキペダルを踏んでください。定速走行が解除され、SET 表示灯が消灯します。（待機状態）

もとの定速走行にもどすときは

車速設定スイッチ（3）を**RES ＋**側へ押し上げて、SET 表示灯を再点灯させてください。

⚠注意

マニュアルモード時は、シフトダウンしてもギヤポジションが3以上のときは定速走行が解除されないため、エンジンブレーキが効きません。ブレーキペダルまたは車速設定スイッチの操作で減速してください。

目標車速の変えかた

■ アクセルペダルを使って

希望の車速まで加速し、車速設定スイッチ（3）を**SET －**側へ押し下げます。

■ ブレーキペダルを使って

希望の車速まで減速し、車速設定スイッチ（3）を**SET －**側へ押し下げます。

アドバイス

ブレーキペダルを踏んでから再セットするまでは、SET 表示灯が消灯します。（待機状態）

■ 車速設定スイッチを使って

- 加速するときは、車速設定スイッチ（3）を **RES ＋**側へ押し上げ続けます。
- 減速するときは、車速設定スイッチ（3）を **SET －**側へ押し下げ続けます。

希望の車速になったら、スイッチから手を離します。

アドバイス

スイッチを短押しすると、目標車速の微調整（約1.5 km/h）ができます。

定速走行の解除のしかた

■ 一時的な解除

同時にSET表示灯が消灯します。（待機状態）

- キャンセルスイッチ（2）を押す
- ブレーキペダルを踏む
- 目標車速より、車速が 2 割程度以上低下したとき
- 車速が約40 km/h以下になったとき
- マニュアルモード時は、シフトダウンしてギヤポジションが **2** 以下になったとき
- ESP® の場合、車が横すべりしそうになったとき（ESP®作動時を含む）

もとの定速走行にもどすときは

車速設定スイッチ（3）を**RES ＋**側へ押し上げて、SET 表示灯を再点灯させてください。

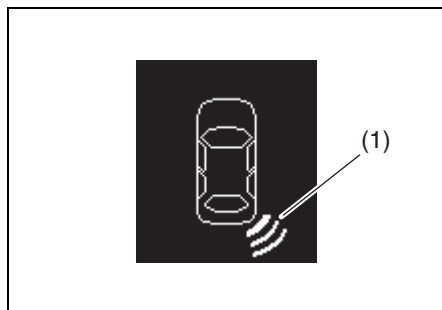
■ システムの解除

同時にCRUISE表示灯が消灯します。

- クルーズスイッチ（1）を押す
- メーター内のエンジン警告灯が点灯または点滅したとき
  → **3-69ページ（エンジン警告灯）**

パーキングセンサー

停車中またはゆっくりとした速度で走行中に、超音波センサーがフロント／リヤバンパー周辺の障害物を検知すると、室内ブザーおよびメータ内のインフォメーションディスプレイで運転者に知らせる装置です。

- センサーは、送信した超音波が障害物にあたって反射してきたものを再度受信し、その送受信に要した時間から障害物の位置を検出します。
- エンジンスイッチが ON のときに、セレクトレバーを P 以外の位置にすると使用できます。ゆっくりとした車速での幅寄せ、縦列駐車、車庫入れ、狭い道路の通行などでご使用ください。

(1) パーキングセンサー検知表示（※）

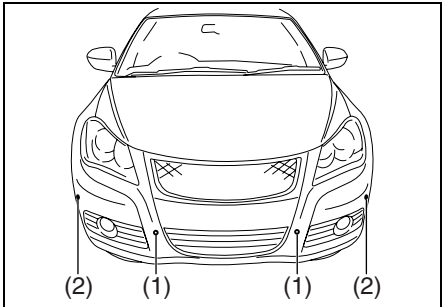
※右後方遠方に障害物を検知した場合の表示例です。

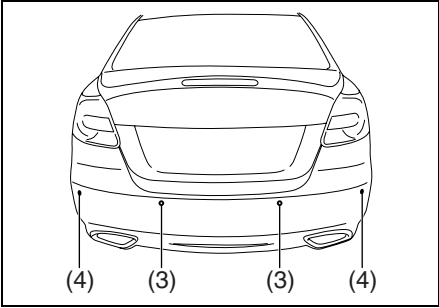
⚠警告

- パーキングセンサーは運転者の注意義務を軽減するものではありません。運転の補助としてご使用ください。
- センサーの検知範囲、作動速度には限界があります。周囲の安全は必ず直接目視やミラーで確認しながら、ゆっくりと運転してください。パーキングセンサーだけを頼りに運転すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

4

センサーの取付け位置

■ フロントバンパー

(1) フロント中央センサー(2個)
(2) フロントコーナーセンサー(2個)

■ リヤバンパー

(3) リヤ中央センサー(2個)
(4) リヤコーナーセンサー(2個)

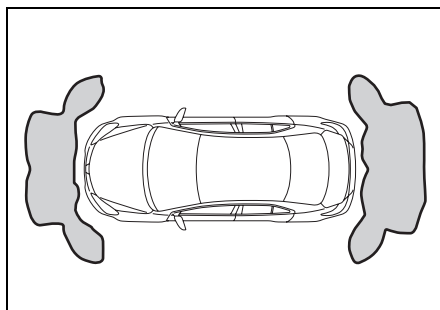
アドバイス

- センサー部に強い衝撃をあたえたり、高圧洗浄機のノズルを直接向けたりしないでください。破損のおそれがあります。
- バンパーをぶつけると、センサーが正常に作動しなくなる場合があります。スズキサービス工場で点検を受けてください。

作動可能なセンサー

セレクトレバーの位置により異なります。

セレクトレバー位置		R	N D M
フロント側	中央	停止	作動
	コーナー	作動	作動
リヤ側	中央	作動	停止
	コーナー	作動	停止

検知範囲の目安

57L40021

- センサーの直近約20 cmや真下は検知できません。
- センサーの検知距離は、車両前方が約1 m、車両後方が約1.5 mです。

警告

- **次のような状況では、パーキングセンサーが障害物を正確に検知できず、正常に作動しない場合があります。**
  - **センサー部に泥や氷などの異物がが付着しているとき（異物を取り除いてください）**
  - **どしゃぶりの雨や水しぶきがかかったとき**
  - **センサーを手やステッカー、アクセサリーなどで覆ったとき**
  - **けん引フック、字光式ナンバープレート、市販のコーナーポール、または無線機アンテナなどを装着したとき**
  - **サスペンションの改造などでバンパーの高さを変更したとき**
  - **炎天下や寒冷時にセンサー付近が熱いときや冷たいとき**
  - **凸凹道、坂道、じゃり道、草むら**
  - **車が大きく傾いたとき**
  - **他車のホーン、大型車のエアブレーキ音、ブレーキ音、またはパーキングセンサーなどの超音波ノイズを受信したとき**
  - **センサーに障害物が近づきすぎたとき**
  - **ガラスなど鏡面のものに斜めに向かったとき（反射波がもどってこない）**
- **次のような障害物は、センサーが正確に検知できない場合があります。**
  - **金網やロープなどの細いもの**
  - **直角の縁石など鋭角的な形のもの**
  - **標識などの背が高く上部が張り出しているもの**
  - **縁石などの背が低いもの**
  - **綿、雪などの音波を吸収しやすいもの**

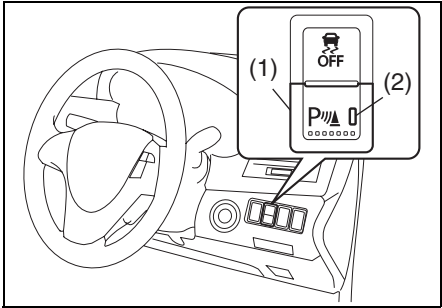
アドバイス

- 細い杭、センサー位置より低い障害物は、一度検知しても接近すると検知しなくなる場合があります。
- 標識などは、検知距離が短くなる場合があります。

4

使いかた

■ パーキングセンサースイッチ

- ON 位置にしていると、エンジンスイッチが ON のときにスイッチ内の表示灯（2）が点灯し、次の条件で作動します。
  - セレクトレバーが P 以外
  - 加速時は前進車速約13 kmまで
  - 減速時は前進車速約9 km以下
- 使用しないときは、スイッチを押し込みOFF位置にします。スイッチ内の表示灯は常に消灯し、作動しません。

(1) パーキングセンサースイッチ

スイッチ位置	状態
	ON位置 ● スイッチ内の表示灯が点灯し、条件をみたすと作動します。
	OFF位置 ● 使用しないとき。常に作動しません。

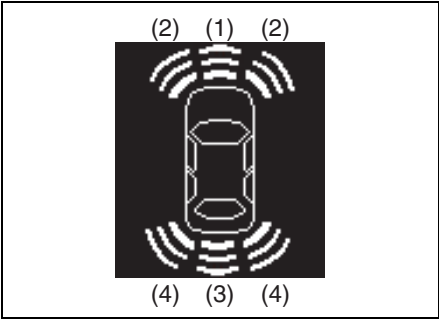
アドバイス

エンジンスイッチが ON のときに、スイッチをOFFからON位置に切り替えると、室内ブザーが1回鳴ります。

■ パーキングセンサー検知表示

障害物を検知すると、室内ブザーが鳴るとともに、メーター内のインフォメーションディスプレイに表示されます。

- 障害物の方向および距離によって、表示内容が異なります。
- フロント側のセンサーが検知した場合は、メーターにあるブザーが作動します。
- リヤ側のセンサーが検知した場合は、後席後方にあるブザーが作動します。

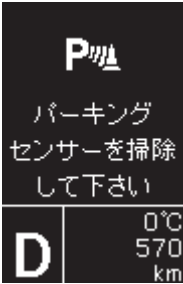
説明図

(1) フロント中央センサー検知時
(2) フロントコーナーセンサー検知時
(3) リヤ中央センサー検知時
(4) リヤコーナーセンサー検知時

- **コーナーのセンサーが検知した場合**

距離（目安）	ブザー音	表示
37.5〜60 cm	プッ・プッ・プッ	3本線
25〜37.5 cm	プップップッ	2本線
25 cm以内	プー（連続）	1本線

● **中央のセンサーが検知した場合**

距離（目安）	ブザー音	表示
60～150 cm（※）	プッ・・プッ・・プッ	3本線
45～60 cm	プッ・プッ・プッ	
35～45 cm	プップップッ	2本線
35 cm以内	プー（連続）	1本線

※フロント側は60～100 cm

アドバイス

- 障害物を検知してから表示されるまでには、多少時間がかかります。
- いくつかの障害物を同時に検知した場合、すべての障害物の位置を表示します。ただし、室内ブザーは、距離の近い障害物を優先して作動します。

パーキングセンサーのメッセージ

パーキングセンサーのシステムに異常があるときなど、お知らせしたい情報があると、メーター内のインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されるとともにパーキングセンサー故障表示が点滅し、ブザーが鳴ります。メッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。

■ パーキングセンサーのメッセージ一覧

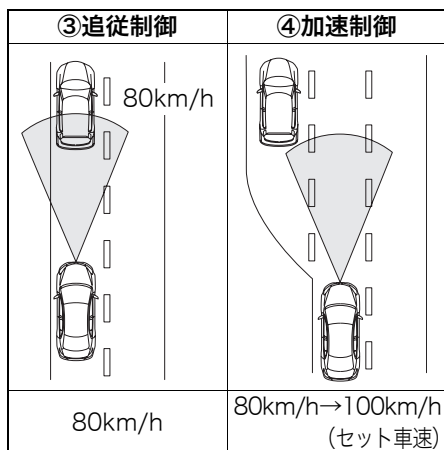
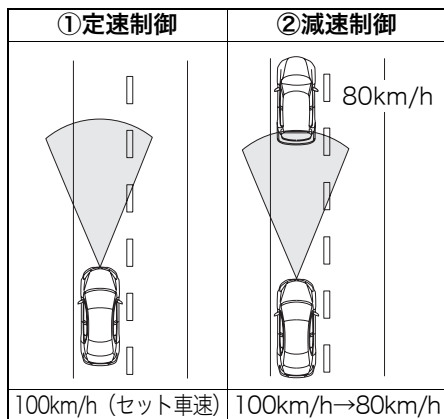
メッセージ	パーキングセンサー故障表示	ブザー音	原因と対処方法
パーキング センサー システム要点検 D 0℃ 570 km	異常のあるセンサー部分の線が2本点滅表示	ププッ ププッ ププッ	パーキングセンサーのシステムに異常が考えられます。スズキサービス工場で点検を受けてください。
パーキング センサーを掃除 して下さい D 0℃ 570 km	汚れているセンサー部分の線が1本点滅表示	プッ・ プッ・ プッ・	センサー部が汚れています。柔らかい布でふき取ってください。 → **4-28 ページ（センサーの取付け位置）**

アクティブクルーズコントロール

注文装備

セレクトレバーが D のとき（パドルシフトスイッチによるマニュアルモード走行時を除く）に、アクセルペダルから足をはなしても一定の車速で走行できます。また、セット車速より遅い先行車が現れた場合は、次のように減速・追従・加速制御を自動的に行ない快適な走行ができます。加減速の繰り返しの少ない高速道路や自動車専用道路などで使用してください。

- 次の図は、セット車速を100km/h、先行車の車速を80km/hとした場合の例です。

③追従制御	④加速制御
80km/h	
80km/h	80km/h→100km/h（セット車速）

①定速制御（先行車がいないとき）

セットした目標車速で定速走行します。

- 目標車速は、約45～約100km/hの間でセットできます。

② 減速制御（セット車速より遅い先行車が現れたとき）

レーダーが先行車を検知すると、先行車の車速に応じて、設定した車間距離を保ちながら自動減速します。

- レーダーが検知可能な先行車との車間距離は、前方約100m以内です。

③追従制御（セット車速より遅い先行車に追従するとき）

先行車の車速に応じて、設定した車間距離を保ちながら自動減速・自動加速し、先行車に追従します。

アドバイス

減速・追従制御時に、先行車に接近した場合は、接近警報が作動します。

→ **4-38ページ（接近警報）**

④加速制御（セット車速より遅い先行車がいなくなったとき）

セット車速までゆっくり加速し、定速走行します。

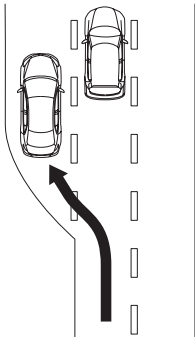
⚠警告

システムを過信しない

常に周囲の状況を確認して、必要に応じてブレーキペダルやアクセルペダルを操作して安全運転に努めてください。アクティブクルーズコントロールによる制御には限界があります。

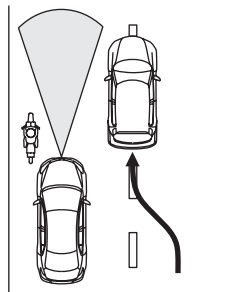
次のような状況では使用しない

適切な制御が行なわれず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

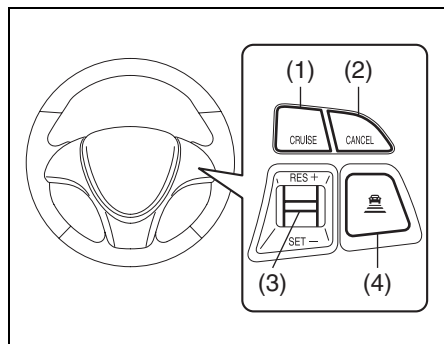
- 交通量の多い道。交通状況にあった速度で走行できないおそれがあります。
- 急カーブのある道。道路状況にあった速度で走行できないおそれがあります。
- 凍結や積雪などで滑りやすい道。タイヤが空転し、コントロールを失うおそれがあります。
- 急な下り坂。定速走行時はブレーキ制御を行なわないため、セットした目標車速を超えるおそれがあります。また、追従制御時は十分に減速できず、先行車に接近するおそれがあります。
- 急な上り坂、下り坂が繰り返される道。レーダーが先行車を検知できず、先行車に接近するおそれがあります。
- 高速道路の出口など。本線でセット車速より遅い車に追従していた場合、出口に向けて本線を外れて先行車がいない状態になると、セット車速まで加速をはじめます。

57L0013

- 接近警報が頻繁に作動するとき
→　4-38ページ（接近警報）
- 雨、霧、雪、砂嵐などの悪天候時や、レーダーセンサーが設置されているグリルカバーに水滴や雪、汚れなどが付着しているとき。レーダーが先行車との車間距離を正確に測定できないおそれがあります。
→　4-38ページ（レーダーセンサー部の取扱い）

次のような状況に注意して

- 料金所や渋滞の最後尾などで先行車が停車中または低速走行中のときは、レーダーが先行車を検知できず、接近警報も作動しません。ブレーキで減速してください。
- 次のようなときは、レーダーが先行車を正しく検知できないおそれがあります。また、接近警報が作動しないおそれもあります。必要に応じてブレーキで減速してください。
  - 先行車などが路上の水や雪を巻き上げて走行しているとき
  - 先行車が空荷のトレーラーなど車両の後部が小さすぎるとき
  - 荷室や後席に重い荷物を積むなどして、自車が傾いているとき
- 次のようなときは、レーダーが隣車線の車両や路側物などを検知して、接近警報が作動するおそれがあります。
  - カーブ路や、車線幅が狭いとき
  - ハンドル操作などにより、自車の車線内の位置が不安定なとき
- 近距離ではレーダーの検知範囲が狭いため、次のようなときは、先行車の検知が遅れたり検知できなかったりするおそれがあります。必要に応じてブレーキで減速してください。
  - 先行車が急に割り込んできたとき
  - 先行車が車線の端を走行している二輪車のとき

57L0014

4

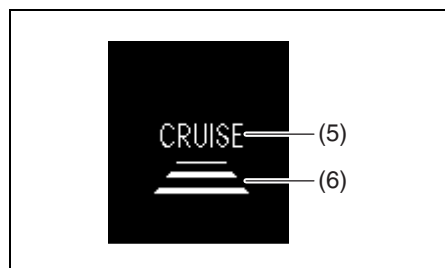
アクティブクルーズコントロールスイッチ

57L0015

(1) クルーズスイッチ
(2) キャンセルスイッチ
(3) 車速設定スイッチ
(4) 車間距離設定スイッチ

セットのしかた

定速走行時の目標車速をセットします。

1 クルーズスイッチ（1）を押します。

- メーター内の CRUISE 表示灯が緑色に点灯し、インフォメーションディスプレイに次のような画面が表示されると、目標車速がセットできる状態（待機状態）になります。

57L0036

(5) CRUISE表示
(6) 車間距離設定表示（約5秒間表示）

アドバイス

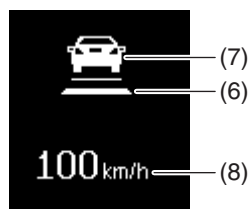
車間距離設定表示（6）は、待機状態でも切り替えることができます。
→ **4-36ページ**
（車間距離設定の切り替えかた）

2 アクセルペダルの加減で、希望の車速に調節します。

- 目標車速は、約 45 ～約 100km/h の間でセットできます。

3 車速設定スイッチ（3）を**SET −**側へ押し下げます。

- インフォメーションディスプレイに次のような画面が表示されると、アクセルペダルから足をはなしても走行ができます。

図の値は表示例です

57L0037

(6) 車間距離設定表示（車間距離：中）
(7) 先行車検知表示（先行車あり）
(8) セット車速表示（100km/h）

⚠ 警告

アクティブクルーズコントロールを使用しないときは、必ずクルーズスイッチ（1）を押してCRUISE表示灯を消灯させてください。誤ってアクティブクルーズコントロールを作動させると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

●セットできる車速の上限をこえて走行しているときは、約100km/hにセットされます。

●目標車速は、標識や標示で指定された最高速度をこえないようにセットしてください。
→ **4-37ページ（セット車速の変えかた）**

●次のようなときは、セットできません。
- セレクトレバーが D 以外
- セレクトレバーが D のときであっても、パドルシフトスイッチを操作してマニュアルモードで走行しているとき
→ **4-15ページ（一時的にマニュアルモードにするときは）**
- フロントワイパーが高速で作動中
- レーダーセンサーが設置されているグリルカバーの汚れを検知したとき
→ **4-38ページ（レーダーセンサー部の取扱い）**

●エンジンスイッチを ACC または LOCK（OFF）にすると、自動的にシステムが解除されます。

■ CRUISE表示灯

CRUISE

65J308

メーターパネル内にあります。
→ **3-66ページ（警告灯・表示灯の見かた）**

- クルーズスイッチ（1）を押して、目標車速がセットできる状態（待機状態）になると緑色に点灯します。
- アクティブクルーズコントロールのシステムに異常があると、エンジンスイッチが ON のときにオレンジ色に点灯します。スズキサービス工場で点検を受けてください。
- システムが正常な場合はエンジンスイッチを ON にしたときに、約2秒間オレンジ色に点灯したあと消灯します。

アドバイス

点灯すると、メーター内のインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。
→ **4-39ページ（アクティブクルーズ コントロールのメッセージ）**

4

■ 先行車検知表示（7）の見かた

表示	状況
	先行車が検知されていないとき（定速制御になります）
	先行車が検知されているとき（減速・追従制御になります）

アドバイス

アクセルペダルを踏んで加速したときは、先行車が検知されていないときの表示になります。

■ 車間距離設定の切り替えかた

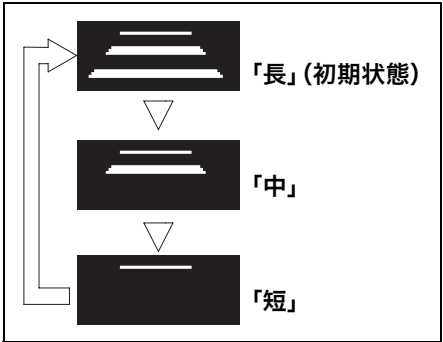
先行車との車間距離は、交通状況に応じて「長」、「中」、「短」の３段階から選択できます。

- CRUISE 表示灯が緑色に点灯しているときに、車間距離設定スイッチ（4）を押すと、車間距離設定表示（6）が次のように切り替わります。

アドバイス

- エンジンを切ると記憶が消去され、初期状態にもどります。
- 車速や道路状況に応じて適切な車間距離は増減しますが、次の表を参考に設定してください。

＜車速80km/h走行時の目安＞

車間設定	車間距離
「長」	約50m
「中」	約40m
「短」	約30m

一時的に加減速したいときは

■ 加速したいとき

アクセルペダルを踏んでください。制御が一時的に解除され、通常走行と同様に加速できます。

- アクセルペダルから足をはなすと、自動的にもとの制御にもどります。

■ 減速したいとき

ブレーキペダルを踏んでください。制御が解除され、インフォメーションディスプレイに「CRUISE」が表示されます。（待機状態）

もとの制御にもどすときは

車速が約45km/h以上のときに、車速設定スイッチ（3）を**RES ＋**側へ押し上げます。インフォメーションディスプレイの表示がもとにもどります。

セット車速の変えかた

■ アクセルペダルを使って
希望の車速まで加速し、車速設定スイッチ（3）を**SET −**側へ押し下げます。

■ ブレーキペダルを使って
希望の車速まで減速し、車速設定スイッチ（3）を**SET −**側へ押し下げます。

アドバイス

ブレーキペダルを踏んでから再セットするまでは、インフォメーションディスプレイに「CRUISE」が表示されます。（待機状態）

■ 車速設定スイッチを使って
- 加速するときは、車速設定スイッチ(3)を**RES ＋**側へ押し上げ続けます。
- 減速するときは、車速設定スイッチ(3)を**SET −**側へ押し下げ続けます。

希望の車速になったら、スイッチから手を離します。

アドバイス

- 先行車を検知している減速･追従制御時は、車速設定スイッチ(3)を**RES ＋**側へ押し上げ続けてセット車速を上げても加速しません。ただし、先行車がいなくなると、自動的にセット車速まで加速しますので気をつけてください。
- 車速設定スイッチ（3）を**SET −**側へ押し下げ続けてセット車速が約40km/h以下になったときは、室内ブザーが“ピッ”と鳴って制御が自動解除されます。

解除のしかた

■ 制御の一時的な解除
- キャンセルスイッチ（2）を押したとき
- ブレーキペダルを踏んだとき

同時にインフォメーションディスプレイに「CRUISE」が表示されます。（待機状態）

もとの制御にもどすときは

車速が約45km/h以上のときに、車速設定スイッチ（3）を**RES ＋**側へ押し上げます。インフォメーションディスプレイの表示がもとにもどります。

4

■ 制御の自動解除
- 車速が約40km/h以下になったとき
- フロントワイパーが高速作動になったとき
- セレクトレバーを D 以外にしたとき
- セレクトレバーが D のときであっても、パドルシフトスイッチを手前に引いたとき
  → **4-15ページ（一時的にマニュアルモードにするときは）**
- 車が横滑りしそうになったとき（ESP®作動時を含む）
- レーダーセンサーが設置されているグリルカバーの汚れを検知したとき
  → **4-38ページ（レーダーセンサー部の取扱い）**

同時にインフォメーションディスプレイに「CRUISE」が表示され、室内ブザーが“ピッ”と鳴ります。（待機状態）

もとの制御にもどすときは

制御が解除されたときの状況が改善されるなどしてから、車速が約 45km/h 以上のときに車速設定スイッチ(3)を**RES ＋**側へ押し上げます。インフォメーションディスプレイの表示がもとにもどります。

■ システムの解除

- クルーズスイッチ（1）を押したとき

同時にCRUISE表示灯が消灯します。

アドバイス

システムに異常があると自動的に解除され、同時にCRUISE表示灯がオレンジ色に点灯します。
→　**4-35ページ（CRUISE表示灯）**

接近警報

減速・追従制御時に先行車が急減速したり、他車が割り込んできたりして、十分に自動減速できず先行車に接近すると、接近警報が作動して注意を促します。

- 室内ブザーが“ピピピピッ”と鳴り、インフォメーションディスプレイに次のメッセージが表示されます。

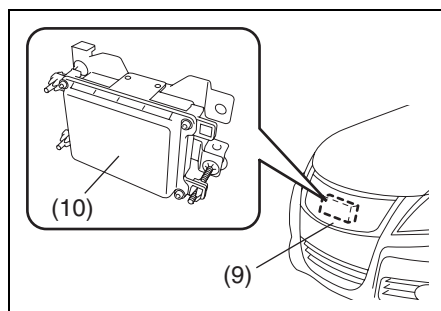
57L0056

- 接近警報が作動したときは、ブレーキペダルを踏んで減速し、適切な車間距離を確保してください。

警告

- **接近警報が頻繁に作動するような状況では、アクティブクルーズコントロールを使用しないでください。**
- **次のようなときは、短い車間距離でも接近警報が作動しない場合があります。**
  - **先行車とほぼ同じ速度で走行しているとき**
  - **先行車の方が速く、次第に離れていくとき**
  - **目標車速をセットした直後**
  - **アクセルペダルを踏んでいるときや離した直後**
- **4-33ページの 次のような状況に注意して もあわせてお読みください。**
- **衝突のおそれがあると判断されると、プリクラッシュセーフティシステムが作動します。**
  →　**4-41 ページ（プリクラッシュセーフティシステム）**

レーダーセンサー部の取扱い

レーダーセンサーは、グリルカバーの裏側にあります。

57L0018

(9) グリルカバー
(10)レーダーセンサー部

レーダーセンサーが設置されているグリルカバーの汚れを検知すると、次のようにして注意を促します。

- 室内ブザーが“ピッ”と鳴り、メーター内のPRECRS表示灯がオレンジ色に点滅します。
  → **4-46 ページ（PRECRS（プリクラッシュ）表示灯）**
- メーター内のインフォメーションディスプレイに次のメッセージが表示されます。

57L0030

- アクティブクルーズコントロールの使用中は、制御が自動解除されます。
- プリクラッシュセーフティシステムは停止状態になります。
  → **4-41 ページ（プリクラッシュセーフティシステム）**

⚠警告

次のような状況では、グリルカバーの汚れなどを検知できない場合があります。この場合、適切な車間距離が確保できず思わぬ事故につながるおそれがあります。常に前方に注意して走行してください。

- **ビニール袋（透明、半透明、有色、金属コーティング品など）が付着している**
- **氷、つららなどが付着している**

⚠注意

レーダーを正しく作動させるため、次のことをお守りください。

- **グリルカバーは、常にきれいな状態にしてください。汚れたときは、傷つけないように柔らかい布でふいてください。**
- **分解したり、強い衝撃を与えたりしないでください。事故などでフロントまわりをぶつけると、レーダーセンサーの故障などにより、システムが正常に作動しなくなるおそれがあります。早めにスズキサービス工場で点検を受けてください。**
- **グリルカバーにステッカーなどを貼ったり、物を取り付けたりしないでください。透明のものでも貼らないでください。**
- **グリルカバーの改造や塗装、純正部品以外への交換はしないでください。**
- **レーダーセンサー部に貼られている電波法適合証明ラベルをはがしたり、改ざんしたりしないでください。**

アクティブクルーズコントロールのメッセージ

システムの異常など、お知らせしたい情報があると、メーター内のインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。

- メッセージの種類によっては、同時にメーター内のマスターウォーニングが点滅したり、室内ブザーが鳴ったりする場合があります。
- メッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。

■ アクティブクルーズコントロールのメッセージ一覧

メッセージ	マスターウォーニング	ブザー音（室内ブザー）	原因と対処方法
CRUISE PRECRS CRUISE PRECRS システム要点検	点滅	ピーーッ（1回）	アクティブクルーズコントロールのシステムおよびプリクラッシュセーフティシステムに異常が考えられます。スズキサービス工場で点検を受けてください。 → **4-35ページ（CRUISE表示灯）**
CRUISE CRUISE システム要点検	点滅	ピーーッ（1回）	アクティブクルーズコントロールのシステムに異常が考えられます。スズキサービス工場で点検を受けてください。 → **4-35ページ（CRUISE表示灯）**
CRUISE PRECRS レーダーを 掃除して下さい	消灯	ピッ（1回）	レーダーセンサーが設置されているグリルカバーが汚れています。柔らかい布で汚れをふき取ってください。 → **4-38ページ（レーダーセンサー部の取扱い）**
悪天候 CRUISE 使用不可能 （※）	消灯	ピッ（1回）	アクティブクルーズコントロールの使用中に、フロントワイパーが高速作動すると表示され、制御が自動解除されます。天候や道路状況に十分注意して、慎重に運転してください。
BRAKE	消灯	ピピピピッ	先行車に接近しています。ブレーキペダルを踏んで減速し、適切な車間距離を確保してください。 → **4-38ページ（接近警報）**

※印のメッセージは、要因が解消されていない場合でも、一定時間を過ぎると消えます。

プリクラッシュセーフティシステム

注文装備

走行中に、レーダーが前方の車両や障害物を検知すると、状況に応じて次のように作動し、衝突の回避を促したり、衝突時の被害軽減を図ったりするシステムです。

①衝突のおそれがあるとき

●衝突警報　→　**4-42ページ**

②衝突の可能性が高いとき

●衝突警報
●プリクラッシュブレーキアシスト
→　**4-43ページ**

③衝突が避けられないとき

●衝突警報
●プリクラッシュブレーキアシスト
●プリクラッシュシートベルト
→　**4-44ページ**
●自動ブレーキ　→　**4-45ページ**

警告

- 常に周囲の状況を確認して、安全運転に努めてください。プリクラッシュセーフティシステムは自動的に事故を回避するシステムではなく、その制御には限界があります。
- 次のようなときは、システムが正常に作動しないおそれがあります。
  - 荷室や後席に重い荷物を積むなどして、自車が傾いているとき
  - カーブ路や、車線幅が狭いとき
  - ハンドル操作などにより、自車の車線内の位置が不安定なとき
- パイロンなどのプラスチック類は、レーダーが障害物として検知できません。また、次のようなものも検知できないおそれがあります。
  - 歩行者、自転車、二輪車
  - 動物や立ち木など
- 次のようなときは、レーダーが前方の車両や障害物を正しく検知できないおそれがあります。
  - 交差点などで前方に急な飛び出しがあったとき
  - 先行車が急に割り込んできたとき
  - 急加速して前方の車両に接近しているとき
  - 雨、霧、雪、砂嵐などの悪天候時
  - レーダーセンサーが設置されているグリルカバーに水滴や雪、汚れなどが付着しているとき
    →　4-38 ページ（レーダーセンサー部の取扱い）

4

警告

- 次のような状況では、プリクラッシュブレーキアシストや自動ブレーキが作動しても、十分に減速できないおそれがあります。
  - 急カーブや、凸凹のはげしい路面
  - 凍結路や積雪路などの滑りやすい路面
- 次のようなときは、衝突の可能性がなくても、システムが作動する場合があります。
  - カーブ路で対向車とすれ違ったり、路側物があったりしたとき
  - 狭い鉄橋などを渡るとき
  - 低いゲートや狭いゲート、ETCゲートを通過するとき
  - 路面上に金属物、突起物、段差などがあるとき
  - 隣車線の先行車に急接近したとき
- サスペンションを改造しないでください。車両の傾きが変わると、前方の車両や障害物を正しく検知できず、システムが作動しなかったり誤って作動したりして、思いがけない事故を起こすおそれがあります。

アドバイス

十分に減速するなどして、衝突するおそれがなくなったと判断した場合は、システムが停止します。

衝突警報

衝突のおそれがあると判断すると、衝突警報が作動して注意を促します。

- 室内ブザーが“ピピピピッ”と鳴り、メーター内のインフォメーションディスプレイに次のメッセージが表示されます。

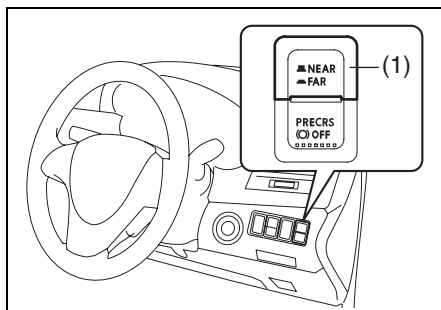
57L0056

- 衝突警報が作動したときは、ブレーキペダルを踏んで減速するなどして、衝突を回避してください。

■ 衝突警報の作動条件

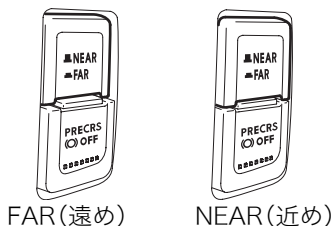
- 車速が約15km/h以上
- 接近する車両や障害物との速度差が約15km/h以上

■ 警報タイミング切替えスイッチ

衝突警報が作動するタイミングを変更できます。

57L0022

(1) 警報タイミング切替えスイッチ

スイッチの状態

FAR（遠め）　　NEAR（近め）

57L0023

- タイミングを遠めにするときは、スイッチを押し込みます。室内ブザーが“ピッ”と鳴り、インフォメーションディスプレイに次のメッセージが表示されます。

57L0033

- タイミングを近めにするときは、スイッチを押しもどします。室内ブザーが“ピッ”と鳴り、インフォメーションディスプレイに次のメッセージが表示されます。

57L0034

⚠注意

走行中は、スイッチ操作をしないでください。操作に気を取られて、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- スイッチを押して表示されたメッセージは、しばらくするともとの表示にもどります。
- 警報タイミングは、道路状況にあわせて切り替えてください。
- 警報タイミングを切り替えても、次の作動タイミングは変わりません。
  - プリクラッシュブレーキアシスト
  - プリクラッシュシートベルト
  - 自動ブレーキ

プリクラッシュブレーキアシスト

衝突の可能性が高い、または衝突が避けられないと判断したときにブレーキペダルを踏んでいると、制動力を増強します。

■ プリクラッシュブレーキアシストの作動条件

- 車速が約30km/h以上
- 接近する車両や障害物との速度差が約30km/h以上
- ブレーキペダルを踏んでいる
- PRECRS　OFF スイッチが押し込まれていないとき

→　**4-45 ページ（PRECRS（プリクラッシュ）OFFスイッチ）**

4

プリクラッシュシートベルト

前席のみ

次のようなときは、衝突（追突）前にシートベルトをすばやく巻き取り、プリテンショナーの効果を高めます。

→　3-44ページ
シートベルトプリテンショナー

- 衝突（追突）が避けられないと判断したとき（レーダー方式）
- 急ブレーキをかけたとき（ブレーキアシスト連動）
  →　4-51ページ（ブレーキアシスト）

⚠警告

シートベルトは正しい姿勢で正しく着用してください。プリクラッシュシートベルトが本来の効果を発揮できません。
**→　3-38ページ
（シートベルトについて）**

⚠注意

- **衝突などにより、シートベルトプリテンショナーが作動した場合は、シートベルトの交換が必要です。**
- **装置保護のため、プリクラッシュシートベルトは頻繁に作動すると、一時的に停止状態になることがあります。**
  - **メーター内のPRECRS表示灯が点滅し、インフォメーションディスプレイに次のメッセージが表示されます。**
  - **しばらくして作動可能な状態にもどると、表示灯とメッセージは消えます。**

57L0029

アドバイス

- プリクラッシュシートベルトのみが作動したときは、シートベルトの交換は必要ありません。
- プリクラッシュシートベルトが作動して、シートベルトが巻き取られた状態でロックした場合は、安全な場所に停車してシートベルトを着用しなおしてください。

■ プリクラッシュシートベルトの作動条件

レーダー方式

- 前席シートベルトを着用している
- 車速が約5km/h以上
- 接近する車両や障害物との速度差が約30km/h以上
- PRECRS　OFF スイッチが押し込まれていないとき

ブレーキアシスト連動

- 前席シートベルトを着用している
- 車速が約15km/h以上
- 急ブレーキをかけたとき

自動ブレーキ（プリクラッシュブレーキ）

衝突（追突）が避けられないと判断すると、自動ブレーキがかかり、衝突時の被害軽減を図ります。

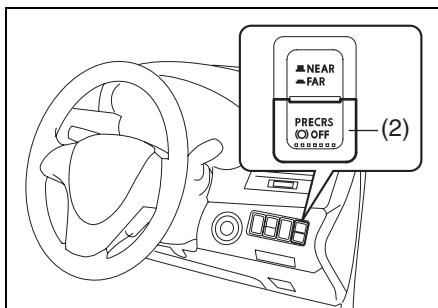
アドバイス
自動ブレーキ中は、制動灯が点灯します。

■ 自動ブレーキの作動条件

- 車速が約15km/h以上
- 接近する車両や障害物との速度差が約15km/h以上
- PRECRS　OFF スイッチが押し込まれていないとき

PRECRS（プリクラッシュ）OFFスイッチ

次の制御を停止状態にできます。

- プリクラッシュブレーキアシスト
- レーダー方式のプリクラッシュシートベルト
- 自動ブレーキ

57L0038

(2) PRECRS OFFスイッチ

57L0024

- 制御を停止状態にするときは、スイッチを押し込みます。
  - 室内ブザーが“ピッ”と鳴り、メーター内のPRECRS表示灯が点滅します。
  - メーター内のインフォメーションディスプレイに次のメッセージが表示されます。

57L0035

- 制御を作動可能な状態にもどすときは、スイッチを押しもどします。

⚠注意

走行中は、スイッチ操作をしないでください。操作に気を取られて、思わぬ事故につながるおそれがあります。

4

アドバイス
- スイッチを押して表示されたメッセージは、しばらくするともとの表示にもどります。
- 制御が停止状態の間も、衝突警報やブレーキアシスト連動のプリクラッシュシートベルトは作動します。

PRECRS（プリクラッシュ）表示灯

PRECRS

65J323

メーターパネル内にあります。

→　3-66ページ
（警告灯・表示灯の見かた）

- 次のようなときは、エンジンスイッチが ON のときに点滅します。
  - PRECRS OFF スイッチを押し込んで、一部の制御を停止状態にしているとき
  - 装置保護のため、プリクラッシュシートベルトが一時的に停止状態になっているとき
  - レーダーセンサー部に異常があるとき
  - レーダーセンサーが設置されているグリルカバーの汚れを検知したとき

→　4-38ページ
（レーダーセンサー部の取扱い）

- プリクラッシュセーフティシステムに異常があると、エンジンスイッチが ON のときに点灯します。スズキサービス工場で点検を受けてください。
- システムが正常で、PRECRS OFF スイッチが押し込まれていないときは、エンジンスイッチを ON にすると約2秒間点灯したあと消灯します。

アドバイス

点灯または点滅すると、メーター内のインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。

プリクラッシュセーフティシステムのメッセージ

システムの異常など、お知らせしたい情報があると、メーター内のインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。

- メッセージの種類によっては、同時にメーター内のマスターウォーニングが点滅したり、室内ブザーが鳴ったりする場合があります。
- メッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。

4

■ プリクラッシュセーフティシステムのメッセージ一覧

メッセージ	マスターウォーニング	ブザー音（室内ブザー）	原因と対処方法
CRUISE PRECRS CRUISE PRECRS システム要点検	点滅	ピーーッ（1回）	アクティブクルーズコントロールのシステムおよびプリクラッシュセーフティシステムに異常が考えられます。スズキサービス工場で点検を受けてください。 → **4-46ページ（PRECRS（プリクラッシュ）表示灯）**
PRECRS PRECRS システム要点検	点滅	ピーーッ（1回）	プリクラッシュセーフティシステムに異常が考えられます。スズキサービス工場で点検を受けてください。 → **4-46ページ（PRECRS（プリクラッシュ）表示灯）**
PRECRS PRECRS 機能停止中	点滅	ピッ（1回）	レーダーセンサー部に異常が考えられます。スズキサービス工場で点検を受けてください。 → **4-46ページ（PRECRS（プリクラッシュ）表示灯）**
PRECRS シートベルト システム 機能停止中	点滅	ピッ（1回）	プリクラッシュシートベルトが一時的に停止状態になっています。しばらくして作動可能な状態にもどると、メッセージが消えます。 → **4-46ページ（PRECRS（プリクラッシュ）表示灯）**
CRUISE PRECRS レーダーを 掃除して下さい	消灯	ピッ（1回）	レーダーセンサーが設置されているグリルカバーが汚れています。柔らかい布で汚れをふき取ってください。 → **4-38ページ（レーダーセンサー部の取扱い）**

4

メッセージ	マスターウォーニング	ブザー音(室内ブザー)	原因と対処方法
BRAKE	消灯	ピピピピッ	前方の車両や障害物に衝突するおそれがあります。ブレーキペダルを踏んで減速するなどして、衝突を回避してください。 → **4-42ページ（衝突警報）**
PRECRS FAR （※）	消灯	ピッ （1回）	警報タイミング切替えスイッチを押し込んで、警報タイミングを遠めにすると表示されます。
PRECRS NEAR （※）	消灯	ピッ （1回）	警報タイミング切替えスイッチを押しもどして、警報タイミングを近めにすると表示されます。
PRECRS BRAKE OFF （※）	消灯	ピッ （1回）	PRECRS OFF スイッチを押し込んで、一部の制御を停止状態にすると表示されます。 → **4-46ページ（PRECRS（プリクラッシュ）表示灯）**

※ 印のメッセージは、警報タイミング切替えスイッチやPRECRS OFFスイッチの位置により、エンジンスイッチを ON にしたあとしばらくの間、表示される場合があります。

ABS装備車の取扱い

ABS（アンチロックブレーキシステム）とは

ブレーキをかけたときのタイヤのロックを自動的に防止することで、走行安定性や操舵性を確保しようとする装置です。

⚠警告

常に周囲の状況を確認して、安全運転に努めてください。ABS による制御には限界があります。

⚠注意

ABS は、タイヤのグリップ限界を超えたり、ハイドロプレーニング現象（※）が起こったりした場合は効果を発揮できません。

※雨天の高速走行などで、タイヤと路面の間に水膜が発生し、接地力を失ってしまう現象。

制動距離について

ABSは制動距離を短くするものではありません。

⚠注意

- **急ブレーキをかけたときや、滑りやすい路面でブレーキをかけたときの制動距離は、ABS がついていない車と同等です。**
- **次のようなときは、ABSのついていない車より制動距離が長くなることがあります。スピードを控えめにして、車間距離を十分にとってください。**
  - **凸凹道や石だたみなどの悪路**
  - **じゃり道、新雪路**
  - **道路の継ぎ目などの段差を乗り越えるとき**
  - **マンホールなど鉄板の上を通過するとき**
  - **タイヤチェーンの装着時**
- **急ブレーキ時には、ポンピングブレーキ（※）をせずに、ブレーキペダルを思い切り強く踏み込んでください。ポンピングブレーキをすると、制動距離が長くなります。**

  ※ブレーキペダルを数回に分けて小刻みに踏むブレーキのかけかた
- **路面の状況によりますが、約10 km/h以下ではABSが作動しません。**

ABS作動時の振動や音

ブレーキペダルを強く踏むと、ブレーキペダル、ハンドル、車体の小刻みな振動を感じることがあります。これはABSの作動によるもので、異常ではありません。ブレーキペダルをそのまま強く踏み続けてください。

アドバイス

エンジンをかけて発進した直後に、一時的にモーター音などが聞こえることがあります。これはシステムをチェックしている音で、異常ではありません。

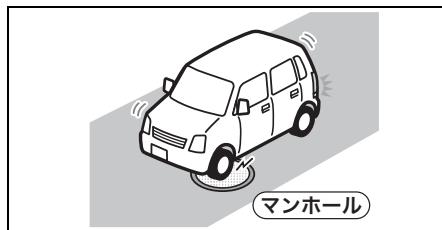
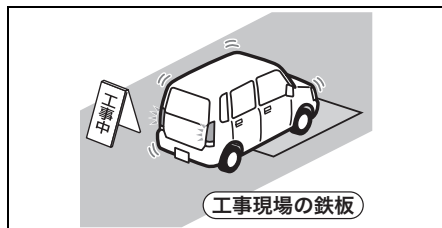
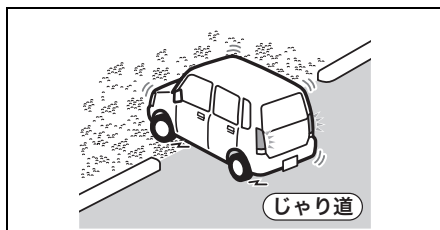
4

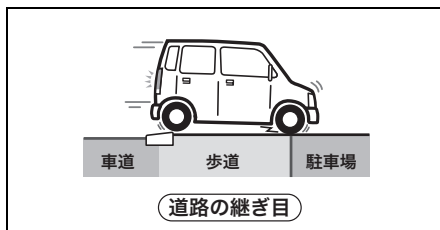
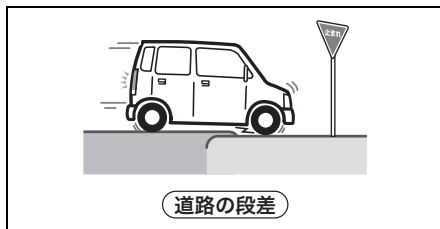
タイヤについて

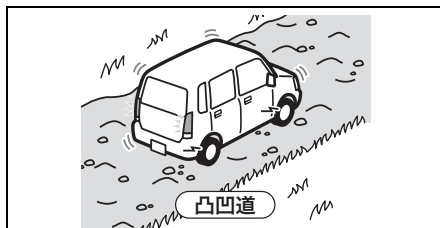
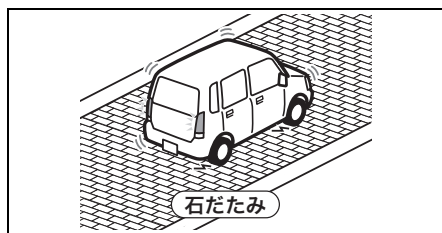
⚠ 警告

ABS は、各車輪の回転速度をセンサーで検出しています。タイヤ交換時は指定のサイズで、４輪ともサイズ、銘柄、トレッドパターン（溝模様）が同一のものを装着してください。また、著しく摩耗状態の異なるタイヤを使用しないでください。正確な回転速度が検出できなくなって ABS が正常に機能しなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ABS は、こんな場合にもブレーキをかけると作動することがあります

● 滑りやすい路面を走行しているとき

80J1040

80J1041

65J354

● 道路の継ぎ目などの段差を乗り越えるとき

80J1043

80J1044

● 悪路を走行しているとき

80J1045

80J1046

ABS警告灯

80J127

メーターパネル内にあります。

- ABSの電子制御システムに異常があると、エンジンスイッチが ON のときに点灯します。
→ **3-66ページ**
（警告灯・表示灯の見かた）

ESP®装備車の取扱い

ESP®（※）は、ABS、ブレーキアシスト、トラクションコントロール、スタビリティコントロール（横滑り防止機能）などを総合的に制御して、車両の走行安定性を補助しようとするシステムです。

※ ESP®は、Electronic Stability Program（エレクトロニック スタビリティ プログラム）の略で、Daimler AGの登録商標です。

■ ABS（アンチロックブレーキシステム）

4-49ページをお読みください。

■ ブレーキアシスト

ブレーキ踏力を補助する装置です。急ブレーキをかけたときに、ABSの効果が十分に発揮されるまでの時間を短縮します。

- しっかりとブレーキペダルを踏まないと、ブレーキアシストは作動しません。
- ブレーキアシストは、本来のブレーキ性能を超えた制御をする装置ではありません。
- プリクラッシュシートベルト（注文装備）の場合、ブレーキアシストが作動すると、連動して作動する場合があります。
→ **4-44ページ**
（プリクラッシュシートベルト）

■ トラクションコントロール

滑りやすい路面での発進時や加速時に起こる駆動輪の過度の空転を、ブレーキ制御およびエンジン出力制御により防ぎ、適切な駆動力を確保しようとする補助機能です。

■ スタビリティコントロール（横滑り防止機能）

急激なハンドル操作をしたり、滑りやすい路面で旋回したりするときの車の横滑りなどを抑制することで、車両の走行安定性を補助しようとする機能です。

⚠ 警告

常に周囲の状況を確認して、安全運転に努めてください。ESP® による制御には限界があります。

⚠注意

●次のことをお守りください。
守らないと ESP® が正常に作動しなくなったり、誤作動につながったりするおそれがあります。
- **タイヤの空気圧を指定空気圧に調整する**
  →　8-3ページ（タイヤの空気圧）
- **タイヤ交換時は指定のサイズで、4輪ともサイズ、銘柄、トレッドパターン（溝模様）が同一のものを装着する**
- **著しく摩耗状態の異なるタイヤを使用しない**
- **サスペンションやブレーキを改造しない（車高やサスペンションの硬さ変更など）**
- **サスペンションやブレーキを著しく劣化した状態で走行しない**
- **エンジンを改造しない（マフラーの改造など）**
- **LSD（リミテッドスリップデフ）を装着するなどの改造をしない**

●タイヤチェーンや応急用スペアタイヤを装着したときなどには、ESP® が正常に作動しない場合があります。

アドバイス

●次のような操作をすると、一時的にモーター音やカチッという音が聞こえることがあります。これはシステムをチェックしている音で異常ではありません。
- エンジンスイッチを ON にしたとき
- ブレーキペダルを踏んだ状態でエンジンスイッチを ON にし、最初にブレーキペダルから足を離したとき
- エンジンをかけたとき
- エンジンをかけ、最初の発進時

●エンジン回転が高いときに ESP® が作動すると、エンジン回転の変動や車体の振動を感じることがありますが、異常ではありません。

ESP®作動表示灯

79K109

メーターパネル内にあります。
→　3-66ページ
（警告灯・表示灯の見かた）

● ESP® の電子制御システムに異常があると、エンジンスイッチが ON のときに点灯します。点灯中は次のようになりますので、スズキサービス工場で点検を受けてください。
- トラクションコントロールおよびスタビリティコントロールは作動しません。
- ABSは作動します。

- 次のような状況になると、0.2 秒間隔で小刻みに点滅します。
  - 発進時や加速時にトラクションコントロールが作動している
  - 急ハンドル時や旋回時にスタビリティコントロールが作動している
- システムが正常な場合はエンジンスイッチを ON にしたときに、約2秒間点灯したあと消灯します。

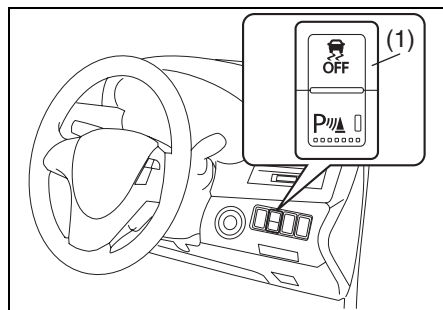
⚠注意

小刻みに点滅したときは、滑りやすい路面で、車がスタックまたは横滑りしやすい状態になっています。とくに慎重に運転してください。

アドバイス

- 点灯すると、メーター内のインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。
  → **3-79ページ（インフォメーションディスプレイのメッセージ）**
- 点灯中はトラクションコントロールおよびスタビリティコントロールは作動しませんが、ABS は使用することができます。

ESP® OFFスイッチ

- 次のようなときは、メーター内の ESP® OFF 表示灯が点灯するまで ESP® OFF スイッチ（1）を押し続けてください。トラクションコントロールおよびスタビリティコントロールが作動しなくなります。
  - 車検を受けるときなどテスターに載せる場合。トラクションコントロールおよびスタビリティコントロールを作動停止の状態にする必要があります。
  - スタックからの脱出などの場合。トラクションコントロールが脱出に適さないときがあります。
- 次のような操作をすると、ESP® OFF 表示灯が消灯し、トラクションコントロールおよびスタビリティコントロールが作動可能な状態にもどります。
  - もう一度ESP® OFFスイッチを押す
  - 一度エンジンを止め、再始動する

57L40018

アドバイス

- 安全のため、ESP® OFFスイッチを操作しても、ABS は作動停止の状態になりません。
- スタックからの脱出などのあとに通常走行するときは、ESP® OFFスイッチを再度押してESP® OFF表示灯を消灯させ、もとの状態にもどしてください。トラクションコントロールおよびスタビリティコントロールは自動復帰しません。（一度エンジンを止め、再始動したときを除く）

4

ESP® OFF 表示灯

57L30045

メーターパネル内にあります。
→ 3-66ページ
（警告灯・表示灯の見かた）

- エンジンスイッチが ON のときに、ESP® OFF スイッチを長押しすると点灯します。
  - 点灯中は、トラクションコントロールおよびスタビリティコントロールは作動しません。
- システムが正常な場合はエンジンスイッチを ON にしたときに、約2秒間点灯したあと消灯します。

ヒルホールドコントロール

ヒルホールドコントロールは、急な上り坂での発進時に、ブレーキペダルからアクセルペダルへの踏み替えの間に車が後退することを一時的に（約 2 秒間）防ぎ、スムーズな発進を補助するシステムです。

- ヒルホールドコントロールは、坂道で車を停止させるシステムではありません。

⚠警告

- **常に周囲の状況を確認して、必要に応じてブレーキペダルを操作して安全運転に努めてください。ヒルホールドコントロールによる制御には限界があります。**
- **極端に急な坂道、凍結路、泥道を上るときや、積載重量によっては、発進時に車両が後退する場合があります。**
- **ブレーキペダルから足を離したら、すみやかに発進操作を行なってください。ブレーキペダルから足を離したまま 2 秒以上たつとヒルホールドコントロールが解除されるため、勾配によっては自重で坂道を下り、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、エンストしてブレーキを踏むときに強い力が必要になったり、ハンドルが重くなったりして思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。**

■ ヒルホールドコントロールの作動条件

ヒルホールドコントロールは、次の条件をすべてみたしているときに、ブレーキペダルから足を離すと約 2 秒間、車が後退することを防ぎます。

- セレクトレバーが前進または後退の位置に入っている
- パーキングブレーキを解除している
- 進行方向が坂の上りである

アドバイス

作動中にエンジンルームから音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

警告メッセージ

メーター内のインフォメーションディスプレイに次のメッセージが表示されたときは、ヒルホールドコントロールのシステムに異常が考えられます。スズキサービス工場で点検を受けてください。

57L30145

アドバイス

メッセージの表示中は、ヒルホールドコントロールは使用できません。

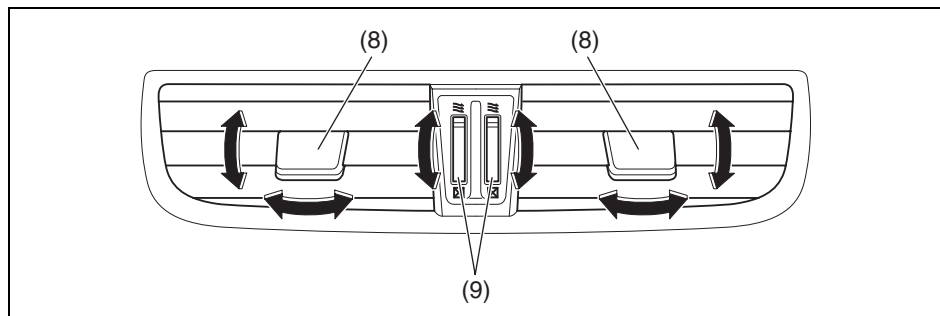
5. 装備の取扱い

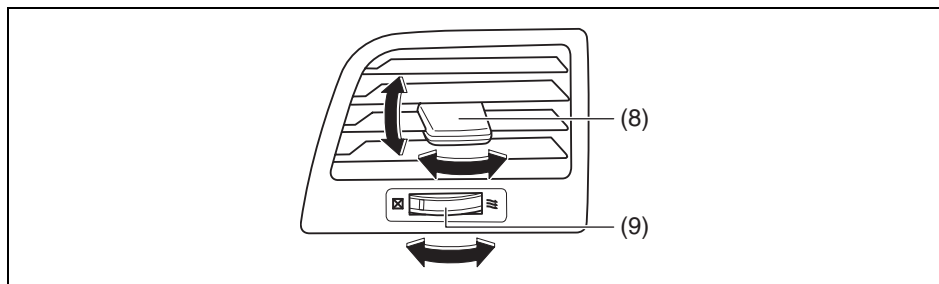
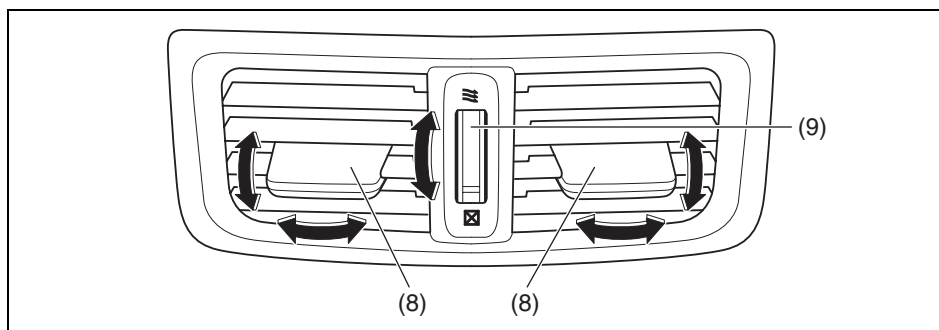
吹出し口

57L50025

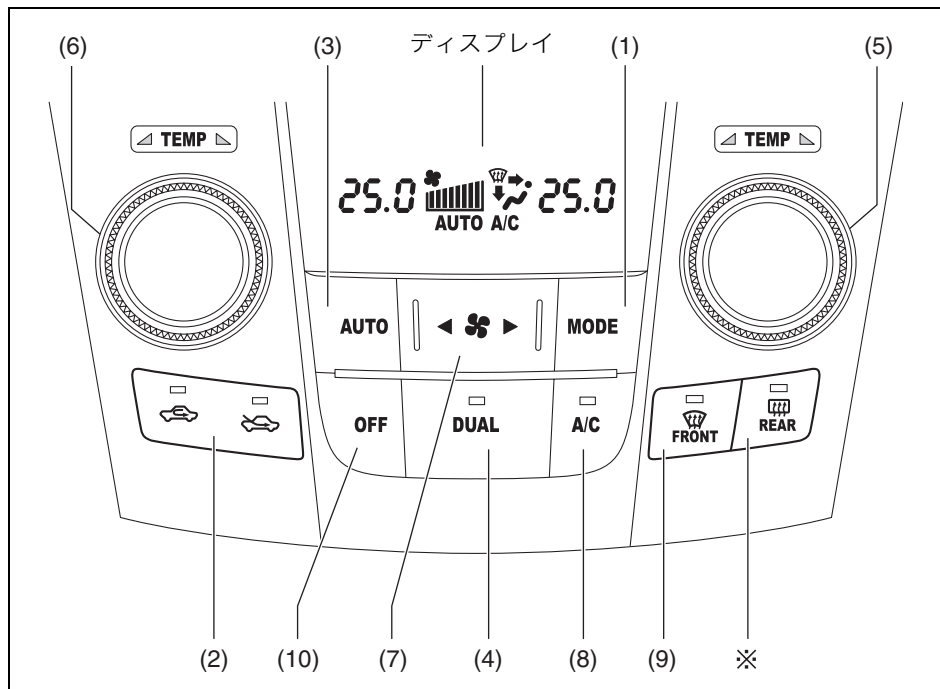
(1) デフロスター　(2) サイドデミスター　(3) サイド吹出し口
(4) 中央吹出し口　(5) 足元吹出し口
(6) 後席足元吹出し口（リヤヒーターダクト）　(7) 後席吹出し口

- 中央吹出し口（4）、サイド吹出し口（3）および後席吹出し口（7）は、ノブ（8）を上下左右に動かすと、風の向きが調節できます。また、ダイヤル（9）を上下または左右に動かすと、開閉ができます。（ ≋ ：開、 ⊠ ：閉）

中央吹出し口

57L50001

サイド吹出し口

後席吹出し口

アドバイス

運転席や助手席のドアガラスがくもったときは、ドアガラスに風が直接あたるようにサイド吹出し口を調節すると、より早くくもりが取れます。

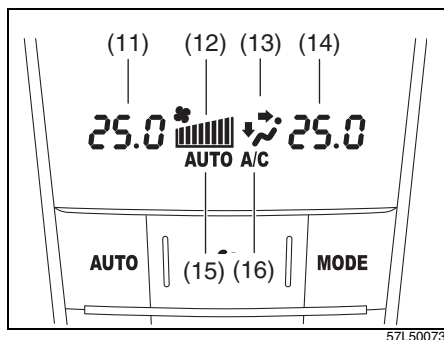
オートエアコン

(1) モード（吹き出し口）切替えスイッチ　(2) 内外気切替えスイッチ
(3) オートスイッチ　(4) DUALスイッチ
(5) 運転席側温度調節ダイヤル
(6) 助手席側温度調節ダイヤル
(7) ファン(風量)調節スイッチ　(8) エアコンスイッチ
(9) デフロスタースイッチ　(10) OFFスイッチ

※リヤデフォッガースイッチについては、**3-93ページ**をお読みください。

オートエアコンの使いかた

■ 通常の使いかた（自動で使うとき）

オートスイッチ（3）を押して運転席側温度調節ダイヤル（5）で希望の温度を設定すると、各機能（**5-7 ページ**参照）が自動制御されます。

1. エンジンをかけます。
2. オートスイッチ（3）を押します。
ディスプレイに次のように表示（代表例）されます。

(11)助手席側設定温度
(12)風量　　　　　(13)吹出し口
(14)運転席側設定温度
(15)**AUTO**表示　　(16)**A/C**表示

アドバイス

冷房や除湿をしないときは、エアコンスイッチ（8）を押して、エアコンを止めてください。ただし、エアコンを止めると、室内温度を外気温度以下にはできません。

3 運転席側温度調節ダイヤル（5）をまわして希望の温度を設定します。設定温度は18℃～32℃の間で、0.5℃間隔で設定できます。

アドバイス

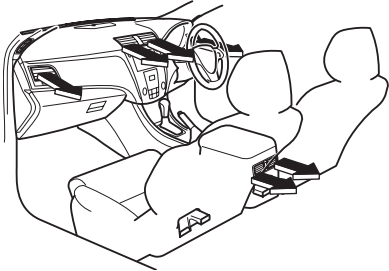
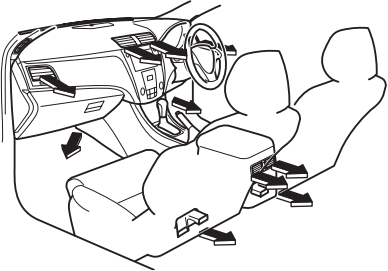
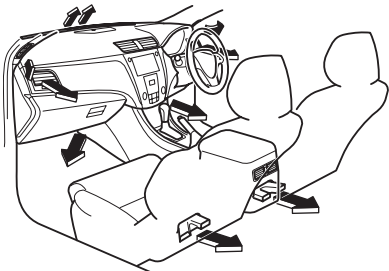
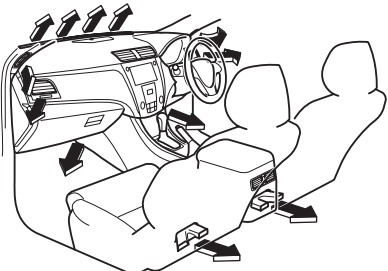
- 25 ℃を基準に、希望の温度に設定してください。ただし、冷房能力や暖房能力を超える場合は、希望の設定温度にならないことがあります。
- 独立モードにすると、運転席側と助手席側の設定温度を独立して調節できます。
  →　**5-7ページ（DUALスイッチ）**

4 作動を停止するときは、OFFスイッチ（10）を押します。

アドバイス

- エンジンを停止しても設定温度を記憶しています。
- AUTO作動中に、ファン調節スイッチ（7）、モード切替えスイッチ（1）のいずれかを押すと、押したスイッチの機能が優先されてディスプレイの**AUTO** 表示が消えます。ただし、押したスイッチ以外は自動制御となります。
- AUTO作動中に、デフロスタースイッチ（9）を押すと、ディスプレイの**AUTO**表示が消えて風量が増加し、外気導入となってエアコンが作動します。ただし、外気温が低いと、エアコンが作動しないこともあります。
- 外気温が低くエンジンが冷えているときや、外気温が高いときは、冷風や熱風が吹き出すのを防ぐため、しばらくの間、風が少量しか吹き出さないことがあります。
- エンジンスイッチが ON のときに、ディスプレイの **AUTO** 表示が点滅したときは、システムの異常が考えられます。スズキサービス工場で点検を受けてください。

■ 手動で使うとき

好みにあわせてダイヤルやスイッチを操作してください。

- AUTO 作動中でも、操作したスイッチの機能が優先され、操作したスイッチ以外は自動制御されます。
- すべての作動を AUTO にもどすときは、オートスイッチ（3）を押します。
- 止めるときは、OFFスイッチ（10）を押します。

各スイッチ、ダイヤルの使いかた

(1) モード(吹出し口)切替えスイッチ

モード切替えスイッチを押すごとに吹出し口が切り替わり、ディスプレイの表示も切り替わります。

目的	上半身に送風したいとき	上半身、足元に送風したいとき
表示		
吹出し口	57L50004	57L50005

目的	足元に送風したいとき	足元への送風と窓ガラスのくもりを取りたいとき
表示		
吹出し口	57L50006	57L50007

アドバイス

運転席や助手席のドアガラスがくもったときは、ドアガラスに風が直接あたるようにサイド吹出し口を調節すると、より早くくもりがとれます。

(2) 内外気切替えスイッチ

内外気切替えスイッチを押すごとに、内気循環と外気導入が交互に切り替わり、スイッチ内の表示灯の点灯も切り替わります。

表　示	状　態
点灯 (外気導入)	外気を導入しています。 ●通常はこの位置でお使いください。
点灯 (内気循環)	外気をしゃ断しています。 ●トンネル内や渋滞時など外気が汚れているときや、早く冷暖房したいときにお使いください。

アドバイス

- 長時間、内気循環にするとガラスがくもりやすくなります。
- 外気と内気の温度差により、外気導入、内気循環のどちらかに固定される場合があります。必要に応じて、内外気切替えスイッチを押して切り替えてください。

(3) オートスイッチ

オートスイッチを押すと、ディスプレイに **AUTO A/C** が表示され、次の機能が自動制御されます。

- 吹出し風量の調節
- 吹出し口の切替え
- 内気循環／外気導入の切替え

(4) DUALスイッチ

DUAL スイッチを押すごとに、独立モードと連動モードが交互に切り替わります。

独立モード

スイッチ内の表示灯が点灯します。

- 運転席側と助手席側の設定温度を独立して調節できます。

連動モード

スイッチ内の表示灯が消灯します。

- 運転席側温度調節ダイヤル（5）で、運転席側と助手席側の設定温度を連動して調節できます。

アドバイス

連動モードのときに、助手席側温度調節ダイヤル（6）をまわすと、独立モードに切り替わります。

(5) 運転席側温度調節ダイヤル
(6) 助手席側温度調節ダイヤル

温度調節ダイヤルをまわすと、LO、18～32℃、HI の間で設定温度を変更できます。運転席側と助手席側の設定温度は、ディスプレイに表示されます。

独立モードのとき

運転席側温度調節ダイヤル（5）または助手席側温度調節ダイヤル（6）をまわして設定します。

連動モードのとき

運転席側温度調節ダイヤル（5）をまわして設定します。

アドバイス

ダイヤルを 18 ℃から左にまわすと、ディスプレイに LO が表示され、最大冷房となります。また、ダイヤルを 32 ℃から右にまわすと、ディスプレイに HI が表示され、最大暖房となります。LO または HI が表示されているときは、急に風量が最大となったり、急に吹出し温度が変化する場合がありますが、異常ではありません。

(7) ファン(風量)調節スイッチ

ファン調節スイッチを押すと、風量が調節できます。

- 風量を大きくするときは ▶ 側、風量を小さくするときは ◀ 側を押します。ディスプレイの表示も切り替わります。
- 連続調節するときは、長押しします。
- ファンを停止するときは、OFF スイッチ（10）を押します。

(8) エアコンスイッチ

ファン作動中に使用でき、エアコンスイッチを押すごとに、エアコンの作動と停止が交互に切り替わり、ディスプレイの表示も切り替わります。

- エアコン作動中は、スイッチ内の表示灯が点灯します。

除湿暖房

暖房しているときにエアコンスイッチを入れると、除湿された温風が吹き出して、ここちよい暖房になります。

アドバイス

- 装置保護のため、エアコンの冷却器を通る空気の温度が0℃近くまで下がると、エアコンが切れます。このため、外気温が0℃近くまで下がっているときに外気導入にすると、エアコンが作動しません。
- エアコンスイッチを入れると、しばらくの間白い霧が吹き出すことがあります。これは湿った空気が急に冷やされて発生するもので、異常ではありません。

(9) デフロスタースイッチ

デフロスタースイッチを押すと、自動的にエアコンが作動し、吹出し口が切り替わります。同時にスイッチ内の表示灯が点灯し、ディスプレイの表示も切り替わります。
もう一度押すと、デフロスタースイッチを押す前の制御にもどります。(オート制御の場合、吹出し口や内外気、風量の状態が変わることがあります)

- 内気循環になっているときは、外気導入に切り替わります。
- 風量が自動的に増加します。ファン調節スイッチを押して、好みの風量にも調節できます。
- エアコンが必要ないときは、エアコンスイッチを押して停止してください。

目的	窓ガラスのくもりを取りたいとき
表示	
吹出し口	

アドバイス

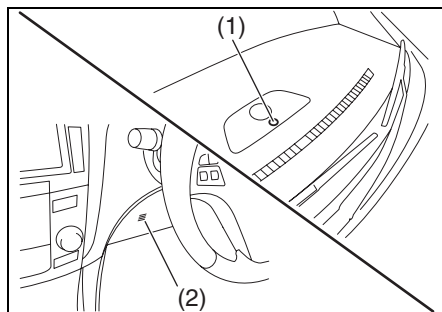
- 内気循環に切り替えないでください。くもりが取れにくくなります。
- 設定温度を低くしないでください。窓ガラスの外側に、露がつくことがあります。
- 早くくもりを取りたいときは、設定温度を高くしてください。
- 外気温が低いときは、エアコンが作動しないこともあります。
- スイッチ内の表示灯は吹出し口がデフロスター位置にあると、ファンやエアコンを停止させた状態でも点灯します。
- 運転席や助手席のドアガラスがくもったときは、ドアガラスに風が直接あたるようにサイド吹出し口を調節すると、より早くくもりがとれます。

(10)OFFスイッチ

OFFスイッチを押すと、ファンが停止してエアコンも止まります。

エアコンの上手な使いかた

温度感知装置

オートエアコンは、日射センサー、室温センサー、外気温センサーなどによって周囲の状況を感知し、自動制御しています。

(1) 日射センサー（インパネ中央）
(2) 室温センサー

アドバイス

日射センサーの上や周囲に物を置いたり、ガラスクリーナーなどを吹きかけたままにしたりしないでください。また、室温センサーにシールなどを貼ってふさがないでください。センサー感度が低下し、正常に自動制御されなくなります。

エアコンガスを充てんするときは

エアコンガスは、必ず冷媒HFC134a（R134a）を使用してください。

アドバイス

- エアコンガスを充てんするときは、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。
- 地球環境を守るため、エアコンガスを大気中に放出しないでください。エアコンの修理や廃車時の処理は、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。
- 冷房性能が低下してきたと感じた場合は、スズキサービス工場で点検を受けてください。

長期間使用しないときは

月に1回程度はエアコンを作動させ、エアコン装置の各部にオイルを循環させてください。油ぎれを防ぐことにより寿命をのばします。

炎天下に駐車したときは

長時間、炎天下に駐車すると、室内が高温になります。ドアや窓を開けて室内を換気しながら、冷房をしてください。

エアフィルターを交換するときは

エアコンを快適に使用するために、エアフィルターを取り付けています。エアフィルターは定期的に清掃、交換してください。

地域	清掃時期の目安	交換時期の目安
寒冷地、粉じんの多い地域	**5,000 km** ごと、または **6か月**ごと	車検ごと
上記以外の地域	**10,000 km** ごと、または **12か月**ごと	車検ごと

アドバイス

エアフィルターの清掃と交換は、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

オーディオの上手な使いかた

オーディオは別売り

安全運転のさまたげにならない音量でお聞きください

- オーディオを聞いているときに、車内または車の近くで携帯電話を使用すると、スピーカーからノイズ（雑音）が聞こえることがあります。これは故障ではありません。
- オーディオが不法電波の影響を受けると、正常に作動しないことがあります。
- エンジンを停止したまま長時間オーディオを使うと、バッテリーあがりの原因となります。

⚠注意

走行中はオーディオを操作しないでください。操作に気を取られて、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

アドバイス

オーディオの操作については、オーディオに付属の取扱説明書をお読みください。

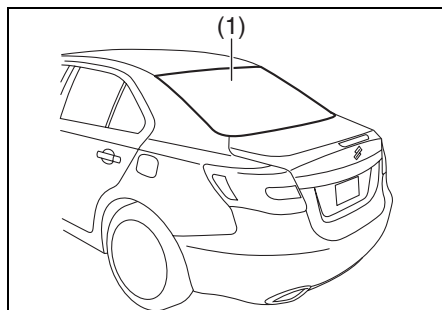
5

アンテナ

アドバイス

運転中にアンテナで受信できるラジオの電波は刻々と変わるため、ビルの谷間などでは良好な受信状態を保てないことがあります。

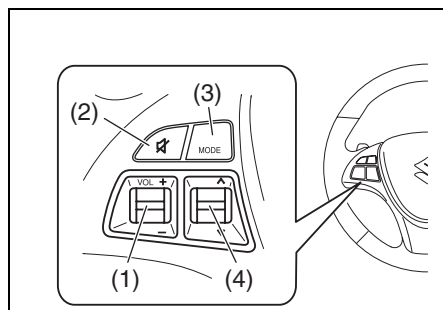
ガラスアンテナ

アンテナ線（1）は、バックウインドーガラスの室内側にプリントされています。

57L50026

アドバイス

- ガラスアンテナの近くに、ミラータイプのフィルムや金属物（市販のアンテナなど）を貼り付けないでください。受信感度が低下し、ノイズ（雑音）などが入るおそれがあります。
- アンテナ線の傷付き防止のため、バックウインドーガラスの室内側をふくときは、水を含ませた柔らかい布でアンテナ線に沿ってふいてください。

ステアリングオーディオスイッチ

エンジンスイッチが ACC または ON のときに、手元で別売りのオーディオやナビゲーションの操作ができます。

57L50028

(1) 音量調節スイッチ
(2) ミュートスイッチ (3) モードスイッチ
(4) 選局（選曲）スイッチ

アドバイス

- このステアリングオーディオスイッチに対応するオーディオやナビゲーションのタイプについては、スズキ販売店またはスズキ代理店にお問い合わせください。
- ご使用のオーディオまたはナビゲーションによっては、操作内容が異なる場合があります。付属の取扱説明書をお読みください。

(1) 音量調節スイッチ

音量が調節できます。

- 大きくするときは、＋側へ押し上げます
- 小さくするときは、－側へ押し下げます
- 連続調節するときは、＋または－側へ長押しします

5

(2) ミュートスイッチ

ミュートスイッチを押すと、ラジオを消音できたり、CD の演奏を停止できたりします。

- もう一度押すと、消音が解除されたり、演奏が再開されたりします。

(3) モードスイッチ

モードスイッチ（3）を押すたびに、モード（ラジオや CD など）が切り替わります。

アドバイス
- CDが入っていないときは、CDモードは選択されません。
- オーディオまたはナビゲーションの電源が切れているときにモードスイッチを押すと、電源が入ります。

(4) 選局(選曲)スイッチ

次の表のようにオーディオの操作ができます。

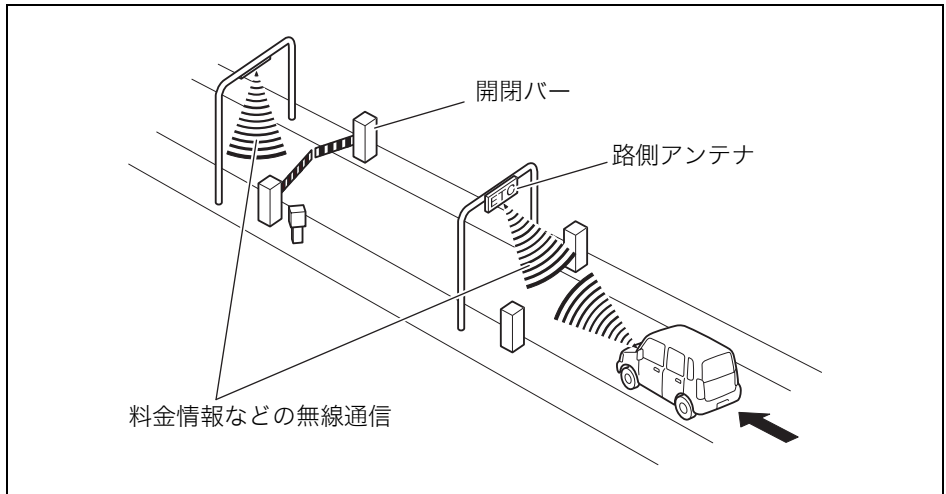
使用モード	スイッチの短押し	スイッチの長押し
FM/AM	プリセット選局(P.CH)※	自動選局(SEEK)
CD	トラック(曲)選択	−

※プリセットメモリー（放送局のメモリー）については、オーディオまたはナビゲーションに付属の取扱説明書をお読みください。

アドバイス
受信電波が弱いところでは、自動選局ができないことがあります。自動選局を取り消したいときは、選局スイッチをもう一度押してください。

ETC

ETCシステムとは

ETC（Electronic Toll Collection）システムは、料金所の通過をスムーズに行なうため、有料道路の料金を自動で精算するシステムです。
ETC車載器は、料金所設置の路側アンテナと無線通信を行ない、料金はお客様が登録されたETCカードの引き落とし口座から後日引き落とされます。

⚠注意

走行中は ETC 車載器を操作したり、ETC カードを抜き差ししたりしないでください。操作に気を取られて、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ETC利用時のご注意

→　5-17ページ（ETCを利用するときは）
→　5-20ページ（料金所を通過するときは）

■ ETCカードの有効期限を確認

注意

有効期限が切れていても、ETC 車載器に差し込むと「カードを確認しました　有効期限20＊＊年＊＊月です」と音声案内（※）しますが、料金所の開閉バーは開きません。
※ ETCをナビゲーション（別売り）に接続している場合は、ETC車載器の音声案内およびブザー音による確認ができません。

■ ETC車載器の作動を確認

ETCカードがETC車載器に確実に差し込まれていて、車載器が正常に作動しているか確認してください。

注意

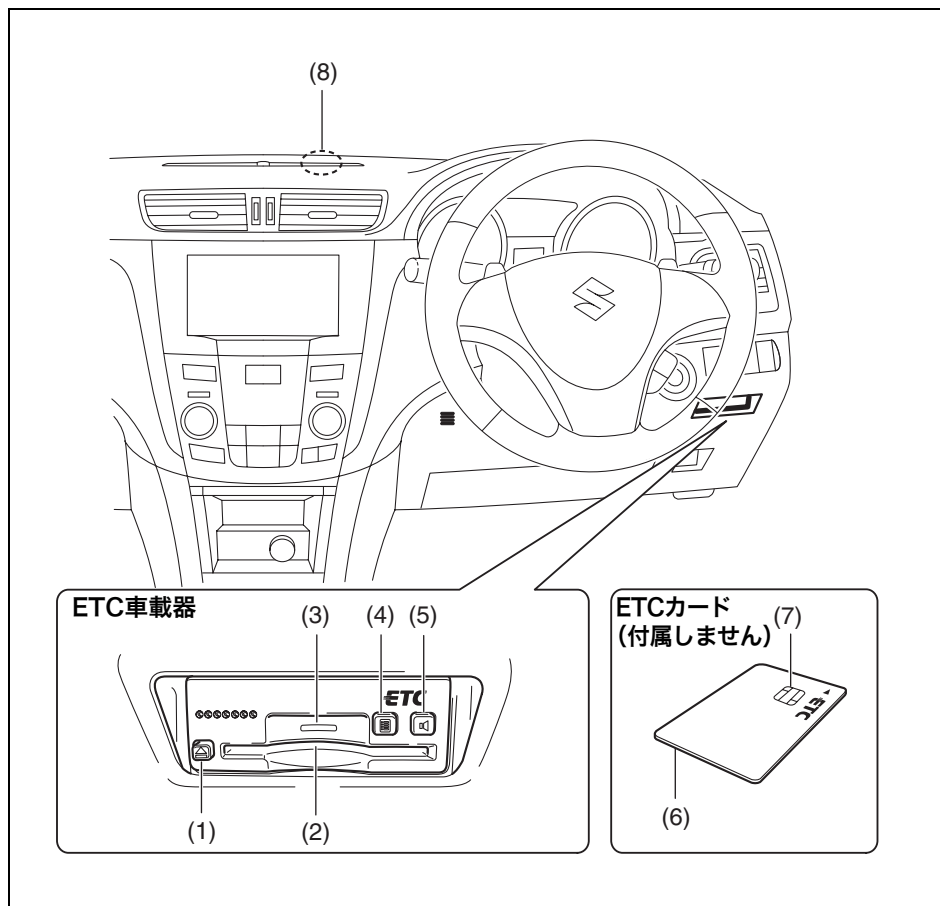
ETC車載器がETCカードを確認するまでには数秒かかりますので、料金所付近で車載器からカードを抜いたり、差し込んだりしないでください。料金所通過時に通信エラーが出て、開閉バーが開かない場合があります。

■ 料金所を通過するときは

開閉バーは、ETC車載器と料金所間で通信エラーがあると開かないことがあります。

注意

- **車間距離を十分にとって、20 km/h以下の安全な速度で通過してください。**
- **開閉バーの手前では、安全に停車できるよう十分に減速し、バーが開いたことを確認してから通過してください。**
- **開閉バーが開かないなどの理由により ETC 車線内で停車したときは、車を後退させたり車から降りたりせず、インターホンなどで係員を呼び、指示に従ってください。**

各部の名称

(1) ETCカード取り出しボタン
(2) ETCカード差し込み口
(3) 作動表示灯
(4) 利用履歴確認ボタン
(5) 音量調整ボタン
(6) ETCカード
(7) ICチップ（電極）
(8) ETCアンテナ（インパネ内）

- ETCカードの取扱いは、ETCカード発行会社が提示する注意事項に従ってください。
- ETC車載器の分解や改造をしないでください。法律により処罰されることがあります。
- ETC車載器本体に貼り付けられている適合証明ラベルをはがさないでください。

⚠注意

- **ETC 車載器には精密な電子部品が組み込まれています。故障や火災、感電を防ぐため、次のことをお守りください。**
  - **分解や改造をしない**
  - **内部に異物を入れない**
  - **ぬれた手で操作したり、水などをかけたりしない**
- **ETC アンテナ（8）があるインパネ上面中央付近には、物を置かないでください。通信エラーの原因になります。**

ETC を初めて利用するための準備

ETCを利用するには、事前にETCカードの取得と、ETC車載器のセットアップが必要です。

■ ETCカードの取得

お客様ご自身によるクレジットカード会社または有料道路事業者へのお申し込みが必要です。スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

■ ETC車載器のセットアップ

正しく通行料金を精算するため、ナンバープレートなどの車両情報をETC車載器に登録する「セットアップ」の作業（有料）が必要です。スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

アドバイス

ナンバープレートが変更になった場合は、再度セットアップが必要です。

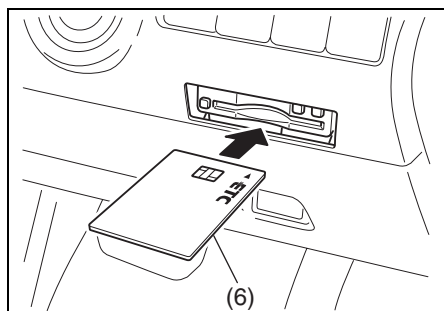
■ 型式登録番号、型式、車載器管理番号の確認方法

セットアップに必要な以下の情報は、次の操作により音声案内されます。

- 型式登録番号
- 型式
- 車載器管理番号（19桁）

アドバイス

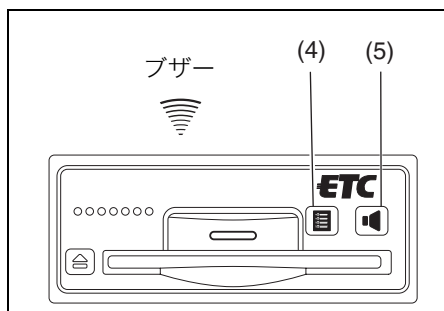
ETCをナビゲーション（別売り）に接続している場合は、ETC車載器の音声案内による確認ができません。この場合、車載器本体のラベルで確認する必要がありますが、車載器を取り外さないと見ることができません。スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

1. エンジンスイッチを ACC または ON にします。
2. ETCカード（6）を差し込みます。

57L50060

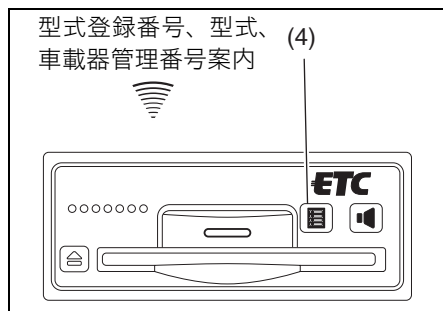
アドバイス

同寸法なら、銀行カードなどのETC以外のカードでも代用可能です。

3 利用履歴確認ボタン（4）と音量調整ボタン（5）を同時に 3 秒以上押します。

●ブザーが鳴ります。

57L50061

4 利用確認履歴ボタン（4）を押します。

- ブザーが鳴ったあと、型式登録番号、型式、車載器管理番号を繰り返し音声案内します。

57L50062

ETCを利用するときは

ETCを利用するには、ETC車載器に有効なETCカードを差し込む必要があります。

→ **5-14ページ**
(ETC利用時のご注意)

⚠注意

走行中はETCカードの抜き差しをしないでください。操作に気を取られて、思わぬ事故につながるおそれがあります。

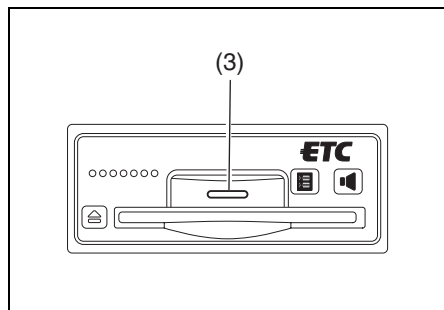
■ カードを差し込む

1 エンジンスイッチを ACC または ON にします。

- ブザーが鳴ったあと、「カードを入れてください」と音声案内します。

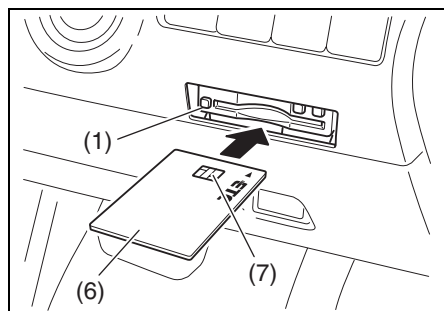
アドバイス

ETCをナビゲーション（別売り）に接続している場合は、ETC車載器の音声案内およびブザー音による確認ができません。

2 ETC 車載器の作動表示灯（3）が橙色に点灯したことを確認します。

57L50052

3 ETC カード取り出しボタン（1）が押し込まれていることを確認します。ETCカード（6）は図のようにICチップ（7）側を上にして、▲マークの側から差し込みます。

- ブザーが鳴ったあと、「カードを確認しました　有効期限 20 ＊＊年＊＊月です」と音声案内します。

→ **5-14ページ（ETCカードの有効期限を確認）**

57L50053

⚠注意

ETCカード取り出しボタン（1）が押し込まれていない状態で、無理にETC カードを差し込まないでください。ETC 車載器またはカードが破損するおそれがあります。

4 ETC 車載器の作動表示灯（3）が橙色から緑色に切り替わったことを確認します。

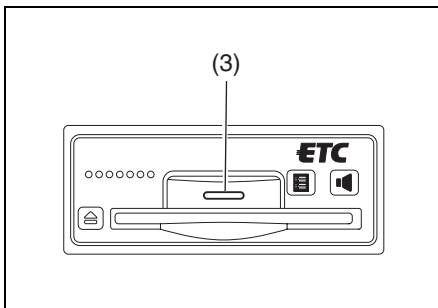
- これで準備は完了です。

⚠注意

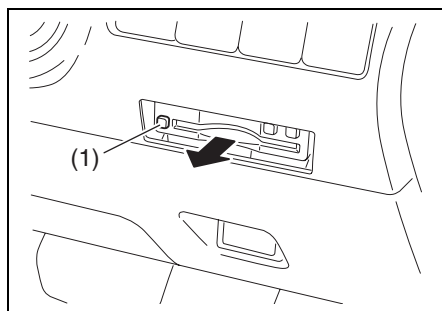
ETC カードを差し込んだあと、作動表示灯が橙色から緑色に切り替わるまではカードを取り出さないでください。カードまたはカード内のデータが破損するおそれがあります。

■ カードを取り出す

1 安全な場所に停車します。

2 ETC 車載器の作動表示灯（3）が緑色に点灯していることを確認します。

57L50052

3 ETC カード取り出しボタン（1）を押して、ETC カードを取り出します。

5

57L50054

⚠注意

- **ETC カードを取り出すときは、必ずETC カード取り出しボタンを押してください。ボタンを押さずに無理に引き抜くと、カードまたはETC 車載器が破損するおそれがあります。**
- **ETC カードはクレジットカードの一種ですので、車内に放置しないでください。盗難のおそれがあります。また、車内が高温になり、カードが変形したり、カード内のデータが破損したりするおそれがあります。**

4 エンジンスイッチを LOCK (OFF) にします。

ETCカード抜き忘れ警告

ETCカードの抜き忘れを防止するための音声案内です。

- ETC車載器にETCカードを差し込んだままエンジンスイッチを LOCK (OFF) にすると、ブザーが鳴ったあと、「カードが残っています」と音声案内します。

アドバイス

ETCカードをETC車載器に入れたままエンジンスイッチを ACC または ON にすると、警告が作動することがあります。

■ ETC カード抜き忘れ警告の設定切替え

次のようにして設定切替え（カスタマイズ）をすると、警告が ON/OFF できます。

- 工場出荷時は、ON（警告あり）です。

1 ETCカードが入っていないことを確認します。

アドバイス

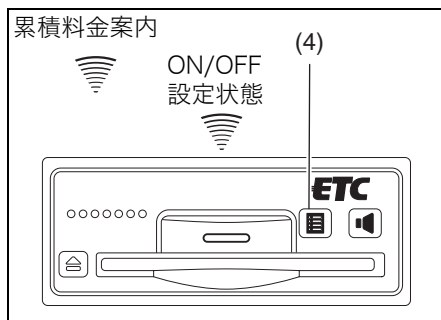
ETCカードが入っていると、設定切替えができません。

2 利用履歴確認ボタン（4）を押します。

3 累積料金の音声案内がありますが、その案内後約２秒以内に利用履歴確認ボタン（4）を押しなおします。

- 現在の ON/OFF 設定状態を音声案内します。

57L51062

5

4 ON/OFF 設定状態の音声案内後、約２秒以内に利用履歴確認ボタン（4）を押しなおすと、設定が切り替わります。

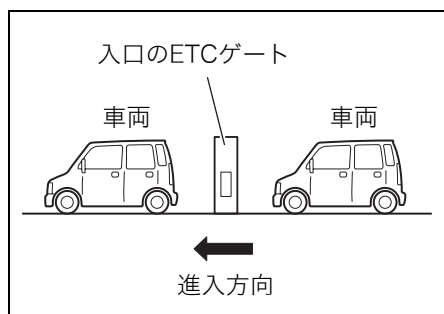
- ブザーが鳴ったあと、切替え後の設定状態を次のように音声案内します。

設定	音声案内
ON	カード抜き忘れ案内ONです
OFF	カード抜き忘れ案内OFFです

料金所を通過するときは

ETC車載器は、料金所との通信結果を作動表示灯と音声案内でお知らせします。

→ **5-14ページ**
（ETC利用時のご注意）

■ 入口のETCゲートを通過するとき

57L50055

通行できるとき

ETC 車載器の作動表示灯（3）は、緑色に点灯したままです。ブザーが鳴ったあと、「通行できます」と音声案内します。

アドバイス

ETCをナビゲーション（別売り）に接続している場合は、ETC車載器の音声案内およびブザー音による確認ができません。

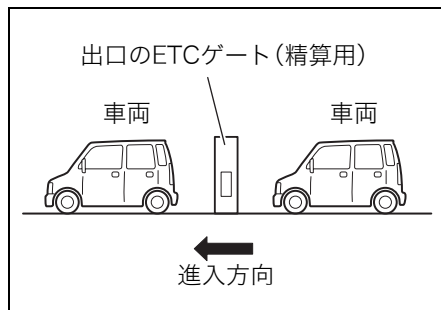
通行できないとき

ETC 車載器の作動表示灯（3）は、緑色に点灯したままです。ブザーが鳴ったあと、「通行できません」と音声案内します。停車してインターホンなどで係員を呼び、指示に従ってください。

アドバイス

ETCをナビゲーション（別売り）に接続している場合は、ETC車載器の音声案内による確認ができません。（ブザー音のみ）

■ 出口のETCゲート（精算用）を通過するとき

出口のETCゲートを通過するときは、必ず入口のETCゲートで使用したETCカードで通行してください。

57L50056

通行できるとき

- ETC 車載器の作動表示灯（3）は、緑色に点灯したままです。ブザーが鳴ったあと、「通行できます」と音声案内します。
- 料金所を通過すると、「○○○円利用しました」または「払い戻し料金は○○○円です」と音声案内します。

アドバイス

- 音声案内される通行料金は、割り引きなどにより実際と異なる場合があります。
- ETC をナビゲーション（別売り）に接続している場合は、ETC 車載器の音声案内およびブザー音による確認ができません。

通行できないとき

- ETC 車載器の作動表示灯（3）は、緑色に点灯したままです。ブザーが鳴ったあと、「通行できません」と音声案内します。停車してインターホンなどで係員を呼び、指示に従ってください。

アドバイス

ETCをナビゲーション（別売り）に接続している場合は、ETC車載器の音声案内による確認ができません。（ブザー音のみ）

■ 料金所付近で異常が発生したときは

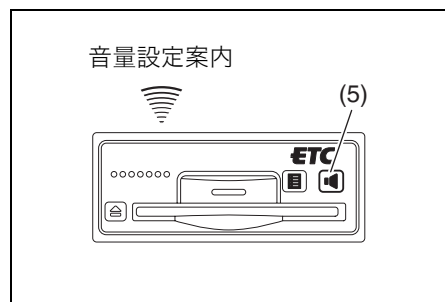
ETC 車載器の作動表示灯（3）が橙色に点滅します。ブザーが鳴ったあと、エラーコードを音声案内します。開閉バーが開かないときは、インターホンなどで係員を呼び、指示に従ってください。

→　**5-24ページ（エラーコード）**

音量を調整するときは

ブザーおよび音声案内の音量は、4 段階に調整できます。

- 音量調整ボタン（5）を押すごとに、次のように音声案内され設定状態が切り替わります。

音声案内	設定状態
0番	消音
1番	音量小
2番	音量中
3番	音量大

57L50057

⚠ 注意

走行中は音量調整をしないでください。操作に気を取られて、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 工場出荷時は、「音量中」に設定されています。
- 音量を「消音」に設定していても、ETC 車載器や ETC カードに異常が発生した場合は、ブザーが鳴り、音声案内されます。

5

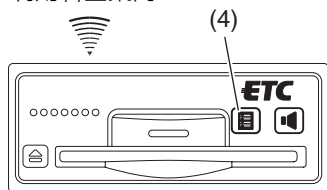
利用履歴を確認するときは

⚠注意

走行中は利用履歴を確認しないでください。操作に気を取られて、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ ETC カードが差し込まれていないとき

利用履歴確認ボタン（4）を押すと、ETC車載器に記録されている利用料金の合計を音声案内します。

- リセットするときは、利用履歴確認ボタンを３秒以上押し続けます。「累積０円です」と音声案内します。

57L50058

アドバイス

料金の合計は999,999円まで記録できます。

■ ETC カードが差し込まれているとき

利用履歴確認ボタン（4）を押すごとに、差し込まれているETCカードに記録されている利用日と通行料金の履歴を音声案内します。

- 新しい履歴から順に音声案内します。
- いったん利用履歴ボタンの操作をやめて、再度ボタンを押すと、最新の履歴を音声案内します。
- 一番古い利用履歴の案内をしたあとに利用履歴確認ボタンを押すと、「履歴はありません」と音声案内します。

アドバイス

- 利用日と通行料金の履歴は、ETCカードに記録されています。記録できる件数は、ETC カードにより異なります。
- 利用履歴が登録されていない場合、「履歴はありません」と音声案内します。

故障かなと思ったら

- 次の表で内容を確認し、処置してください。
- 処置しても、もとにもどらないときは、スズキサービス工場で点検を受けてください。

現象	処置
エンジンスイッチを ACC または ON にしたとき、作動表示灯が緑色または橙色に点灯しない	スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。
作動表示灯が橙色に点灯する	ETC カードが正しく差し込まれているか確認し、再度カードを差し込んでください。
作動表示灯が橙色に点滅する	**5-24 ページ**の「**エラーコード**」の内容を確認し、処置してください。
料金所の開閉バーが開かない	停車し、係員の指示に従ってください。その後、ETC アンテナの周囲に電波をさえぎる物がないか確認してください。
ETC車載器にETCカードを差し込むことができない	● 車載器に異物が入っているときは、取り除いてください。 ● カードが変形しているときは、無理に差し込まないでください。ETCカード発行会社に再発行を申請してください。
ETC車載器からETCカードが取り出せない	● 無理にカードを引き抜かないでください。スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。 ● 取り出したカードが変形しているときは、ETCカード発行会社に再発行を申請してください。
請求金額が音声案内の内容と異なる	利用履歴確認ボタン（4）で、ETC カードの履歴を確認してください。料金についてはカード発行会社にお問い合わせください。 → **5-22ページ（利用履歴を確認するときは）**
ETC車載器から異音がする	スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。
音声案内の内容がおかしい	利用履歴確認ボタン（4）と音量調整ボタン（5）を同時に3秒以上押してください。

エラーコード

- エラーが発生すると、ETC 車載器の作動表示灯（3）（橙色）が約 1 分間、次のように点灯または点滅します。また、ブザーが鳴ったあと、エラーコードを音声案内します。次の表で内容を確認し、処置してください。
- 次のようなときは、スズキサービス工場で点検を受けてください。
  - 処置しても再度エラーが発生するとき
  - たびたびエラーが発生するとき
  - 次の表以外のエラーが発生したとき

エラーコード：音声案内（※1）	ブザー音	作動表示灯（橙色）	エラーの内容と処置方法
コード01：カードを確認してください	ピー（約1秒）	1回点滅	ETC カードが正しく差し込まれていません。カードが正しく差し込まれているか確認し、再度差し込んでください。
コード02：カードを確認してください	ピーピーピー	2回点滅	**ETCカードを差し込んだとき** カードのデータが読み出せていません。再度カードを差し込んでください。 **ETC利用時** 料金所にて、停車を案内（表示）されることがあります。停車し、係員の指示に従ってください。
コード03：カードを確認してください〈ピーポーピーポー　ETCを利用できません　カードを確認してください〉（※2）	ピー（約1秒）	3回点滅	差し込んだカードを ETC カードと認識できません。正しい ETC カードで正しい向きか確認のうえ、再度カードを差し込んでください。 再度エラーが発生するときは、ETC カード発行会社にご相談ください。
コード04：ETC を利用できません	ピー（約1秒）	4回点滅	ETC 車載器が故障しています。スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

エラーコード：音声案内（※1）	ブザー音	作動表示灯（橙色）	エラーの内容と処置方法
コード05： カードを確認してください 〈ピーポーピーポー　ETCを利用できません　カードを確認してください〉（※2）	ピー （約1秒）	約1秒間点滅	差し込んだカードをETCカードと認識できません。正しいETCカードで正しい向きか確認のうえ、再度カードを差し込んでください。 再度エラーが発生するときは、ETCカード発行会社にご相談ください。
コード06： ETCを利用できません	ピーピーピー	約1秒間点灯し、その後1回点滅	ETC車載器と料金所の間で、データ処理にエラーが発生しました。係員の指示に従ってください。
コード07	ピーピーピー	長めに1回点灯し、その後2回点滅	
コード09	ピー （約1秒）	長めに1回点灯し、その後4回点滅	ETC車載器が故障しています。スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。
コード10	ピー （約1秒）	2回連続で点灯	
コード11	ピーピーピー	長めに2回点灯し、その後1回点滅	**ETC利用時** カードにデータを書き込めていません。料金所にて、停車を案内（表示）されることがあります。停車し、係員の指示に従ってください。

※1　ETCをナビゲーション（別売り）に接続している場合は、ETC車載器による音声案内を行ないません。（ブザー音のみ）
※2　ETCカードを取り出すまで、〈　〉内の案内を繰り返します。

アドバイス

- 作動表示灯は、約1分間、上表の作動を繰り返してから消灯します。
- エラーが発生したときは、音量を「消音」に設定していても、ブザーが鳴り、音声案内されます。
  →　**5-21ページ（音量を調整するときは）**

燃料給油口

2-19 ページの「**給油するときは**」もあわせてお読みください。

⚠警告

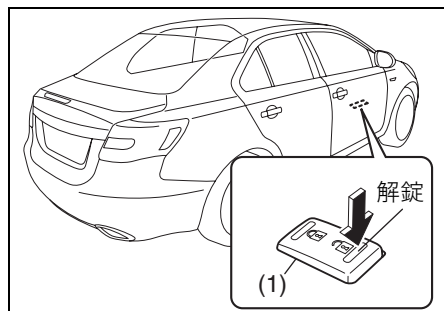
ガソリンは引火性が高いため、給油するときはタバコなどの火気は厳禁です。また、エンジンは必ず止めてください。

フューエルリッド

助手席側の車両後方にあります。

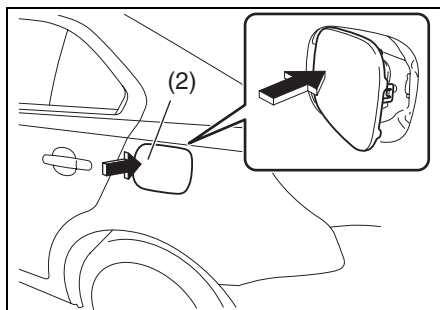
■ 開けるときは

1 運転席ドアにあるパワードアロックスイッチ（1）でドアを解錠します。

- フューエルリッドが連動して解錠されます。

57L50072

アドバイス

ドアをリクエストスイッチ、キーレスエントリーまたはキーで解錠しても、フューエルリッドは連動して解錠されます。
→　**3-3ページ（ドア）**

2 図のようにフューエルリッドの矢印部分を押すと開きます。

57L50010

(2) フューエルリッド

■ 閉めるときは

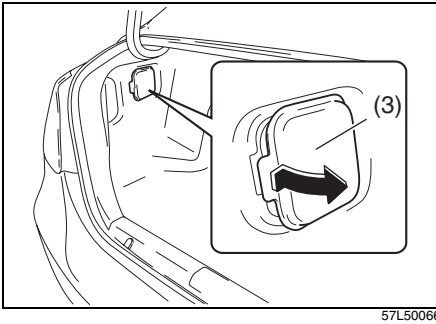
フューエルリッドを手で押しつけます。

アドバイス

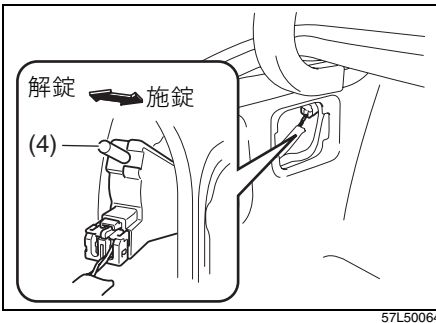
フューエルリッドを閉めたあとに、ドアをリクエストスイッチ、キーレスエントリーまたはキーで施錠すると、リッドは連動して施錠されます。

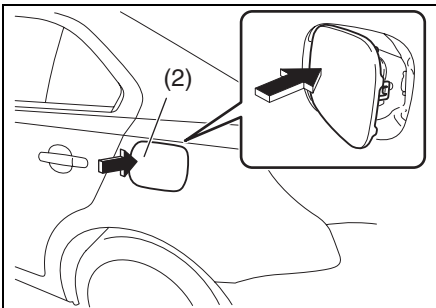
■ 故障時の開けかた

故障やバッテリーあがりなどでフューエルリッドが開けられないときは、スズキサービス工場で点検を受けてください。
緊急を要するときは、次の手順で開けてください。

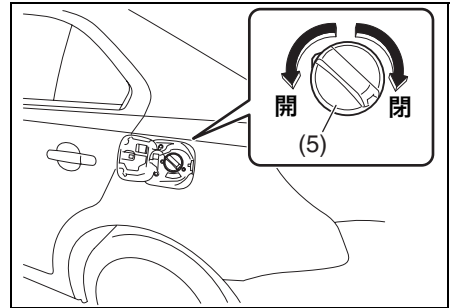
1 トランク内のトリム（3）を外します。

57L50066

2 ロッド（4）を手前に引き出すと、フューエルリッドが解錠します。

● 施錠するときは、ロッドを押し込みます。

57L50064

3 図のようにフューエルリッド（2）の矢印部分を押すと開きます。

57L50010

フューエルキャップ

● 開けるときは、ゆっくり反時計方向にまわします。
● 閉めるときは時計方向にまわし、カチッという音が２回以上するまで締めます。

57L50011

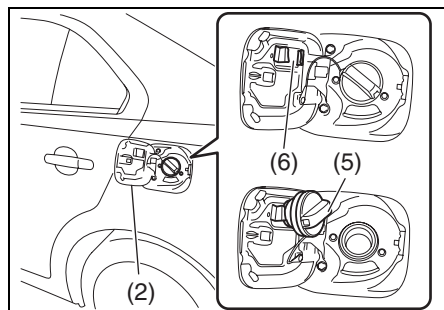
(5) フューエルキャップ

⚠ 警告

- **フューエルキャップはゆっくりとゆるめ、空気の抜ける音が止まったらキャップを開けます。急に開けると燃料タンク内の圧力が急激に抜け、燃料が吹き出すおそれがあります。**
- **燃料をこぼさないようにしてください。こぼれた場合は、ただちに柔らかい布などでふき取ってください。火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。また、そのまま放置すると、塗装のしみ、変色、ひび割れの原因となります。**
- **給油後は、フューエルキャップをしっかりと閉めてください。キャップが確実に閉まっていないと、燃料が漏れたり、火災が発生したりするおそれがあります。**
- **指定のスズキ純正フューエルキャップ以外は使用しないでください。燃料漏れを起こすおそれがあります。**

キャップホルダー

フューエルリッド（2）の裏側にあります。

- 給油中は、外したフューエルキャップ（5）が車体にあたらないように、キャップホルダー（6）に置いてください。

57L50012

ボンネット

⚠ 警告

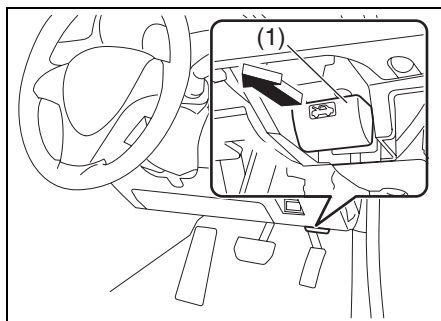
- **お子さまにはボンネットを開閉させないでください。ボンネットは重いため、けがのおそれがあります。また、エンジンルーム内は高温になるため、やけどのおそれがあります。**
- **ボンネットを開けているときは、お子さまを近づけないでください。**
- **点検や清掃に使用した工具や布などは、エンジンルーム内に置き忘れないでください。故障の原因となったり、エンジンルーム内は高温になるため車両火災につながったりするおそれがあります。**

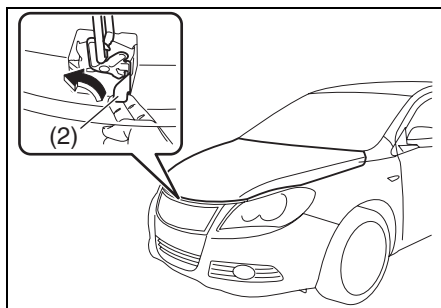
アドバイス

セキュリティアラームのセット状態およびボンネットの開けかたによっては、警報が作動する場合があります。

→ **3-16 ページ（セキュリティアラーム）**

開けかた

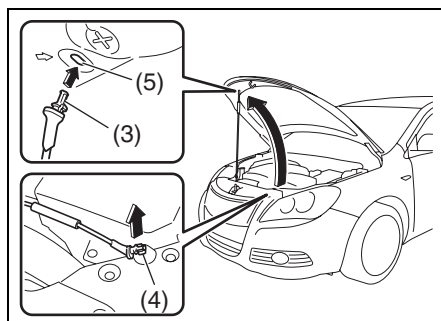
1 運転席足元のボンネットオープナー（1）を引くと、ボンネットの先端が少し浮き上がります。

57L50013

2 浮き上がったボンネットのすき間に手を入れ、ロックレバー（2）を左側へ押しつけながら、ボンネットを持ち上げます。

57L50014

⚠注意

●エンジン回転中や停止直後は、ロックレバーが熱くなっていることがあります。やけどのおそれがありますので、ロックレバーを操作する前に必ず確認してください。
●ワイパーアームを起こした状態で、ボンネットを開けないでください。ワイパーアームやボンネットが傷つくおそれがあります。

3 ボンネットを固定します。

●車体側にあるステー（3）をホルダー（4）から外し、ボンネット側の固定穴（5）に差し込みます。

57L50015

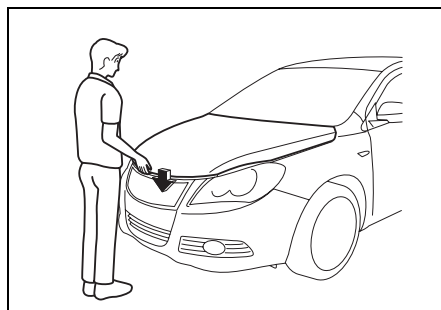
⚠注意

●エンジン回転中や停止直後は、ステーが熱くなっていることがあります。やけどのおそれがありますので、ステーを持つ前に必ず確認してください。
●ステーは固定穴に確実に差し込んでください。ステーが外れると、ボンネットに身体がはさまれることがあります。
●ボンネットが風にあおられて、ステーが外れることがあります。とくに風の強い日は注意してください。

閉めかた

1 ボンネットを片手でささえながら、ステーを外して、もとのホルダーに固定します。

2 ボンネットを閉めます。

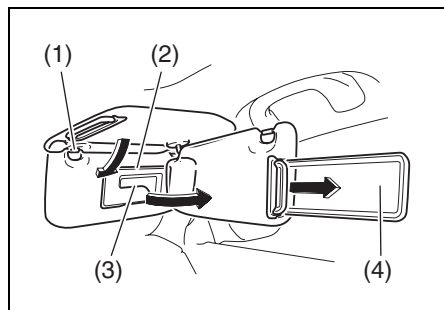
●ボンネットを20 cmぐらいの高さまでゆっくりと下げて、手をはなします。

57L50016

⚠注意

●ボンネットを閉めるときは、手などをはさまないように気をつけてください。また、強く押さえると、ボンネットがへこむおそれがあります。
●ボンネットが完全に閉まっているか確認してください。完全に閉まっていないと、走行中に開くおそれがあります。

サンバイザー

日差しがまぶしいときに使用します。横からの日差しがまぶしいときは、フック（1）から外して横にまわします。

- エクステンション（4）を引き出すと、横からの日差しをさらに広範囲に防ぐことができます。

(2) ミラーカバー
(3) チケットホルダー

⚠注意

エクステンションを引き出したまま、正面位置へもどさないでください。ルームミラーが隠れ、後方視界の妨げとなります。

チケットホルダー

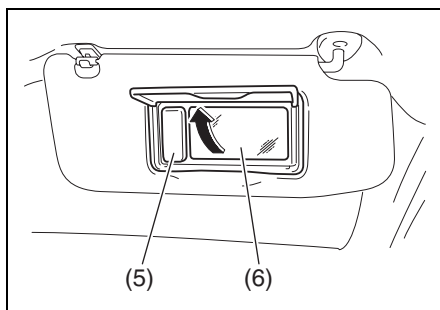
サンバイザーの裏側（ミラーカバーの外側）にあります。有料道路の通行券などがはさめます。

⚠注意

炎天下で駐車するときは、チケットホルダーなどにプラスチック素材のカードを放置しないでください。車内が高温になるため、カードの変形やひび割れを起こすおそれがあります。
→ 2-18 ページ(ライターやメガネなどを放置しない)

照明付きバニティーミラー

ミラーカバーを開けた場所にあります。

- 照明（5）は、ミラーカバーを開けている間、点灯します。

(6) バニティーミラー

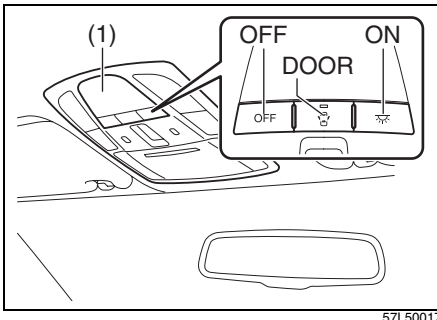
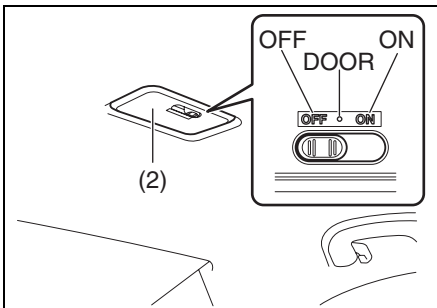
⚠注意

- **走行中はバニティーミラーを使用しないでください。前方不注意の原因となります。**
- **バニティーミラーを使用するときは、SRS エアバッグの収納場所に近づいたり、寄りかかったりしないでください。SRS エアバッグが作動したとき、強い衝撃を受けるおそれがあります。**

5

アドバイス

- エンジン停止中に、ミラーカバーを開けたまま放置しないでください。照明が点灯したままとなり、バッテリーあがりの原因となります。
- バッテリー保護のため、次の条件をすべてみたすと、照明が自動的に消灯します。（バッテリーセーバー機能）
  - エンジンスイッチが LOCK （OFF）の位置
  - 非常点滅灯スイッチがOFF位置
  - ヘッドライトや車幅灯が消灯
  - 点灯したまま15分が経過

室内灯

(1) 前席室内灯　(2) 後席室内灯

ON

ドアの開閉に関係なく点灯します。

DOOR

いずれかのドアを開けると点灯します。また、次の操作をすると約 15 秒間点灯し、徐々に減光しながら消灯します。

- すべてのドアを閉める

また、点灯中であっても次のような操作をすると、徐々に減光しながら消灯します。

- エンジンスイッチを ACC または ON の位置にする
- リクエストスイッチ、キーレスエントリーまたはキーによる施錠

OFF

ドアの開閉に関係なく消灯します。

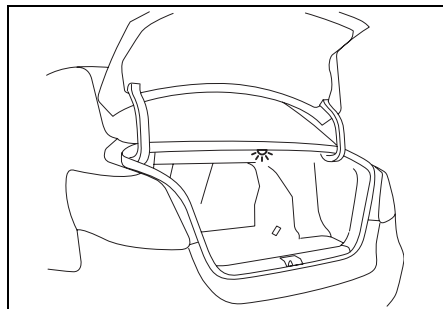
アドバイス

- エンジン停止中に長時間点灯させないでください。バッテリーあがりの原因となります。
- バッテリー保護のため、次の条件をすべてみたすと、自動的に消灯します。（バッテリーセーバー機能）
  - エンジンスイッチが LOCK （OFF）の位置
  - 室内灯スイッチが ON 位置のときは、非常点滅灯スイッチが OFF 位置で、ヘッドライトや車幅灯が消灯
  - 点灯したまま15分が経過

アドバイス

- 室内灯スイッチが DOOR 位置のときに、リクエストスイッチまたはキーレスエントリーを作動させると、室内灯が点灯または点滅します。
→　**3-10ページ**
（アンサーバック機能）
- 後席室内灯スイッチが DOOR 位置のときは、前席室内灯の点灯・消灯に連動します。

トランクルームランプ

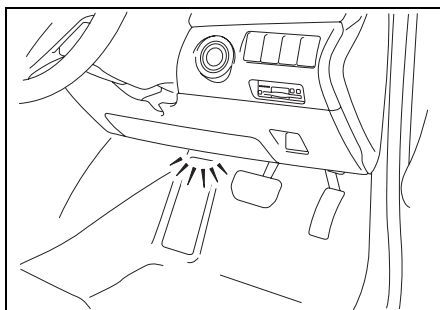
トランクリッドを開けている間、点灯します。

57L50019

⚠注意

エンジン停止中に、トランクリッドを開けたまま放置しないでください。ランプが点灯したままとなり、バッテリーあがりの原因となります。

足元照明

前席

- 設定が 照明連動 のときは、ヘッドライトや車幅灯が点灯している間、点灯します。
- 設定が 照明連動 または ドア連動 のときは、室内灯スイッチがDOOR位置にあるときと同様に点灯します。（アンサーバック機能の設定切り替え時の室内灯2回点滅を除く）
→　**3-78ページ**
（足元照明の設定切替え）
→　**5-31ページ（室内灯）**
→　**3-10ページ**
（アンサーバック機能）

57L50035

- イラストは運転席側を代表しています。助手席側にも足元照明があります。

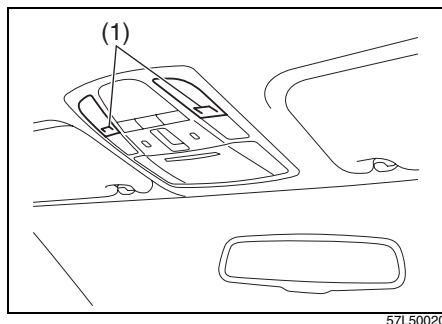
⚠注意

エンジン停止中に長時間点灯させないでください。バッテリーあがりの原因となります。

アドバイス

バッテリー保護のため、次の条件をすべてみたすと、自動的に消灯します。（バッテリーセーバー機能）
- エンジンスイッチが LOCK （OFF）の位置
- 設定が 照明連動 のときは、ヘッドライトや車幅灯が消灯
- ドアを開けて点灯したまま15分が経過

フロントマップランプ

スイッチ部（1）を押すと点灯し、もう一度押すと消灯します。

57L50020

注意

エンジン停止中に長時間点灯させないでください。バッテリーあがりの原因となります。

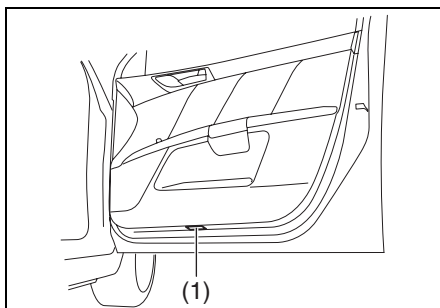
アドバイス

バッテリー保護のため、次の条件をすべてみたすと、自動的に消灯します。（バッテリーセーバー機能）
- エンジンスイッチが LOCK （OFF）の位置
- 非常点滅灯スイッチがOFF位置
- ヘッドライトや車幅灯が消灯
- 点灯したまま15分が経過

カーテシランプ

ドア内側の下部にあります。

前席ドア

ドアを開けている間、点灯します。

57L50021

(1) カーテシランプ

注意

エンジン停止中に、前席ドアを開けたまま放置しないでください。ランプが点灯したままとなり、バッテリーあがりの原因となります。

アドバイス

バッテリー保護のため、ドアを開けたまま15分が経過すると、自動的に消灯します。（バッテリーセーバー機能）

アクセサリーソケット

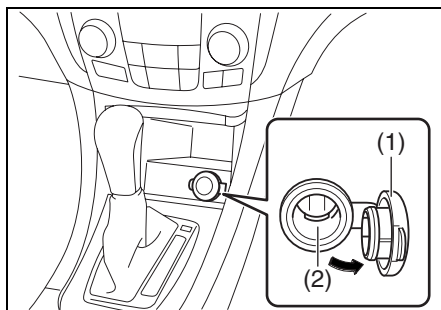
リッド付インパネボックス内とコンソールボックス内（下段）の２か所にあります。

- エンジンスイッチが ACC または ON のときに、電気製品の電源（規定容量12V 120W以下）として使用できます。
- 使用するときは、ふたを開けます。

アドバイス

- 規定容量は、両方のソケット合計で120Wまでとなります。規定容量を超える電気製品を使用すると、ヒューズが切れることがあります。
- 使わないときは、ふたを閉めてください。ソケット内に異物が入ると、故障やショートの原因となります。
- エンジン停止中に長時間使用すると、バッテリーあがりの原因となります。また、エンジンがかかっていてもアイドリング状態で長時間使用すると、バッテリーがあがることがあります。
- 事故防止のため、スズキ純正用品以外の電気製品を使用しないでください。

リッド付インパネボックス内

使用中は、リッドを開けます。

→ **5-37ページ**
（リッド付インパネボックス）

(1) ふた　(2) アクセサリーソケット

アドバイス

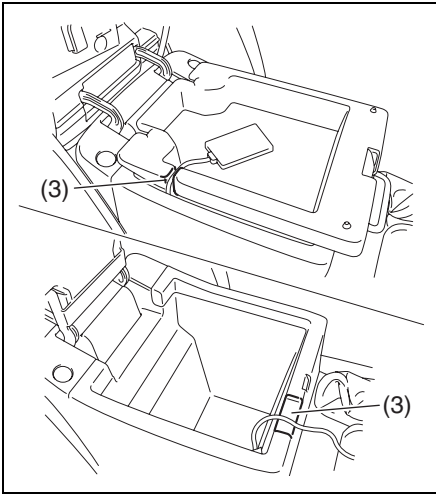
使用中は、リッドを閉めないでください。リッドや電気製品が破損するおそれがあります。

コンソールボックス内（下段）

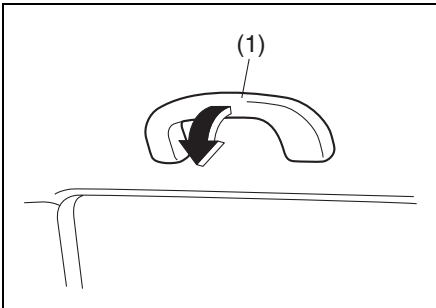
→ **5-40ページ**
（コンソールボックス）

(1) ふた　(2) アクセサリーソケット

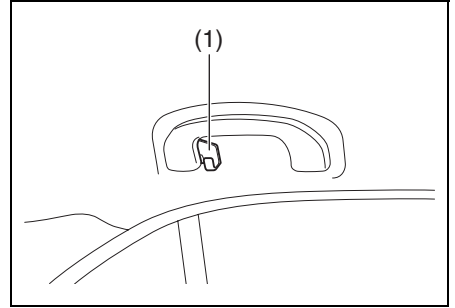
アドバイス

電気製品のコードを外側へ出すときは、ボックスの上段または下段にある溝（3）を通してから、ふたを閉めてください。

57L50068

可倒式アシストグリップ

アシストグリップ（1）を手前に倒して使用します。

80J1233

コートフック

後席左右のアシストグリップの内側にあります。洋服など軽いものをかけるときにご使用ください。

57L50034

(1) コートフック

⚠ 警告

SRS サイド／カーテンエアバッグ装備車の場合、フックにハンガーやとがったものをかけないでください。また、フックに服をかけるときは、ハンガーを使わずに直接服をかけてください。SRSカーテンエアバッグが作動したときに、正常にふくらまなくなったり、ハンガーなどが飛散したりして、重大な傷害につながるおそれがあります。

アドバイス

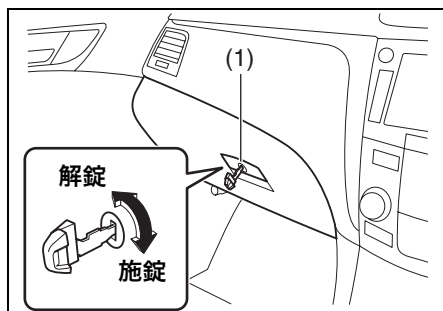
フックにかける物は、2kg 以下としてください。フックが破損するおそれがあります。

グローブボックス

レバー（1）を手前に引いてふたを開けます。

● 施錠するときは、キーを差し込んで時計方向にまわしたままキーを抜きます。

57L50036

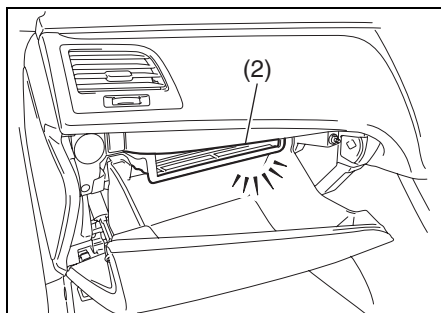
⚠注意

ふたを開けたまま走行しないでください。ブレーキや加速、衝突のときなどに、身体がふたにあたったり、中の物が飛び出したりするおそれがあります。物を出し入れしたあとは、ふたを閉めてください。

車検証ホルダー

ボックス内の上部にあります。

グローブボックスランプ

ふたを開けている間、点灯します。

57L50067

(2) 車検証ホルダー

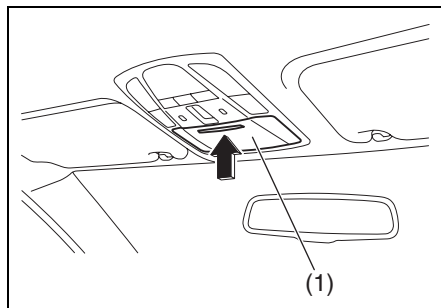
アドバイス

●エンジン停止中に、ふたを開けたまま放置しないでください。ランプが点灯したままとなり、バッテリーあがりの原因となります。
●バッテリー保護のため、次の条件をみたすと、自動的に消灯します。（バッテリーセーバー機能）
- エンジンスイッチが LOCK （OFF）の位置
- 非常点滅灯スイッチがOFF位置
- ヘッドライトや車幅灯が消灯
- 点灯したまま15分が経過

5

オーバーヘッドコンソール

手回り品や小物などの収納にご使用ください。

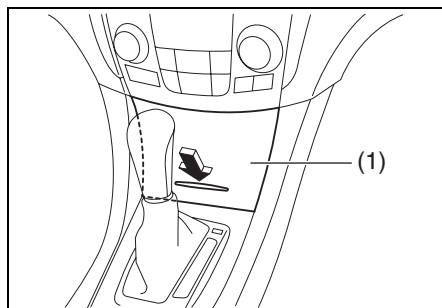
● 開けるときは、ふた（1）の矢印部分を押します。

57L50037

⚠注意

- ふたを開けたまま走行しないでください。ブレーキや加速、衝突のときなどに、中の物が飛び出すおそれがあります。物を出し入れしたあとは、ふたを閉めてください。
- 炎天下で駐車するときは、コンソール内などにプラスチック素材のメガネを放置しないでください。車内が高温になるため、メガネの変形、ひび割れを起こすおそれがあります。
  → 2-18ページ（ライターやメガネなどを放置しない）
- コンソールに入れる物は、合計300g以下としてください。走行中の衝撃でふたが開いて、中の物が飛び出すおそれがあります。また、コンソール破損の原因となります。
- ふたを無理に閉めないでください。中の物やコンソールが破損するおそれがあります。
- メガネを収納するときは、ケースなどに入れてください。レンズに傷がつくおそれがあります。

リッド付インパネボックス

手回り品や小物などの収納にご使用ください。

● 開けるときは、リッド(1)の矢印部分を押します。

57L50038

● ボックス内には、アクセサリーソケットがあります。
→ 5-34ページ（アクセサリーソケット）

⚠警告

走行中に転がり落ちるような物を入れるときは、リッドを閉めてください。ブレーキペダルやアクセルペダルに物がはさまると確実なペダル操作ができなくなり、事故を起こすおそれがあります。

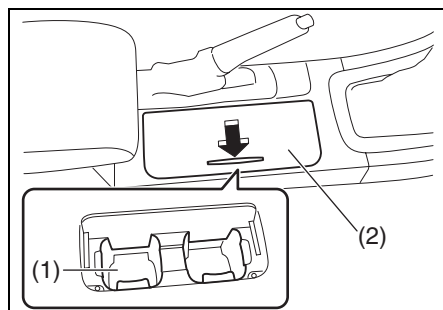
カップホルダー

缶ジュースやカップが置けます。

⚠警告

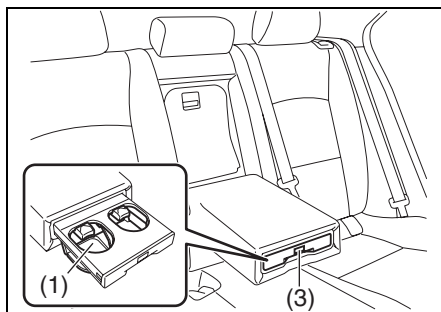
飲み物には、ふたを閉めるなどしてこぼさないように注意してください。熱い飲み物がこぼれると、やけどのおそれがあります。また、飲み物がオーディオ（別売り）やスイッチ類、フロア下の配線や電気部品などにかかると、火災や故障につながったり、SRS エアバッグシステムが正常に作動しなくなったりするおそれがあります。

前席側

使用するときは、ふた（2）の矢印部分を押します。

(1) カップホルダー

後席側

使用するときは、アームレストを手前に倒してからボタン（3）を押します。

- カップホルダーが自動で出てきます。
  → **5-41 ページ（アームレスト（ひじ掛け））**

(1) カップホルダー

- 使用後は、押し込んで格納します。

⚠注意

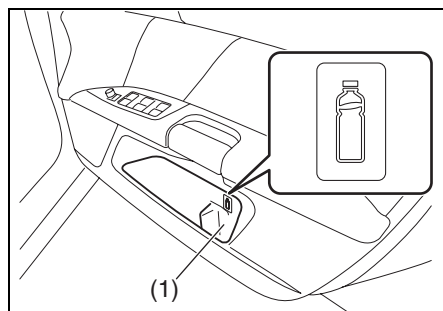
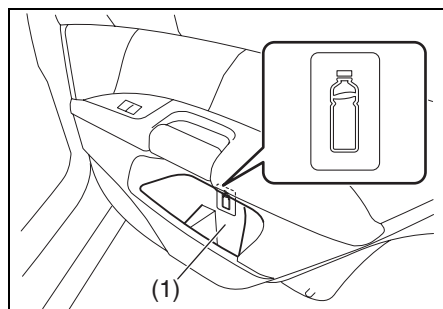
缶ジュースやカップ以外のものを置かないでください。走行中に落ちて、けがのおそれがあります。

アドバイス

使わないときは、じゃまにならないよう格納してください。

ドアポケット

手回り品や小物などの収納にご使用ください。

前席ドア

後席ドア

(1) ペットボトルホルダー

ペットボトルホルダー

ポケットの中にあります。

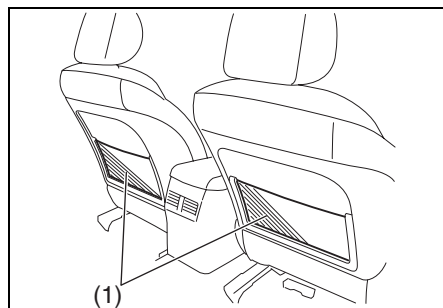
⚠警告

飲み物には、ふたを閉めるなどしてこぼさないように注意してください。熱い飲み物がこぼれると、やけどのおそれがあります。また、飲み物がオーディオ（別売り）やスイッチ類、フロア下の配線や電気部品などにかかると、火災や故障につながったり、SRS エアバッグシステムが正常に作動しなくなったりするおそれがあります。

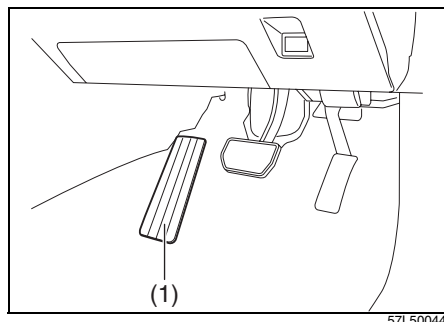
アドバイス

ペットボトルの大きさや形状によっては、収納できない場合があります。

シートバックポケット

雑誌や手荷物などの収納にご使用ください。

(1) シートバックポケット

フットレスト

左足のささえとして使用します。

(1) フットレスト

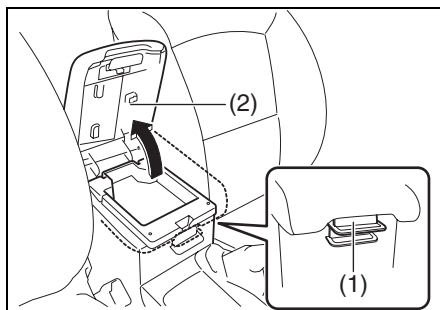
コンソールボックス

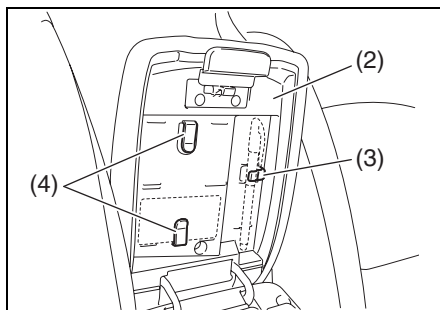
手回り品や小物などの収納にお使いください。

アドバイス

物を出し入れしたあとは、ふたを閉めてください。

上段

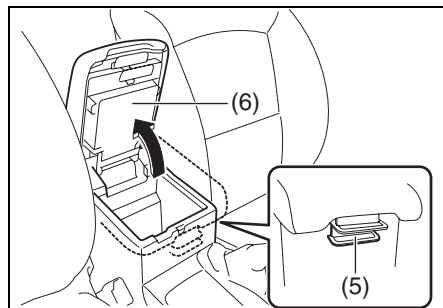
開けるときは、上側のレバー（1）を引き上げたまま、上段のふた（2）を持ち上げます。

■ペンホルダー、カードホルダー

上段のふた（2）の裏側にあります。

(3) ペンホルダー　(4) カードホルダー

注意

炎天下で駐車するときは、カードホルダーなどにプラスチック素材のカードを放置しないでください。車内が高温になるため、カードの変形やひび割れを起こすおそれがあります。
→　2-18 ページ（ライターやメガネなどを放置しない）

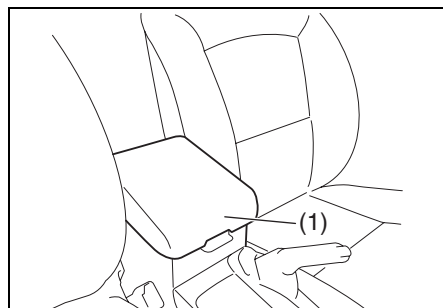
下段

開けるときは、下側のレバー（5）を引き上げたまま、下段のふた（6）を持ち上げます。

57L50047

- ボックス内には、アクセサリーソケットがあります。
  → **5-34ページ（アクセサリーソケット）**

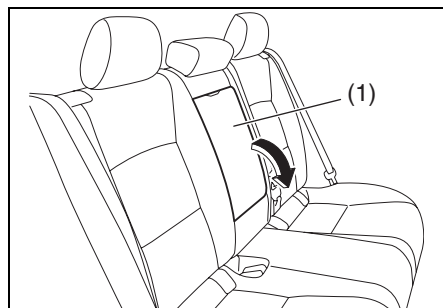
アームレスト（ひじ掛け）

前席

コンソールボックスの上にあります。

57L50069

(1) アームレスト

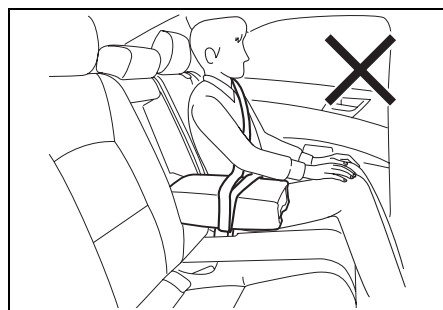
後席

手前に倒して使用します。

57L50074

(1) アームレスト

- 使用後は、持ち上げて収納します。

⚠警告

シートベルトは、アームレストの下をとおしてください。アームレストにベルトがかかっていると、シートベルトが本来の効果を発揮できません。

57L31076

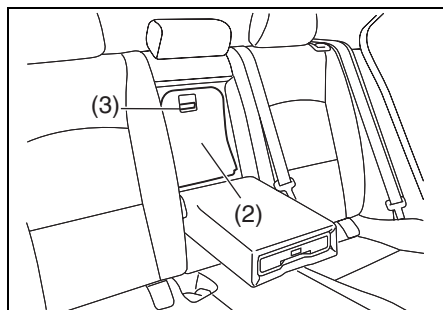
⚠注意

- **アームレストに腰をかけたり、荷物をのせたりしないでください。アームレストが破損するおそれがあります。**
- **お子さま用シートを取り付けるときにアームレストがあたる場合は、背もたれに収納してください。**

アドバイス

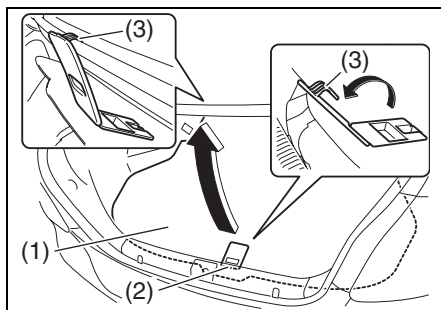
背もたれ格納場所の奥にリッド（2）があります。

- 開けるときは、レバー（3）を押し下げたまま手前に倒します。より長い荷物を載せるときなどにご使用ください。
- 閉めるときは、リッド（2）を手で押しつけます。

57L50070

ラゲッジアンダーボックス

トランクのフロアボード（1）下にあります。

- 物を出し入れするときは、とっ手（2）を引き上げ、フロアボードを持ち上げます。
- フロアボードを持ち上げたままにするときは、とっ手のフック部 (3) をトランク開口部の上側に引っかけます。
- ボックスには、工具およびジャッキが収納されています。また、ボックスの下には、応急用スペアタイヤが収納されています。
  →　**7-2ページ（パンク）**

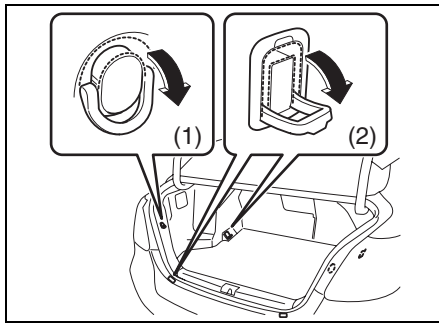
57L50048

⚠注意

とっ手をトランク開口部に引っかけたまま、トランクリッドを閉めないでください。とっ手が破損するおそれがあります。

ネットフック、ロープフック

ラッシングベルト（別売り）などで荷物を固定するときにご使用ください。

- ネットフック（1）は、トランク開口部側面に計2個あります。
- ロープフック（2）は、トランク床面に計4個あります。
- 使用するときは、フックを引き出します。

57L50049

- 使用後はフックを格納します。

⚠注意

フックは、ラッシングベルトなどで軽い物を固定するときに使ってください。

アドバイス

使わないときは、じゃまにならないよう格納してください。

6. お車との上手なつきあいかた

● お手入れ

● 寒冷時の取扱い

外装のお手入れ

塗装面を美しく保つために

お車をいつまでも美しく保つためには、日頃のお手入れが大切です。

- 駐車、車の保管は風通しのよい車庫や屋根のある場所をおすすめします。
- 次のようなときはサビや塗装の変色などの原因となります。すみやかに洗車をしてください。
  - 海岸地帯や凍結防止剤を散布した道を走行したとき。とくに車体の下まわり、足まわりを洗車してください。
  - 鳥のふん、虫の死がい、樹液、鉄粉、ばい煙、コールタールなどが付着したり、酸性雨に濡れたりしたとき。
  - ほこりや泥でひどく汚れたとき。
- ワックスがけは月に 1 回程度、または水のはじきが悪くなったら行なってください。ワックスがけのしかたは、ワックス（別売り）の容器に書かれている取扱説明に従ってください。

80J302

- 飛び石の傷や、引っかき傷などはサビの原因となります。見つけたら早めに補修してください。

⚠注意

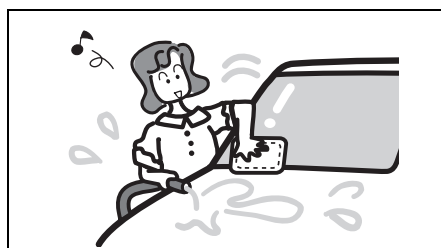
塗装面の傷を補修するときは、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。不適切な塗料を使用すると、塗装がはがれる原因となります。

洗車のときのご注意

⚠注意

- **オートワイパーの場合、ワイパースイッチをOFFにしてください。**
  AUTO になっていると、不意にワイパーが作動することがあり、けがのおそれがあります。また、ワイパーが故障する原因となります。
  →　3-90ページ（ワイパー／ウォッシャースイッチ）
- **エンジンルームに水などをかけないでください。エンジンの始動不良や電気部品が故障する原因となります。**
- **車体の下まわりや足まわりを洗うときは、けがをしないように気をつけてください。**
- **洗車したあとはブレーキの効きが悪くなることがあります。**
  →　2-15ページ（水たまりを走行したあとや洗車後はブレーキの効きを確認）

手洗い洗車をするときは

1. 十分に水をかけながら、スポンジやセーム皮のような柔らかいものを使って汚れを洗い落とします。
2. 汚れがひどいところは中性洗剤を使って洗い、さらに真水で洗って洗剤を落とします。
3. 柔らかい布で水をよくふき取り、水滴のあとが残らないようにします。

80J303

自動洗車機を使うときは

⚠注意

- **ドアミラーを格納してください。洗車機にひっかかり、ドアミラーを損傷するおそれがあります。**
- **自動洗車機によっては、ブラシで傷がついて塗装面の光沢が失われたり、塗装の劣化が早まったりすることがあります。**

高圧洗浄機を使うときは

洗車ノズルを車体から十分に離してください。

⚠注意

- **洗車ノズルを車体に近づけすぎたり、バンパーなどの開口部に向けたりすると、車体や部品の変形や損傷の原因となります。**
- **洗車ノズルをドアガラスやドアまわりなどの開閉部分に向けると、車内に水が入るおそれがあります。**

フロントウインドーガラスの手入れ

油膜などが付着してワイパーのふき残しが出たときは、ガラスクリーナー（別売り）で汚れを取ってください。

⚠注意

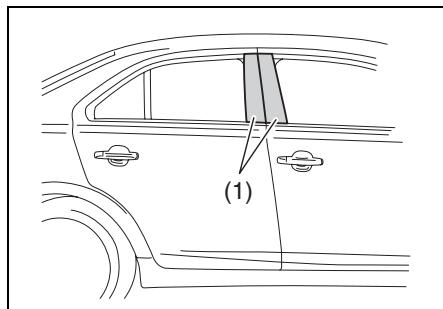
フロントワイパーは運転席側から順に起こし、助手席側から順にもどしてください。助手席側を先に起こす、または運転席側を先にもどすと、ワイパー同士があたって傷つきの原因となります。

アドバイス

オートワイパーの場合、撥水加工をすると雨を正確に検知できなくなって、正常に作動しない場合があります。
→　**3-90 ページ（ワイパー／ウォッシャースイッチ）**

6

センターピラーガーニッシュの手入れ

6-3 ページの「**手洗い洗車をするときは**」をお読みください。

(1) センターピラーガーニッシュ

アドバイス

- ガーニッシュは傷つきやすいので、メガネふきなどのような柔らかい布を使用してください。ティッシュでも傷つく場合があります。
- 傷ついた場合、ヘッドライトポリッシュ（市販品）などを使用すると、ある程度の修復ができます。
- 次のような成分が含まれているケミカル用品は使用しないでください。亀裂や変形などの原因となります。容器に記載の注意事項をよくお読みください。
  - ベンジン、ガソリン、シンナー、ステッカーはがし剤などの溶剤
  - ヤシ油系洗剤

アルミホイールの手入れ

6-3 ページの「**手洗い洗車をするときは**」をお読みください。

アドバイス

- 酸性、アルカリ性の洗剤を使用しないでください。塗装のしみ、変色、ひび割れの原因となります。
- 硬いブラシや砂入り石けんを使用しないでください。傷つきの原因となります。

内装のお手入れ

- 砂、ほこりなどは掃除機などで吸い取るか、水またはぬるま湯を固くしぼった柔らかい布でふき取ってください。そのまま放置すると、傷つきの原因となります。
- 液体芳香剤やジュースなど液体類が付着したときは、すみやかにティッシュペーパーや柔らかい布でふき取ってください。こぼしたままにしておくと、しみ、変色、ひび割れの原因となります。

⚠ 警告

車内に水などをかけないでください。オーディオ（別売り）やスイッチ類、フロア下の配線や電気部品などにかかると、火災や故障につながったり、SRS エアバッグシステムが正常に作動しなくなったりするおそれがあります。

6

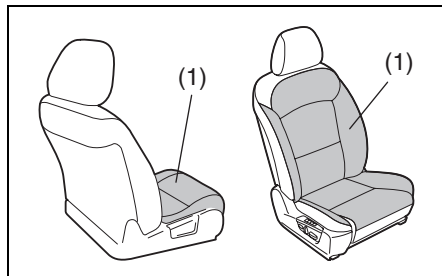
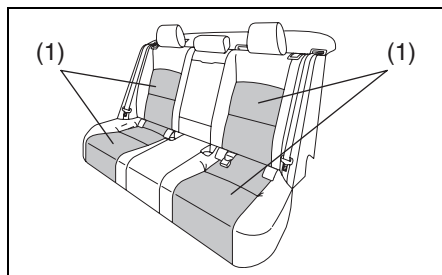
アドバイス

- 次のような成分が含まれているケミカル用品は使用しないでください。しみ、変色、変形、強度低下などの原因となります。
  - ベンジン、ガソリン、シンナー、ステッカーはがし剤などの有機溶剤
  - 酸性、アルカリ性の洗剤
  - 漂白剤や染料
- 液体芳香剤はこぼさないように容器を固定するか、固形タイプのものをご使用ください。
- 色物の革製品・毛皮・ビニールなどを長時間、放置しないでください。変色や変質の原因となります。

布地、ビニールレザー、樹脂部品などの手入れ

1. 中性洗剤の水溶液を柔らかい布に軽く含ませ、汚れをふき取ります。
2. 真水を含ませた柔らかい布で、残った洗剤分をふき取ります。
3. 残った水分をふき取り、風通しの良い日陰で乾燥させます。

本革の手入れ

1. ウール用中性洗剤の 5%水溶液を柔らかい布に軽く含ませ、汚れをふき取ります。
2. 真水を含ませた柔らかい布を固くしぼり、残った洗剤分をふき取ります。
3. 乾いた柔らかい布で乾ぶきし、風通しの良い日陰で乾燥させます。

(1) 本革部分

アドバイス

- 外観品質を長く保つため、年に2回程度は定期的にお手入れをしてください。
- 水が付着したときは、すみやかにティッシュペーパーや柔らかい布でふき取ってください。ぬれたままにしておくと、硬くなって縮むことがあります。
- 炎天下に駐車するときは、日よけなどを使用してください。直射日光に長時間さらすと、色あせや縮みの原因となります。
- 天然素材のため、シボ（皮革表面肌の凹凸）の不均一や、皮革本来の傷などがあっても、皮革としての物性に影響はありません。

6

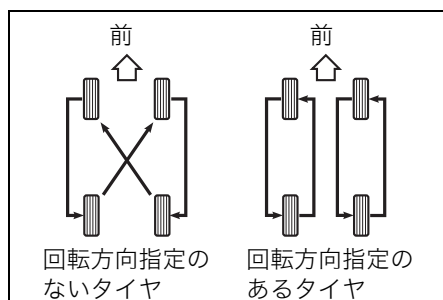
バックウインドーガラスの室内側の手入れ

熱線やアンテナ線を傷つけないように、水を含ませた柔らかい布で熱線やアンテナ線に沿ってふいてください。

タイヤの交換

タイヤのローテーション

タイヤのかたよった摩耗を防止して寿命をのばすために、約**5,000 km**走行ごとに行なってください。（次の図参照）

- 車載ジャッキでタイヤのローテーションを行なうときは、応急用スペアタイヤなどを使用して1輪ずつ交換します。
→　**7-4ページ（ジャッキアップ）**

80J305

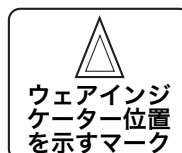
⚠注意

- **応急用スペアタイヤは、通常の走行には使用しないでください。**
- **回転方向指定のあるタイヤをローテーションするときは、回転方向を逆にしないでください。走行に悪影響をおよぼすおそれがあります。**

アドバイス

回転方向指定のあるタイヤは、タイヤの側面に回転方向を示すマークがあります。

タイヤ交換するときは

- 指定タイヤのサイズと空気圧は、お車のタイプにより異なります。運転席ドアの開口部に貼付してある「**空気圧ラベル**」で確認してください。
- 走行中にハンドルや車体に振動が出る場合は、タイヤのバランスを点検してください。
- 取り付ける前にタイヤの摩耗状態を点検してください。ウェアインジケーター（溝の深さが1.6mm浅い部分）が現れて溝の一部が消えていたら、他のタイヤと交換してください。

80J306

⚠注意

指定のサイズで、4輪ともサイズ、銘柄、トレッドパターン（溝模様）が同一のタイヤを装着してください。また、摩耗状態が著しく異なるタイヤを使用しないでください。燃費や走行安定性が悪化するだけでなく、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、故障の原因となります。（冬用タイヤも同様です）

●ABS および ESP® の場合、正確なタイヤ回転速度が検出できなくなって、正常に作動しない場合があります。
●4WD 車では、その性能が十分に発揮できないばかりでなく、駆動系部品に悪影響をあたえるおそれがあります。

冬期に入る前の準備

ウインドーウォッシャー液

凍結を防ぐため、外気温に応じた割合で配合してください。

〈スズキ純正ウォッシャー液の場合〉

使用地域・季節	薄める割合	凍結温度
通　常	原液1に水3	約−7℃
温暖地の冬期	原液1に水2	約−10℃
寒冷地の冬期	原液1に水1	約−20℃
極寒冷地の冬期	原液のまま	約−50℃

バッテリー

バッテリーの液量や比重を点検してください。寒くなるとバッテリーの性能が下がり、弱っているバッテリーではエンジンがかかりにくくなります。

→　**2-3ページ**
（バッテリーの液面を点検する）

冷却水

エンジン内部の腐食および凍結防止のため、指定の冷却水をお使いください。

→　**8-1ページ（サービスデータ）**
→　**メンテナンスノート（日常点検）**

アドバイス

冷却水の濃度点検および交換は、スズキ販売店またはスズキ代理店へお申し付けください。

スノーブレード

スノーブレード（降雪地用ワイパーブレード、別売り）は、金属部分をゴムでおおって雪の付着を少なくするものです。必要に応じて交換してください。

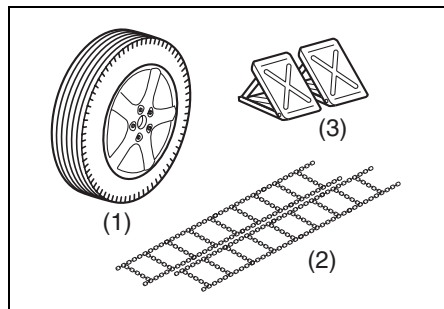
⚠注意

高速走行時は、通常のワイパーブレードよりふき取りにくくなることがあります。その場合には、車のスピードを落としてください。

アドバイス

雪の降らない時季は、通常のワイパーブレードをご使用ください。

冬用タイヤ、タイヤチェーン、輪止め

雪道や凍結路を走行するために必要です。準備してください。

80J1242

(1) 冬用タイヤ　(2) タイヤチェーン
(3) 輪止め

出発の前に

屋根に積もった雪

出発の前に取り除いてください。走行時に落下して、視界をさまたげるおそれがあります。

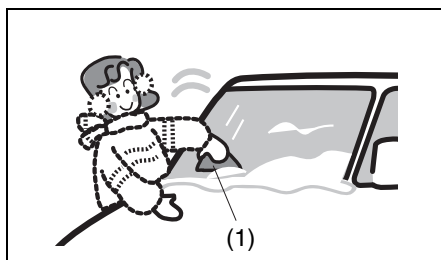
80J308

ワイパーの凍結

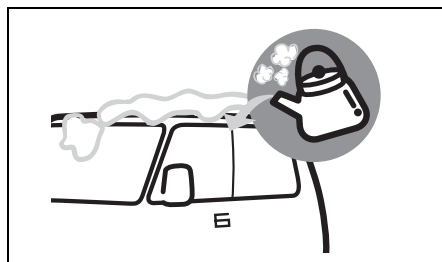
ぬるま湯をかけて氷を溶かします。溶かしたあとは、再び凍結しないように水分をふき取ってください。凍結したまま無理にワイパーを作動させると、ブレード部（ゴムの部分）が傷ついたり、ワイパーが故障したりするおそれがあります。

80J309

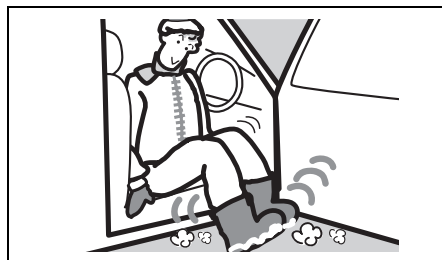
ガラス面の雪や霜

プラスチックの板（1）を使うと、ガラスを傷つけずに落とせます。

80J310

ドアの凍結

ぬるま湯をドアキーの穴を避けてかけます。ドアが開いたあとは水分をふき取ってください。凍結したまま無理に開けようとすると、ドアまわりのゴムがはがれたり、破損したりするおそれがあります。

80J311

靴に付着した雪

乗車するときによく落としてください。そのまま乗車すると、ペダル操作時に滑ったり、車内の湿気が多くなってガラスがくもりやすくなったりします。

80J312

雪道を走行するとき

雪道や凍結路はゆっくり走行

⚠注意

スピードを控えめにし、急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドル、急激なエンジンブレーキなど「急」のつく運転はしないでください。雪道や凍結路は路面が滑りやすく、スリップ事故を起こすおそれがあります。

80J039

ブレーキの効き具合を確認

ブレーキ装置に付着した雪や氷が凍結して、ブレーキの効きが悪くなることがあります。

⚠注意

- **周囲の安全を確かめてから低速でブレーキペダルを数回踏み、ブレーキの効きを確かめてください。**
- **ブレーキの効きが悪いときは、効きが回復するまで低速で繰り返しブレーキペダルを軽く踏み、ブレーキ装置のしめりを乾かしてください。**

冬用タイヤ、タイヤチェーンを装着

雪道や凍結路では、冬用タイヤまたはタイヤチェーンを装着してください。

- 走行する地区の条例などにしたがって装着してください。

→ **6-6ページ**
(タイヤ交換するときは)
→ **6-11ページ**
(タイヤチェーンを装着するとき)

フェンダー裏側に付着した雪を取り除く

雪道を走行すると、フェンダーの裏側に雪が付着してタイヤと接触し、ハンドルの切れが悪くなることがあります。

- ときどき車を止めてフェンダーの裏側を点検してください。雪の塊が付着しているときは、周囲の部品を傷つけないように雪を取り除いてください。

80J313

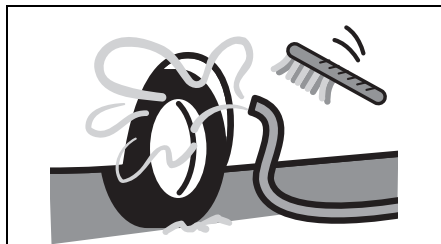
駐車するとき

パーキングブレーキ

パーキングブレーキが凍結すると解除できなくなります。

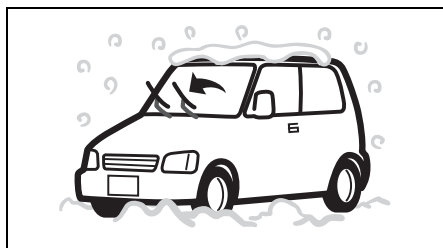
- 長時間駐車するときはパーキングブレーキをかけず､セレクトレバーを P に入れ、輪止め（市販品）をします。

凍結防止剤が散布してある道を走行したあとは

すみやかに凍結防止剤を洗い落としてください。特に車体の下まわり、足まわりを念入りに洗ってください。放置するとサビの原因となります。
凍結を防ぐため、洗車後はドアまわりなどの水分をふき取ってください。

80J314

アドバイス
- ドアキーの穴を避けて洗車してください。キー穴が凍結すると、ドアが解錠できなくなります。
- ドアまわりのゴム部品の水分は、とくによくふき取ってください。凍結すると、ドアが開かなくなります。

屋外に駐車するときは

- 軒下や樹木の下には駐車しないでください。積雪や落雪で車の屋根がへこむことがあります。
- 駐車するときはワイパーアームを立ててください。雪の重みでワイパーアームが変形したり、ブレード部（ゴムの部分）がガラスに凍結したりすることがあります。

80J315

アドバイス

フロントワイパーは運転席側から順に起こし、助手席側から順にもどしてください。助手席側を先に起こす、または運転席側を先にもどすと、ワイパー同士があたって傷つきの原因となります。

排気管のまわりが雪でおおわれたときは

⚠警告

排気管のまわりが雪でおおわれたままエンジンを回転させないでください。排気ガスが車内に侵入し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

80J316

タイヤチェーンを装着するとき

タイヤチェーン

この車に適合したスズキ純正品を装着してください。適合するタイヤチェーンについては、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

⚠注意

- **適合品以外を装着しないでください。ブレーキ配管や車体を損傷するおそれがあります。**
- **タイヤチェーンを装着して走行するときは、安全およびタイヤチェーン保護のためスピードを控えめ（30 km/h 以下）にし、急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドル、急激なエンジンブレーキなど「急」のつく運転をしたり、突起や穴を乗り越えたりしないでください。**
- **ABS および ESP® の場合、タイヤチェーンを装着すると正確なタイヤ回転速度が検出できなくなって、正常に作動しない場合があります。**

アドバイス

- タイヤチェーンを装着したまま、雪のない舗装路を走行しないでください。路面が損傷したり、タイヤチェーンの摩耗が早まったりします。また、4WD 車の場合、駆動装置に無理な力がかかり、故障の原因となります。
- 走行中にいつもと違う音がするときは、ただちに停車して点検してください。タイヤチェーンが切れたり、一部が外れたりして車体にあたると、ブレーキ配管や車体を損傷するおそれがあります。

6

タイヤチェーンを装着する前に

■ タイヤチェーンは前輪に装着

この車は前輪が駆動輪、または前輪が駆動輪ベースの 4WD です。後輪には装着しないでください。

■ 応急用スペアタイヤには装着できません

前輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを後輪につけ、外した後輪の標準タイヤを前輪につけてから、タイヤチェーンを前輪に装着します。

■ ジャッキアップに適した安全な場所で装着

7-4 ページの「**タイヤ交換の準備**」の 1、2 をお読みください。

タイヤチェーンの装着

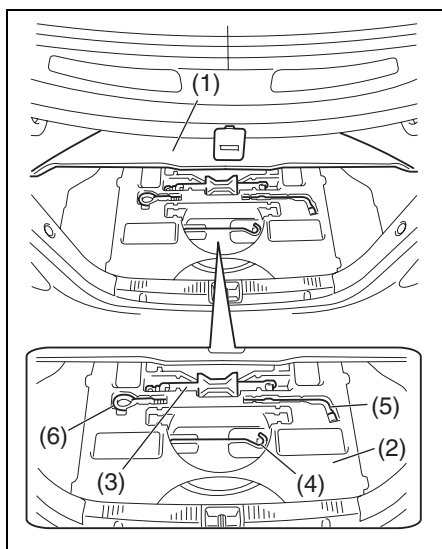
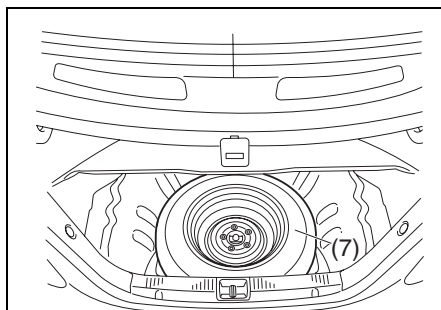
タイヤチェーンに付属の取扱説明書をよくお読みください。

> **アドバイス**
> アルミホイールの場合、タイヤチェーンで傷がつくおそれがあります。

7. 万一のとき

工具、ジャッキ、応急用スペアタイヤの収納場所

トランクのフロアボード（1）下に収納されています。

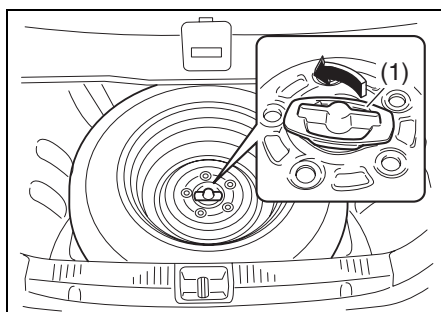
- 工具およびジャッキは、図のようにラゲッジアンダーボックス（2）に収納されています。また、応急用スペアタイヤは、ボックスの下に収納されています。
  →　**5-42ページ（ラゲッジアンダーボックス）**

(3) ジャッキ　(4) ジャッキバー
(5) ホイールナットレンチ
(6) けん引フック

(7) 応急用スペアタイヤ

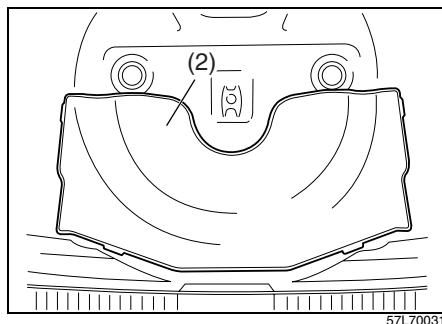
アドバイス

工具（ジャッキバー、ホイールナットレンチ、けん引フック）、ジャッキ、応急用スペアタイヤは、所定の位置に収納してください。

- ジャッキは、完全に縮めてください。
- スペアタイヤは、しっかり固定してください。

応急用スペアタイヤの取り出しかた

フロアボードを持ち上げて、ラゲッジアンダーボックスを取り外し、固定用ナット（1）をゆるめて取り出します。

アドバイス

スペアタイヤの下にあるスペーサー（2）は取り外さないでください。取り外すと、スペアタイヤがしっかり固定できません。

57L70031

応急用スペアタイヤの取扱い

応急用スペアタイヤは、標準タイヤがパンクしたときに一時的に使用するものです。パンクしたタイヤはただちに修理または交換し、できるだけ早く標準タイヤにもどしてください。応急用スペアタイヤは、標準タイヤに比べて空気圧が高く、幅が細く、直径がやや小さいため、次の事項を守ってください。

注意

定期的に点検する

空気圧や摩耗状態を定期的に点検してください。空気圧不足やタイヤの摩耗は、思わぬ事故につながるおそれがあります。応急用スペアタイヤの空気圧は420kPa（4.2 kgf/cm^2）です。

前輪には使用しない

この車は前輪が駆動輪、または前輪が駆動輪ベースの4WDです。前輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを後輪に装着し、外した後輪の標準タイヤを前輪につけてください。

装着したときの走行は

- **ABSおよびESP®の場合、正確なタイヤ回転速度が検出できなくなって、正常に作動しない場合があります。**
- **4WD 車では、その性能が十分に発揮できないばかりでなく、駆動系部品に悪影響をあたえるおそれがあります。**
- **応急用スペアタイヤは、高速走行には適していません。やむをえず高速道路を走行する場合は、最低速度（法令では高速道路の最低速度は50km/hです）に近い速度で走行してください。**
- **応急用スペアタイヤは、標準タイヤに比べ直径がやや小さいため、車高が少し低くなります。突起物などを乗り越えるときは、車体を接触させないように気をつけてください。**

タイヤチェーンは装着できません

タイヤチェーンを装着した前輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを後輪に使用し、外した後輪の標準タイヤを前輪につけてからタイヤチェーンを再装着してください。

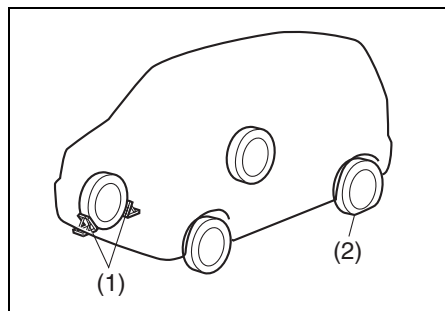
他の車のスペアタイヤを使わない

応急用スペアタイヤは、この車専用です。他の車に使用したり、他の車の応急用スペアタイヤをこの車に使用したりしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

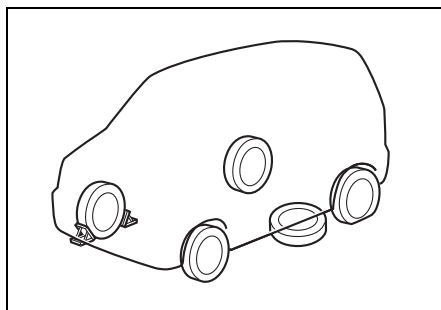
タイヤ交換の準備

1 他車に注意をうながすため、非常点滅灯を点滅させます。他車の通行のじゃまにならず、安全に作業ができ、地面が硬くて平らな場所に車を移動します。

2 パーキングブレーキレバーをしっかりとかけます。セレクトレバーを P に入れ、エンジンを止めます。必要に応じて、停止表示板(別売り)を置きます。

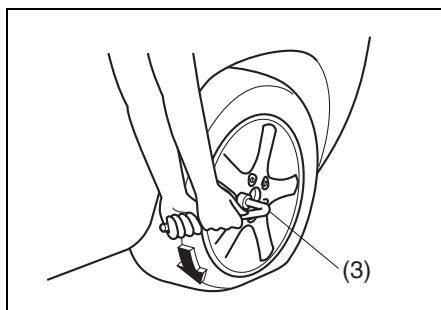
3 交換するタイヤ（2）と対角線の位置にあるタイヤの前後に、輪止め（1）（市販品）を置きます。

80J1245

4 工具、ジャッキ、応急用スペアタイヤを取り出します。同乗者がいるときや重い荷物をのせているときは、車からおろします。

- 万一ジャッキが外れたときに足などをはさまないために、取り出した応急用スペアタイヤは、交換するタイヤの近くの車体の下に置いてください。

80J323

アドバイス

応急用スペアタイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にすると傷つきにくくなります。

5 ホイールナットレンチ（3）でホイールナット5個を反時計方向にまわし、手でナットが軽くまわるくらいまでゆるめます。

57L70046

ジャッキアップ

ジャッキアップをする前に、パーキングブレーキをしっかりとかけてください。

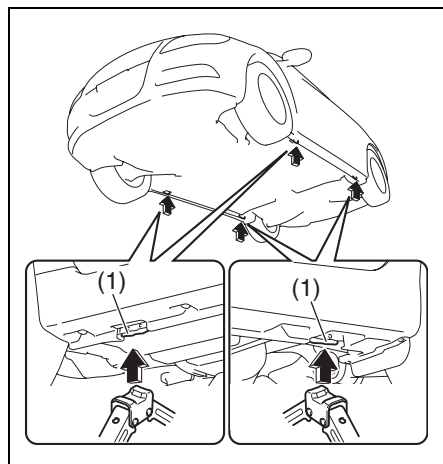
- セレクトレバーを P に入れ、エンジンを止めてください。

⚠警告

万一ジャッキが外れると、身体がはさまれ重大な傷害を受けたり、車が動き出して思わぬ事故につながったりするおそれがあります。ジャッキアップするときは次のことをお守りください。

- **地面が硬くて平らな場所でジャッキアップしてください。**
- **ジャッキは、タイヤ交換だけに使用してください。**
- **ジャッキはこの車に付属のものを使用し、他の車のものは使用しないでください。また、この車のジャッキを他の車に使用しないでください。**
- **ジャッキは必ず指定された位置にかけてください。指定以外の位置にジャッキをかけると、ジャッキが外れたり、車を損傷したりするおそれがあります。**
- **ジャッキで必要以上に車を持ち上げないでください。**
- **ジャッキで車を持ち上げているときは、車の下にもぐったり、エンジンをかけたり、車をゆすったりしないでください。**
- **ジャッキアップするときに、ジャッキの上や下に物をはさまないでください。**
- **複数のジャッキを使用して、複数輪を同時にジャッキアップしないでください。**

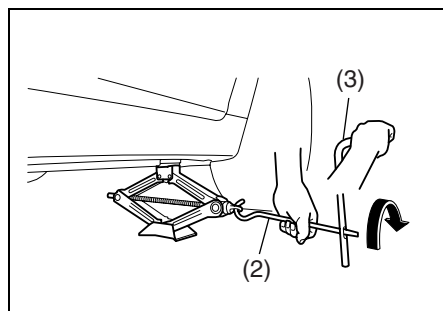
1 ジャッキバー取り付け部を手でまわしてジャッキを広げ、ジャッキ頭部の凹み部を車載ジャッキ指定位置に軽く接触させます。

2 ジャッキ頭部を軽くゆすって、ジャッキ頭部の凹み部が指定位置にはまっているか確認します。

(1) 車載ジャッキ指定位置

3 ジャッキに、ジャッキバーとホイールナットレンチを取り付けます。（次の図参照）

アドバイス

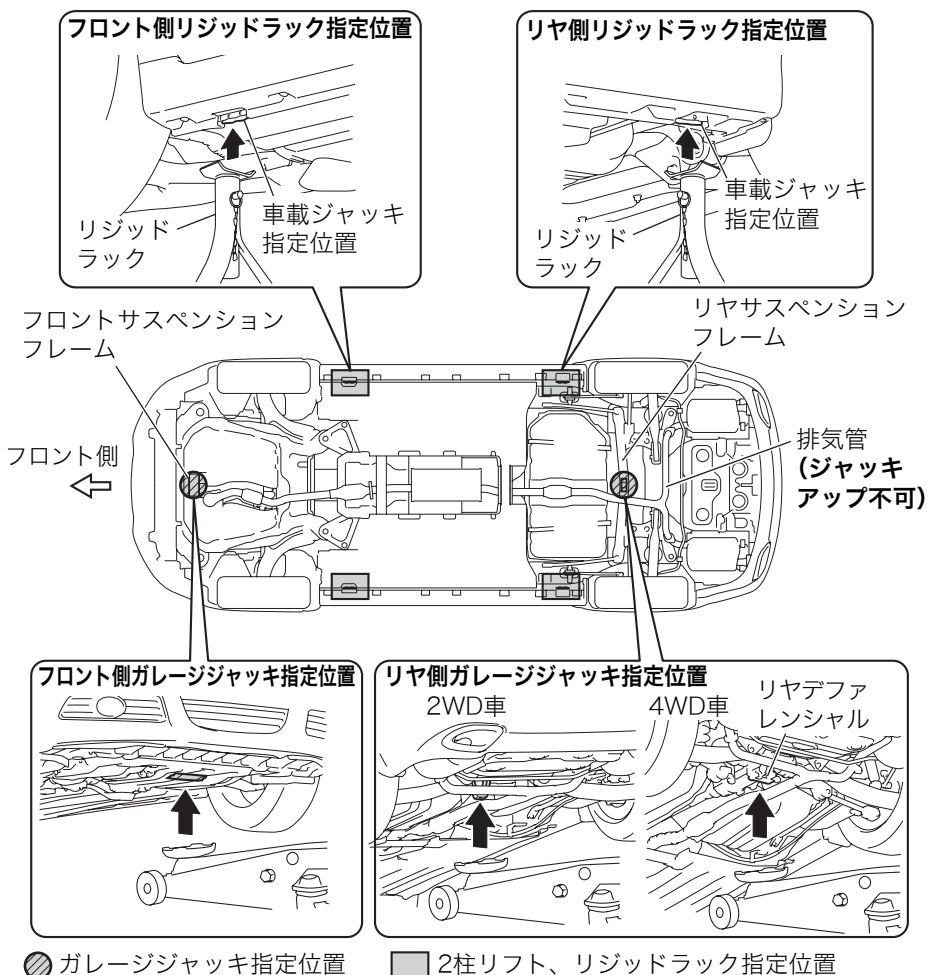
ジャッキバーは次の図のように、ホイールナットレンチの穴に差し込みます。

4 ホイールナットレンチをまわして、タイヤが地面から少し離れるまで、車体を慎重に持ち上げます。

(2) ジャッキバー
(3) ホイールナットレンチ

7

ガレージジャッキ（市販品）を使用するときは

ガレージジャッキおよびリジッドラック（市販品）の指定位置を下図に示します。詳細については、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

- フロント側ガレージジャッキ指定位置は、エンジンアンダーカバーをはさみ込まないように気をつけてください。

⚠ 警告

- **必ず図に示す指定位置を守ってください。**
- **ジャッキアップした車体を保持する際は、必ずリジッドラックに掛け替えてください。**
- **フロント側またはリヤ側のみをジャッキアップする際は、必ず接地側のタイヤの前後に輪止め（市販品）を置いてください。**

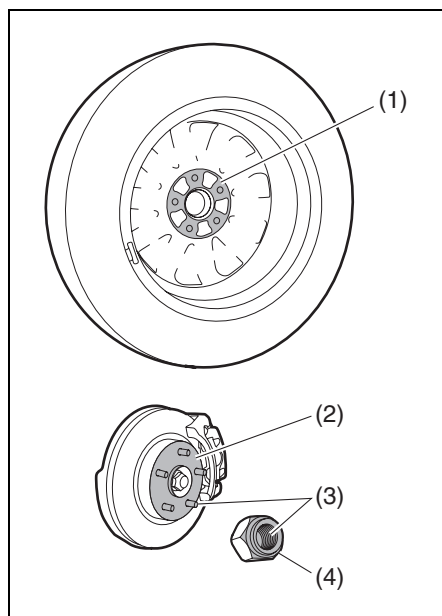
タイヤの取付け・取外し

1 ホイールナットを外して、タイヤを取り外します。外したタイヤは、車体の下に置きます。

アドバイス

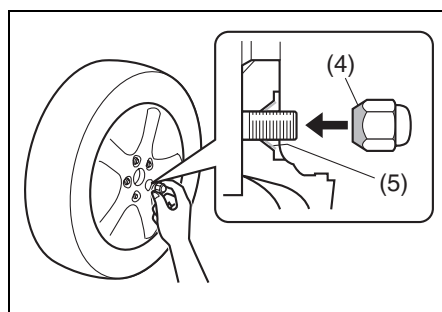
タイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にすると傷つきにくくなります。

2 次の場所の汚れや異物を取り除きます。

- ●交換するホイールの取付け面（1）
- ●車体側の取付け面（ハブ面）（2）
- ●ボルトやホイールナットのねじ部（3）
- ●ホイールナットのテーパー面（4）
- ●ホイール穴のテーパー面（5）

- ●上図は代表例です。お車のタイプにより異なります。
- ●このとき、ボルトやナットのねじ部、ホイールのボルト穴につぶれや亀裂などの異常がある場合は、スズキサービス工場で点検を受けてください。

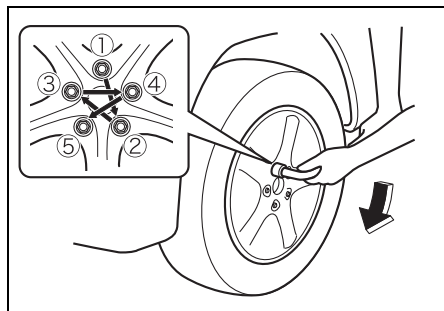
⚠警告

- **●前記の場所に汚れや異物、つぶれや亀裂などの異常があると、走行中にホイールナットがゆるむことがあります。**
- **●ナットやボルトに、オイルやグリスを付着させないでください。必要以上にナットを締め過ぎて、ボルトが折れるおそれがあります。**

3 ホイールナットのテーパー面（4）が、ホイール穴のテーパー面（5）に軽く接触するまで、手で時計方向にまわして締めます。

4 車体の下に置いたタイヤを取り出し、タイヤが地面に接触するまでジャッキを下げます。

5 ホイールナットレンチを使用して、ホイールナットを次の図の順序で2～3回に分けて締め付けます。

締め付けトルク：140N・m（1430kgf・cm）

- ホイールナットレンチの柄の先端にかかる力は470N（48kgf）を目安にしてください。
- すべてのホイールナットが確実に締まっていることを確認してください。

80J1224

⚠ 警告

- **ホイールナットが確実に締まっていないと、ボルトやブレーキ部品を損傷したり、ホイールが外れたりするなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。トルクレンチ（市販品）を使用せずにタイヤ交換した場合は、できるだけ早くスズキサービス工場で締め付けトルクの点検を受けてください。**
- **ホイールナットレンチを足で踏んだり、パイプや棒などを追加して締め付けたりすると、ナットを締め過ぎてボルトが損傷し、事故につながるおそれがあります。**

アドバイス

規定の締め付けトルクで締める場合は、トルクレンチ（市販品）のご使用をおすすめします。

タイヤを交換したあとは

- 工具、ジャッキは、所定の位置に収納してください。
- パンクしたタイヤは、応急用スペアタイヤの収納場所に収納してください。このとき、ラゲッジアンダーボックスは、フロアボードの上などに移動してください。
- タイヤを交換してしばらく走行したあと、ホイールナットにゆるみがないか確認してください。
- アルミホイール装備車は、タイヤを交換してから 1,000 km 程度走行したあとに、ホイールナットにゆるみがないか点検してください。

⚠ 警告

タイヤを交換したあと、車体の振動などの異常を感じたときは、ただちに安全な場所に停車し、スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。

バッテリーあがりとは

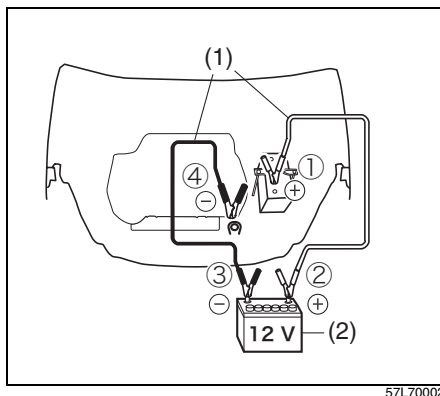
次のようなときは、バッテリーがあがっています。

- エンジンをかけようとしてもスターターがまわらない。または、まわっても回転が弱くてエンジンがかからない。
- ヘッドライトが極端に暗かったり、ホーンの音が小さかったりする。

バッテリーあがりのときは

ブースターケーブルと、12 Vバッテリーを使用している他のバッテリー正常車があれば、エンジンの始動ができます。

1 1本目のブースターケーブルを①→②の順序で接続し、2本目のブースターケーブルを③→④の順序で接続します。

①バッテリーあがり車の ⊕ 端子
②バッテリー正常車の ⊕ 端子
③バッテリー正常車の ⊖ 端子
④バッテリーあがり車のエンジン本体（エンジンハンガーフックなど）

(1) ブースターケーブル
(2) 正常車のバッテリー

- ①～④の数字は、ブースターケーブルを接続する順序を表しています。

2 バッテリー正常車のエンジンを始動し、エンジンの回転を少し高めに保ちます。

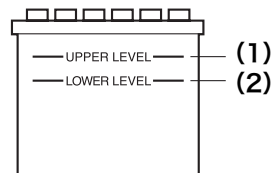
3 バッテリーあがり車のエンジンを始動します。

4 取り付けたときと逆の順序で、ブースターケーブルを外します。

5 お近くのスズキ販売店またはスズキ代理店でバッテリーを完全充電します。

⚠警告

●バッテリーからは水素ガスが発生しています。水素ガスは、火気や火花に引火すると爆発のおそれがありますので、次のことをお守りください。

- **バッテリーを充電するときやブースターケーブルをつなぐときは、必ずバッテリー液面を確認してください。バッテリー液面が下限（2）以下のままで充電などをすると、バッテリーの発熱や爆発のおそれがあります。また、バッテリーの寿命を縮めるおそれがあります。**
  バッテリー補充液を上限（1）まで補給してから、充電などを行なってください。

- **充電は火気のない風通しのよいところで、すべてのバッテリーキャップを外して行なってください。**
- **④の接続のときに、バッテリーがあがった車の ⊖ 端子につながないでください。発生した火花が水素ガスに引火し、爆発のおそれがあります。バッテリーから離れたエンジン本体などに接続してください。**
- **乾いた布でバッテリーをふかないでください。静電気が発生して引火のおそれがあります。**

7

⚠警告

●バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚につくと、失明などの重大な傷害を受けるおそれがあります。万一、付着したときは、すぐに多量のきれいな水で洗浄し、医師の診察を受けてください。

⚠注意

●ブースターケーブルは確実に接続してください。エンジン始動時の振動などでブースターケーブルが外れると、V ベルトや冷却ファンに巻き込まれるおそれがあります。
●ショート防止のため、ブースターケーブルの ⊕ 端子は、バッテリーの ⊕ 端子以外の部分（⊖ 端子、ボデー、ブラケットなど）と接触させないでください。
●オートマチック車 は押しがけができません。

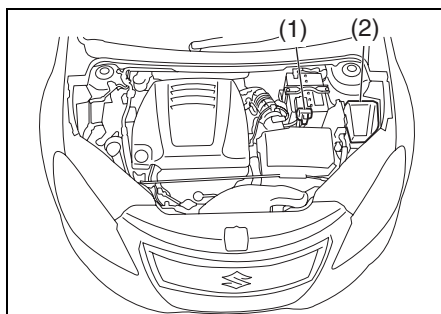
バッテリーあがりを防ぐためには

- エンジンを停止したままライトをつけたり、長時間ラジオ（別売り）などを聞いたりしないようにしましょう。
- 渋滞などで長時間アイドリングを続けている場合は、電装品の使用を極力避けてください。
  → **2-3ページ**
  （バッテリーの液面を点検する）

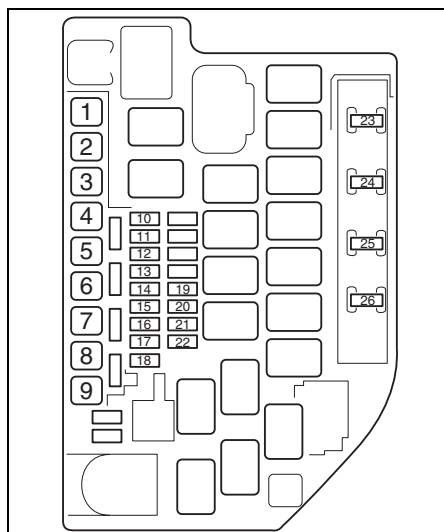
ヒューズが切れたときは

電気装置が作動しないときや、電球が切れていないのにランプが点灯しないときは、ヒューズ切れが考えられます。

- ヒューズは、エンジンルーム内と運転席および助手席の足元にあります。
- 装備仕様の違いにより、所定の位置にヒューズがない場合があります。また、装備がなくてもヒューズだけがある場合があります。

エンジンルーム内のヒューズ

(1) メインヒューズボックス
(2) リレーボックス

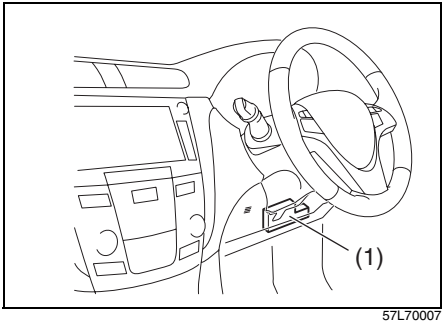
■ リレーボックス内のヒューズ

ヒューズの表は、ボックスのふたの裏側にあります。

57L70005

● 次の表は、各ヒューズが受け持つ主な装備を表しています。

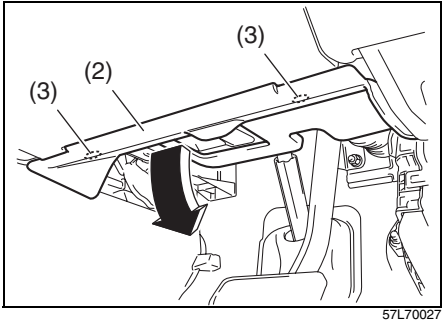
位置	表示	容量	接続先名称
1	IGN	50A	始動装置
2	RDTR2	30A	ラジエーター（サブ）
3	RDTR	30A	ラジエーター（メイン）
4	ST	30A	スターター
5	BTRY	40A	尾灯、制御灯 ハンドルロック
6	ABS1	40A	ABS/ESP® コントローラ
7	IGN2	50A	始動装置2
8	BTRY2	50A	パワーシート パワーウインド
9	BLW	50A	ブロワーファン
10	A/C	10A	エアコン
11	MRR HTR	15A	ドアミラー ヒーター
12	THR MOT	15A	スロットル モーター
13	RR DEF	30A	リヤ デフォッガー
14	H/L CLNR	—	—
15	H/L	7.5A	ヘッドライト
16	FI	20A	燃料噴射装置
17	ABS2	25A	ABS/ESP® コントローラ
18	B/U	25A	バックアップ
19	H/L LO L	15A	ヘッドライト 下向き（左）
20	H/L LO R	15A	ヘッドライト 下向き（右）
21	H/L HI L	15A	ヘッドライト 上向き（左）
22	H/L HI R	15A	ヘッドライト 上向き（右）
23	AT	15A	CVT
24	FR FOG	20A	フロント フォグランプ
25	O2 HTR	15A	O2センサー ヒーター
26	HORN	15A	ホーン

運転席足元のヒューズ

57L70007

(1) 運転席足元のヒューズ

ヒューズを点検するときは、インパネアンダーカバーを外します。

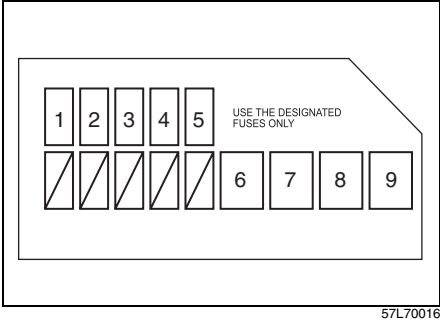
- 固定クリップ 2 個（3）は、カバーを引いて外します。

57L70027

(2) インパネアンダーカバー

注意

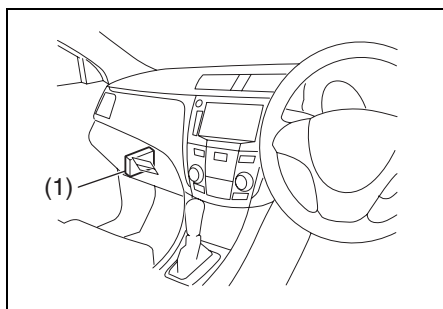
カバーを外すときは、カバー固定の配線に気をつけてください。足元照明が破損するおそれがあります。

■ 運転席足元のヒューズ

ヒューズの表は、インパネアンダーカバーの表側にあります。

57L70016

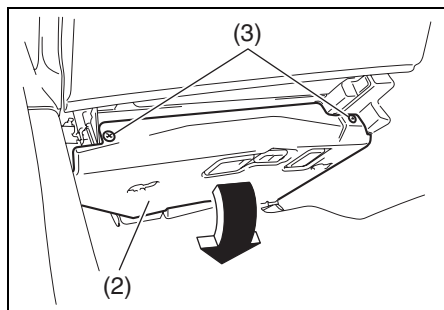
- 次の表は、各ヒューズが受け持つ主な装備を表しています。

位置	表示	容量	接続先名称
1	DOOR RR	20A	後席パワーウインドー（右）
2	DOOR RL	20A	後席パワーウインドー（左）
3	DOOR FR	20A	運転席パワーウインドー
4	4WD	15A	4WD
5	BTRY FAN	—	—
6	AUDIO	—	—
7	PWR SEAT R	30A	運転席パワーシート
8	PWR SEAT L	30A	助手席パワーシート
9	BELT	30A	シートベルト

助手席足元のヒューズ

57L70033

(1) 助手席足元のヒューズ

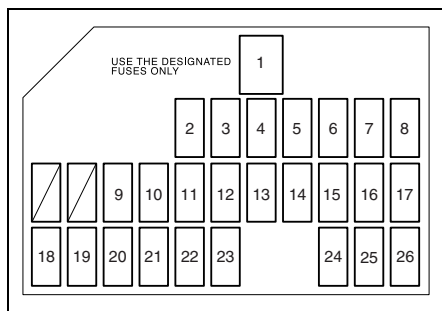
ヒューズを点検するときは、インパネアンダーカバー（2）を外します。

- スクリュー2個（3）は、プラスドライバー（市販品）で外します。

57L70030

⚠注意

カバーを外すときは、カバー固定の配線に気をつけてください。足元照明が破損するおそれがあります。

■ 助手席足元のヒューズ

ヒューズの表は、インパネアンダーカバー（2）の表側にあります。

57L70034

- 次の表は、各ヒューズが受け持つ主な装備を表しています。

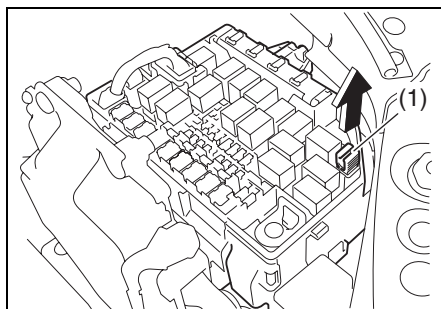
位置	表示	容量	接続先名称
1	P/W	30A	パワーウインドー
2	WIP	15A	ワイパー／ウォッシャー
3	S/H	20A	シートヒーター
4	FR WIP	25A	ワイパーモーター
5	IG2 SIG	7.5A	レインセンサー
6	IG COIL	15A	イグニッションコイル
7	ACC2	15A	アクセサリーソケット
8	ACC	15A	アクセサリーソケット
9	ABS/ESP	10A	ABS/ESP®
10	CRUISE	7.5A	クルーズコントロール
11	IG1 SIG	7.5A	シートヒーター／パワーシート
12	BPIM	―	―
13	MTR	7.5A	メーター

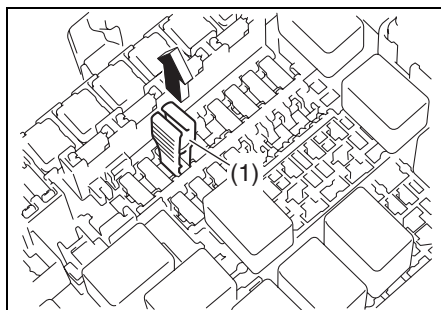
位置	表示	容量	接続先名称
14	BACK	10A	後退灯
15	A/B	10A	エアバッグ
16	STL	15A	電動ハンドルロック
17	BCM	7.5A	BCM
18	S/R	20A	—
19	RR FOG	7.5A	—
20	TAIL	10A	尾灯
21	STOP	10A	制動灯
22	HAZ	10A	非常点滅灯
23	DOOR FL	20A	助手席パワーウインドー
24	RADIO	15A	ラジオ
25	DOME	10A	室内灯
26	D/L	20A	ドアロック

ヒューズの点検と交換

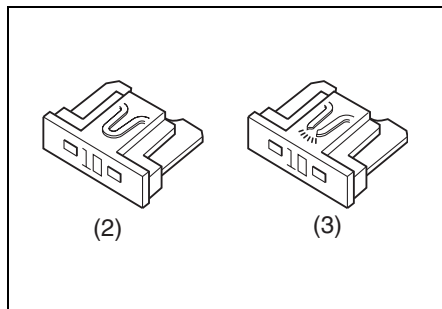
点検・交換のしかた

1. エンジンスイッチを LOCK （OFF）にします。

2. エンジンルーム内のリレーボックスカバーを外し、ボックス内にあるヒューズ抜き（1）を取り出します。

57L70006

3. 故障の状況から、点検すべきヒューズをヒューズの表で確認します。ヒューズ抜き（1）をヒューズに差し込んで引き抜き、ヒューズが切れていないか点検します。

57L70017

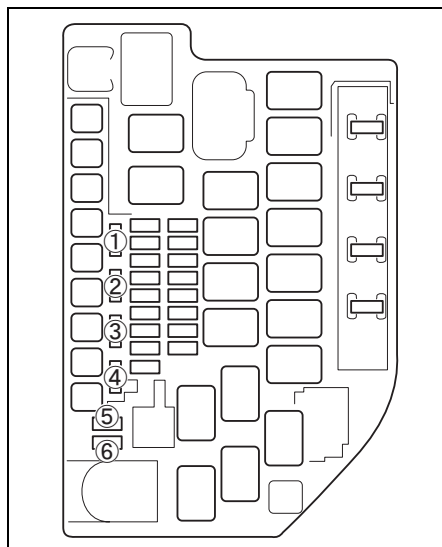
4 切れているときは、同じ容量のヒューズと交換します。

- 交換したヒューズがすぐに切れるときは、電気系統の故障が考えられます。スズキサービス工場で点検を受けてください。

(2) 正常なヒューズの例
(3) 切れたヒューズの例

- ヒューズを点検または交換したあとは、ヒューズ抜きを所定の位置に格納し、しっかりカバーをしてください。

■ 予備ヒューズ

エンジンルーム内のリレーボックス内にあります。

- 予備ヒューズにないサイズや容量のヒューズを交換するときは、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

位置	容量	頭部の着色	個数
①	30A	緑色透明	1
②	25A	白色透明	1
③	20A	黄色透明	1
④	15A	青色透明	1
⑤	10A	赤色透明	1
⑥	7.5A	茶色透明	1

⚠ 警告

ヒューズは同じサイズで同じ容量のものと交換してください。サイズの違うヒューズ、容量の大きいヒューズ、針金、銀紙などを使用すると、配線が焼損したり火災が発生したりする原因となります。

電球の点検

ライトやランプ、方向指示器／非常点滅灯などを点灯または点滅させて、電球切れがないか点検してください。

アドバイス

- 制動灯は他の人に見てもらうか、壁などを利用して点検してください。
- メーター内の方向指示器表示灯の点滅が異常に速くなったときは、方向指示器／非常点滅灯の電球切れが考えられます。

ヘッドライトなどのレンズ内面のくもり

レンズ内面に大粒の水滴がついているときやランプ内に水がたまっているときは、スズキサービス工場で点検を受けてください。

アドバイス

ヘッドライトやリヤコンビネーションランプなどは、ランプ内外の温度差により一時的にレンズ内面がくもることがありますが、機能上の問題はありません。（窓ガラスがくもるのと同じ現象です）

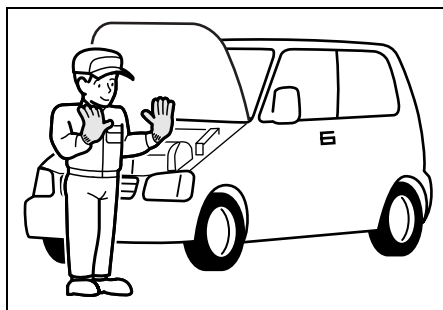
電球の交換

電球が切れているときは、ワット数および型式が同一の電球と交換してください。電球のワット数および型式は、サービスデータ（**8-3 ページ**）をご覧ください。

- 電球を交換しても点灯しない、またはすぐ切れるときは電気系統の故障が考えられます。スズキサービス工場で点検を受けてください。

⚠注意

電球を交換するときは、次のことをお守りください。

- **安全で平らな場所に駐車し、パーキングブレーキをしっかりとかけてください。**
- **電球が十分に冷えてから行なってください。消灯直後は熱くなるため、やけどのおそれがあります。とくにハロゲン電球（ヘッドライトやフォグランプ）が高温になります。また、エンジンルーム内の電球は、エンジンが十分に冷えてから交換してください。**
- **ハロゲン電球は高圧ガスを封入しているため、とくに慎重に扱ってください。割れるとガラスが飛散して、けがのおそれがあります。**
- **車両の部品などで手や腕などをけがしないよう、長袖の上着と手袋を着用してください。**
- **ハロゲン電球を扱うときは、油脂類が付着していない、きれいな手袋をはめてください。使用時電球が高温になるため、素手で扱ってガラス部分に油などが付着すると、発熱による早期電球切れを起こすおそれがあります。**

51K0180

ヘッドライト

■ 下向き（ディスチャージ式）

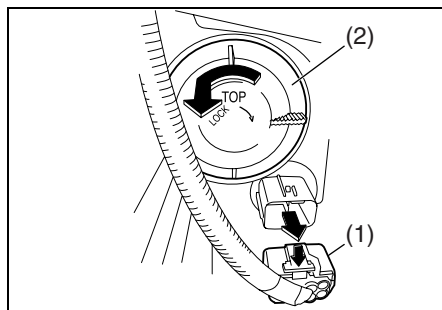
⚠ 警告

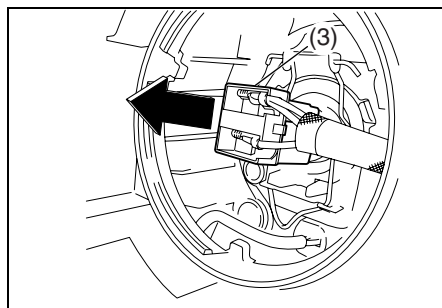
ディスチャージヘッドライトの電球交換は、絶対に行なわないでください。高電圧を使用しているため、感電のおそれがあります。交換の際は、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

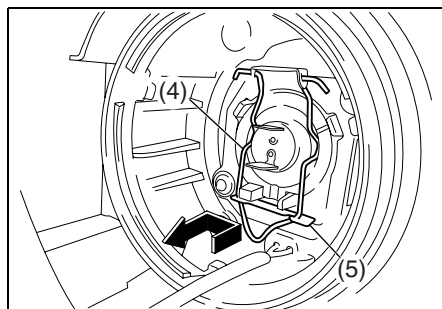
■ 上向き（ハロゲン式）

1 ボンネットを開けます。
→ **5-28ページ（ボンネット）**

2 作業スペース確保のため、カプラー（1）はツメを押しながら外します。

3 カバー（2）は、反時計方向にまわして外します。

57L70036

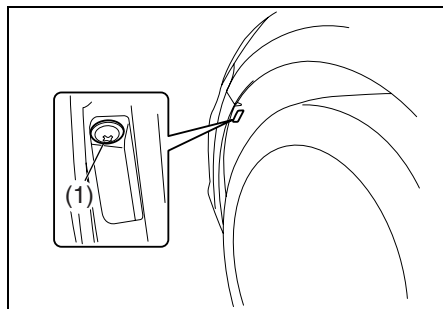
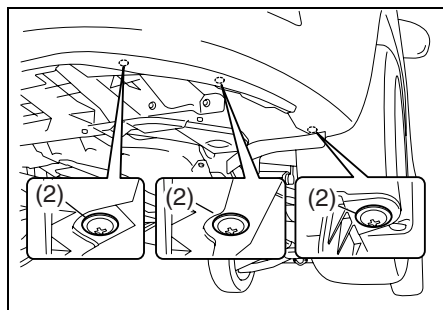
4 カプラー（3）は、カプラー本体をしっかり持って車両後方へまっすぐ引いて外します。

57L70037

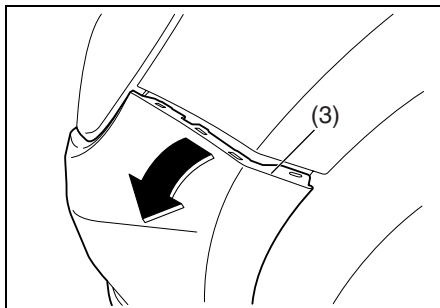
5 止め金（4）を図の矢印のように、押しながら車両外側へずらして固定フック（5）から外します。

57L70038

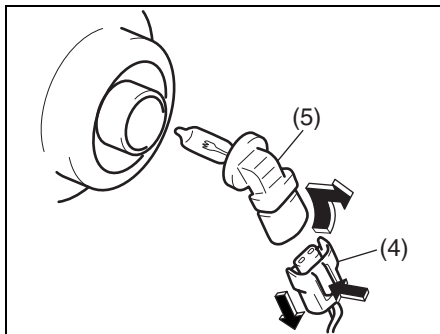
6 電球を外します。交換後は、外したときと逆の手順でもとにもどします。

フォグランプ

1 バンパーを一部外します。

- フェンダー内のスクリュー1個（1）とバンパー底部のスクリュー3 個（2）は、プラスドライバー（市販品）で外します。

57L70039

57L70040

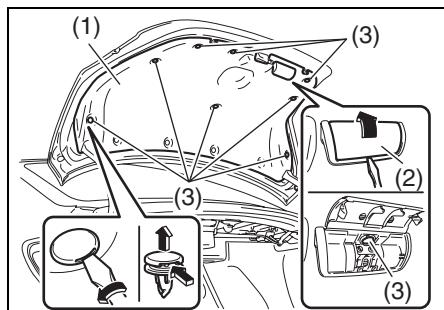
2 作業スペース確保のため、バンパー（3）をめくったまま保持し、すき間から手を入れ交換します。

57L70041

- カプラー（4）は、ツメを押しながら外します。
- 電球（ソケット一体式）（5）は、反時計方向にまわして外します。

57L70042

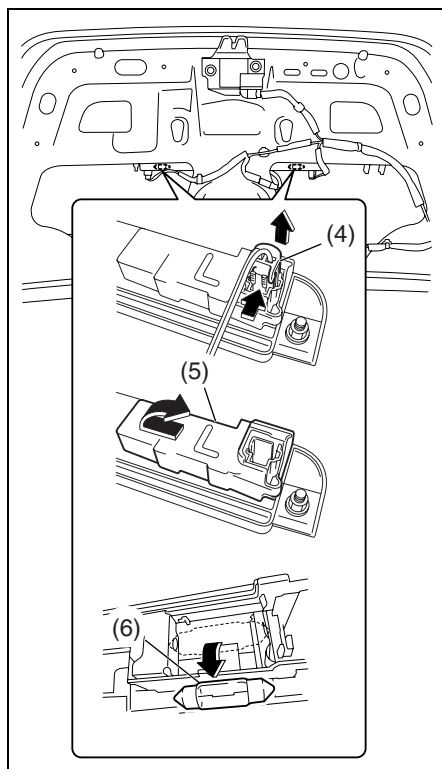
3 交換後は、外したときと逆の手順でもとにもどします。

番号灯

1 トランクリッドを開け、リッド裏側のトリム（1）を一部外します。

- とっ手のカバー（2）は、マイナスドライバー（市販品）などでこじって開けます。
- トリムを固定しているクリップ 9個（3）は、マイナスドライバーなどでこじって外します。

57L70022

2 トリムをめくって内側から交換します。

- カプラー（4）は、ツメを押しながら外します。
- カバー（5）は、図のように車の内側へスライドさせてから外します。
- 電球（6）は、金具を押し開きながら外します。

57L70035

3 交換後は、外したときと逆の手順でもとにもどします。

- 電球（6）が金具の穴に確実にはまっているか確認してください。

アドバイス

運転席側のカバーには「R」、助手席側のカバーには「L」の表示があります。

非分解式ランプ

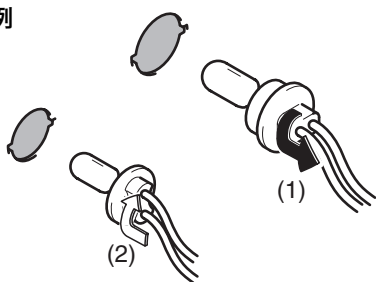
次のランプは非分解式のため、電球のみの交換はできません。ランプ本体の交換となります。点検・交換の際は、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

- 方向指示器／非常点滅灯（側面）

その他の一般的な電球

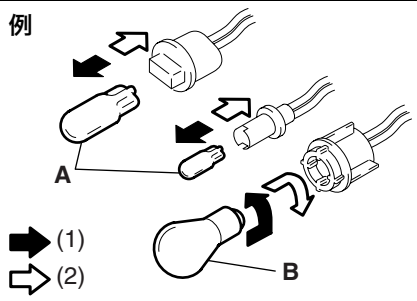
電球ソケットおよび電球の取外し／取付けは、次の方法で行ないます。

■ 電球ソケットの取外し／取付け

- ソケットをランプ本体から取り外すとき（1）は、ソケットを反時計方向にまわして引き抜きます。
- 取り付けるとき（2）は、ソケットをランプ本体の切り欠きに合わせて差し込み、時計方向にまわします。

65J283

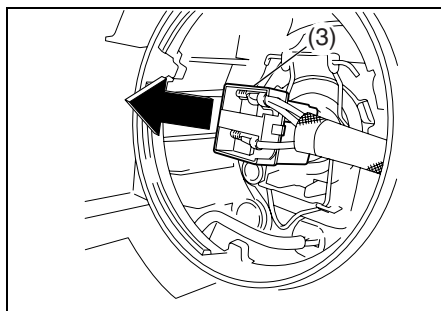
■ 電球の取外し／取付け

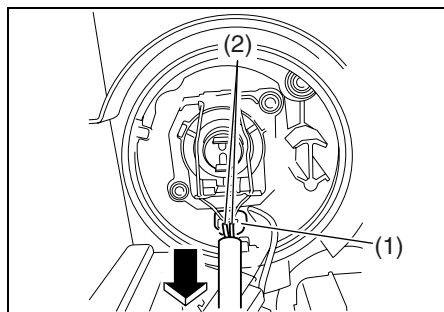
２つのタイプがあります。

- A のタイプは、図のように抜き差しするだけです。
- Bのタイプは、次のようになります。
  - 取り外すときは、電球を押しながら反時計方向にまわします。
  - 取り付けるときは、電球を押しながら時計方向にまわします。

82K210

(1) 取外し　　(2) 取付け

■ 車幅灯

1 ヘッドライト上向き電球のカプラー（3）を外します。
→ **7-17ページ（ヘッドライト）**

57L70037

2 ソケット（1）は、ソケットから出ている配線（2）をしっかり持って車両後方へ引いて外します。

⚠注意

ソケットを外すときに配線部分を引くのは、構造上、ソケットがつまめないための処置です。他のソケット（同タイプの尾灯を除く）を外すときは、配線部分を引かないでください。ソケットや配線が破損するおそれがあります。

3 電球（**A**タイプ）を外します。交換後は、外したときと逆の手順でもとにもどします。

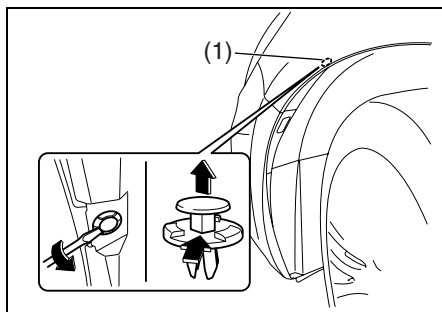
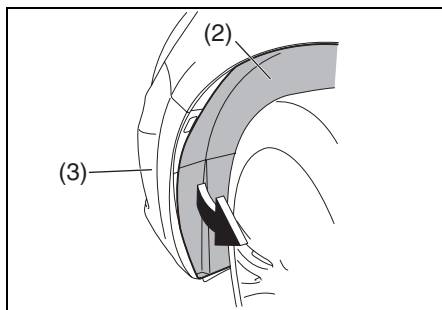
- ソケット（1）は、そのまま差し込み取り付けます。

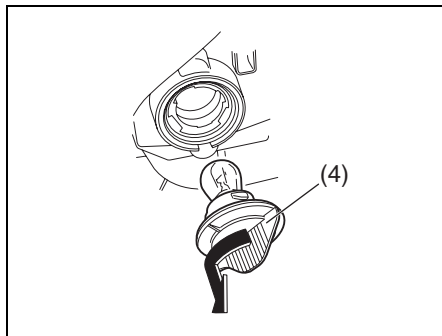
■ 方向指示器／非常点滅灯（前面、Bタイプ）

1 エンジンをかけ、交換する電球の側と反対側にハンドルをいっぱいにまわします。

2 エンジンを停止します。

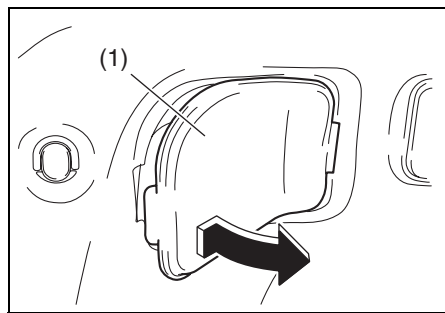
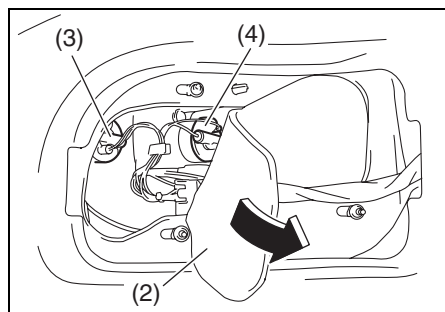
3 フェンダー内のカバーを一部外します。

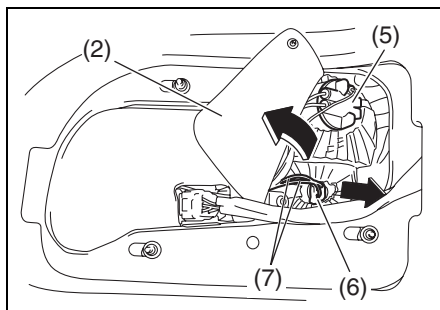
- フェンダー内のクリップ1個（1）は、マイナスドライバー（市販品）でこじって外します。

4 フェンダー内のカバーをめくって内側から交換します。

(2) フェンダー内のカバー
(3) バンパー

- ソケットは固くて外しにくいので、ツマミ部（4）をまわすときは、両手でしっかり持ってください。運転席側の場合、フェンダー内とエンジンルーム内の両方から手を入れて持ってください。

5 交換後は、外したときと逆の手順でもとにもどします。

- フェンダー内のカバーは、バンパーの内側に入れます。

■ リヤコンビネーションランプ

1 トランク内の側面にあるトリム（1）を外します。（イラストは助手席側を代表）

2 スポンジ（2）をめくって内側から交換します。

(3) 後退灯（**B** タイプ）
(4) 方向指示器／非常点滅灯（後面）（**B** タイプ）

- 尾灯のソケット（6）は、ソケットから出ている配線２本（7）をしっかり持って車両前方へ引いて外します。

(5) 制動灯／尾灯（**B** タイプ）
(6) 尾灯（**A** タイプ）

注意

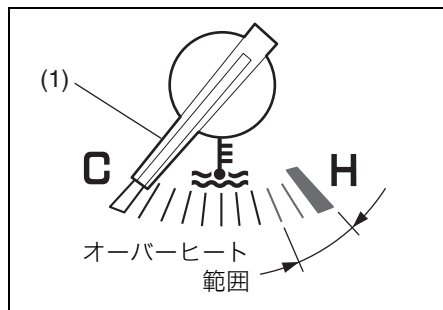
尾灯のソケットを外すときに配線部分を引くのは、構造上、ソケットがつまめないための処置です。他のソケット（同タイプの車幅灯を除く）を外すときは、配線部分を引かないでください。ソケットや配線が破損するおそれがあります。

3 交換後は、外したときと逆の手順でもとにもどします。

- 尾灯のソケット（6）は、そのまま差し込み取り付けます。

オーバーヒートとは

次のようなときは、オーバーヒートです。

- 水温計の指針（1）がオーバーヒート範囲（赤色表示範囲）に入っている
- エンジンルームから蒸気が立ちのぼっている

57L70023

オーバーヒートしたときは

1. 車を安全な場所に止めます。

2. エンジンをかけたままでボンネットを開けて、エンジンルーム内の風通しをよくします。

   - エンジンルームから蒸気が立ちのぼっているときは、ボンネットを開けずに次の手順を行なってください。

   →　**5-28ページ（ボンネット）**

⚠警告

エンジンルームから蒸気が立ちのぼっているときは、ボンネットを開けないでください。蒸気や熱湯が吹き出して、やけどのおそれがあります。

3. 冷却ファンの作動を確認し、水温計の指針が下がるのを待ってエンジンを止めます。

   - 冷却ファンが作動していないときや、水温計の指針が下がらないときは、ただちにエンジンを止め、スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。

4. エンジンが十分に冷えてから、冷却水の量やホースなどからの水漏れを点検します。

⚠警告

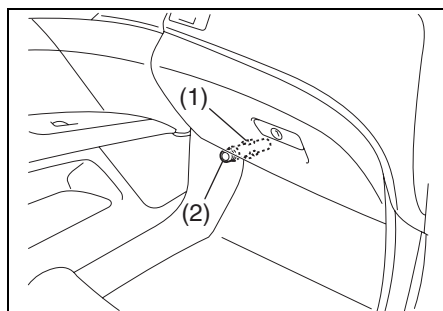
ラジエーターキャップは、エンジンが十分に冷えてから外してください。エンジンが熱いときは冷却水に圧力がかかっているため、蒸気や熱湯が吹き出してやけどのおそれがあります。

80J066

5. 冷却水の量が不足しているときは補給します。

   - 冷却水がなく、やむをえず水だけを補給したときは、できるだけ早くスズキサービス工場で冷却水の点検または交換をしてください。
   - 水漏れなどの異常があるときは、スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。

発炎筒

- 発炎筒は、助手席足元の左側面のホルダーに取り付けています。
- 点火すると約 5 分間発炎します。踏切や高速道路などの危険な場所で故障したときに、非常用信号として使用します。
- 使用方法は発炎筒に記載されています。あらかじめよく読んでおいてください。
- 発炎筒に表示されている有効期限が切れる前に、新品と交換してください。発炎筒はスズキ販売店またはスズキ代理店でご購入ください。

(1) ホルダー　(2) 発炎筒

⚠警告

- **お子さまにはさわらせないでください。やけどや火災などの思いがけない事故を起こすおそれがあります。**
- **必ずホルダーに保管してください。**
- **点火するときは、筒先を顔や身体に向けないでください。やけどのおそれがあります。**
- **ガソリンなどの可燃物の近くでは使用しないでください。火災の原因となります。**
- **トンネル内など、換気が悪い場所で発炎筒を使用すると、煙で視界が悪くなります。トンネル内での合図は非常点滅灯をご使用ください。**

故障したときは

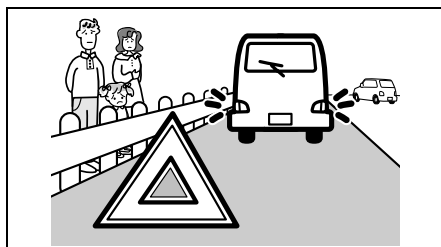
故障したときの連絡先は

お買い求めのスズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。スズキ代理店および JAF の連絡先は、別冊の「**スズキ 4 輪車サービスネットワーク**」をご覧ください。

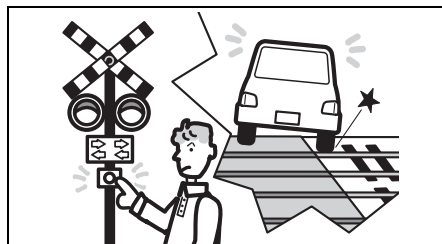
停止表示板を常備する

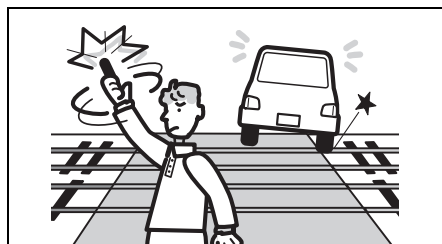
万一のために、停止表示板（別売り）を車に備えてください。高速道路や自動車専用道路では、車の後方に停止表示板を置くことが法令で義務づけられています。

路上で故障したときは

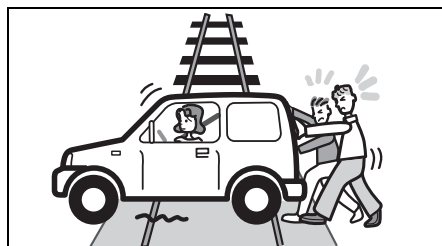
車を路肩などに止め、非常点滅灯を点滅させます。必要に応じて停止表示板（別売り）や発炎筒で他車に注意をうながします。

全員車から降り、ガードレールの外など安全な場所に、すみやかに避難してください。

踏切内で動けなくなったときは

脱輪など、踏切内で動けなくなったときは、ただちに踏切の非常ボタンを押してください。

80J332

踏切の非常ボタンがわからないときは、発炎筒で列車に合図してください。

80J333

エンストした車を少し移動させるときは

踏切や交差点などでエンストして動けなくなったときは、付近の人に押してもらって、車を安全な場所まで移動させてください。
このとき、セレクトレバーを N に入れます。

80J334

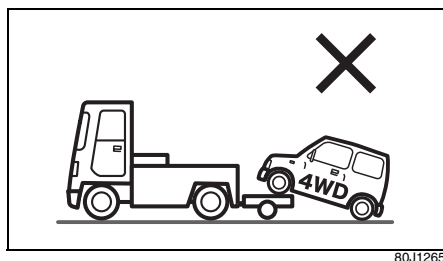
アドバイス
エンジンスイッチを START の位置で保持して緊急避難的に車を動かすことはできません。

けん引してもらうときは

- レッカー車でけん引するとき、4WD車は必ず４輪を持ち上げてください。2WD車は4輪または駆動輪である前輪を持ち上げてください。
- 故障車を移動するには、車両運搬車を利用する方法もあります。
- エンジンがかかっていても車が動かなかったり、いつもと違う音がしたりするときは、駆動装置の故障が考えられます。けん引する前に、スズキ販売店またはスズキ代理店にご連絡ください。

⚠警告

4WD 車は、前輪だけまたは後輪だけを台車にのせた（車輪が回転できない）状態で絶対にけん引しないでください。車が台車から飛びだすなどの思いがけない事故につながるおそれがあります。また、駆動装置が破損する原因となります。

※4WD 車は、駆動モード選択スイッチを操作して駆動状態を2WDモードにしても、完全な2WDにはなりません。

80J1265

ロープけん引

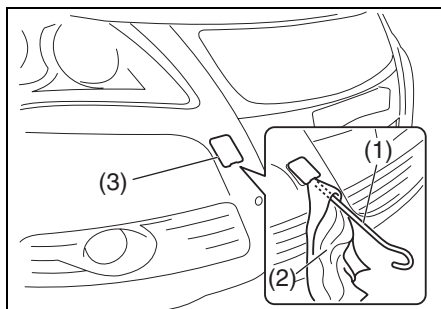
ロープをかける位置は

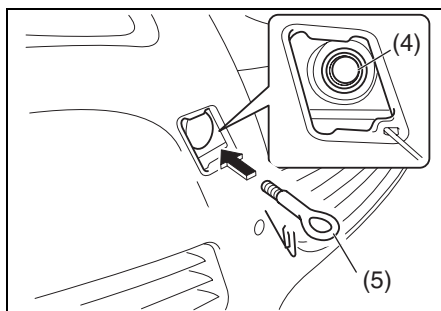
ロープは、けん引フックにかけます。

■ フロント側

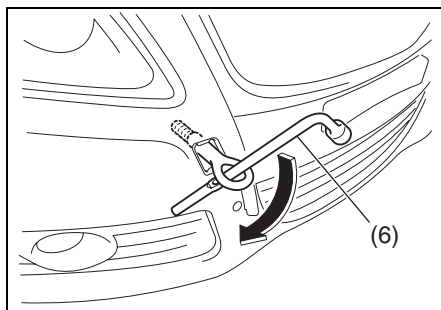
1 工具（ジャッキバー、ホイールナットレンチ、けん引フック）を取り出します。

→ **7-2 ページ（工具、ジャッキ、応急用 スペアタイヤの収納場所）**

2 けん引フックカバー（3）の切り欠き部に、先端に布（2）をかぶせたジャッキバー（1）を差し込み、カバーをこじって外します。

57L70009

3 けん引フック差し込み口（4）にけん引フックを差し込み、手でまわせなくなる程度まで締め付けます。

57L70010

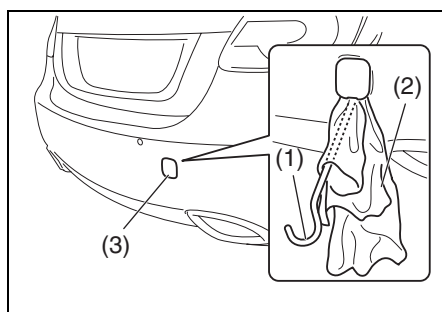
(5) けん引フック

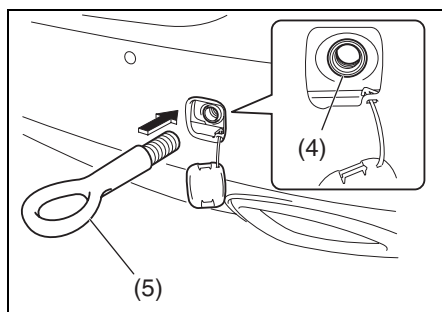
4 ホイールナットレンチ（6）でけん引フックをしっかり締め付けます。

57L70011

■ リヤ側

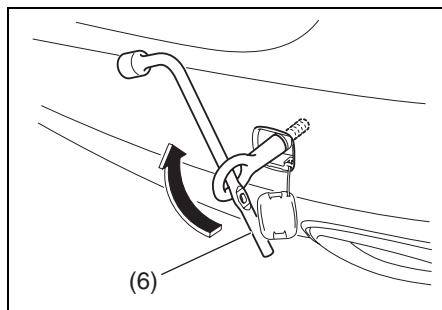
この車を一時的に後ろに移動させるときや他車をけん引するときは、後ろのけん引フックにロープをかけます。

1. 工具（ジャッキバー、ホイールナットレンチ、けん引フック）を取り出します。

2. けん引フックカバー（3）の切り欠き部に、先端に布（2）をかぶせたジャッキバー（1）を差し込み、カバーをこじって外します。

57L70012

3. けん引フック差し込み口（4）にけん引フックを差し込み、手でまわせなくなる程度まで締め付けます。

57L70013

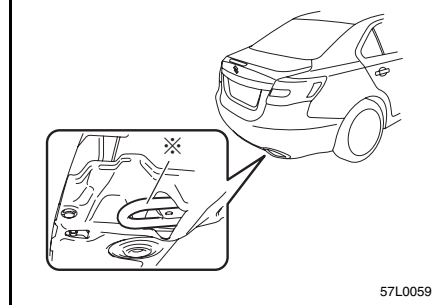
(5) けん引フック

4. ホイールナットレンチ（6）でけん引フックをしっかり締め付けます。

57L70014

⚠注意

- **自車よりも重い車をけん引しないでください。また、急発進などけん引フックやロープに大きな衝撃が加わる運転をしないでください。けん引フックや車体、駆動装置が損傷するおそれがあります。**
- **リヤ側に装備されている※印のフックは、船積み専用フックです。けん引や積載車などで搬送するときには使用しないでください。フックや車体が破損するおそれがあります。**

57L0059

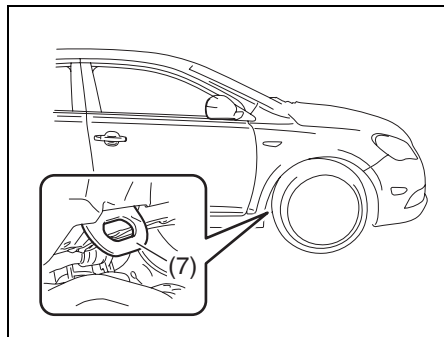
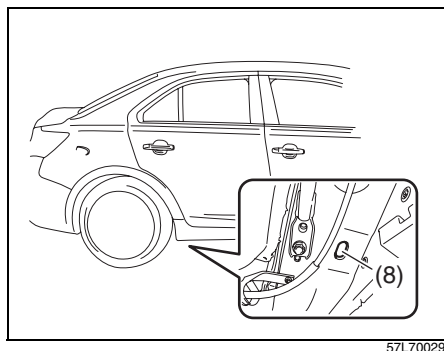
7

■ 積載車用のフックおよび取付け穴

積載車などに載せて搬送する場合は、前輪後部の積載車用フック（7）および後輪前側の積載車用フックの取付け穴（長穴）（8）にロープをかけて固定します。

フロント側

57L70028

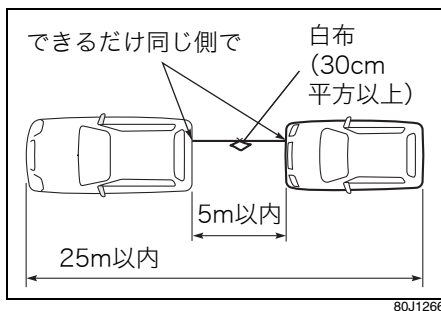
リヤ側

57L70029

ロープでけん引してもらうときは

1 けん引フックにロープをかけます。

- ロープをかけるときは、できるだけ同じ側で水平にかけてください。

2 ロープの中間に白い布（30cm平方以上）をつけます。

80J1266

3 エンジンはかけたままにします。

- エンジンがかからないときは、エンジンスイッチを LOCK （OFF）以外の位置にします。
- ハンドルを左右にまわして、ハンドルロックが解除されているか確認します。
- 4WD車は駆動モード選択スイッチを操作して、駆動状態を2WDモードにします。

→ **4-22ページ**
（駆動モードの切替え操作）

⚠警告

エンジンがかからない車の運転は

- **エンジンスイッチを LOCK (OFF)の位置にしないでください。ハンドルがロックされてまわせなくなります。**
- **ブレーキ倍力装置が働かないため、いつもより強めにブレーキペダルを踏んでください。**
- **パワーステアリング装置が働かないため、通常より大きな力をかけて操作してください。**

⚠注意

故障やバッテリーあがりなどでハンドルロックが解除できないときは、ロープでけん引しないでください。

4 セレクトレバーを N に入れます。

アドバイス

故障やバッテリーあがりなどで、エンジンスイッチを ON にしてブレーキペダルを踏んだ状態でもセレクトレバーを P から他の位置へ動かせないときは、**4-13 ページ**の手順でシフトロックを解除してください。

5 けん引中はロープをたるませないようにします。追突防止のため、前の車の制動灯をよく見て運転してください。

- 後続車に注意をうながすため、けん引される車は非常点滅灯を点滅させてください。

⚠警告

長い下り坂や急な下り坂があるときは、ロープけん引をせず、レッカー車を依頼してください。エンジンブレーキがまったく効かないため、下り坂でブレーキペダルを踏み続けるとブレーキ装置が過熱して、ブレーキが効かなくなるおそれがあります。

⚠注意

- **けん引する車は、急発進などけん引フックやロープに大きな衝撃が加わる運転をしないでください。けん引フックや車体が破損するおそれがあります。**
- **やむをえずロープでけん引してもらうときは、トランスミッション保護のため、速度30km/h以下、走行距離30km以内にしてください。**

万一、事故が起きたときは

処置のしかた

1 事故の続発を防ぐため、他の交通のさまたげにならない安全な場所に車を移動し、エンジンを止めます。

2 負傷者がいるときは、医師、救急車などが到着するまでの間、安全な場所で応急手当を行ないます。ただし、頭部に傷があるときは、そのままの姿勢で動かさないようにしてください。その場合でも、後続事故の心配があるときは、安全な場所に移動します。

3 事故が発生した場所、状況、負傷者や負傷の程度などを警察官に報告し、指示を受けます。

4 相手方、事故の状況をメモします。

5 ご購入された販売店や保険会社へ連絡します。

外傷がなくても医師の診断を受けましょう

後遺症が出るおそれがあります。

<table>
<tr><th colspan="2">項　　目</th><th colspan="2">デ　ー　タ</th></tr>
<tr><td rowspan="2">燃料</td><td>使用燃料</td><td colspan="2">無鉛レギュラーガソリン</td></tr>
<tr><td>タンク容量</td><td colspan="2">63 L</td></tr>
<tr><td rowspan="5">エンジンオイル</td><td rowspan="3">グレード</td><td colspan="2">スズキエクスターF SM/GF-4 0W-20</td></tr>
<tr><td colspan="2">スズキエクスターF SL 5W-30</td></tr>
<tr><td colspan="2">適切なオイルのご使用方法については、2-28ページの「エンジンオイルの規格／粘度」をお読みください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">規定量</td><td>オイル交換時</td><td>4.3 L</td></tr>
<tr><td>オイル、オイルフィルター同時交換時</td><td>4.5 L</td></tr>
<tr><td rowspan="2">トランスミッションオイル</td><td>グレード</td><td colspan="2">スズキCVTF グリーン1 (1V)</td></tr>
<tr><td>規定量</td><td colspan="2">8.3 L</td></tr>
<tr><td rowspan="2">トランスファーオイル（4WD車）</td><td>グレード</td><td colspan="2">スズキ4輪スーパーギヤオイル 80W-90 (GL-5)</td></tr>
<tr><td>規定量</td><td colspan="2">0.9 L</td></tr>
<tr><td rowspan="2">デファレンシャルオイル（4WD車）</td><td>グレード</td><td colspan="2">スズキ4輪スーパーギヤオイル 80W-90 (GL-5)</td></tr>
<tr><td>規定量</td><td colspan="2">0.8 L</td></tr>
<tr><td rowspan="2">冷却水</td><td>グレード</td><td colspan="2">スズキ純正スーパーロングライフクーラント（青色）</td></tr>
<tr><td>規定量</td><td colspan="2">6.6 L</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ウォッシャー液</td><td>グレード</td><td colspan="2">スズキ純正ウインドーウォッシャー液</td></tr>
<tr><td>タンク容量</td><td colspan="2">4.5 L</td></tr>
</table>

- 油脂類などの交換時期、規定の冷却水濃度は、「**メンテナンスノート**」をご覧ください。
- 指定外のCVTオイルは絶対に入れないでください。

<table>
<tr><th colspan="2">項　　目</th><th colspan="3">デ　ー　タ</th></tr>
<tr><td>ブレーキ液</td><td>グレード</td><td colspan="3">スズキ純正ブレーキフルード (DOT-3)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">スパーク
プラグ</td><td>タイプ</td><td colspan="3">NGK: SILFR6A11 (イリジウム)</td></tr>
<tr><td>電極のすき間</td><td colspan="3">1.0～1.1 mm</td></tr>
<tr><td>バッテリー</td><td>タイプ</td><td colspan="3">75D23L</td></tr>
<tr><td rowspan="4">ブレーキ
ディスク</td><td rowspan="4">ディスク
厚さ
(※)</td><td rowspan="2">前輪</td><td>基準値（新品時）</td><td>26.0 mm</td></tr>
<tr><td>限度値</td><td>24.0 mm</td></tr>
<tr><td rowspan="2">後輪</td><td>基準値（新品時）</td><td>12.0 mm</td></tr>
<tr><td>限度値</td><td>11.0 mm</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ブレーキ
ペダル</td><td>遊び</td><td colspan="3">1～8 mm</td></tr>
<tr><td>床面とのすき間</td><td colspan="3">83 mm以上〔踏み込み力 300 N (31 kgf)〕</td></tr>
<tr><td>パーキングブレーキレバー</td><td>引きしろ</td><td colspan="3">6～8ノッチ〔操作力 200 N (20 kgf)〕</td></tr>
<tr><td>Vベルト</td><td>たわみ量</td><td colspan="3">自動調整式</td></tr>
<tr><td>ハンドル</td><td>遊び</td><td colspan="3">0～30 mm（ホイール外周）</td></tr>
<tr><td>タイヤ</td><td>ローテーション時期</td><td colspan="3">5,000 km走行ごと</td></tr>
</table>

● 指定外のブレーキ液、クラッチ液は絶対に入れないでください。

※点検して限度値に達していたら、ディスクを新品に交換してください。なお、点検するには、ブレーキ装置の分解とマイクロメーターによる測定が必要です。スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

8

■ 電球の容量

名　称		ワット数(型式)	名　称	ワット数(型式)
ヘッドライト	上向き	55W(H7)	ハイマウントストップランプ	LED
	下向き	35W(D2S)	フォグランプ	55 W(H11)
車幅灯		5W(W5W)	フロントマップランプ	8 W
方向指示器/非常点滅灯	前面	21W(PY21W)	前席室内灯	8 W
	側面(※)	5W	後席室内灯	10 W
	後面	21W(PY21W)	カーテシランプ	5 W
制動灯／尾灯		21/5W(P21/5W)	足元照明	LED
尾灯		5W(W5W)	グローブボックスランプ	1.4 W
後退灯		21W(P21W)	バニティーミラーの照明	2 W
番号灯		5W(C5W)	トランクルームランプ	5 W

※側面の方向指示器／非常点滅灯、ハイマウントストップランプは、ランプ本体の交換となります。

■ タイヤ／ホイール

指定タイヤのサイズと空気圧は、お車のタイプにより異なります。運転席ドアの開口部に貼付してある「**空気圧ラベル**」で確認してください。

タイヤの空気圧

タイヤの種類	タイヤサイズ	空気圧
標準タイヤ	235/45R18 94W	260 kPa（2.6 kgf/cm^2）
応急用スペアタイヤ	T145/90D16	420 kPa（4.2 kgf/cm^2）

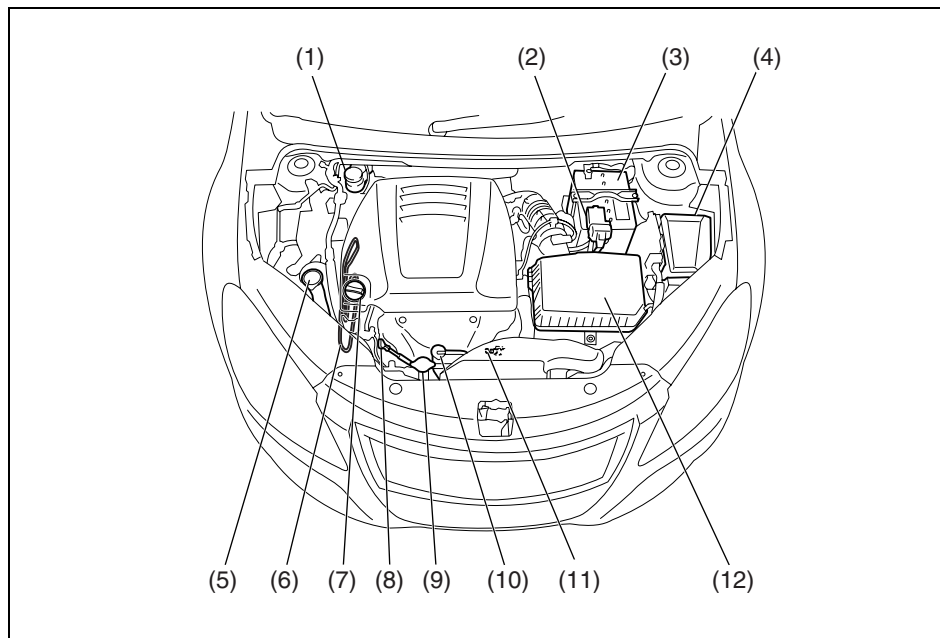
ホイールのサイズ

タイヤ	適合ホイール		
	リムサイズ	インセット	取付ピッチ円直径（PCD）
235/45R18 94W	18 X 8J	50 mm	114.3 mm

タイヤチェーン

この車に適合したスズキ純正品を装着してください。適合するタイヤチェーンについては、スズキ販売店またはスズキ代理店にご相談ください。

エンジンルームをのぞいて

イラストは代表例です。お車のタイプにより、このイラストと異なることがあります。

太字は日常点検が必要な部品の一部です。詳しくはメンテナンスノートをご覧ください。

(1) **ブレーキフルードリザーバータンク**（※）
(2) メインヒューズボックス
(3) **バッテリー**
(4) ヒューズボックス
(5) **ウォッシャータンク**
(6) Vベルト
(7) エンジンオイルフィラーキャップ
(8) **エンジンオイルレベルゲージ**（※）
(9) ラジエーターキャップ
(10) **冷却水リザーバータンク**
(11) CVTオイルレベルゲージ（※）
(12) エアクリーナー

※レベルゲージの裏表で液量が異なるときは、低い側をオイル量としてください。

こんな機能が設定切替え（カスタマイズ）できます

セキュリティーアラーム、インフォメーションディスプレイ以外の設定切替えについては、スズキ販売店またスズキ代理店にご相談ください。

項目	機能	初期設定 （工場出荷時）	設定切替え時
キーレスプッシュスタートシステム	キーレスプッシュスタートシステムの各発信機の機能 → **2-26ページ**	あり	なし
	携帯リモコン電池消耗警告の表示 → **3-13ページ**	あり	なし
	携帯リモコン検出範囲外警告ブザーの吹鳴（1回） → **4-5ページ、** **4-8ページ**	なし	あり
アンサーバック機能 → **3-10ページ**	非常点滅灯／室内灯による合図	非常点滅灯 /室内灯	室内灯のみ
	車外ブザーによる合図	あり	なし
セキュリティアラーム → **3-16ページ**	セキュリティアラームモード	警報モード	警報なしモード
インフォメーションディスプレイ	平均燃費のリセット方法切替え → **3-78ページ**	非連動	給油連動
			Trip A連動
	足元照明の設定切替え → **3-78ページ**	ドア連動	照明連動
			オフ
ライトスイッチ	オートライトシステムの設定切替え → **3-87ページ**	ー	ライトセンサーの感度切替え
		大雨連動	オートワイパー連動 （小雨連動）
			オートワイパー非連動
ワイパースイッチ	オートワイパーシステムの設定切替え → **3-92ページ**	フルオートモード	セミオートモード
			間欠ワイパーモード

項目	機能	初期設定 (工場出荷時)	設定切替え時
方向指示器スイッチ	レーンチェンジ機能の設定切替え → **3-89ページ**	3回点滅	1〜4回点滅

ア

イ

ウ

エ

オ

テ

ト

ナ

ニ

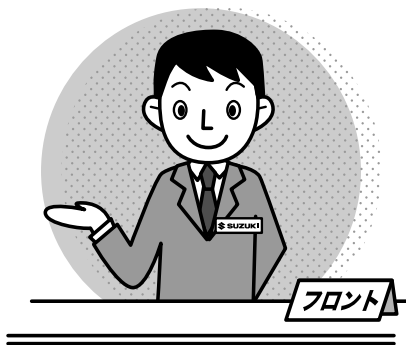
ネ

ハ

ヒ

お問い合わせ、ご相談は

お車のことや、車検・点検などのアフターサービスについてのお問い合わせやご相談がございましたら

まずは、お買い上げいただきましたスズキ販売店またはスズキ代理店にお尋ねください。

スズキ代理店にお問い合わせやご相談をいただくときは、別冊の「**スズキ4輪車サービスネットワーク**」に記載してありますお近くの代理店にお気軽にご連絡ください。
お客様のご相談に対して的確な判断と迅速な処理をするため、あらかじめ、お手元に車検証をご準備いただき、次の事項をご確認のうえ、ご連絡願います。

①車名、車台番号、ナンバープレートの番号など
②ご購入年月日
③走行距離
④ご相談内容
⑤お客様のご住所、お名前、お電話番号